# 第5章 地域放送局

- ①全国8地域のそれぞれの冒頭で、2011年度のその地域の放送局の特記事項を要約した。
- ②「地域放送番組編集計画」(⇒p.614)

# I. 地域放送番組の編成

11年度は、地域放送番組の内容の充実とともに、 震災からの復興を支援する番組を各地域で放送し た。さらに、全国に向けた情報発信も強化し、存 在感ある放送サービスの提供に努めた。

# 1. 地域の実情に応じた放送サービスの充実

11年度も各放送局は、それぞれ地域の実情に応じた編成に取り組んだ。総合テレビ午前の情報番組では、『ほやほや気分』(福井県域)、『ひるまえもぎたて』(岡山県域)を新設。夕方のニュース・情報番組では『あすのWA!』(和歌山県域)、『岡山ニュース もぎたて』(岡山県域)、『いよ×イチ』(愛媛県域)、『熱烈発信!福岡NOW』(福岡単独)、『見んと!長崎』(長崎県域)、『ニュースただいま佐賀』(佐賀県域)、『NEWSおきなわ610』(沖縄県域)を新設した。

また、『北海道クローズアップ 埋もれたSOS ~札幌・姉妹 "孤立死" を追う』(北海道ブロック)、『被災地からの声』(東北ブロック)、『ナビゲーション~東海北陸 広がる震災の波紋』(中部ブロック)、『かんさい特集 子どもを守れ!当事者の私たちが伝えたいこと~苦しみから抜け出すために』(近畿ブロック)、『フェイス~里山に眠る "エネルギー"』(中国ブロック)、『四国羅針報フロンティア なぜ "SOS" は届かなかったのか~口てい疫・感染拡大の実態』(九州ブロック)など、震災からの復興を支援する番組や、防災意識を高める番組、地域が直面している課題を取り上げる多様な番組を定時番組や特集番組として放送した。

このほか、地域ならではの人々の思いをテーマに制作したドラマの全国発信は『やさしい花』『てっぱん番外編~イブ・ラブ・ライブ』(大阪局)、『港町相撲ボーイズ』(富山局)、『カゲロウの羽』(高知局)、『無垢の島』(大分局)、『オヤジバトル!』(福岡局)、『大地のファンファーレ』(札幌局)の7本。また、ラジオ第1で『つながるラジオ@とかち』(帯広単独)、FMでは『サバトセーラ東北』(東北ブロック)、『トン☆スタ』(九州ブロック)などを新設した。

# 2. 地域発全国放送番組の充実

地域からの全国発信枠として、総合テレビでは、 地域の旬の話題を紹介する『ひるブラ』を新設。 毎週土曜午前の『目撃!日本列島』では、地域密 着のドキュメンタリーを放送するとともに、 毎週 金曜に放送していた『ろーかる直送便』を月曜か ら金曜の週5回に拡大するなど、地域局が制作す る意欲的な番組を紹介し、地域の姿や文化を発信 した。ラジオ第1では、引き続き水曜午後9時台 に、札幌発の『もぎたて!北海道』、仙台発の『ぬ くだまりの宿 みちのく亭』、名古屋発の『ゆきね えの名古屋なごやか喫茶』、福岡発の『博多屋台 こまっちゃん』を週替わりで編成するとともに. 『沖縄熱中倶楽部』をより聞きやすい最終土曜の 午後7時台に移設し、地域の魅力をたっぷりと伝 えたほか. 『ここはふるさと旅するラジオ』では 地域からの中継や、その土地にまつわる歌を紹介

# Ⅱ. 地域放送局の組織

# 1. 地域拠点局

本部を除く53の放送局のうち、大阪、名古屋、 広島、福岡、仙台、札幌、松山の7つの放送局を 地域拠点局と位置づけ、域内各放送局の支援・調 整機能を持たせている。

地域拠点局の組織・業務体制は、放送部(大阪・名古屋は編成部、制作部、報道部)、技術部、広報・ 事業部(大阪・名古屋は広報部、事業部)、営業 推進部、企画総務部である。なお、これに加えて、 大阪には考査部が、また、大阪に4か所、名古屋 に2か所、札幌に1か所の営業センターがある。

地域拠点局は,各組織が緊密な連携のもとで, 地域サービス充実のための業務運営を推進してい る。

#### 2 放送局

放送局の組織・業務体制は、放送部、技術部、営業部の各部が連携しながら全局を挙げて視聴者本位の地域サービス充実のための業務運営を推進している。

371 NHK年鑑'12

# 北 海 道

- ◇北海道では、道内7局が連携して、地域の未来 を創造するキャンペーン「いっしょにつくろう 未来」を展開した。地域の防災や被災地支援の 在り方、北海道と日本の課題を考えるとともに、 地域社会の未来づくりを応援する番組やニュー スの放送に取り組んだ。
- ◇地域の拠点として、地域の視聴者を巻き込んだコンテンツ制作に取り組んだ。『北海道発スペシャルドラマ〜大地のファンファーレ』では、地元のエキストラ延べ1,060人が参加した。また、学生たちによるファッションショーの放送や"高校放送部とともに大震災を見つめる"特集番組、地元の大学を舞台にした放送・ネット連動のドラマスポットの制作・放送など、地域放送局の新たな役割を示すものとなった。
- ◇ツイッターを活用した双方向番組『ほっかいどう穴場ハンター』や投稿動画による『さぶちゃんとセッション~バーチャルバンド北海道』といった新たな手法による番組や、動物たちの求愛行動に迫る『♂と♀』、"音のチカラ"にスポットを当てた『SOUNDS SO GOOD?』など、新しいスタイルの番組を制作し、より多くの視聴者に見てもらえる番組の開発に取り組んだ。

# I. 放 送

## 1. 放送の概要

北海道の各放送局は「北海道はひとつ」の基本 方針のもと、7つの放送局が緊密に連携し、放送 サービスを行っている。

東日本大震災の発生を受けて、11年3月に「震災プロジェクト」を設置し、多彩なニュース・番組を展開した。

報道では、4月の統一地方選をはじめとする選挙で、正確かつ迅速な報道を行ったほか、道民の安全・安心を守るため、地震・津波関連の報道や大雨情報などをデータ放送やインターネットでもきめ細かく伝えた。

番組では7月末に『NHKスペシャル 幻の霧 ~摩周湖 神秘の夏』を放送したほか、データ放 送やツイッターを活用した視聴者参加型番組『ほ っかいどう穴場ハンター』を夏と年始の2回全国 放送した。また、2月と3月には5年ぶりに北海 道で制作した『北海道発スペシャルドラマ~大地 のファンファーレ』を全国・全道で放送し、北海 道の魅力を発信した。

編成では、大型連休期間や夏期、年末年始の特 集編成期間に、地域の魅力を伝える番組を集中的 にアンコール編成するなど、独自編成を実施した。

#### (1) 「震災プロジェクト」の取り組み

東日本大震災では全局的な取り組みとして「震災プロジェクト」を立ち上げ、震災の地場産業への影響や被災地支援をテーマに多彩なニュース・番組を展開した。

震災から半年を経た秋には、地域の防災を検証する大型特集や、高校放送部とともに制作する特集など関連番組を数多く放送した。また、被災地支援イベントとして開催した『歌のカコンサート』『LIVE H』など、多彩な番組を放送した。

震災から1年を経た12年3月には、震災や復興についての学生たちとの議論を伝えた『北海道クローズアップ〜白熱トークスペシャルin北海道大学〜震災1年・私たちにできることは?』のほか、19年前に奥尻で津波の被害にあった方々の思いを伝えるドキュメンタリーなどを集中的に放送した。

#### (2)ニュース・報道番組の充実

2年目となった平日午後6時台の『ネットワークニュース北海道』では、道内7局のネットワークを活用し、地域のニュースや話題をきめ細かく分かりやすく伝えた。

4月の統一地方選の前半戦では北海道知事選, 札幌市長選ほかの結果を,後半戦では全国最多と なる48市町村選と128の市町村議選の結果をきめ 細かく報道した。

9月に相次いだ台風接近に際しては、各地からの中継とともに、放送とホームページで警戒を呼びかけ、被害の防止に努めた。また、北海道では特に関心が高いTPPについて11月に番組・ニュースで重点的に取り上げた。

サッカー、コンサドーレ札幌のJ1昇格に当たっては、昇格が決定した最終戦終了直後に特別番組を放送した。

#### (3) 北海道の魅力を全道、全国へ発信

『NHKスペシャル 幻の霧~摩周湖 神秘の 夏』を7月31日に放送するとともに、9月にBS でも3夜連続で編成し、その後北海道向けに金曜 夜間でも放送し、北海道の自然の魅力を発信した。

11年度に定時化したツイッター活用の双方向番組『ほっかいどう穴場ハンター』は、8月と1月に特集番組として全国放送を実現し、知られざる

北海道の魅力を全国に向けて発信した。

また、ばんえい競馬を舞台とした『北海道発スペシャルドラマ〜大地のファンファーレ』を北海道向けに2月、全国向けではBSで2月、総合テレビで3月に放送した。地元市民がエキストラとして参加するなど、ドラマを地域とともに盛り上げる取り組みとなった。

北海道の魅力を全道へ発信するために『各局スペシャル』を設け、各地の魅力を紹介した。

# (4) デジタルサービスの強化

データ放送では、一次産業の従事者に関心が高い風向、風速、波の高さなどを自動表示する「風と波の情報」の提供を11年6月に開始した。

インターネットでは、防災関連番組や復興支援 の総合情報ページ「NHK北海道 防災・震災ポ ータルサイト」を12年3月に開設した。

番組連動の展開としては、ツイッターによる情報の募集や、番組放送中にも視聴者からの投稿を紹介する『ほっかいどう穴場ハンター』を定時化したほか、北島三郎さんの歌に合わせた個性あふれる演奏をインターネットで募集した新しい音楽番組『さぶちゃんとセッション~バーチャルバンド北海道』を放送した。

### 2 地域放送番組

# (1) 定時番組

#### 『NHKニュース おはよう北海道』 G

月~金 7:45~ 8:00

#### 『NHKニュース おはよう北海道

土曜プラス』 G 土 7:30~ 8:00 第1回93.4.5/北海道ブロック/北海道の朝の最新ニュースと道内ネットワークを生かした企画リポート, 気象情報をコンパクトにまとめた地域密着のニュース情報番組。全道各地からの中継や天気カメラで北海道の朝の表情を生き生きと伝えた。

土曜は、『土曜プラス』として地域の課題を掘り下げる「土曜プラス特集」、各局のリポーターが道内各地を訪ね歩く「ぶらりみてある記」などで地域の話題を多彩に伝えた。

#### 『つながる@きたカフェ』 G

月~金 11:30~12:00

第1回10.4.2/北海道ブロック/ "つながる" をコンセプトに視聴者からの写真やお便りを随時紹介, 道内各局のネットワークを生かし, 北海道各地の旬の話題, 各地のイベント情報を生放送で伝えた。

### 『ネットワークニュース北海道』 G

月~金 18:10~18:59

第1回10.3.29/北海道ブロック/道内7局のネットワークを生かし、北海道のその日1日のニュース、深く掘り下げた特集のほか、北海道の震災被害、被災地への支援などについてていねいに伝えた。各局をリレーで結び、道内各地の話題もテンポよく紹介した。

# 『ネットワークニュース845』 G

月~金 20:45~21:00

第1回10.3.29/北海道ブロック/北海道の1日のニュースを伝えるニュース番組。午後7時以降の新たなニュースやきめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

# 『ネットワークニュース645』 G

土・日 18:45~18:59

第1回10.4.3/北海道プロック/土曜,日曜の北海道のニュースを伝えるニュース番組。1日の北海道のニュースやきめ細かい気象情報を分かりやすく伝えた。

### 『北海道クローズアップ』 G

金 19:30~19:55

**勇**日 8:00~ 8:25

第1回93.4.1/北海道ブロック/北海道の"いま"を見つめ、"これから"を問う報道番組。東日本大震災の発生を受けて、被災地を支える北海道の人々の活動や北海道の防災について考える震災プロジェクトを展開したほか、北海道で起こるさまざまな出来事や直面する課題について継続的に取材・放送した。

主な内容/「シリーズ 北方領土」「シリーズ 人口減少社会を生き抜け」「音楽の喜びを届けたい~50年目の札幌交響楽団」「TPPの衝撃 どうなる北海道農業」「埋もれたSOS~札幌・姉妹 "孤立死"を追う|など

## 〈北海道クローズアップ 震災プロジェクト〉

緊急特番「深まる被害 今何をすべきか」

札幌局 4. 1/20:00~20:45

緊急特番「徹底討論 東日本大震災

いま何ができるのかし

札幌局 4.15/第1部 20:00~20:45

第2部 22:00~22:45

「震災から2か月 被災者はいま」

札幌局 5.13/19:30~20:45

「"サンマ危機"を乗り越えろ」

札幌局・釧路局 6.3/19:30~19:55 「命を守るために いま できること」

札幌局 6.17/第1部 19:30~20:45

第2部 22:00~22:44	イベントなど多彩な番組を編成した。
「一眼レフに心を映して~被災地の高校写真部」	「いくぞ~!北の出会い旅」 札幌局
旭川局 7.8/19:30~19:55	「特別編 あばよ!伊藤ちゃん」
「震災 心の軌跡〜奥尻島 津波から18年」	4.16
札幌局・函館局 7.22/19:30~19:55	「はじめまして小樽」 4.22
「再起をかけたサンマ漁」	「あっちこっち胆振」 5.20
釧路局 8.26/19:32~19:57	「ヤッホー!羊蹄山」 7.22
「"防災のスピード"を上げろ」	「はるばる利尻」 8.26
札幌局 9. 9/22:00~23:13	「うまいぞ~!釧路」 10.28
「高校生×NHK 高校生が見つめた大震災」	「秋の十勝を行きMAX!」 12.9
札幌局 9.30/19:30~20:43	「明けまして道南」 1.20
「終わらない震災」	「ほほほのオホーツク」 3.2
札幌局 10.14/19:30~20:43	「特別編 よぐきたねし八戸」 3.16
「真冬の震災・停電…あなたはどうする!?」	「ホリホリX」 札幌局
札幌局 12.16/19:30~19:55	第1回 5.27
「わたしたちにできること~大学生ボランティ	第 2 回 7. 8
アの10か月」 札幌局 1.13/19:37~20:02	第 3 回 1.27
「こころ 東北と響きあう〜奥尻島から東日本	「エゾリス 札幌の森に生きる」 札幌局 4.30
大震災をみつめて」	「知床」    札幌局
札幌局 3.8/20:00~20:43	前編 海と森の開拓史 6.3
「白熱トークスペシャルin北海道大学	後編 人とヒグマ 隣りあう暮らし 7.1
~震災1年・私たちにできることは?」	「YOSAKOIソーランナイト2011」
札幌局 3. 9/19:30~20:43	札幌局 6.10
『北海道中ひざくりげ』 G	「クイズ!こどもバスがゆく」 札幌局 8.19
(年10回) 金 19:30~19:58	「北海道から届けよう!歌の力コンサート」
⊕日 8:00~ 8:25	札幌局 10.7
第1回87.4.9/北海道ブロック/道内各地をく	「北の大地を歩きつくそう2011~ぶらりみてあ
まなく旅し、そこに生きる人々と地域の魅力を再	る記スペシャル」 札幌局 10.21
発見する紀行番組。11年度は放送開始から25年目	「人と馬 世紀をこえて~十勝・最古の草ばん
を迎え、これまでの放送を振り返る特別番組を放	馬」 札幌局 11.4
送したほか、過去の番組をアンコール編成した。	「摩周湖 神秘の霧」 札幌局 11.18
旅心誘う観光情報・地域情報を紹介する「ふらっ	「長い長い遠足~北見北斗高校71km」
とひざくりげ」も継続した。データ放送では、番	札幌局 11.25
組の進行に合わせて、問い合わせ情報や注目スポ	「北海道 古代ミステリー」 旭川局 12.16
ットの細かな情報を伝えた。	「こまどり姉妹~不思議な人気の73歳」
主な番組/「北海道中ひざくりげスペシャル~	札幌局 1.13
ふるさとを旅した25年」「シバザクラに思いを寄	「特集 さわやか自然百景~森の国 日本」
せて~滝上町」「実りの秋 にぎわい朝市~伊達	札幌局 2.3
市」「牛の瞳にうつる夢~浦臼町」など	「目指せ"人馬一体"~ドラマ『大地のファン
『北スペシャル』 G	ファーレ』の舞台裏」 札幌局 2.10
金 20:00 (19:30) ~20:43	『Generation H』 新 G
20.00 (13.00) 20.10	

金 22:00~22:44

第1回11.5.13/北海道ブロック/30~40代以下

の若い視聴者に向けて、音楽、旅、アウトドア、

ドキュメンタリーなどさまざまジャンルの番組、

ツイッターやデータ放送の双方向機能を使った生

放送の番組、新しい題材や演出に挑戦する開発番

組などを編成し、視聴者層の拡大を図った。

第1回10.4.2/北海道ブロック/幅広い視聴者 に、地域放送ならではの番組で北海道の魅力を伝 えた。吉幾三さんが北海道の魅力に出会う旅番組, 北海道の知られざる魅力を探し出すバラエティー 番組、北海道の豊かな自然や、地域に根ざして活 躍する人々を描くドキュメンタリー, 地域の人気

NHK年鑑'12 374

⊕土 10:30~11:13

「ほっかいどう穴場ハンター」 新 札幌局	「アナブロ2012 新年スペシャル」
金 22:00~22:24	札幌局 1.13
「小樽っぽくない小樽の穴場を探せ」 5.13	「♂と♀」 札幌局 1.27
「函館の知られざるデートスポットを探せ!」	「INFO H」 札幌局 金 22:24~22:39
6. 3	第1回10.4.2, 最終回12.3.16/北海道ブロック/
「室蘭線に乗って各駅の穴場を探せ!」 7.1	若い世代に人気のアーティストへのインタビュー
「美女,もしくはイケメンに会える札幌の穴	やライブ情報など、北海道の旬の音楽情報を伝え
場を探せ」 9.30	た。
「釧路紅白穴場合戦!」(22:30~22:54) 11.11	「アナブロ」 札幌局 金 22:39~22:44
「親子で楽しめる穴場を探せ!@十勝」12.2	第1回10.4.2/北海道ブロック/NHK北海道各
「寒ければ寒いほど楽しい穴場を探せ!@旭	局のアナウンサーがスポーツやレジャーに挑戦す
JII   1.20	るほか、特技や趣味を披露した。札幌局ホームペ
「飛行場のある千歳で"ぶっ飛んだ"穴場を	ージのブログと連動。
探せ! 2.3	「ドキュメンタリー5」 新
「オホーツク海沿岸で"ファンタスティック	札幌局ほか 金 22:39~22:44
な" 穴場を探せ!」 3.2	第1回11.5.20/北海道ブロック/さまざまな人
「ネイチャリング北海道」 新	生、各地の暮らしの中にある大切な"物語"を5
札幌局 金 22:00~22:24	分のドキュメンタリーで紹介した。
「札幌近郊で"山ガール"デビュー」 5.20	『この街 きらり☆』 G
「駒ケ岳山ろくで乗馬トレッキング」 6.10	札幌局(原則隔週) 土 10:05~10:30
「初夏のニセコ 手作りイカダで川下り」	第1回09.10.4、最終回12.3.17/北海道ブロッ
7. 8	ク/道内各地を訪ね、地域に根ざして生き生きと
「余市の海で"釣りガール"体験」 7.15	活動している人々を紹介した。
「札幌の森でツリークライミング」 10.21	「札幌市南区芸術の森、札幌市中央区曙」 4.9
「十勝の牧場で酪農ガール」 11.4	「札幌市東区北光, 札幌市東区丘珠」 4.23
「ゆったり楽しむ釧路湿原」 12.9	「小樽市,洞爺湖町」 5.21
「初挑戦!長ぐつアイスホッケー」	「札幌市清田区里塚・美しが丘, 帯広市」 5.28
$(22:06\sim22:30)$ 2.17	「釧路市阿寒湖畔,札幌市西区西町」 6.11
「ダイナミック知床!流氷体験」 3.16	「札幌市厚別区青葉,滝川市」 6.25
「Small Trip~ちいさな荷物で週末旅」札幌局	「稚内市,札幌市東区北栄」 7.9
美瑛・旭川 (22:15~22:39) 9. 2	「倶知安町、札幌市清田区清田」 8.27
十勝 (10:30~10:54) 11.19	「札幌市南区藤野,函館市恵山」 9.10
函館 2.10	「紋別市、札幌市厚別区厚別西」 9.24
「REAL H」 札幌局	「札幌市豊平区平岸,岩内町」 10.8
「NO DIGITAL, NO LIFE?」 5.27	「札幌市豊平区東月寒,余市町」 10.22
「お金, 万歳」 (23:00~23:24) 9.16	「苫小牧市、札幌市手稲区富丘西宮の沢」10.29
「住処」 10.28	「札幌市中央区宮の森大倉山、長沼町」 11.5
Sounds so good? \( \)	「江差町、札幌市東区伏古本町」 11.19
「今夜は生放送! Generation H Special」	「札幌市豊平区西岡,上川町層雲峡」 11.26
札幌局 6.24	「当別町、札幌市北区幌北」 12.10
「さぶちゃんとセッション~バーチャルバンド	「札幌市手稲区星置,中標津町」 12.24
北海道」	「札幌市厚別区厚別東、札幌市白石区白石」
7.22	1.14
$(22:15\sim22:39)$ $7.29$	「札幌市手稲区新発寒,豊平区中の島」 1.28
「鈴井貴之 原点回帰」 札幌局 8.26	「帯広市帯広駅周辺,札幌市清田区清田中央」
「対談ドキュメント 不屈の言霊」	2.18
札幌局 11.25	「札幌市中央区桑園,北見市」 2.25
「鈴井貴之 実踏調査」 札幌局 12.16	「芦別市,札幌市豊平区福住」 3.3
1000 JOHNAT	17 Walls, 1900 to 25 1 Experts

「札幌市東区苗穂東, 札幌市手稲区前田」 3.17 『おはようもぎたてラジオ便』 R1

月~土 7:40~ 8:00

第1回02.4.1/北海道ブロック/ニュース, 気象情報, 交通情報など各種の情報を分かりやすく的確に伝えた。また, 道内の多様な取り組みの紹介や民俗学, 自然科学, 考古学など多様な視点から, 北海道に関する知識など, 日替わりのテーマで伝えた。

# 『トゥデイ・リポート北海道』 R1

月~金 19:45~20:00

第1回95.4.3/北海道ブロック/ "きょうの北海道"を15分間できめ細かく網羅した番組。1日分のニュースを,記者解説なども交えて分かりやすく伝えたほか、きめ細かい気象情報を伝えた。

# 『どどんと道南ラジオ』 R1

木 14:00~15:00

第1回03.4.10/函館単/函館局会館ロビーからの公開生放送。地域の活性化に取り組んでいる人たちの活動や、生活に役立つ情報を紹介した。地元を中心に活躍する音楽家の生演奏も楽しめる地域情報番組。

#### 『あさひかわ発ふるさと便』 R1

金 14:05~14:35

第1回04.10.7/旭川単/道北各地のタイムリーな話題や週末のイベントを伝える情報番組。携帯電話による街角中継などラジオの機動性を生かして伝えた。

#### 『つながるラジオ@とかち』 新 R1

木 14:05~15:00

第1回11.4.28/帯広単/帯広放送局から生放送 で送るラジオ番組。ゲストに地元ゆかりの方々を 迎えて伝えた。

#### (2)特集番組

[北海道ブロック]

『札幌ファッション・レボリューション』 G

札幌局 6.25/23:30~23:59

『アナブロ 夏休みスペシャル』 G

札幌局 8.19/23:00~23:24

8.21/ 0:10~ 0:30

『北海道中ひざくりげスペシャル〜ふるさとを愛した25年』 G

札幌局 9.22/19:30~20:43

[LIVE H] G

札幌局 10.7/22:00~23:13

『アイデア対決 全国高等専門学校ロボットコン テスト2011~北海道地区大会』 G

札幌局 11.6/15:05~15:59

『北の文芸館2011』

札幌局

G 12.24/10:30~11:18

R1 12.24, 25/16:05~16:55

T 12.24, 25/ 10.05 10.55

『ネットワークニュース北海道 ハイライト 2011』 G

札幌局 12.28/17:05~18:50

『北海道発スペシャルドラマ〜大地のファンファーレ』 G 札幌局

前編 2.17/20:00~20:43

後編 2.24/20:00~20:43

『NHK親子のはじめてクラシック』 G

札幌局 3.20/15:05~15:59

『北の彩時記』 G 札幌局 随時 北海道の美しい自然を色彩をテーマに四季にわ たって描いた。英語音声と中国語音声で外国人向 けに北海道の魅力を伝えた。

『NHKさっぽろ朗読ひろばin栄北小学校』 R1

札幌局 6. 4/12:15~12:55

『ラジオ特集 震災1年・命を守るために』

札幌局 3.17/12:15~13:00, 13:05~13:55

『PMF2011コンサート』 FM 札幌局 11.3/14:00~15:40

『札響FMコンサート』 FM

札幌局 11. 3/ 9:15~10:45

札幌局 12.23/ 9:15~10:45

[各局単]

[函館単]

『NHK函館開局80年記念番組 どどんと道南テ レビ』 G

函館局 2.19/15:07~16:20

『特集☆きらり道南』 G

函館局 3.20/14:05~14:34

[旭川単]

『あさひかわ発ふるさと便スペシャル』 R1

旭川局 5.29/10:05~10:55

『あさひかわ発ふるさと便スペシャル〜in北の恵 み 食べマルシェ』 R1

旭川局 9.17/11:05~11:55

『NHKのど自慢予選会in旭川』 G

旭川局 11.28~29/15:15~15:58

〔帯広単〕

『つながるラジオ@とかち 会館公開スペシャ ル』 FM

帯広局 10.8/14:00~16:00

〔釧路単〕

[NHK "Heart Songs" LIVE FM

釧路局 12.10/12:15~12:55

『NHK-FMライブスペシャルinくしろ冬まつ り』 FM	札幌地区代表決定戦 R1 / 7.2 R1 · FM / 7.3
釧路局 2.25/13:00~14:00	小樽地区代表決定戦 R1·FM/7.3
〔室蘭単〕	函館地区代表決定戦 R1/7.2
『いぶり・ひだかミニ紀行 春夏秋冬 総集編』	室蘭地区代表決定戦 R1/7.2
G 室蘭局 2.25/10:30~11:13	第93回全国高校野球選手権大会 北北海道大会地
〔各局共通〕	区代表決定戦
『NHK全国学校音楽コンクール』	空知地区代表決定戦 R1·FM/ 7.3
「北海道ブロックコンクール」 E	名寄地区代表決定戦 R1/6.26
北海道ブロック	旭川地区代表決定戦 R1/7.3
札幌局 9.24/14:00~17:00	十勝地区代表決定戦 R1/7.2
「札幌地区大会 小学校の部・中学校の部A・	釧根地区代表決定戦 R1·FM/ 7.3
BJ <b>FM</b>	北見地区代表決定戦 R1/7.2
札幌局 8.20/14:00~17:29	第93回全国高校野球選手権大会 南北海道大会
「札幌地区大会高等学校の部,小樽・後志地区	1 回戦~決勝 R1·FM/ 7.18~24
大会,空知地区大会」 FM	準決勝・決勝 <b>G・E</b> / 7.23~24
札幌局 9. 3/14:00~17:30	第93回全国高校野球選手権大会 北北海道大会
「道南地区大会」 FM	1 回戦~決勝 R1·FM/ 7.16~23
函館局 9. 3/14:00~15:42	準決勝・決勝 <b>G・E</b> / 7.22~23
「道北地区大会」	第64回秋季北海道高校野球大会 代表決定戦
G 旭川局 8.28/13:50~15:00	函館地区代表決定戦 R1/9.19
FM 旭川局 9.3/14:00~16:24	十勝地区代表決定戦 R1·FM/ 9.19
「十勝地区大会」 FM	釧根地区代表決定戦 R1·FM/ 9.19
帯広局 9. 3/10:55~11:55	第64回秋季北海道高校野球大会
「釧根地区大会」 FM	準決勝・決勝 R1/10.8~9
劉依地区八云』   [14]	平00岁 00岁
釧路局 9. 3/14:00~16:00	決勝 <b>G</b> /10. 9
釧路局 9. 3/14:00~16:00	決勝 <b>G</b> /10.9
釧路局 9. 3/14:00~16:00 「北見地区大会」	決勝 <b>G</b> /10.9 〔プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦〕
釧路局 9.3/14:00~16:00 「北見地区大会」 <b>G</b> 北見局 8.22/16:05~16:40	決勝G/10.9「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦」対「オリックス」 G5.1/13:05~15:45
<ul> <li>釧路局 9. 3/14:00~16:00</li> <li>「北見地区大会」</li> <li>G 北見局 8.22/16:05~16:40</li> <li>G 北見局 8.23/16:20~16:48</li> </ul>	決勝 G/10.9 「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦」 対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45 対「広島」 G 6.19/13:50~16:18 対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18 G /19:30~20:55
	決勝 <b>G</b> /10.9 <b>「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦</b> ] 対「オリックス」 <b>G</b> 5.1/13:05~15:45 対「広島」 <b>G</b> 6.19/13:50~16:18 対「西武」 <b>G</b> (サブ) 7.15/18:00~21:18
釧路局 9. 3/14:00~16:00 「北見地区大会」     G 北見局 8.22/16:05~16:40     G 北見局 8.23/16:20~16:48     FM 北見局 9. 3/14:00~16:00 「室蘭地区大会」 FM	決勝 G/10.9 「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦」 対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45 対「広島」 G 6.19/13:50~16:18 対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18 G /19:30~20:55
<ul> <li>釧路局 9. 3/14:00~16:00</li> <li>「北見地区大会」</li> <li>G 北見局 8.22/16:05~16:40</li> <li>G 北見局 8.23/16:20~16:48</li> <li>FM 北見局 9. 3/14:00~16:00</li> <li>「室蘭地区大会」 FM 室蘭局 8.20/14:00~16:36</li> <li>『キミが主役だ! NHK放送体験クラブ』</li> <li>札幌局 E 1.10~12, 1.16~19, 1.23~26</li> </ul>	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦」 対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45 対「広島」 G 6.19/13:50~16:18 対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18
<ul> <li>釧路局 9. 3/14:00~16:00</li> <li>「北見地区大会」</li> <li>G 北見局 8.22/16:05~16:40</li> <li>G 北見局 8.23/16:20~16:48</li> <li>FM 北見局 9. 3/14:00~16:00</li> <li>「室蘭地区大会」 FM 室蘭局 8.20/14:00~16:36</li> <li>『キミが主役だ! NHK放送体験クラブ』</li> </ul>	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18  G /19:30~20:55  対「ソフトバンク」G (サブ) 9.16/18:00~21:10  G /19:30~20:44  対「中日」 R1 6.9/18:05~20:52  対「楽天」 R1 8.25/18:05~21:40
一切	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18  G /19:30~20:55  対「ソフトバンク」G (サブ) 9.16/18:00~21:10  G /19:30~20:44  対「中日」 R1 6.9/18:05~20:52  対「楽天」 R1 8.25/18:05~21:40  対「西武」 R1 10.29/14:05~18:00
	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18  G /19:30~20:55  対「ソフトバンク」G (サブ) 9.16/18:00~21:10  G /19:30~20:44  対「中日」 R1 6.9/18:05~20:52  対「楽天」 R1 8.25/18:05~21:40  対「西武」 R1 10.29/14:05~18:00  「Jリーグ コンサドーレ札幌戦〕
一切	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18
	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18  G /19:30~20:55  対「ソフトバンク」G (サブ) 9.16/18:00~21:10  G /19:30~20:44  対「中日」 R1 6.9/18:05~20:52  対「楽天」 R1 8.25/18:05~21:40  対「西武」 R1 10.29/14:05~18:00  「Jリーグ コンサドーレ札幌戦〕  対「ガイナーレ鳥取」 G 5.15/13:50~15:55  対「愛媛FC」 G 3.5/14:00~16:05
一切時間   9.3   14:00~16:00   「北見地区大会」   G   北見局   8.22   16:05~16:40   G   北見局   8.23   16:20~16:48   FM   北見局   9.3   14:00~16:00   「室蘭地区大会」   FM   室蘭局   8.20   14:00~16:36   下きが主役だ! NHK放送体験クラブ』   札幌局   E   1.10~12   1.16~19   1.23~26   1.30~2.2   2.6~9   2.13~16   19:50~19:55   函館局   G   3.5   11:05~11:30   旭川局   G   3.3   10:05~11:01   釧路局   G   3.14~16   19   13:55~14:00   3.15   19   10:55~11:00   北見局   G   1.24   16:05~16:20	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18  G /19:30~20:55  対「ソフトバンク」G (サブ) 9.16/18:00~21:10  G /19:30~20:44  対「中日」 R1 6.9/18:05~20:52  対「楽天」 R1 8.25/18:05~21:40  対「西武」 R1 10.29/14:05~18:00  「Jリーグ コンサドーレ札幌戦〕  対「ガイナーレ鳥取」 G 5.15/13:50~15:55  対「愛媛FC」 G 3.5/14:00~16:05  対「サガン鳥栖」 R1 10.16/13:05~15:00
	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18
一切時間   9.3   14:00~16:00   「北見地区大会」   G   北見局   8.22   16:05~16:40   G   北見局   8.23   16:20~16:48   FM   北見局   9.3   14:00~16:00   「室蘭地区大会」   FM   室蘭局   8.20   14:00~16:36   下きが主役だ! NHK放送体験クラブ』   札幌局   E   1.10~12   1.16~19   1.23~26   1.30~2.2   2.6~9   2.13~16   19:50~19:55   函館局   G   3.5   11:05~11:30   旭川局   G   3.3   10:05~11:01   釧路局   G   3.14~16   19   13:55~14:00   3.15   19   10:55~11:00   北見局   G   1.24   16:05~16:20	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18  G /19:30~20:55  対「ソフトバンク」G (サブ) 9.16/18:00~21:10  G /19:30~20:44  対「中日」 R1 6.9/18:05~20:52  対「楽天」 R1 8.25/18:05~21:40  対「西武」 R1 10.29/14:05~18:00  「Jリーグ コンサドーレ札幌戦〕  対「ガイナーレ鳥取」 G 5.15/13:50~15:55  対「愛媛FC」 G 3.5/14:00~16:05  対「サガン鳥栖」 R1 10.16/13:05~15:00
	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18
	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18  G /19:30~20:55  対「ソフトバンク」G (サブ) 9.16/18:00~21:10  G /19:30~20:44  対「中日」 R1 6.9/18:05~20:52  対「楽天」 R1 8.25/18:05~21:40  対「西武」 R1 10.29/14:05~18:00  「Jリーグ コンサドーレ札幌戦〕  対「ガイナーレ鳥取」 G 5.15/13:50~15:55  対「愛媛FC」 G 3.5/14:00~16:05  対「サガン鳥栖」 R1 10.16/13:05~15:00  対「湘南ベルマーレ」 R1 11.26/14:05~16:00  「その他のスポーツ」 「北海道ブロック」
一切   一切   一切   一切   一切   一切   一切   一切	決勝 G/10.9  「プロ野球 北海道日本ハムファイターズ戦]  対「オリックス」 G 5.1/13:05~15:45  対「広島」 G 6.19/13:50~16:18  対「西武」 G (サブ) 7.15/18:00~21:18
一切	決勝

377 NHK年鑑'12

**G** 9. 6/13:07~14:50

第63回北海道高校アイスホッケー選手権 決勝 「駒大苫小牧|対「白樺学園|

**G** 12.16/9:55~11:30

G (サブ) /11:30~11:50

アジアリーグアイスホッケー

「日本製紙クレインズ」対「王子イーグルス」

G 12.18/13:50~15:59

**G** (サブ) /15:59~16:20

#### 〔帯広単〕

第51回全十勝小中学校スピードスケート選手権大 会 小学生決勝

**G** 2.26/13:50~15:00

# 〔釧路単〕

第43回NHK杯アイスホッケー大会 決勝

**G** 11. 6/10:05~11:40, 13:05~17:30

#### [室蘭単]

第26回NHK杯中学・高校アイスホッケー大会 決勝

> G (サブ) 10.30/10:30~11:43 G 13:05~14:40

# Ⅱ. 技 術

# 1. 地上アナログ放送の終了とデジタル移行

06年6月1日,札幌手稲山での基幹局開局を皮切りに、10年12月までに道内全157局の地上デジタル中継局整備を完了した。NHK共聴施設については、セーフティネットを利用している8施設を含めて道内395施設の地上デジタル放送対応を完了した。

7月24日のアナログ放送終了に際しては、カウントダウンスーパーや集中的な告知放送の実施、特別受信相談体制の構築により混乱なくデジタル移行を完了した。今後はチャンネル改善リパック等による混信対策、新たな難視地区の恒久対策、中継局ネットワークの安定化等を進めていく。

#### 2. 地域放送番組の充実

11年度もデジタル放送ならではの高画質・高音質に加えて積極的な3-Screens展開を図り、質の高い魅力あふれる地域放送番組の制作を推進した。

『NHKスペシャル 幻の霧~摩周湖 神秘の 夏』(7.31) では、発生した霧が摩周湖に到達す るまでを追跡し、年に数回しか発生しない"滝霧" の撮影に成功した。長時間収録が可能な"霧カメ ラ"を開発し、駒撮り・微速度撮影・空撮も駆使 し、これまで見たことのない霧の絶景を全国に伝 えた。

また、北海道で5年ぶりとなる地域発ドラマ 『大地のファンファーレ』(2.17, 24) では、帯 広のばんえい競馬場を舞台に、5.1サラウンドの 迫力ある音声で地域の特色を生かした番組制作を 行った。

スポーツ中継では、「第33回NHK杯フィギュアスケート大会」(11.11~13)、「FIS-WC ジャンプ札幌大会」(1.28)、「第53回NHK杯ジャンプ大会」(2.5)等、ウインタースポーツの魅力を全国に発信した。

NHK杯フィギュアでは、データ放送による選手紹介や競技結果のリアルタイム放送、SHV切出し映像を活用したマルチアングル動画配信、VODによる動画配信等の3-Screens展開も進めた。動画配信の再生は約124万回に上り、フィギュア中継の新たな楽しみ方を提供することができた。

#### 3. 3-Screens展開

札幌局では、デジタル放送の特質を生かしたコンテンツ制作を推進する体制として10年度発足した「クロスメディア推進プロジェクト」が核となり、積極的に番組作りに取り組んだ。

携帯電話やパソコンからツイッターで寄せられた情報を基に札幌の隠れたスポットを紹介した双方向番組『さっぽろ穴場ハンター』を『ほっかいどう穴場ハンター』へ発展させた。11年度は11回の放送(内2回は全国放送)を行い、視聴者からリアルタイムで投稿・投票を受けるデータ放送による双方向番組を定時番組として定着させた。

番組連動データ放送では、『北海道中ひざくりげ』を定型業務化させるとともに『YOSAKOIソーランナイト2011』「LIVE H」「鈴井貴之 実踏調査」等で生中継、音楽番組、バラエティー番組のさまざまなジャンルのコンテンツ開発に挑戦し、視聴者サービスの向上に努めた。

独立データ放送では、統一地方選挙の「開票速報」、視聴者要望に応えた「風と波の情報」の充実等を進めた。また、主要峠のカメラ画像や積雪量と通行止めの情報を提供する「雪道NAVI」や「札幌市除雪情報」は、雪国ならではの生活に役立つ情報として定着している。

## 4. 緊急報道・災害報道への対応

JR石勝線での特急列車火災 (5.28), 航空大学

帯広分校練習機の墜落事故 (7.28), JR東追分駅 での貨物列車脱線事故 (2.16) では, 札幌局と道 内局が連携して初動から迅速に対応し, 生中継や 伝送対応により事故の状況を伝えた。

また, 台風15号の接近による暴風雨警戒 (9.22), 石狩北部・南空知地域での大雪 (2.9), 三陸沖地震による北海道太平洋沿岸の津波注意報 発令 (3.14) では, 防災情報や気象情報等の地域情報を的確に伝えた。

東日本大震災の東北地方や本部への支援では、 北海道内から約750人日の技術要員を派遣した。

### 5. 放送設備の整備

緊急報道設備では、札幌のCSK、釧路・北見の 会館FPU受信設備、函館・帯広・北見・室蘭の ニュースカーのハイビジョン化更新、札幌へリ搭 載機器の更新等、伝送インフラの充実・補完を図 った。

放送サービスの充実では、札幌のハイビジョン中継車の更新、大沼公園等6式の局外天気カメラのハイビジョン化更新、札幌のR・FM調およびRスタジオの更新を行った。

放送の安定送出・電波確保では、旭川・帯広・ 北見のR基幹局の放送機更新、デジタル中継局の 送信機の2台化、中継受信のダイバシティ化等を 進めた。また、旭川・北見・室蘭のラジオ運行装 置の更新を行い、09年度に着手した道内局のラジ オ運行装置の更新が全局で完了した。

### 6. 視聴者活動

道内各局と札幌局が連携し戦略的なCS活動を 推進する「どさんこ広域プロジェクト」が中心と なり、公開派遣番組・中継番組等の機会を捉えて 多彩な活動を展開した。地域発ドラマ『大地のファンファーレ』のロケに合わせて、エキストラを 対象にドラマ制作の舞台裏の解説や映像特殊効果 の紹介等を行うイベントを実施した。制作現場を 身近に感じてもらうとともに番組のPRにも貢献 した。

技術部が主体となって取り組んでいる「のど自慢予選会」での"出場者写真プレゼント"や"出場者が自分の歌唱映像を後で見られるサービス""カメラマン体験"等を知内町、恵庭市、旭川市で実施した。多くの参加者から好評を得たほか、技術業務の理解促進にもつなげることができた。

# Ⅲ. 視聴者

#### 1 イベント事業

北海道事業では11年度、東日本大震災からの復興に向けてオール北海道で展開する「いっしょにつくろう 未来」キャンペーンを踏まえ、NHKだからできる大型企画や公開番組・イベントを開催するとともに、若者層との接触機会を創造し、幅広い層の視聴者に向けた理解促進活動に取り組んだ。

# (1) 震災復興・被災地支援・防災に資する活動

札幌局では9月に『北海道から届けよう!歌の カコンサート』を公開番組として実施した。会場 では北海道共同募金会の協力を得て義援金活動も 行い、被災地支援につながった。報道番組と連携 して、被災地支援を考える「北クロ白熱トークス ペシャルin北海道大学 | (2月) を実施。大学生 を中心にしたボランティア100人余りが繰り広げ た熱心な議論の様子を放送した。函館局では12月 に地域が行うイベント「クリスマスファンタジ - 一の会場内で「あかりに願いを込めて~キャン ドルツリー作り」と「どどんと道南ラジオ・復興 支援コンサート | を行い、2.000人を超える参加 者を集めた。旭川局では、テレビ番組『SONGS』 から生まれた「(みんなの) 春よ、来い」プロジ ェクトに連動して、「学校音楽コンクール」(8月) の会場で、出場校に童謡「春よ来い」の一節を合 唱してもらい、ローカル番組で放送した。釧路局 では例年, 地元消防本部と共同で開催している 「防災ワンデー」(9月)で、災害への備えをよ り強く呼びかけた。室蘭局では、自治体や北海道 大学と連携しての「防災講座」をえりも町(6 月)で、小中学生を対象とした「防災教室」を豊 浦町(11月)で開催し、地域の防災への意識高揚 に努めた。全国放送公開番組の会場や各局が行う イベント会場において「東日本大震災プロジェク ト」の応援メッセージ募集(1~3月)にも努 め、道内7局で1.303枚を集めた。

#### (2)公共放送ならではの活動強化

札幌局では大型企画展「地球最古の恐竜展」を 7~8月の2か月間にわたり札幌市で開催し, 10万5,968人の来場者を数えた。関連イベントの「カセキングスタンプラリー」(4~8月) や会期中に行ったファミリー向けのイベントも人気を集め,多くの家族連れでにぎわった。11月には札幌市での開催が13年ぶりとなる「NHK杯国際フィ

ギュアスケート競技会 | が開かれ、道内外から3 日間で1万6,894人の来場があった。事前に「ト ークショー | 「パネル展 | 「フィギュアスケート教 室」「アリーナツアー」を実施し、来場者拡大と 放送の視聴促進につなげた。全国放送公開番組は 地域の要望に応え、テレビ・ラジオ合わせて29会 場で実施した。社会的なテーマに基づき全国展開 しているキャンペーンでは、被災地支援・防災の ほか、環境・福祉・食料についても取り組んだ。 環境イベントでは、地域が行う活動に連動したブ ース展開(函館局・9月、北見局・6月)を行っ た。福祉イベントは、ハートフォーラム「うつ病 と躁うつ病を知る」(札幌局・6月)、「笑いに学 ぶ健康学」(北見局・9月)などを行った。「食料 キャンペーン」でも、地域と連動して「料理教 室」「食育イベント」(旭川局・9月、函館局・10 月、釧路局・12月)を実施した。教育イベントも 積極的に展開。道内7局で実施した「放送体験ク ラブ | には、73校3.400人の小学生が参加した。「学 校音楽コンクール には、道内9地区で154校 3.846人が出場した。大学生向けには、大学セミ ナーを北海道教育大学釧路校(7月)や北見工業 大学(4月)で、トークライブを釧路公立大学 (10月)で、プロフェッショナルトークを北海道 大学(6月.1月)で、ふれあいミーティングを 藤女子大学(1月)でそれぞれ実施し、学生・大 学関係者にNHKの存在をアピールした。

#### (3)地域視聴者との結びつきを強める活動

札幌局では「さっぽろ雪まつり」に連動して "NHK雪んこフェスタ"と題し、ステージショー やBSデジタルPRブース展開、食イベントワーク ショップ. 環境イベントを複合的に展開し. 約3 万人との直接的な接触を図ることができた。帯広 局では『北海道発スペシャルドラマ~大地のファ ンファーレ』に関連してのロケ映像公開イベント やエキストラ募集を展開し、地域との結びつきを 深めた。釧路局では「特選!蔵出し番組上映会」 を毎月実施し、幅広い層の視聴者との接触を図っ た。北見局では「焼き肉奉行への道」を行った。 スーパーカメラを駆使して焼き肉の美味しい焼き 方を提示するなど、斬新な切り口で、地域を代表 する食文化に迫った。札幌局の企画で3年目を迎 えた「親子のはじめてクラシック」はN響のピッ クアップメンバーによるファミリー向けのコンサ ートと楽器体験を行うイベント。11年度は3月に 旭川市, 伊達市, 札幌市で行い, 合わせて955人 の若い家族との交流を深めた。

### 2. 営業

3か年経営計画の最終年度となる11年度は、受信料支払率75%達成に向け、10年10月に実施した地域スタッフ体制変更の更なる効果的な配置・運用による生産性向上に向けた体制構築を図るとともに、アナログ放送終了に伴う収納額等の業績への影響を踏まえ、年度スタートから前倒しによる業績確保に取り組んだ。また、経営計画に基づく法人委託の拡大にあたっては、10年度第6期から北海道ブロックで初めて開始した公開競争入札による法人事業者の契約収納業務の早期習熟や運用の拡大、フレッシャーズ対策の強化に向けた大学生協との業務委託の拡大に努めた。加えて、景気低迷の影響等が続く中、ホテル・旅館や病院関係を中心に、全局体制による対応を強化することで事業所契約の増加にも粘り強く取り組んだ。

これらの活動の結果,北海道ブロック全体で営業収納額をはじめとした全ての営業目標を3年連続で達成することができた。

# 3. 広報

#### (1)経営広報・番組広報

地域ドラマとしては5年ぶりとなる『大地のファンファーレ』を制作し、12年2月17日と24日に北海道地域で、25日にはBSプレミアムで放送した。

11年9月5日、NHK札幌放送局において脚本家と出演者を招き、制作発表を行った。10月28日には舞台の帯広競馬場口ケに合わせて現地取材会を行い、多くのメディアが参加した。また、このロケ風景を撮影した写真パネル展を道内各放送局で巡回展示し、地域ドラマの魅力を伝えた。このほか、JR札幌駅から大通りの間をつなぐ地下歩行空間の壁面広告やウェブを活用したPRを実施するなど、積極的な広報活動を展開した。

#### (2) 視聴者ふれあい活動

11年度のBSプレミアム新番組『にっぽん縦断こころ旅』がスタートし、前半日程の最終地が北海道となったことから、番組出演者を招き「トークショー」と「BSふれあいミーティング」を行った。6月11日、札幌局第1スタジオに来場した、およそ150人の方々に、旅人 火野正平さんの素朴で温かみのあるトークを楽しんでもらった。その後の「ふれあいミーティング」では、間近に迫った完全デジタル放送やBS放送などについてたくさんのご意見やご要望があった。

63回を迎えた「さっぽろ雪まつり」に合わせて

12年2月6日から12日の期間,札幌局1階を開放する「雪まつりお休みどころ」には7,000人を超える来場者があった。地域ドラマ『大地のファンファーレ』の放送直前でもあり、第1スタジオを中心に行ったロケ写真展やメイキング映像の上映などで、多くの来場者に楽しんでもらった。

#### (3) 地域独自の視聴者活動, 広報展開

函館局では、地元の方が道南の魅力を紹介する 1分ミニ番組『道南私のおすすめ』を放送。また、 開局80年を記念して、ゆかりの方が道南の出来事 を振り返る1分ミニ番組をシリーズで放送し、い ずれも好評を得た。懐かしい映像はホームページ でも公開し、視聴者の皆様に楽しんでもらった。

旭川局では、人気企画となった「なつかしの旭川プロジェクト」の充実を図り、番組・イベントに加えてホームページで映像紹介コーナーを特設したほか、お気に入りの映像が楽しめる「NHK旭川映像アーカイブス・なつかしの旭川」視聴コーナーをロビーに設置した。

帯広局では、ばんえい競馬を舞台としたスペシャルドラマ『大地のファンファーレ』に関連し、10月から3月にかけて、エキストラ募集やばんえい競馬場でのロケ映像公開イベント、番組試写会やロケ写真展などを実施し、地域発ドラマの存在感を高めた。札幌局が実施したRDD調査では、十勝地方の個人で18%が初回放送を視聴した。

釧路局では「第43回NHK杯アイスホッケー大会」で決勝戦出場校への応援メッセージをホームページやツイッターなどで募集したところ、小・中・高校の3部門で1,000通を超えるメッセージが寄せられた。寄せられたメッセージは番組のデータ放送で紹介した。

北見局のCS委員会である「がんばるプロジェクト」を中心に年間を通して接触者率の向上に努めた。また、「カレーライスマラソン」など地域の特色あるイベントに参加するなど、ふれあい活動を積極的に展開し、開局70周年記念事業の周知活動に傾注した。

室蘭局では、歳末恒例の「プラザミュークリスマスチャリティー2011」を12月に開催した。プラザミューファンクラブ会員39団体による手作り品販売やステージショーの他、スタジオや中継車公開、キャラクターとの記念撮影会などに、およそ1.000人の来館者があった。

# 東北

- ◇2011年度は、東日本大震災と福島第一原発事故に関する報道や番組制作に全局をあげて取り組み、被災地の現状、復興への課題などを継続的に全国に発信するとともに復興の力となるような放送・イベントを積極的に展開し、視聴者の安全・安心を守るという公共放送の使命を果たした。
- ◇金曜夜間の新番組『東北Z』では、被災者を元 気づける公開番組や有識者へのロングインタビ ユー番組をシリーズで放送したほか、東北で活 躍する人物のドキュメント、地域の"技"を訪 ねる紀行番組など、多彩なラインナップで放送 した。また、秋田局「シリーズ人口減少社会」、 盛岡局『ドラマ 続・遠野物語』など、各局で 東北の課題や魅力を見つめる番組を制作し、地 域放送サービスの充実に取り組んだ。
- ◇地上デジタル放送への完全移行に向け「新たな難視」地区解消のため6つの中継局を新たに建設したほか、約2万4,000世帯の受信対策を実施した。また、東日本大震災によりアナログ放送終了が延伸された被災3県(岩手・宮城・福島)では、被災設備の復旧を急ぐとともに仮設住宅66団地の避難者の受信環境確保に努め、12年3月31日、予定どおりアナログ放送を混乱なく終了することができた。

# I. 放 送

### 1. 放送の概要

東北の各放送局は、東日本大震災の発生直後から24時間の放送体制を敷き、全国放送のニュースへ中継参加やスタジオ参加を行った。東北ブロックや県域向けの放送でも、ニュースや生活情報をテレビとラジオで長時間放送した結果、1日のローカル放送時間は多い日で10時間以上に達した。

震災から3か月間、東北ブロック向けの震災関連ニュースを午前10時台と午後0時台、3時台を中心として日中時間帯に厚く編成し、各局からのリレーで各地の現状を詳細に伝えた。午後0時台の震災関連ニュースは、11年度末まで継続した。

被災者向けの生活情報については、『東北ライフライン情報』(東北ブロック  $3.16\sim6.3$ )できめ細かく伝えたほか、ラジオや逆L字スーパー  $(5.11 \pm 0.24 \% 1.11 \pm 0.24 \% 1.11 \pm 0.24 \% 1.11 \% 1.11 \% 1.11 % 1.1$ 

ホームページなど、さまざまなメディアでも大量の情報をメディアの特性に応じて伝えた。避難所での体調管理・病気の予防法、被災地の支援に役立つ情報などを専門家に聞く『いま被災者に伝えたい』(3.23~4.4) や、被災者の声を直接伝える『被災地からの声』(3.20~)を東北ブロックで放送した。

震災から半年、一年の特別編成では、キーステーションを宮城県石巻市に置き、各地の被災地から中継に参加した。年末年始には『NHK紅白歌合戦』や『ゆく年くる年』にも中継参加し、各地の表情を全国に伝えた。

全国の震災関連番組を午前10時台などで集中アンコール編成したほか、BSプレミアムで東北を応援するキャンペーンを展開したことに合わせて、『きらり!えん旅』や『瀬戸内寂聴の東北青空説法』など、被災者を元気づける番組や東北の新たな魅力を伝える番組を、ブロックでアンコール編成した。

金曜夜間の『クローズアップ東北』は、被災地の現状と課題を、農業や漁業、ガレキ、住宅移転、除染、地域医療など、多様な視点から取り上げた。新番組『東北Z』では、被災者を元気づける公開番組や有識者へのロングインタビュー番組をシリーズで放送したほか、震災の現状を掘り下げて伝える番組や、東北で活躍する人物のドキュメント、地域の"技"を訪ねる紀行番組など、多彩なラインナップで放送した。

平日午前11時台の『情報パレット』は、前半の 東北ブロック向け放送時間を15分拡大し、被災地 で開設している災害FM局に今の状況を聞くコー ナーなど、復興を支援するさまざまな生活情報を 厚く伝えた。後半は各県向けに、それぞれの地域 に密着した情報や、被災地の復興を支援する情報 を届けた。

『NHKスペシャル』の「果てなき苦闘 巨大津波 医師たちの記録」(7.2) や「東北 夏祭り〜鎮魂と絆と」(8.7)、「追い詰められる被災者」(9.10)、「巨大津波 その時ひとはどう動いたか」(10.2)、「"震災失業" 12万人の危機」(1.7)、「38分間〜巨大津波 いのちの記録」(3.5) をはじめ、『クローズアップ現代』など、多数の震災関連番組を制作し、全国に発信し続けた。

地上テレビ放送の完全デジタル化が延長された 宮城県、岩手県、福島県に向けては、ニュースや 情報番組で関連情報を取り上げるとともに、さま ざまなスポットを制作し、周知を徹底した。アナ ログ放送が終了する3月31日には、3県向けに特 別番組を放送した。

#### [仙台局]

東日本大震災からの復興を支援する放送に全力を尽くした。被災地の現状や復興に向けた課題を 丹念に伝えるとともに、防災・減災の意識向上に 努める番組を放送した。全国放送番組の制作にも 数多く参加し、被災地からの情報を全国へ発信し た。また、震災報道の課題を検証し、次なる大規 模災害に備えた準備を進めた。

夕方6時台の『てれまさむね』は、被災地や被 災者を取り上げる企画をはじめ、震災半年や一年 の節目にはシリーズで課題を厚く伝えるなど、被 災地の現状や復興への動きを見つめ続けた。

『徹底討論 ふるさと宮城の復興は』(宮城県域 11.18,全国 3.11)では、県知事など有識者をスタジオに招くとともに、仮設住宅の被災者も中継で結び、視聴者からの意見を交えながら宮城の復興を生放送で徹底討論した。

8月29日の仙台市議会議員選挙,11月13日の宮城県議会議員選挙では、開票速報を迅速・正確に行ったほか、選挙の争点や被災地の選挙に対する思いも丁寧に伝えた。

地域の応援団として、プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」やサッカー「ベガルタ仙台」、バスケットボール「仙台89ERS」など、被災地を元気にするプロスポーツの試合を放送した。

#### 〔秋田局〕

夕方6時台の地域情報番組『ニュースこまち』では、地域の課題に向き合い踏み込んだ報道を心がけるとともに、野球やバスケットボールなど県民の関心の高いスポーツや健康情報なども盛り込み、分かりやすく伝えた。

昼前の生活情報番組『ひるまえこまち』は、秋田での暮らしをより豊かにする生活情報を届けるとともに、視聴者と触れ合う番組として、放送会館1階オープンスタジオからの公開生放送を行った。

金曜夜間は『あきた・よる金』を編成。巨大津 波や人口減少、自然エネルギーなど秋田県が抱え る課題を正面から見つめ、県民とともに考える番 組を放送した。

開局80周年の企画として、「人口減少社会」を テーマに『ニュースこまち』内で15回にわたるシ リーズ企画を制作したほか、2月には『秋田の歩 み伝える 新日本紀行ふたたび選』(6本)や『朗 読 伊藤永之介の秋田だすよ』(20本)を再構成 した集中アンコール編成を実施した。

#### [山形局]

11年3月に発生した東日本大震災に関する県内の動きを継続的に取材した。

夕方6時台の『やまがたニュースアイ』は、県内のニュースやタイムリーな話題を記者解説や中継、リポート等さまざまな手法を交えて分かりやすく伝えた。

昼前の情報番組『やまモリ!』は、生活情報や 県内のイベント情報など暮らしに役立つ身近な情 報を発信した。

金曜夜間の『ディスカバーやまがた』では地域 スポーツを取り上げた。『やまがたスペシャル』 では、東日本大震災を継続的に取り上げ、震災後 の県内の状況を伝えた。

全編山形弁のみのトーク番組『今夜はなまらナイト』は、山形の魅力を多くの県民に届けた。また、県内の大学生とコラボしたプロジェクト「なまらナイトオンキャンパス」を通じ、新たな視聴者層を獲得した。

J1「モンテディオ山形」の中継をテレビとラジオで放送するなど、地域スポーツを積極的に取り上げた。また、3月に国内で初めて開催された女子ジャンプワールドカップ蔵王大会を放送し、山形を世界に発信した。

#### [盛岡局]

11年3月に発生した東日本大震災については、発災直後から県内の被害状況や行政の動きなどをテレビとラジオで迅速に伝え、4月以降も、岩手県内向けに情報を発信し続けた。データ放送やホームページとも連動した、被災地向けの生活情報も、テレビ・ラジオで継続して伝えた。

夕方6時台の『おばんですいわて』では、発災直後から被災地の現状や課題を取材し、伝え続けた。特に、被災者の証言を記録する「あの日あの時」は、発災直後から取材・制作を開始し、今後の防災につながる、たくさんの方々の証言を伝えた。震災から半年が経過した10月以降は、被災地関連の企画も継続する一方で、地域の魅力を取り上げるコーナーも新設するなど、幅広い情報発信で震災復興支援につなげた。

昼前の情報番組『ひるっコいわて』では、被災 地向けの生活情報を継続して放送するとともに、 川柳コーナーや市場からの情報など、おなじみの コーナーも再開・放送した。

番組では、『NHKスペシャル』をはじめ、震災 関連の全国放送番組の制作に数多く携わり、被災 地の現状を全国に伝えた。一方、県域放送では、 新番組『いわて復幸会議 みんなでかんがえよ う』を立ち上げ、ツイッターやファックスで意見 を募集し、視聴者参加型の生放送番組を制作し、 震災復興を視聴者と共に考え、応援する番組に取 り組んだ。

『いわてみんなのうた』は、震災復興応援ソングとして、「家に帰ろう」「あいのうた」を制作・放送した。

スポーツ関連では、ラグビートップイーストリーグ「釜石シーウェイブス」の試合を、被災地である釜石のホームグラウンドから中継し、復興のシンボルとして頑張る地元チームを応援した。

9月11日に行われた岩手県知事選挙では、政見 放送の制作・放送をミスなく実施した。当日の開 票速報では、迅速かつ正確な放送を行い、20%を 超える視聴率を獲得し、信頼に応えた。

#### 〔福島局〕

東日本大震災や東京電力福島第一原発事故について、夕方6時台の『はまなかあいづToday』、昼前の情報番組『ふくみみ』を中心に、被害状況や影響、課題、復旧・復興に向けた動きなどを、迅速かつ詳しく伝えるとともに、インターネットで関連の県内ニュースを動画配信し、県外に避難する県民への情報提供も行った。

『はまなかあいづToday』では、震災・原発事故関連のニュースを中心に、迅速かつ深い取材で福島の「今」と「将来」に関わるさまざまなニュースを詳しく伝えた。震災・原発事故の及ぼすさまざまな影響を分かりやすく多面的に伝えるとともに、復旧・復興に向けた動きや課題をきめ細かく伝えた。また、関心の高い放射線に関する情報は県内の測定値を毎日伝えたほか、身近な疑問に答えるリポートなども随時放送した。放射線測定値についてはデータ放送やインターネットでも伝えた。

昼前の情報番組『ふくみみ』は、被災者に向けた生活情報、復旧・復興に向けた市民の取り組みを伝える一方、10月以降は趣味・料理、エンターテインメント、旅・イベント情報など暮らしに役立つ情報も取り上げた。

福島県議会議員選挙をはじめ、東日本大震災の 影響で延期された10の地方選挙が実施された11月 20日の「福島同日選」にあたっては、開票状況・ 結果を開票速報で詳しく迅速に伝えたほか、県内 外に15万人が避難している中で行われた選挙なら ではの争点・課題についても分かりやすく伝えた。

また,東日本大震災や福島第一原発事故に関し, 『NHKスペシャル』や『クローズアップ現代』 など全国放送番組の制作に数多く携わり,被災地 の視点に立った情報を全国に発信した。

#### [青森局]

東日本大震災からの復旧・復興の現状や課題を継続的に取材し、全中発信も含めて絶え間なく伝え続けた。

夕方6時台の『あっぷるワイド』は、10年度に行った視聴者意向調査の結果を踏まえ、演出方法を刷新。内容のさらなる充実に加えて、より親しみやすい番組を目指した。番組キャスターが県内市町村を訪問して地元の方と触れ合うコーナーや、投稿写真を毎日紹介するコーナーなどが好評だった。

震災から1か月・3か月・6か月の節目に,県内の復興への課題をテーマにした番組を放送したほか,冬の大雪に対しても,番組の企画やスポットを通じて注意を呼びかけた。

金曜夜間には、青森の"方言"を生かした川柳 を視聴者から募集、紹介する『お国ことばで川柳 なもあんだも』を5回放送。年度末の放送では、 データ放送による視聴者投票を実施するなど、双 方向型の演出を試みた。

青森放送局が開局70年を迎えるにあたり、過去 に制作された県内関連番組を5回シリーズで放送 し、好評を得た。

# 2. 地域放送番組

## (1) 定時番組

#### 『NHKニュース おはよう宮城』 G

月~金 7:45~ 8:00

第1回00.4.3/宮城県域(一部東北ブロック)/ 県内のニュースのほか、東北各地の話題や中継な どで朝の表情を生き生きと伝えた。

[各局タイトル]

『おはよう秋田』 『おはようやまがた』 『おはよういわて』 『おはようふくしま』 『おはよう青森』

『ウイークエンド東北』 G 土 7:30~8:00 第1回85.10.12/東北ブロック(一部県域)/東北各県のニュースや問題に迫るリポートなど、NHKのネットワークを生かして東北のさまざまな動きや話題を伝えた。新企画の「ウイークエンドFACE」では、震災からの復興に向けて奮闘する人々を追った。

#### 『情報パレット~つながろう東北』 G

(ブロック) 月~金 11:05~11:45(各県域) 11:45~11:54

第1回08.4.2, 最終回12.3.19/東北ブロック, 宮城県域/新たに「つながろう東北」のサブタイ トルを設け、被災地の現状を被災者や災害FM局のDJに伝えてもらう電話リポートを続けたほか、各種相談窓口や行政からの情報、法律相談など、被災者を支援する情報を分かりやすく伝えた。また、イベントや地域活動、旬の食材、健康など、暮らしを豊かにする多彩な情報を、ゲストと共に親しみやすく伝えた。

〔各局タイトル〕

(秋田局)『ひるまえこまち』

(山形局)『やまモリ!』

(盛岡局)『ひるっコいわて』

(福島局)『ふくみみ』

(青森局)『情報ランチ』

『てれまさむね』 G 月〜金 18:10~18:59 第1回03.3.31/宮城県域/被災地をヘリコプターで空撮し、被災地の様子を被災前と比較して伝える「空から見た被災地」や、被災者が当時の様子を現地で証言する「あの時 わたしは」などの企画をはじめ、被災地の現状や復興への課題を見つめ続けた。震災関連のニュースリポートは、ホームページにも動画で掲載した。

[各局タイトル]

(秋田局)『ニュースこまち』

(山形局)『やまがたニュースアイ』

(盛岡局)『おばんですいわて』

(福島局)『はまなかあいづToday』

(青森局)『あっぷるワイド』

『クローズアップ東北』 G 金 19:30~19:55 無土 10:05~10:30

第1回02.4.5/東北ブロック/被災地の"今" を徹底的に見つめ、震災後の地域の現状と課題に 鋭く迫るとともに、復興に向けて専門家の提言を 伝えた。被災地以外からも、地域に密着したテー マをタイムリーに取り上げた。

「"こころ"を救う~宮城·名取 心療内科医 の2か月 | 仙台局/ 5.13

「老人ホーム被災~悲劇の証言・高齢者避難支援」 仙台局/ 5.27

「ガレキがなくならない」 仙台局/ 6.3

「漁業はよみがえるのか」 仙台局/ 6.10

「地盤沈下が町を襲う」 仙台局/ 6.17

「傷ついた写真を手に~再起へ向かう相馬の人 たち」 福島局/ 6.24

「世界遺産 平泉~再生への光を放つ中世の浄 土」 盛岡局/7.8

「どうする 農業再生」 仙台局/ 7.15

「三陸の名を守るために」 青森局/ 7.22

「復興はできるのか~福島 大熊町の苦悩」

「よみがえれ 浜のしあわせ〜岩手県宮古

福島局/ 8.5

「学校をとりもどせ〜福島 放射線と戦う日々」	市」 10.14
福島局/ 8.26	「手仕事 目しごと 思いこめて〜秋田県男
「再起をかけた相撲道~密着ルポルタージュ	鹿・八郎潟周辺」 11.4
佐渡ヶ嶽部屋の6か月」	「手仕事かさねて里の秋~福島県南会津地
山形局/ 9.10/10:05~10:30	方」 12.9
「身近な"水"から電気を生み出せ〜田んぼは	「港、八戸 根気の仕事」
無限の発電所」 秋田局/ 9.16	1.13
「復興計画を待てない〜岩手・大船渡 進む自	「心あわせて 力あわせて~山形県最上地
力再建」	方」 2.3
「国を待ってはいられない~福島県南相馬市の	「くじけない 手しごとの国、東北」
"除染"」 仙台局/10. 7	19:30~20:43 3. 2
「仮設住宅はできたけど~宮城県石巻市」	◇歌おう!東北のど自慢/仙台局
仙台局/10.14	「福島県田村市」 6.24
「消えゆく町で~宮城・石巻市雄勝町」	「宮城県岩沼市」 7.22
仙台局/10.21	「岩手県山田町」 10.28
「それでも酒っこ つくるべや〜陸前高田 再	「宮城県石巻市」 1.27
起の酒造り」 盛岡局/10.28	「宮城県南三陸町」 2.17
「復興へ 水族館の挑戦 アクアマリンふくし	「総集編」 3.16
ま」 福島局/11.4	◇直撃インタビュー・被災地の目線で∕仙台局
「コメ農家はどこに向かえばいいのか」	第1回「田原総一朗・西條剛央」 6.10
山形局/12. 9	第2回「結城登美雄・塩沼亮潤」 6.17
「"二日酔い運転"知られざるリスク」	第3回「井上洋・延藤安弘」 9.16
秋田局/12.16	第4回「児玉龍彦」 2.10
「防災無線が聞こえない」   仙台局/ 1.13	◇その他
「救えるか 三陸のさんま漁」 青森局/ 1.20	「ちゃっこい浜に津波がきた〜女川野々浜の
「海の力で三陸を創れ〜海洋発電が拓く被災地	家族たち」 仙台局/ 6.3
の未来」	「いつか帰れる日のために~福島 飯舘村」
「住民が作った放射能汚染マップ~この地に住	福島局 / 7.8
み続けられるか」	「このままでは繰り返す~警告者たちの無念
「けれど 戻りたい、」 秋田局/ 2.24	の証言」
「南相馬 大町病院~原発事故と闘う看護師た	「忘れない 忘れられない~南三陸・仙台・
ち」 福島局/ 3.23	高崎」 仙台局/ 8.5
『東北Z』 新 G 金 20:00~20:43	「本当は、悲しいけれど〜閖上中学校の記録
無土 10:30~11:13 第1回1162 /東ルブロック /東日本七雲等の	〜第2章」 19:30〜20:43 仙台局/ 8.12
第1回11.6.3/東北ブロック/東日本大震災の 現状と課題を伝えるドキュメントを中心に、東北	「鎮魂 侍たちの夏〜福島・相馬野馬追」
に関わる話題を深く掘り下げたり、人物や文化を	福島局/ 8.26 「ぶらバン2011〜定禅寺ストリートジャズフ
豊かに描いたりする番組を放送した。シリーズで	ェスティバル」
は、脈々と受け継がれてきた東北の"技"を紹介	「再起へ~山形・女子高生剣士」
する『ここに技あり』を継続したほか、新たに、	山形局 / 10. 7 山形局 / 10. 7
被災地から皆さんの思いと歌声を届ける『歌お	「糸で世界を変えてみせる~山形・若き経営
う!東北のど自慢』、被災地の目線にこだわって	者の挑戦」 山形局/10.21
さまざまな有識者に聞く『直撃インタビュー・被	「ふるさとの味で復興を!~気仙沼 屋台村
災地の目線で』を放送した。	店主たちの半年   仙台局 / 12.16
<ul><li>◇『ここに技あり』 / 仙台局</li></ul>	「除染と避難のはざまで」 仙台局/ 1.20
「思いをコツコツ 技コツコツ〜岩手県奥州	「まだ、やめられない ~女子スキージャン
市・一関市」 9. 2	パー小浅星子・蔵王から五輪へ」

山形局/ 2.24

「俺は心で勝ちたい~鬼の名将 中村和雄」 秋田局/3.9

「42歳の成人式~秋田・大曲の梵天 (ぼんでん)」 秋田局/ 3.23

『被災地からの声』 新 G 日 8:00~ 8:25 第1回11.3.20/東北ブロック/各地の避難所を訪ね、被災者が今一番伝えたいことは何かを直接カメラに向かって話してもらう番組。被災地・石巻出身のアナウンサーが、被災地の現状と声を伝えた。5月7日までほぼ毎日放送し、5月15日から放送時間を固定した。

#### 『東北ラジオあさいちばん』 R1

月~十 7:40~ 8:00

第1回99.4.1/東北ブロック/東北各地のニュースや話題,交通情報,気象情報などを盛り込んだ情報番組。視聴者による地域リポーターの電話リポートや支局・報道室からの記者リポート,スポーツ情報,週末情報などをコンパクトに伝えた。『情報ボックスみやぎ』 R1 金 16:05~16:55第1回08.4.4,最終回12.3.17/宮城県域/週末のイベント情報や旬の食材を使ったレシピなど,暮らしに役立つ生活情報のほか,「川柳・短歌コーナー」では投稿作品を選者の講評と共に紹介した。

『民謡をどうぞ』 R1・FM 金 12:30~12:55 第1回54.11/東北ブロック/昭和29年にスタートした東北の最長寿番組。放送日を金曜に変更 し、R1・FM同時放送とした。東北ならではの民 謡を、季節に応じたテーマで放送した。

# 『特選・ぬくだまりの宿 みちのく亭』 R1

(年5回) 土または日 16:05~16:55 第1回10.5.30/東北ブロック/東北にこだわっ

て熱く生きる魅力的な人々を、伊奈かっぺいさん とともに紹介するトークバラエティー。全国放送 2話分を再構成。

#### 『仙台音楽倶楽部』 FM

(月1回) 土 16:00~18:00

宮城県域/中学生、高校生を中心とする若者のリスナーに向けて、仙台の最新の音楽情報を伝える番組。毎月1回、NHK仙台放送局第3スタジオから、ライブとトークで仙台の「旬」の音楽をリスナーに届けた。

#### 『サバトセーラ東北』 新 FM

土 18:00~18:50

第1回11.5.14/東北ブロック/東北ゆかりのアーティストとリスナーをつなぐ音楽応援番組。週替わりのレギュラーアーティストによる選曲や,

とっておきの新譜情報,ゲストのインタビューなど,幅広い音楽ジャンルを生放送で取り上げた。 6月,9月,12月には時間を拡大して公開生放送 も行った。

『震災に負けない! やるっちゃ! 宮城』 新 R1 日 20:05~21:55

第1回11.4.24、最終回11.6.26/宮城県域/宮城県在住、または宮城県にゆかりのあるミュージシャンやタレントをパーソナリティーに、被災された皆さんへ生放送でエールを送った。仙台局の番組として初めてツイッターを利用した。

#### (2)特集番組

〔東北ブロック〕

『東北関東大震災 いま行政は〜多元中継・被災 県知事に聞く』 G・R1

仙台局 3.25/20:10~20:55

『大震災から15日 被災地からの報告』

G·R1 仙台局 3.26/19:45~21:00

『大震災 3 週間・被災地からの報告』 G・R1 仙台局 4.2/19:45~20:50

『東日本大震災 津波が家族を奪った~南三陸 ある避難所の6日間』 G

仙台局 4.8/20:00~20:45

『大震災 1 か月 被災地からの報告』 G

仙台局 4.11/15:10~16:09

『それでも海へ』 G

仙台局 4.15/22:00~22:43

『20万人の瀬戸際を救え』 G

仙台局 4.22/20:00~20:43

『第32回NHK東北民謡コンクール優勝大会』

G 仙台局 4.23/19:30~20:43 『東日本大震災 復活の海へ~宮古・重茂漁協の 40日』 G 盛岡局 4.29/19:30~19:59 『病院が消えた町で~宮城・南三陸町 避難所診療の1か月』 G

仙台局 4.29/20:00~20:43

『海の町 誇りを胸に〜宮城・気仙沼 経営者再 建への日々〜被災地 再起への記録』 G

仙台局 5. 4/19:30~19:59

『あなたが主役 50ボイス 東北スペシャル in 秋保温泉』 G

仙台局 5. 4/20:00~20:43

『漁場を返せ〜原発事故に苦しむ福島県相馬市〜 被災地 再起への記録』 G

福島局 5.12/19:30~19:55

『本当は、悲しいけれど~閖上(ゆりあげ)中学校で出会った人々の1か月の記録』 G

仙台局 5.13/20:00~20:43

『あるディレクターが見た孤立被災地』 G 仙台局 5.27/20:00~20:43 『お話し玉手箱』 FM  $6.11/16:00\sim17:00$ 『還ってくる雪~ふるさとを守る人びとの記録』 仙台局 7.3/16:30~18:00 『全村避難~飯舘村 ある家族の150日』 G 仙台局 8.23/20:00~20:45 『東日本大震災復興支援コンサート 明日へ 平 泉から光を』G 仙台局 10.8/16:00~16:58 『アイデア対決 高専ロボコン2011~東北地区 仙台局 11.6/15:05~15:59 大会』 G 『今、こどもたちに贈る「ユタと不思議な仲間た ち」 劇団四季被災地支援公演』 E 盛岡局 12.10/ 9:00~10:59 『復興カレッジ in 福島「チェルノブイリから フクシマヘI』 E 仙台局 12.11/14:00~14:50 『復興カレッジ in 亘理「心のケア~悲しみに 寄り添うI』 E 仙台局 12.18/14:00~14:50 『第11回 冬・北国からのコンサート』 G 仙台局 12.24/19:30~20:43 『復興カレッジ in 釜石「被災地の子どもを支 えよう」』 E  $2.5/14:00\sim14:50$ 『第33回NHK東北民謡コンクール優勝大会』 G 仙台局 3.29/19:30~20:43 『第33回NHK東北民謡コンクール~各県大会』 2.  $6 \sim 13 / 18:00 \sim 18:50$ 山形 2.6, 岩手 2.7, 福島 2.8, 宮城 2.9, 青森 2.10, 秋田 2.13 『東北3県 さようならアナログ!もっとデジ タル!』 G (仙台,盛岡,福島) 仙台局 3.31/11:00~11:54 [県域番組] [仙台局] 『大震災1か月 ふるさと宮城へのメッセー  $4.11/20:00\sim21:55$ 『ともに進もう!Jリーグみちのくダービー』 (仙台, 山形) 5.22/11:05~11:50 R1 『仙台市議選 開票速報』 G  $8.29 / 0.05 \sim 0.30$ ,  $1.28 \sim 2.00$ 『徹底討論 ふるさと宮城の復興は』 G 11.18/19:30~20:43 『宮城県議会議員選挙 開票速報』 G 11.13/20:45~21:00, 23:01~ 0:30

『てれまさむね年末スペシャル2011』 G

〔秋田局〕

『あきた・よる金』 G

「シリーズ いのちを守る 巨大津波に備えよ 〜徹底検証 秋田の津波対策」

 $6.10/19:30\sim20:43$ 

「発見!秋田の底力 自然エネルギー大百科」

 $8.26/20:00\sim20:43$ 

「開局80周年企画 秋田の、これから〜徹底討論 人口減少社会」 11.18/19:30~20:43 「秋田の"んめもの"」 3.23/19:30~19:55

『14人のありがとう~上新城中学校 最後の卒 業生』 G 6.18/10:05~10:30

『フォーラム認知症新時代 いきいきと暮らすために~医療・介護・地域の支え合い』 G

10. 1/10:30~11:18

『AKITA "アニソン" 大運動会 2nd Season』 FM 12.10/14:00~16:00

『ニュースこまち 年末スペシャル2011』 G 12.28/18:00~19:00

『開局80周年 秋田の歩み伝える 新日本紀行ふ たたび選』 G 2.25/10:30~11:49 13:50~15:00

15:05~16:15

『朗読 伊藤永之介の秋田だすよ』(全20回)

R1 2.25/17:00~18:00, 18:05~18:50 R1 2.26/15:00~16:00, 16:05~16:55

17:05~17:55, 18:05~18:50

〔山形局〕

『今夜はなまらナイト』 G・R1

「なまら親方のつぶやきラジオ」 R1

 $6.22/20:05\sim21:30$ 

「なまらナイトde文化祭」 G

11. 4/19:30~20:43

「なまらナイトオンキャンパス」 G

2.  $5/16:35\sim17:00$ 

「なまらナイトin蔵王」 R1

 $2.25/13:05\sim14:55$ 

『ディスカバーやまがた』 G

「"コバヤシ"ヤマガタJ1 3年間の戦い」 12.16/19:30~19:55

12.10/ 10.00 10

『やまがたスペシャル』 G

「今何ができるか何をすべきか~震災 3 ヶ月」 6. 3/19:30~20:43

「復興へ 震災6か月山形のいま被災地のいま」 9.16/20:00~20:43 「震災1年~新たな一歩のために」

 $3.16/19:30\sim20:20$ 

12.28/17:05~19:00

『やまがたニュースアイ年末ハイライト2011』 〔青森局〕

G 12.28/18:00~19:00	『お国ことばで川柳 なもあんだも』 G
『ともに進もう!Jリーグみちのくダービー』	19:30~19:55
R1 (仙台,山形) 5.22/11:05~11:50	お題「うそ」「びょん」「けやぐ」 7.1
〔盛岡局〕	お題「けっぱる」「へそ」 10.7
『いわてみんなのうた』	お題「けんど」「味」 11.4
<b>G</b> 水 22:45~22:50, 土 12:40~12:45	お題「さっぱど」「数」 2.3
E 金 19:55~20:00, 土 9:20~ 9:25	『震災 1 か月 青森復興への課題』 G
日 8:55~ 9:00	$4.16/10:35\sim11:54$
『大津波から 1 か月 岩手の被災地は今』 E	『震災3か月 青森復興への課題』 G
4.12/17:10~18:00	$6.10/20:00\sim20:43$
『蘇れ 岩手の漁業〜復興への挑戦と課題』 G	『日本の祭2011 青森ねぶた祭』 G
5.20/19:30~20:00	8. 6/19:00~21:00
『ぼくたちはひとりじゃない~岩手県出身アーテ	『青森 震災から半年』 G
ィストからのメッセージ』 G	9. 9/22:55~23:25
$5.21/10:05\sim10:59$	『開局70年 NHKが伝えた青森』 G
『おばんですいわて特報 震災3か月〜岩手の	10.14, 21, 28, 11. 4/20:00~20:45
いま』 G 6.11/18:10~19:00	11. 5/10:30~11:17
『宮島アナの山めぐりSP~見せます!岩手の	『のど自慢 すべて見せます!予選会』   G
山々』 G 7. 3/13:50~14:59	$12.19\sim22/11:05\sim11:45$
『ストップ・ザ・交通事故2011』 R1	『あっぷるワイド 年末スペシャル』 G
9.22/15:05~15:59	$12.28/17:05\sim19:00$
『いわて復幸会議 みんなでかんがえよう』 G	『お国ことばで川柳 なもあんだもスペシャル』
(第1部) 12. 9/18:10~19:00	G 3. 2/19:30~20:43
(第2部) 19:32~20:43	『とっておきラジオ 東北からの声~青森県立美
『証言 あの日あの時SP~後世に伝えたい3.11	術館ドラマリーディング』 R1
の記憶』 G 12.28/17:00~17:45	3. 3/16:05~16:55
『おばんですいわて ニュースハイライト』 G	[各局共通]
12.28/17:45~19:00	『第78回 NHK全国学校音楽コンクール』
[福島局]	「宮城県」 E 9.3~4/FM 9.3
『福島"放射線"の不安に答える』 G	「秋田県」 G 9.4/FM 9.3
3.31/17:48~17:59ほか	「山形県」 E 9.3/FM 9.4
『東日本大震災 福島の1か月』 G	「岩手県」 E 9.17/FM 9.10
4.12/17:10~17:50	「福島県」 E 9.17, 24
『浪江町警戒区域~福島第一原発20キロ圏内の	「青森県」 E 8.27/FM 9.3
記録』 G 5. 8/10:05~11:00	「東北ブロック」 E 10.1~ 2/FM 10.1
『国府弘子スペシャルトリオ・叶正子ふくしま応	3 . スポーツ中継(地域放送)
援コンサート』 FM 8. 6/14:00~17:00	
『福島同日選 開票速報』	*ブロックと記した以外は県域
G 11.20/20:45~21:00, 21:59~22:40	[高校野球]
$22:47\sim23:00$	第93回全国高等学校野球選手権 地区大会
11.21 / 0:05 ~ 0:30	宮城県 4回戦 R1・FM 7.21~22
R1 11.21 / 0:30~ 0:55	準々決勝 E・R1 7.23
『はまなかあいづToday 年末スペシャル	準決勝 G·E·R1 7.25
<b>2011 G</b> 12.28/18:00~19:00	決勝 G·E·R1 7.26
	秋田県 3回戦~準々決勝
	R1 · FM 7.18~20
	準決勝 G・E・R1・FM 7.22

NHK年鑑'12 388

山平川	決勝 E・R1 7.23 3回戦〜準々決勝	岩手県代表決定戦 「グルージャ盛岡」対「アンソメット!	<b>芝手 八條</b>
田心乐	R1·FM 7.21~24	ー ・	台ナ八幅
	準決勝 G·E·R1 7.26	福島県代表決定戦	
	決勝 G·R1 7.27	「福島ユナイテッドFC」対「JFAア	カデミー
<b>学</b> 毛胆	3回戦~準々決勝	福島」	<b>4</b>
石丁尔	R1·FM 7.18, 20~21		
	準決勝 E·R1·FM 7.23		I
	決勝 G·E·R1·FM 7.24		_
<b>桓</b> 自旧	3回戦~準々決勝	プロ野球	
田西尓		「楽天イーグルス」(ブロック)	
	準決勝 G·E·R1 7.26~27		G 4.17
	決勝 G·R1 7.28		1 4.30
青森但	3回戦~準々決勝	対「西武」	
13 ANN	R1 · FM 7.19~20, 22~23		G 5. 8
	準決勝 E·R1 7.24	and the second s	G 5.20
	決勝 G·R1 7.26	対「広島」 R	
第64回秋	季東北地区高等学校野球	対「横浜」R	
	会(準決勝, 3位決定戦·決勝)		G 6.12
宮城	FM 9.27~28		
秋田	FM 9.26~27		
山形	R1 · FM 9.24~25		G 7. 1
岩手	R1 · FM 9.27~28	対「ソフトバンク」 R	
福島	R1 · FM 9.24~25		1 7.15
青森	FM 9.25, 27	オールスターゲーム(仙台、秋田)	
◇東北大会	会 (ブロック)	R	1 7.24
$1 \sim 2$	回戦 R1・FM 10.8~ 9	対「ソフトバンク」	G 8.19
準々決勝	券 R1·FM 10.10	対「日本ハム」 R	1 8.25
準決勝	R1 10.11	対「ソフトバンク」 R	1 8.26
決勝	R1 10.12	対「オリックス」 R	1 9.8
〔その他の	<b>りスポーツ</b> 〕	対「日本ハム」	G 9.9
NHK杯東	北高校ラグビー選手権・決勝	対「日本ハム」	G 9.10
「黒沢月	兄工」対「仙台育英」(ブロック)	対「西武」 R	1 9.29
	E 6.19	対「ロッテ」 R	1 10.19
NHK杯東	北高校バレーボール選手権・決勝	対「ロッテ」※開幕戦	G 3.30
「相馬」	対「東北」(ブロック) E 6.26	Jリーグ	
NHK杯東	北アイスホッケー選手権~少年男子・	「ベガルタ仙台」(仙台)	
決勝		対「アビスパ福岡」	G 5. 3
「青森」	対「宮城」(ブロック) G 12.4	対「モンテディオ山形」 R	1 5.22
第53回NI	HK杯青森県卓球選手権大会	対「アビスパ福岡」	G 10.15
	G 11.27	対「川崎フロンターレ」	G 10.22
第91回天	皇杯全日本サッカー選手権 G 8.28	対「ヴィッセル神戸」	G 12. 3
秋田県作	弋表決定戦	「モンテディオ山形」(山形)	
	ウブリッツ秋田」対「秋田F.Cカンビア		G 5. 3
ーレ」		対「ベガルタ仙台」 R	
	代表決定戦	7 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	G 10.22
	大学体育会サッカー部」対「山形大学医	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	G 12. 3
学部+	ナッカー部」	対「大分トリニータ」 R	1 3.17

389 NHK年鑑'12

# クリスマス・チャリティーサッカー2011~東日本大震災復興支援

(ブロック) G 12.23

#### バスケットボール biリーグ

「仙台89ERS」対「千葉ジェッツ」

(仙台) G 1.29

「秋田ノーザンハピネッツ」対「千葉ジェッッ」 (秋田) G 11.5

#### ラグビー トップイーストリーグ

「釜石シーウェイブス」対「三菱重工相模原ダ イナボアーズ」 (盛岡) G 11.5

女子ジャンプワールドカップ蔵王大会

(ブロック) G 3.3~4

# 第29回日本カーリング選手権・女子決勝

「中部電力」対「ロコ・ソラーレ北見」

(青森) G 2.14

# Ⅱ. 技 術

#### 1 地域番組の制作

大震災からの地域の復興を応援するため、復興への諸課題を掘り下げる『東北Z』等の番組、地域を元気にする『歌おう!東北のど自慢』やスポーツ中継番組など多種多様な番組制作に取り組んだ。特にスポーツ中継では、クリスマスチャリティーサッカーでのミリ波ワイヤレスカメラなど新たな技術的取り組みで映像の充実を図った。

震災半年・一年での特別編成番組では、多数の中継、番組ロケに東北一丸となって取り組み、被災地の現状と課題を全国に伝えた。

## 2. 緊急報道

大震災対応では、発災後数か月は全国応援体制でCSK中継や伝送を実施するとともに、前線本部や臨時天気カメラも設置してきた。並行して、被災設備の復旧や他の設備の機能強化を進めた。また、昼の震災ニュースのマルチ編成や臨時のストリーミングサービスなど被災者への情報提供に努めた。台風や大雪などの災害報道ではL字送出システムを活用して、迅速できめ細かい情報を提供した。

震災対応に加え,年間を通して緊急報道対応に 備え実践的な想定訓練や設備改善を行ったほか, 延期されていた地方選挙にも着実に対応した。

#### 3. 放送設備整備

東日本大震災で被災した沿岸部天気カメラを復

旧整備するとともに、緊急報道強化のため仙台局 CSK、山形局高館山〜会館伝送ルート、域内局天 気カメラ6か所をハイビジョン化した。

放送サービスの充実と安定送出のため、仙台局 大型中継車、R3スタジオ、データ放送設備の更新、 全局へのノンリニア編集機の整備等を行った。一 方、老朽化した電源・環境設備は計画的に更新・ 補修を行った。

電波の安定確保のため、志津川(宮城)、山田(岩手)等のラジオ放送設備、白河(福島)等の FM放送設備、小国(山形)、むつ(青森)等の 自家発電装置の老朽更新、大潟(秋田)の自営無 線回線装置などを更新した。

# 4. 電波サービスの充実

ロードマップ局建設完了後,新たな難視地区への恒久対策として6局の中継局を新たに建設し,域内のデジタル放送所は300局となった。被災3県では大震災によりアナログ放送終了が3月31日に延伸となり、被災設備の復旧を急ぐとともに、アナログ電波確保のため各設備の予備ユニットの確保や非常用電源設備の補修および確保に努めた。

### 5 デジタル放送の普及促進

デジタル放送の一層の普及を図るため、地上デジタル放送推進協議会と連携し、アナログ終了までの節目の日に合わせて、普及イベントや放送による周知広報活動を行った。また、アナログ放送終了告知スポットやカウントダウンスーパーの実施、『情報パレット』などの地域放送番組を通じ、デジサポ相談活動やチューナー支援活動について周知徹底を図った。

#### 6 良好な受信環境の確保

地上デジタル放送の新たな難視地区を解消するため、デジサポ等の関係機関と連携し、約2万4,000世帯の受信対策を実施した。また、NHK共聴12施設、自主共聴165施設のデジタル化改修や、老朽したNHK共聴8施設の光ファイバーによる更新工事を実施した。戸建住宅やビル陰共聴などの受信環境インフラのデジタル化促進のため、個別訪問でのデジタル勧奨活動や視聴者からの受信相談に対応した。あわせて東日本大震災の仮設住宅66団地について、地デジ受信状況を検討し避難者の受信環境確保に努めた。

# Ⅲ. 視聴者

# 1. イベント事業

#### (1) 東日本大震災の影響(中止・変更)

東日本大震災の影響により公開番組では『NHKのど自慢』(5.22、岩沼市)をはじめ東北全体で9本の番組が中止となり、2本を日時・会場を変更して実施した。イベントではNHK交響楽団演奏会(8.24、仙台市)など35本を中止、21本を日時・会場を変更した。

# (2)復興支援イベント

震災で傷ついた人々の心を癒やし地域を元気づけようと、計124本の復興支援イベントを実施した。

## ①『歌おう!東北のど自慢』

歌を通じて元気とエールを送る東北独自の公開番組。田村市、岩沼市、山田町、石巻市、南三陸町の5会場で開催し、315組が出場し2,952人が参加した。

#### ②NHK被災地応援イベントキャラバン

子ども番組のキャラクターによるステージショーを実施。八戸市からいわき市までの沿岸部の市町村を巡回し、仮設住宅や幼稚園・保育所など67会場で74公演を実施し、1万1,837人が参加した。

#### ③NHK交響楽団関連イベント

N響による吹奏楽「NHKジュニアほっとコンサート」(8.24, 仙台市)と、被災した小学校を訪問する「NHK音楽クラブ」(8.27, 気仙沼市,南三陸町,亘理町)を開催した。仙台では993人,小学校訪問では3会場で1,051人の子どもと保護者が参加した。

## ④『NHKのど自慢』拡大版

震災から半年の9月11日に、久慈市で『NHKのど自慢拡大版』を実施した。仙台局、福島局でも予選会を行い、3会場で739組が参加した。本選では仙台、福島からの各5組を加えた30組が出場し、30分時間を拡大して行った。

# ⑤『震災から1年"明日へ"コンサート』

震災から1年目の3月10日に首都圏(千葉市)と東北(須賀川市)をつないだ復興支援コンサートを実施し、911人が参加した。このコンサートのパブリックビューイングを仙台市、石巻市、久慈市の3か所で実施し、合わせて819人が参加した。

#### (3) コンクール等

#### ①第78回NHK全国学校音楽コンクール

各県コンクールと東北ブロックコンクール(天 童市,9.18~19)を実施。東北各県から小学校 187校,中学校223校,高等学校35校が参加。東北 代表に岩手大学教育学部附属小学校,郡山市立郡 山第二中学校,福島市立福島第一中学校,宮城県 仙台三桜高等学校,福島県立橘高等学校が選ばれ た。

## ②第58回NHK杯全国高校放送コンテスト

6月に各県大会を開催。アナウンス、朗読、ドキュメント番組(テレビ・ラジオ)、創作ドラマ(テレビ・ラジオ)の6部門に東北各県から146校が参加。

# ③第28回NHK杯全国中学校放送コンテスト

7月に各県大会を開催。アナウンス, 朗読, テレビ番組, ラジオ番組の4部門に東北各県から69校が参加。

# ④アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコン テスト2011

東日本大震災の影響で福島から八戸工業高等専門学校に会場を変更して開催(10.16)。優勝した福島工業高専Aチーム、審査員から推薦された一関工業高専Bチーム、仙台高専(名取)Aチームが全国大会にエントリーされた。

#### 2. 営業

11年度は、3か年経営計画の最終年度として「支払率の向上」と「営業経費率縮減」という大きな経営方針に向かって取り組んだ。

東日本大震災による受信料の災害免除や請求再開, 仮設住宅での営業活動などに丁寧に取り組むとともに、営業諸目標の確保に努めた。

地域スタッフの少数精鋭化体制への整備により 効率化を図り、戦略的な地域運用を展開して業績 確保に努めた。また、法人外部パワーを活用した 契約・収納業務にも力を注いだ。

事務処理業務全面委託の第2弾としてよりスリムで効率的な営業職員体制の構築に仙台局が着手した。

東日本大震災の影響で営業諸目標の進捗は大変厳しく,支払総数増加と口座・クレジット増加のみ達成という結果に終わった。11年度末の東北地方の放送受信契約数は306万5,744件,衛星契約は138万5,904件となり,放送受信契約数は10年度末比1万1,394件の減少となった。

#### 3. 広報

#### (1) 視聴者との結びつきを強化する活動

東北各局では、公開番組・イベント実施の機会を捉えて「ふれあいミーティング」を実施し、NHKへの理解促進・視聴者意向把握に努めた。(仙台局:9月、仙台市『ここはふるさと旅するラジオ』連動、秋田局:1月、八郎潟町『ごきげん歌謡笑劇団』連動、山形局:8月、天童市『NHKのど自慢』連動、盛岡局:7月、遠野市「どんど晴れふれあいミーティング」、福島局:9月、福島市「すくすく子育てふれあいミーティング」、青森局:1月、八戸市『BS日本のうた』連動)

また,会館公開イベントを秋田局(2月),山 形局(11月),盛岡局(10月),福島局(7月,10月),青森局(11月)で実施し,視聴者との触れ合いを深めた。

#### (2)番組広報

盛岡局では、『どんど晴れスペシャル』(4月,5月)や東日本大震災関連の土曜ドラマスペシャル『それからの海』の番組広報を、取材会やポスター・チラシの掲示配布、ホームページ周知などさまざまな形で展開した。

また、13年の『大河ドラマ』が福島県会津出身の新島八重を主人公にした「八重の桜」に決定したことを受け、福島局では関連イベント「福島の桜フォトコンテスト」の作品募集を3月から開始した。

山形局では県域番組『今夜はなまらナイト』で の県内大学生との交流イベントなどにより番組広 報・事業展開を行った。

青森局では夕方6時台の県域ニュース・情報番組の2時間スペシャルを被災地・八戸から公開生放送したのに合わせ、視聴者からの投稿写真を展示するなど、ポスターやチラシ、ホームページに加えて、多面的な番組広報展開を行った。

#### (3) 地上デジタル放送の普及対応

秋田県、山形県、青森県では11年7月に、宮城県、岩手県、福島県では12年3月に地上アナログ放送が終了した。各局とも地上デジタル放送の円滑な移行を進めるために、地上デジタル放送推進協議会と連携しながら、アナログ終了告知イベントを実施したほか、公開番組の場などでも周知広報イベントを積極的に実施した。

# 関東甲信越

- ◇4月1日,震災の影響で休園していた上野動物園が営業を再開,中国からやってきた2頭のジャイアントパンダ,オスのリーリーとメスのシンシンが一般公開された。上野動物園では3年ぶりとなるパンダの公開となり,開園前から多くの人の列ができ,開園からの1時間余りで800人が詰めかけるなどの盛り上がりとなった。パンダ舎の出口付近では,動物園の職員が見学を終えた人たちに震災の被災者への募金も呼び掛けた。
- ◇4月10日,任期満了に伴う東京都知事選挙の投票が行われ,現職の石原慎太郎氏が261万票余りを獲得して4回目の当選を果たした。3回連続して200万票を超える票を獲得,都内の62市区町村の開票所すべてで2位の東国原氏を上回ったが、8年前の308万票余り、4年前の281万票余りには及ばなかった。東日本大震災の直後に選挙が告示されたため、運動を控えて震災対策に専念し、国にさまざまな提案を行うなど実行力をアピールし、幅広い層から支持を集めるかたちとなった。
- ◇5月12日の午前3時頃、東京・立川市の警備会社の営業所に2人組の男が押し入り、宿直の男性社員を脅して金庫室からおよそ6億円を奪って逃走した。この現金は郵便局から運び込まれていたもので、この日に多摩地域の郵便局に配送するために保管されていたものだった。この被害額は、2004年に栃木県で運送会社が襲われ5億4,000万円余りが奪われた事件を上回り、現金が奪われた強盗事件としては過去最高だった。その後の警視庁の捜査で、元暴力団員ら合わせて21人が逮捕された。
- ◇6月24日,世界でも貴重な固有の動植物が生息する東京都の小笠原諸島について、ユネスコの世界遺産委員会が世界遺産に登録することを決めた。日本国内の世界遺産は15件となり、自然遺産としては4件目となった。決定を受けて小笠原諸島の父島には登録を祝う横断幕が掲げられた。小笠原諸島にはクジラやイルカを見る観光ツアーなどが人気を集めてきたが、海外の島の観光地との競争が激しくなり、観光客は減る傾向にあった。それが世界遺産登録後は、前年同時期よりも3割以上増えている。
- ◇8月30日、JOC・日本オリンピック委員会は、 東京都を2020年夏のオリンピックとパラリンピ

ックの開催都市としてIOC国際オリンピック委員会に正式に立候補を申請した。招致に失敗した2016年のオリンピックに続く立候補となる。石原知事は「前回作った開催計画の内容をさらに発展させ、最高の開催計画を策定します。東日本大震災で大きく傷ついた日本をスポーツの力で再生し、復興した日本の姿を世界に見てもらうためにも2020年の招致を実現したい」というコメントを発表。その後東京都は、競技会場の整備などを被災した東北の企業に優先的に発注するなどの大会を通した被災地支援の計画案を取りまとめた。

- ◇9月21日,台風15号が関東の広い範囲を巻き込みながら北東へ進んだ。東京都内では強風で木が倒れて車が下敷きになって乗っていた人がけがをしたり、解体工事現場のフェンスが倒れて近くを歩いていた人がけがをしたりするなど、的被害も相次いだ。この台風では、夕方の帰宅的護に東京都内のほとんどの鉄道が運休したことで大勢の人たちが一時いわゆる帰宅困難に陥り、駅前はバスやタクシーを待つ人であふれ返り、駅前はバスやタクシーを待つ人であふれ返った。こうしたことを予想して一部の企業では震災を教訓に社員を午後の早い時間に帰宅させるところもあり、首都圏特有ともいえる帰宅困難の問題への対応が一部では進みつつあるということもクローズアップされた。
- ◇大みそかの12月31日の深夜、監禁致死事件で特 別手配されていたオウム真理教の平田信元幹部 が東京の丸の内警察署に出頭した。「オウムの 平田信です」と名乗り、指紋が一致し本人と確 認されたため元日の未明に逮捕された。1995年 2月に東京・品川区の公証人役場の事務長だっ た当時68歳の男性を車に乗せて監禁し教団施設 で薬物を注射して死亡させた事件や、3月に起 きた杉並区のマンションで爆発物が爆破された 事件などに関わった容疑で特別手配されていた が、17年近くものあいだ捜査を逃れ潜伏を続け ていた。平田元幹部は、最初、捜査本部のある 大崎警察署に行ったが警察官を玄関前で見つけ ることができず出頭をあきらめ、警視庁の本部 に行って正面で警備にあたっていた機動隊員に 申し出たものの、隊員がいたずらと判断して取 り合わなかったことも明らかになった。こうし た対応について特別手配されている容疑者に対 する組織としての緊張感が欠けていたのではな いかという批判の声も上がった。

# I. 放 送

# 1. 放送の概要

およそ4,200万人が暮らす関東地域を中心に東京から電波を送り出し放送サービスを行っている。関東甲信越1都9県の視聴者のさまざまな要望に応えるため、各時間帯に地域の情報を提供している。

11年3月に発生した東日本大震災をきっかけに、被災地の復興支援だけではなく、原発事故によって引き起こされた放射能汚染や電力不足への対応、さらに首都直下地震や東海地震に向けた防災のための備えなど、さまざまな問題が浮かび上がった。首都圏放送センターでは『首都圏ネットワーク』や『おはよう日本・首都圏』、また、『特報首都圏』『首都圏スペシャル』などのニュース・報道番組を通じて、これらの問題に向き合うとともに、『クローズアップ現代』や『NHKスペシャル』などの全国放送の番組にも展開した。

東日本大震災で千葉県浦安市などの住宅地を襲った液状化については『クローズアップ現代』「住宅は大丈夫か~見落とされた液状化対策」(5.9)で被害の実態にスポットを当てるとともに、『NHKスペシャル』「"世界最大"の液状化」(7.10)で一層詳しく掘り下げた。さらに、「知られざる "再液状化"の脅威」(3.13)では将来、地震が発生すれば再び液状化が発生する危険性があることを明らかにし、早急な対策を呼びかけた。

また、『NHKスペシャル〜シリーズ東日本大震 災〜 "帰宅困難1400万人" の警告』(10.9) や『クローズアップ現代〜携帯がつながらない』(7.11) では、震災時の帰宅困難問題など都市部特有の問 題についても取り上げた。

一方、原発事故にともなう首都圏での放射能被害の実態解明やその対策も重要なテーマとなった。『クローズアップ現代』の「放射能から子どもを守りたい」(9.26)、「知られざる "都市濃縮"」(12.12) では、首都圏の暮らしを脅かす放射能への対策を探った。

全国各地で水害が頻発した11年。関東甲信越地方も猛暑とともに豪雨や台風に襲われた。7月末の新潟豪雨,9月21日に関東を直撃した台風15号の際には、『おはよう日本・首都圏』や『首都圏ネットワーク』を中心に多元中継を展開するとともに、交通情報などは字幕での速報も並行して行い、被害状況を伝えながら警戒を呼びかけた。

また、冬は新潟県、長野県を中心に大雪に見舞われた。水害時と同じように首都圏で降雪があった際には多元中継と字幕速報を行った。さらに、除雪作業を高齢者に頼るしかない新潟の豪雪地帯の厳しい現実を『クローズアップ現代~豪雪から高齢者を救え~相次ぐ除雪中の事故死』(2.9) で伝えた。

さまざまな社会問題も表面化した。安愚楽牧場の経営破綻問題については『クローズアップ現代~黒毛和牛オーナー 7万人の悲鳴』を放送(11.7),日本の酪農の構造的な問題を浮き彫りにした。また、女性の社会進出とともに晩婚化が進む中、『クローズアップ現代~産みたいのに産めない~卵子老化の衝撃』(2.14)で30代後半以降の出産や不妊の問題にスポットを当て視聴者の関心に応えた。5人の高齢者が焼死した新宿のアパート火災では『クローズアップ現代~"無縁老人"をどう支えるのか』(1.12)を放送し、無縁社会の病巣を浮き彫りにした。

東京大空襲から67年を迎えた12年。空襲を受けた東京の様子を記録した写真が新たに見つかった。これらを手がかりに、凄惨な空襲の実態について『NHKスペシャル~東京大空襲 583枚の未公開写真』(3.18) で放送した。

一方,首都圏のさまざまな番組が共通して取り組むキャンペーン「首都圏プロジェクト」については、「しん~震災から、新たな生き方へ」と題して、震災の経験を経て改めて見直された命の専さや、家族や隣人、地域とのつながりの大切さ、震災を経て人々の中に広がる新たな生き方、価値観の変化を探った。キャンペーンは『おはよう日本・首都圏』『首都圏ネットワーク』を中心に12月と2月の2回にわたって行われ、延べおよそ20本のリポートを放送した。3月には『首都圏スペシャル』で作家の石田衣良さんや社会学者の水無田気流さん、『五体不満足』の著者として知られる乙武洋匡さんをゲストに迎え、ツイッターやメールで視聴者のご意見を交えながら総集編を放送した。

- ◇長野局では、安曇野市や松本市が舞台の『連続テレビ小説~おひさま』に合わせて特別番組を放送、栄村の震度6強の地震から1年になる3月には被災地の現状と課題についてシリーズ企画と現地からの中継特集で集中的に伝えた。
- ◇新潟局では、豪雨や豪雪など相次いだ災害で、 地域の生命・財産を守る「減災」を目指した報 道に取り組んだ。11月に開局80周年の公開生放 送『NHKトキめき王国』を実施した。

- ◇甲府局では、富士山の世界遺産登録に向けた動きや富士山の魅力を伝える番組を数多く放送したほか、視聴者の関心の高い県内の防災に関する情報、リニア新幹線に関する情報をニュース・番組で手厚く伝えた。
- ◇横浜局では、全国に避難した福島の小学生が卒業式で再会するまでを追いかけた『目撃!日本列島 ぼくたちの再会~南相馬"原発避難"の子どもたち』を制作。また、被災地応援ジャズライブを開催し、音楽で元気を届けようというミュージシャンの思いをFMを通して東北に伝えた。
- ◇前橋局では、4月の統一地方選挙と7月の群馬 県知事選挙、2月の前橋市長選挙で、背景の解 説を交えて選挙結果について伝えた。
- ◇水戸局では、地元メディアを巻き込んで震災復 興キャンペーン「茨城魂!」を展開し、会長賞 や県のイメージアップ大賞特別賞を受賞するな ど内外から高い評価を得た。
- ◇千葉局では新放送会館への移転に伴い、12月5日に放送のカットオーバー、12月10日に記念式典を行い、前後にイベントや番組を展開した。情報発信の強化を目指し、ツイッターも始めた。
- ◇宇都宮局では、東日本大震災の被災地栃木の復興の動きを積極的に取り上げて放送。12年4月からの県域テレビ放送開始を前にジャズフェスティバルを開き、開局記念番組として収録した。
- ◇さいたま局では、埼玉県が抱える課題を掘り起こすとともに、その魅力を新たな視点で捉えなおし、首都圏や全国に向けて発信し、ホームページにも展開した。また、サッカーなどスポーツの情報に加えて、自然や文化など隠れた魅力を、放送やインターネット、イベントを通じて、多彩に伝えた。

#### 〔長野局〕

地域に信頼され、地域を応援する放送局として、放送の充実に取り組んだ。栄村では震度6強の地震のあと、避難生活などからお互いを支えあってきた地域の絆が失われるようになり、こうしたつながりを再生しようとする村の人たちのドキュメントを全国放送した。サッカーの「松本山雅FC」が念願のJ2に昇格して、信州初のJリーグチームが誕生し盛り上がる地元の動きを伝えるとともに、ホームの試合を中継放送した。データ放送を使って視聴者に参加してもらう双方向のスペシャル番組を放送し、デジタル放送ならではの特性を生かした番組開発に取り組んだ。『ひるとくテレビ プラザN』は、県内を拠点に活動する人た

ちのミニコンサートや地元の人が出演して直接, 地域の情報を発信するコーナーを会館1階ロビー から生放送。夕方のニュース番組『イブニング信 州』は、一日のニュースを掘り下げたリポートや 記者解説、カメラマン企画を伝え、関心の高い問 題についてはシリーズで厚く放送し、年間の平均 視聴率は14.7%でよく見られた。『知るしん。』は 信州の今にこだわり、県内の課題を掘り下げる特 集と県内各地をキャスターが訪ねるコーナーで構 成。年12本の平均視聴率は11.1%で高い支持を得

#### (新潟局)

新潟県はこの1年間,数多くの災害に見舞われたが,新潟局では「減災」を目指した報道に取り組んだ。7月の新潟・福島豪雨では3日間にわたって特設ニュースや速報スーパーで避難情報や気象情報を放送し、データ放送やホームページも駆使して県民に必要な情報を発信し続けた。2月には記録的な大雪に見舞われた地域から30回以上にわたって中継を行った。3月に発生した上越市の地滑りでは、現地にロボットカメラを設置し、日々拡大する被害の状況を中継で伝えた。

東日本大震災により新潟県には福島を中心に県外から最大で9,000人以上が避難してきた。新潟局では、避難者の苦悩や受け入れる地元の対応などをローカル番組の『新潟ニュース610』『金よう夜きらっと新潟』などで継続的に放送してきた。また、農産物や食品への放射能汚染への不安が広がる中、10月に知事や関係者を交えた討論番組『どう向き合うか放射能汚染』(73分)を制作した。

11月には、NHK新潟放送局開局80周年記念の公開生放送番組『NHKトキめき王国』を2日間にわたって新潟市にある「道の駅」で実施した。テレビで4時間、ラジオで6時間の生放送のほか、NHKのキャラクターショーなどのイベントも行い、会場には2万5,000人が訪れた。

#### (甲府局)

ニュース・情報番組『まるごと山梨』では、東日本大震災発生後、被災者支援の動きを丁寧に伝えたほか、東海地震や富士山の噴火に備えた県内の防災態勢を繰り返し検証した。リニア中央新幹線の停車駅決定にあわせて、リニアがもたらす県内の課題や将来像を特集した。

甲府局の新会館移転を前に、これまで撮りためた映像から山梨の歩みを振り返る『山梨アーカイブス』を年明けから、毎日放送した。

『金曜山梨』では、防災や富士山など、年間を

通して地域の関心に応える多彩な内容を放送し ナ

全国放送番組は、『クローズアップ現代〜教壇に立つのは誰?』『ドキュメント20min〜私は紙のパズルを解きたい』『あさイチ〜JAPAなび甲府盆地』『小さな旅〜面影ひらひらと舞って』などの他、富士山関連の特集番組『ワンダー×ワンダー〜富士山"絶景誕生"の秘密』『BSプレミアム正月特集 富士山・絶景の秘密』などで全国へ発信し、山梨県の魅力や課題を伝えた。スポーツでは、「ヴァンフォーレ甲府」や女子バスケットの「山梨クィーンビーズ」の試合を中継するとともにニュース・番組で詳しく伝えた。

# 2. 地域放送番組

# (1) 定時番組

# 『こんにちは いっと6けん』 G

月~金 11:05~11:54

第1回93.4.5/関東ブロック/関東の1都6県の身近な生活情報や話題を放送した。

月曜は1都6県全ての局から地域の話題と1週間のイベントなどの予定を伝えた。また、火曜は前橋・横浜局、水曜は千葉・宇都宮局、木曜は水戸・さいたま局から地域に根ざしたリポートを放送した。東京からは第1月曜に視聴者の投稿川柳を紹介する「川柳じぶん流」、火~木曜に文化情報を伝える「カルチャークリック」や、地域に元気を与える人を紹介する「わたしの街のイチオシ気を与える人を紹介する「わたしの街のイチオシさん」などさまざまな企画を放送した。金曜は関東各地を訪ねる「とっておき散歩」、旬の魚・野菜情報を伝える「とれたて築地情報」など暮ららに役立つ情報を盛り込んだ。また、おいしい料理を手軽に作れる「かんたんごはん」を月~金曜に放送し、視聴者の好評を得た。

# 『ゆうどきネットワーク』 G

月~金 16:50~18:00

夕方5時台の『ゆうどきネットワーク』は近畿地方を除く全国で放送。「生活者目線で旬の話題をとことん掘り下げる」ことをテーマに、幅広い取材を行った。「絶品!まかない飯」や「塩こうじ特集」にはレシピの問い合わせなどホームページも含め過去最高の反響があった。震災後は取材班が各地の避難所を巡り被災者の訴えたいことを発信、年間を通じて生活再建の難しさを伝えるドキュメントも制作、独自の視点で復興の課題を伝え続けた。/キャスター:山本哲也・出田奈々アナ

## 『首都圏ネットワーク』 G

月~金 18:10~18:59

第1回97.4.1/関東ブロック(水戸局を除く)/ニュース、生活情報、地域の話題などを幅広く伝えるニュース・情報番組。関東各局のネットワークを生かして、1都6県のニュースや話題をきめ細かく、分かりやすく伝えた。その日の動きを的確に伝えるために、現場リポートや記者解説、関係者の反応などを組み合わせて多角的に伝えるニュースアップに力を入れた。11年度は東日本大震災報道の特別編成のため、4月4日からは午後6時30分から放送。6月13日から通常枠で放送をした。特集では、震災で生き方や価値観を見直した人たちに焦点をあてた「しん~震災から、新たな生き方へ」と題してシリーズ企画を放送し、視聴者から大きな反響があった。

年末には、震災・原発事故特集として、震災で大きな影響を受けた首都圏の現状と課題を伝えた。3月の震災1年では、首都圏各地の抱える震災後1年の課題を多角的に伝えるシリーズ特集を組んだ。また、金曜には「暮らしなっとく」のコーナーを新たに設け、生活に密着した身近な話題を分かりやすく伝えた。

# **『特報首都圏』 G** 金 19:30∼19:55 勇士 10:05∼10:30

第1回84.4.6/関東甲信越ブロック/4,700万人が暮らす関東甲信越地方で放送。11年度は、身近な出来事から社会の病巣を探る調査報道「えっ!ダムに水が貯まらない?」、旬の人を追いかけた「世界に挑む"埼玉県職員"~マラソン日本代表・川内優輝さん」、世相を映した「老化を防げ!~アンチエイジング最前線」、地方路線の魅力を再発掘した「赤字ローカル線を行く!」など変化に富んだ内容で25本を放送した。東日本大震災後の放射能被害についても「もう安心?まだ危険?放射能とどう向き合うのか」などで取り上げた。幅広い世代の視聴者、とりわけ若年や女性の視聴者の関心に応えるための試みを積極的に行った。ホームページやツイッターを活用した双方向性の強化に取り組み、視聴者の声を放送に生かした。

# 『首都圏スペシャル』 新 G

金 19:30~20:43 勇士 10:05~11:18

第1回11.4.22/関東甲信越ブロック/東日本大震災をきっかけに関心の高まる防災対策や放射能対策,そして、復興支援。また、暮らしを豊かにする余暇情報など幅広いコンテンツを視聴者に提供する特集番組としてスタート、毎月1回のペースで年間10本を放送した。「電気が足りない!~

暮らしは変わる?」「"原発からの避難"追跡75日」「放射能とどう向き合うのか~首都圏 暮らしに広がる不安」「過去からの警告~ "首都圏大地震"にどう備えるか」「絵手紙がくれた~復興へ 心の軌跡」「都市に生きる覚悟~首都圏大地震に備えて」など震災や防災の関連だけではなく、「小笠原諸島 いのちの森と海」「雪山へGO!~達人と楽しむ冬の名峰」など地域の自然の豊かさを紹介するなど多彩な内容で伝えた。/キャスター:中野純一・斉藤孝信アナ/首都圏放送センター

#### 『キッチンが走る!』 G

金 20:00~20:43 **勇火** 15:15~15:58

第1回10.10.1/俳優の杉浦太陽と気鋭のプロの料理人が、台所を備えたキッチンワゴンに乗り込み、海や山へ食材探しの2人族。集めた食材は、その場でお試し。地元の旬の幸を使った新しいメニューを創作していく「食べ物エンターテインメント紀行」。/料理人:三國清三、山下九、吉岡英尋、山下春幸、青山有紀、小枝絵麻、神保佳永、工藤敏之ほか/ソフト開発センター、NEP

#### 『首都圏ニュース845』 G

月~金 20:45~21:00

第1回96.4.1/関東ブロック(水戸局を除く)/ 首都圏のその日の主なニュースをまとめて放送。 各地の動きがコンパクトに分かるニュース、あす の気象情報のポイントが分かるニュース番組とし て視聴者から支持を得ている。

#### 『サタデーワイド 土曜日レディ』 FM

土 14:00~16:00

第1回10.4.3/「土曜日の午後は音楽と楽しいおしゃべりが似合う」をコンセプトに生放送で届ける女性向け番組。/出演:杏子/音楽・伝統芸能番組部.NEP

# 『サタデーワイド ラジオマンジャック』 FM

土 16:00~18:00

第1回10.4.3/「スネークマンショー」さながらのコントや生演奏なども取り入れ、音楽的にもラジオショーとしても楽しめるリスナー参加型のリクエスト番組。/MC:赤坂泰彦、雨蘭咲木子/音楽・伝統芸能番組部、NEP

# 『サタデーワイド U-18 ユーガタM塾』

**FM** ± 18:00∼18:50

第1回08.4.4/現役高校生がMCを担当。高校生がみずから取材し、「あなたの周りの"大人"が青春時代に好きだったアーティスト(ないしは歌)」を選曲。「音楽」は本来、世代の格差なく楽

しめるもの。若い世代の「温故知新」をテーマに した音楽番組。/音楽・伝統芸能番組部、NEP

#### (長野局)

# 『ひるとくテレビ プラザN』 G

月~木 11:40~12:00 金 11:30~12:00

地域の生活情報を会館ロビーから公開生放送。 11年度は信州ゆかりのアーティストやミュージシャンが出演したほか、暮らしのヒントや生鮮食料品情報を放送し、地元の人が地域情報を発信するコーナーには1年間で30市町村の関係者が出演して、地域の魅力やイベント情報を伝えた。

## 『イブニング信州』 G

月~金 18:10~19:00

阿部知事が就任して1年、大規模災害対策や農畜産業の振興策などを検証し、今後の県政運営を問うシリーズを放送した。県北部の記録的な大雪による被害、栄村の震度6強の地震1年では、復興の道筋が見えない現状や被災地支援の動きをシリーズで伝え、地震1年の当日には移動スタジオで栄村から中継特集を放送した。「スポしん。」ではサッカーでJ2昇格を果たした「松本山雅FC」、JFL昇格1年目で2位となった「AC長野パルセイロ」の活躍をはじめ、新規参入のプロバスケットボールbjリーグやプロ野球BCリーグの動向など県内で関心が高まるスポーツについて詳しく伝えた。

『知るしん。』 G 金 20:00~20:45 金曜夜8時,家族がそろってテレビを見る時間に、県内のニュースや課題を掘り下げて伝える「知るしん特集」では、震災復興に向けた課題、満蒙開拓団の真実などを放送、キャスターが県内各地を訪ねる「ふるさと出会い旅」と共に信州ゆかりのゲストと伝えた。

**『信州845』 G** 月~金 20:45~21:00 信州の一日が分かる地域最終ニュース番組。

#### 『もぎたて信州朝いちばん』 R1

月~金 7:40~ 8:00

ニュース・気象情報のほか, 地域の話題を電話 で伝えてもらう情報番組。

**『ニュース』 R1** 月~金 19:45~20:00 長野県の一日をコンパクトに伝えるローカル最 終ニュース。

#### (新潟局)

## 『お昼はじょんのび くらし情報便』 G

月~金 11:40~12:00

くらしの安全・健康・趣味・教養などの情報を スタジオ生インタビューで紹介した他、展覧会や 祭りなどイベントのお知らせ、青果・鮮魚・花の 市場情報など、暮らしに密着した情報を伝えた。

#### 『新潟ニュース610』 G

月~金 18:10~19:00

県内のニュースや動きを記者リポートや記者解説,中継など交えて多角的に伝えた。インタビュー,スポーツ,ケーブルテレビ便りなどの企画コーナーの他,震災の避難者に福島のニュースを伝える「福島震災ニュース」を新設するなど,災害や原発事故に関するニュースを出し続けた。

#### 『金よう夜きらっと新潟』 G

金 19:30~19:55

**勇火** 11:05~11:30

東日本大震災の避難者の支援策や県内の放射能 汚染の実態などを取材した報道番組,県内で活躍 する人物にスポットをあてたドキュメンタリー, 新潟の豊かな自然・文化を伝える紀行番組など幅 広いジャンルの番組制作に取り組んだ。

#### 『新潟ニュース845』 G

月~金 20:45~21:00

県内の一日のニュースをコンパクトに伝えた。

#### 『新潟ラジオセンター』 R1

月~金 7:40~ 8:00

新潟の各分野で活躍する人が語る「朝の随想」 「防災メモ」のほか、気象情報、交通情報を伝え

#### 『新潟・きょうの 1 日』 R1

月~金 19:45~20:00

県内の1日のニュース・気象情報のほか, 地震や水害への備えを呼びかける「防災メモ」を伝えた。

#### (甲府局)

# 『もうすぐ山梨のおひる』 G

月~金 11:40~12:00

県内の美術館・博物館の紹介、自然や暮らしの楽しみ方、イベントPRなど生活関連情報を放送。また、「発信!ハートプラザ」コーナーで甲府局の制作番組や取り組みなどを広報した。

『まるごと山梨』 G 月〜金 18:10〜19:00 山梨の1日が"まるごと"分かるニュース情報番組として、日々のニュースや県内情報の充実を図った。

# 『ニュース山梨845』 G

月~金 20:45~21:00

1日の県内ニュースや気象情報をコンパクトに 伝えた。

『金曜山梨』G金20:00~20:33金曜夜8時のゴールデンタイムの特集枠とし

て、山梨が抱える社会問題、ヒューマンドキュメント、歴史・文化など、地域密着の多彩な内容を制作。また、県内を縦横に走る"道"を訪ねながら、地域の魅力を再発見する旅番組「甲斐道めぐり」も放送。11年度は、21本制作。

#### (横浜局)

#### 『FMサウンド☆クルーズ』 FM

月~金 18:00~19:00

神奈川ゆかりのゲストのトーク,ジャズ・クラシック・ポップスの音楽紹介,そして県内の鉄道沿線からの中継なども交え,地域の文化,魅力を伝えるとともに,子育て支援情報など暮らしに役立つ情報も発信。毎月第4水曜のジャズライブをはじめ,新会館1周年を記念した1週間の公開放送など多彩なイベントを実施した。

#### (前橋局)

#### 『トワイライト群馬』 FM

月~金 18:00~18:50

5人の女性キャスターが交代でディスクジョッキーを務める音楽・情報番組。ゲストを招き,群馬の歴史や文化についての話を聞いたほか,市町村の動きや話題,注目のニュースや生活情報などについて、リクエスト曲を交えて放送した。

#### 『ぐんま土曜広場』 FM

土 14:00~16:00ほか

群馬交響楽団の定期演奏会「群響アワー」のほか、草津と伊香保で行われた「ふれあい歌謡ステージ」「NHK学校音楽コンクール」などを放送した。

#### (水戸局)

# 『とれたて ワイド いばらき』 G

月~金 11:30~12:00

第1回09.4.2/料理や健康など暮らしに役立つ 生活情報に、リポートや中継をふんだんに交えて 伝える地域応援番組。ロビースタジオで公開生放 送,見学に訪れた小学生の学校自慢などを生き生 きと伝えた。また、「茨城魂!」関連情報をコーナー化して震災復興を応援した。

#### 『ニュースワイド茨城』 G

月~金 18:10~18:59

第1回09.3.30/その日の茨城県のニュースを中心に、徹底した取材と多角的な視点で背景や原因を追求し問題点や解決策を探っていくニュース情報番組。毎日、震災や原発事故関連の情報を出し続け、震災から半年や1年の節目では、スタジオ討論やシリーズ企画を集中的に放送した。茨城県の魅力度向上を探る企画などで地域振興にも努めた。

#### 『茨城ニュース845』 G

月~金 20:45~21:00

第1回04.10.1/茨城県のその日の出来事を, 気 象情報と併せてコンパクトに伝えた。

#### (千葉局)

#### 『ひるどき情報ちば』 FM

月~木 11:30~12:00 金 11:00~12:00

音楽と共に暮らしに役立つ情報を伝える番組。 月曜は「食」の情報,火曜は暮らしの情報,水曜 は地域の情報,木曜は観光情報,金曜は美術館・ 博物館情報を交通情報,気象情報と共に放送した。

#### 『まるごと千葉60分』 FM

月~金 18:00~19:00

文化・スポーツ・ビジネス・地域づくりなど、 県内のさまざまな分野で活躍する人へのインタビュー番組。ニュース、交通情報、気象予報士による気象情報コーナーと共に放送した。

#### 『チバ☆スタ・公開生放送』 FM

(年8回) 4.30ほか/土 14:00~16:00 千葉県にゆかりのある著名人をゲストに迎え、 千葉局のスタジオ(新会館では1階ロビー)で実施した公開生放送番組。毎回100人前後の視聴者が参加,成田での公開収録も含め1年間で計8回,放送した。

# (宇都宮局)

## 『とちぎ6時です!』 FM

月~金 18:00~19:00

県内で活躍する人へのインタビュー, アウトドアや健康など, 暮らしに役立つさまざまな地域情報やスポーツ情報, 記者によるニュース解説など多彩な情報を伝える地域情報番組。11年度は家庭の料理レシピを紹介する「電話で直撃!我が家の晩ごはん」, 県内の民話や昔話を朗読する「下野民話劇場」を新設。金曜は県内のプロスポーツチームの話題を中心に取り上げた。

#### 『とちぎマロニエパーク』 FM

最終土 14:00~16:00

音楽と地域情報を中心とした公開生放送番組。 年間5回放送。話題の人にインタビューする「マロニエカフェ」では夏の高校野球で活躍した作新学院野球部をはじめ、県内で活躍する多彩なゲストを招いた。主なコーナーは、祭り・イベント会場から中継する「マロニエ中継隊」、県内のミュージシャンが出演する「マロニエ音楽館」、季節のアイデア料理を紹介する「シェフの逸品」など。10月は「オータムジャズフェスタ2011」と題し、宇都宮局のスタジオからジャズの生演奏を届 けた。12年3月10日の最終回では、県域テレビ放送用の新しいスタジオセットで公開生放送を行った。

#### (さいたま局)

#### 『日刊!さいたま~ず』 FM

月~木 18:00~18:50

埼玉県を元気にするために、埼玉にゆかりのあるさまざまな人たちをゲストに迎え、生活の知恵や埼玉を楽しむ方法などを伝えるとともに、思い出の音楽などを伝えた。

#### 『週刊☆サッカー王国』 FM

金 18:00~18:50

「浦和レッズ」と「大宮アルディージャ」の前 節の分析と次節の展望を, 聴取者からの投稿メー ルとコメンテーターの解説を交えて伝えた。

## (2)特集・特別番組

#### (長野局)

#### 『信州わたしのおひさまスペシャル』 G

7.15/19:30~20:43

開局80周年特別番組として『連続テレビ小説~おひさま』に合わせ、激動の時代を生き抜いてきた信州の女性を通して長野県を見つめた。ホームページで展開した「母はおひさまフォトキャンペーン」と連動して投稿された母とのエピソードなどを取材。

# 『撮るしん。スペシャル〜至福の瞬間に出会う 旅』 G 12.9/19:30~20:43

信州の美しい風景の投稿写真を長野局のホームページで紹介している「撮るしん。」との連動で渾身の1枚にかけるカメラマンの姿を描くとともに、視聴者の投票でより心をとらえた写真を選んで、パソコンの壁紙カレンダーを作り、ダウンロードできるようにした。

#### 『温泉スペシャル』 G

2.17/19:30~20:43

長野県が全国に誇る豊富な温泉の魅力について 温泉の専門家をゲストにその効能や楽しみ方を紹 介。データ放送を使った双方向番組で視聴者にク イズ形式で番組に参加してもらった。

# 『NHK長野杯長野県小学生アルペン選手権大会』

E  $2.11/12:00\sim15:00$ 

野沢温泉スキー場で、小学生374人が参加して行われたアルペンスキー大会のうち、5・6年生の競技のもようを録画で放送した。

#### (新潟局)

# 『NHK新潟放送局開局80周年 NHKトキめき 王国 公開生放送!』 G

 $11.12/10:00\sim12:00, 14:00\sim16:00$ 

開局80周年を記念した4時間のテレビ公開生放送。特設スタジオに歌手やタレントを招き,歴代アナウンサーが大集合するコーナー,『NHKのど自慢』の過去のチャンピオンたちの熱唱コーナーなど,盛りだくさんの内容で視聴者に感謝の思いを伝えた。

# 『ラジオ公開生放送・世は歌につれ80年』 R1

11.13/13:00~17:00

開局80周年を記念した4時間のラジオ公開生放送。NHK新潟放送局が誕生した昭和6年から、その年を代表する1曲を選び、合計81曲の名曲の数々を来場者と共に楽しんだ。

# 『帰ってきたFMリクエストアワー〜前を向こう、元気を出そう!!』 FM

 $9.17/14:00\sim18:50$ 

ラジオを通して視聴者との結び付きを強めよう とNHK新潟放送局会館でラジオ公開生放送を行った。

# 『きらっと新潟拡大版~どう向き合うか放射能汚

楽』 G 10.21/19:30~20:43 コメどころ新潟に広がる放射能汚染の実態を独自調査, さらに食品検査態勢や汚泥処理の問題点などを取材で浮かび上がらせた。視聴者アンケート投票システムを駆使し、知事や識者と活発な討論を行った。

# (甲府局)

#### 『忍野村長選開票速報』 G

 $7.31/22:47\sim22:50$ ほか

# 『まるごと山梨 2011年末ハイライト』 G

12.26/18:10~19:00

 $12.27 \sim 28 / 18:00 \sim 19:00$ 

中継などを織り交ぜながら、山梨県のこの1年 を振り返った。

# 『もうすぐ山梨のおひる 年末スペシャル』 G

12.26~28/11:35~12:00

#### (横浜局)

# 『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気』 FM 7.9/14:00~16:00

7.9/14:00~10:0 広揺するため音楽を記

東日本大震災の被災地を応援するため音楽を通 して元気を届けようというジャズミュージシャン と協力し、会館ロビーで長時間のジャズライブを 公開収録番組として実施。神奈川県、東北地方、 そして全国に向けて放送した。

『FMサウンド☆クルーズ~NHK横浜スペシャル ジャズライブ』 FM 10.8/14:00~18:00 ジャズの町ヨコハマならではのイベント「横濱 ジャズプロムナード」に合わせ、2日間にわたっ て会館ロビーでジャズライブを開催し、このうち 1日目は4時間にわたるFM公開生放送を実施した。

#### (水戸局)

#### 『茨城スペシャル』 G

「原発事故 未来への提言」

 $7.15/20:00\sim20:43$ 

福島の原発事故から4か月。原子力と密接に関わってきた茨城県は今後どう向き合うのか。東海村村長をはじめ4人のキーマンへのインタビューから考えた。

「綱火 父から息子へ~筑波山麓・400年の祭り」 9.16/20:00~20:43

からくり人形と花火が織り成す幻想的な祭り・ 網火。筑波山麓で400年前から受け継がれてきた が、11年家元が交代。ひと夏の祭りにかけた親子 の物語。

「復興への願い 花火に込めて~生中継・第80 回土浦全国花火競技大会|

10. 1/19:30~20:43

「花火日本一」を決める土浦全国花火競技大会。80回目の11年、東日本大震災からの復興を願った花火が競演。鉾田市出身の磯山さやかさんを迎えて生中継で伝えた。

「"茨城 魂!" 復興支援シンポジウム~風評被 害にどう立ち向かうか」

DG1 11.27/14:00~14:59

原発事故で農業や漁業、観光業などに深刻な影響が出ている茨城県。知事をはじめ5人のパネリストが議論。今後どう立ち向かうのか、そのヒントを探った。

「新大関・稀勢の里 誕生〜郷土の期待背負っ た15日間」 12. 2/19:30~20:13

茨城県出身の力士・稀勢の里が大関に昇進した。 番組では、牛久や龍ケ崎で過ごした小中学校時代 のエピソードなどを交え、昇進を決めるまでの軌 跡を描いた。

「小澤征爾指揮 水戸室内管弦楽団演奏会」

DG2 / 1.19 / 19:00 ~ 20:50

病気療養のため水戸の舞台を離れていた小澤征 爾さんが2年ぶりに復帰。水戸芸術館で水戸室内 管弦楽団を指揮する演奏会のもようを演奏会終了 まで生中継した。モーツァルトやハイドンの曲 目。/指揮:小澤征爾/チェロ独奏:宮田大

「冬のおくりもの for your heart」

2.18/19:30~20:43

朗読コンサート「冬のおくりもの」。俳優の白 石美帆さんとピアニスト・加羽沢美濃さんをゲス トに水戸放送局アナウンサー・リポーターが多彩 な作品を朗読。作品は「140字の物語」や「坂の上の雲」など。

#### (千葉局)

#### 『NHK千葉・クラシックサロン』 FM

7. 9/14:00~16:00, 3.25/19:20~21:00 将来の活躍が期待される千葉県出身の若手演奏家が地元オーケストラと共演する「若い芽の $\alpha$ コンサート」と千葉県少年少女オーケストラがプロのピアニストと共演する定期演奏会を収録して放送した。

#### (宇都宮局)

# 『第21回ピアノコンクール入賞者演奏会』 FM

3. 3/14:00~16:00

栃木県総合文化センターで行われた「第21回ピアノコンクール入賞者演奏会」のもようを録音で放送した。栃木県内4つのピアノコンクールで優秀な成績を収めた小学生から社会人までの17組18人の若きピアニストたちの演奏を紹介した。

#### (さいたま局)

#### 『Jリーグさいたまダービー 浦和VS大宮』

FM

6.11/19:15~21:00 10.15/16:00~18:00

# 『埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会決

勝』 FM 12.23/12:45~14:00 サッカーを応援する放送局として、さいたま市 に本拠を置く「浦和レッズ」と「大宮アルディー ジャ」の直接対決や、小学生サッカーの埼玉県チャンピオンを争う大会を生中継。

# 『日刊!さいたま〜ずスペシャル〜支えよう東北 埼玉からの応援歌』 FM

埼玉、福島、宮城、岩手ブロック

11.14/14:00~16:00

震災被災者が避難している加須市から「共に頑張っていこう!」「被災地支援に向けて、できることから始めよう」というエールを発信し、復興に向けた希望を伝えた。宮城、岩手、福島のFMでも生放送したほか、ホームページと連動して応援メッセージを募集、紹介する双方向番組とした。

# 『週刊☆サッカー王国~開幕直前スペシャル』

FM 3.9/17:00~18:00 サッカーへの関心が高まるJリーグ開幕直前に、 「サッカー」をより一層盛り上げ・応援するため、 人気サッカー解説者をゲストに迎え、今シーズン の「浦和レッズ」「大宮アルディージャ」の展望 や戦術について熱く語ってもらった。

#### (各局共通)

### 『NHK全国学校音楽コンクール』

東京都 FM 小学校 8.29/ 9:15~11:15

決勝

G·FM/ 7.29

中学校 8.30/ 9:15~11:15

		中子仪	8.30/ 9:15~11:15		<del>次房</del>	G	· F IVI / 1.29
		高等学校	$8.31 / 9:15 \sim 11:15$	群馬県	準決勝		FM / 7.26
長野県	Ε		9. 3/12:00~13:54		決勝	Ε	· FM/ 7.27
			9. 4/14:00~16:09	茨城県	準決勝	G	· FM/ 7.27
新潟県	Е		8.26/14:30~15:51		決勝		· FM/ 7.28
701 100 211	2		8.27/10:00~11:15	千葉県	準決勝	0 1	FM/ 7.25
				一未乐		C ( \$PE)	
			8.27/13:00~13:32	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	決勝		· FM/ 7.27
	FM		$8.29/16:00\sim18:50$	栃木県	準決勝		$M / 7.26 \sim 27$
			$8.30/16:00\sim18:50$		決勝	G·E	· FM/ 7.31
			$8.31/16:00\sim17:00$	埼玉県	準決勝		FM/ 7.26
山梨県	FM	8,29~	9. 2/18:00~18:50		決勝	G	· FM/ 7.27
			9. 2/ 9:20~ 9:50	第56回全国		球選手権大会	
神奈川県	БМ		8.29 / 9:15~11:30	7000日玉日	1-3 1/2 1/2-3		FM/ 8.29
甲孙川东	1.101			<b>孙</b> 禾古坛昭	础. 旧上公		1.111/ 0.23
			14:00~16:21	秋季高校野			D1 (10 0
			8.30/ 9:15~11:00	長野県		戦・決勝	R1/10. 2
			$14:00 \sim 15:11$	新潟県	準決勝		R1/ 9.23
			8.31/ 9:15~11:30		3 位決定	<b>E</b> 戦	R1/ 9.24
群馬県	FM		9. 3/14:00~17:00		決勝		R1/ 9.24
茨城県	FM	小学校・高	等学校	山梨県	準決勝		R1/10. 1
<i>3</i> • <i>7 7</i> • • • • • • • • • • • • • • • • • • •			8.29 / 9:15~11:00		3 位決定	能	FM/10. 2
		中学校	8.30 / 9:15~11:00		決勝	-74	R1/10.2
1. 井旧	T2M		0.50/ 5.15 11.00	<b>张</b> E 旧			
千葉県	FM		- 10 /10 00 10 -0	群馬県	準決勝		FM/10. 1
			5~18/18:00~18:50	11. a 6 a = 1	決勝		FM/10. 2
			$5\sim17/10:50\sim11:50$	茨城県	準決勝		FM/10. 3
	FM	本選		秋季高校野	球		
		小学校	$8.20/14:00\sim15:40$	関東地区大	会		
		中学校	$8.20/15:40\sim17:20$		準決勝	宇都宮・さい	たま局
		高等学校	8.20/17:20~18:50				FM/11. 3
栃木県	FM				決勝 宇	都宮・さいた	
104 1 211	1 1,1	8.20∼ 0	2, 5/18:00~19:00		0 0,00	HP C 170	FM/11. 4
埼玉県	FM	高等学校の		北信越地区	$+\Delta$		1 W1/ 11, 1
拘卫尔	1.101	向分子仅少		石口险地区		1242年 1241年 12	1 /1015 10
		1 까나 스 하다	8.24/16:30~18:00			戦 長野局 R	.1/10.13~16
			$8.25/16:00\sim18:00$		準決勝		
		中学校の部	$8.26/14:00\sim18:00$		長野		FM) /10.22
3. スポ	゚゚゠ヅ゚゙	<b>力</b> 纵			決勝	長野馬	号 R1/10.23
J. X/		1 - 1/1675		(サッカー	)		
〔高校野球	求)			サッカーJ1	リーグ		
全国高校野	野球選	手権大会・地	1区大会	新潟×	神戸	新潟局	G/ 5. 3
長野県	進	々決勝	R1/ 7.23~24	甲府×	大宮	甲府局	G/ 5. 3
2427/1			(一部E) · R1/ 7.26	大宮×		さいたま局	FM/ 6.11
			(一部E)·R1/ 7.27	浦和×		さいたま局	FM / 10.15
华广河口日		-				-	
新潟県		々決勝	R1/ 7.24~25	甲府×		甲府・静岡局	
		決勝	$G \cdot E \cdot R1 / 7.27$	鹿島×		水戸局	G/11.26
	決		$E \cdot FM / 7.30$	甲府×	新潟	甲府・新潟局	
山梨県	準	々決勝	FM / 7.21	新潟×	名古屋	新潟局 G(	ナブ) /12.3
	準	決勝	E ⋅ R1 / 7.23	鹿島×	川崎	水戸局	DG1/ 3.17
	決		E ⋅ R1 / 7.24	サッカーJ2			
神奈川県		決勝	FM/ 7.28	•	FC東京	前橋局	FM/ 5.14
17/35/112	r +	V <13/4	1 1/1/ 1,20	++· /	1 0/1///	194 The Co.	1 1/1/ 0.17

401 NHK年鑑'12

水戸×FC東京	水戸局	DG2/ 6.25
千葉×草津	前橋局	FM/10.16
水戸×草津	水戸局	DG2/10.30
水戸×栃木	水戸局	DG2/11.20
草津×栃木	前橋・宇都宮局	FM/12. 3
甲府×栃木	甲府局	G/ 3.4
松本山雅×北九	.州 長野局	G/ 3.17

天皇杯全日本サッカー選手権 地区大会

長野県決勝長野局G / 8.28新潟県決勝新潟局G / 8.28山梨県決勝甲府局G / 8.28茨城県決勝水戸局DG2 / 8.28

第91回天皇杯全日本サッカー選手権 4回戦

水戸×FC東京 水戸局 DG2/12.17 埼玉県第4種サッカーリーグ選手権

決勝 さいたま局 FM/12.23

## (ラグビー)

トップリーグ

パナソニック×神戸製鋼

前橋局 FM/ 1.22

#### (バスケットボール)

biリーグ

信州×富山 長野局 G/ 2.26

Wリーグ

新潟×アイシンAW 新潟局 G/10.8 新潟県高等学校総合体育大会バスケットボール

男子・女子決勝 新潟局 G (サブ) / 6.5 WIBL・女子バスケットボール W1リーグ

山梨×東京 甲府局 G / 2. 4

#### 〔プロ野球〕

BCリーグ

新潟×富山 新潟局 R1/9.25

#### (その他のスポーツ)

NHK長野杯長野県小学生アルペン選手権大会 長野局 E/2.11

# Ⅱ. 技 術

#### (長野局)

7月25日の午前 0 時に美ヶ原アナログ放送機を 停波させ、1957年以来の長野県内アナログテレビ 放送網119局は運用を停止し、地上デジタル放送 に完全移行した。また、アナログ放送終了に伴う 周波数再編成作業では、岡谷諏訪・大町・麻績・ 木曽福島・須坂東局のチャンネル変更についてデ ジサポと連携し、全15チャンネル(NHK 7 チャ ンネル)全て完了した。放送網の安定運用に鑑み 放送機の 2 台化工事を山ノ内・塩尻東局において 実施したほか、白馬R・岡谷諏訪FM・栄村FMに おいて放送機の更新、駒ヶ根ラジオ・木曽福島ラ ジオ局で自家発電装置の更新を実施した。

- ・7月24日、アナログ終了に向け告知スポット及び常時スーパー、カウントダウンを実施。24日 正午には番組を終了。その後ブルーバック画面 から25日の午前0時にはアナログ停波。
- ・中信、南信(諏訪、飯田)の天気カメラのハイ ビジョン化及び報道室伝送設備・FPU基地の ハイビジョン化更新を実施。
- ・『連続テレビ小説~おひさま』の放送に合わせ、 ロケ地安曇野にお天気カメラ設置。
- ・地上デジタル放送代用装置を美ヶ原基幹放送所 に整備しバックアップ体制の強化。
- ・携帯電話mova終了に伴う携帯電話網の変更整 備実施。
- ・衛星電話システムb-canスタート
- ・今期プロバスケットリーグ入りしたbjリーグを 放送。

#### (新潟局)

地上デジタル放送移行の最終年として、視聴者に向けたアナログ放送の終了周知活動を重点的に実施し、大きな混乱もなくデジタル化移行を完遂した。混信や長距離伝搬による電波障害対策として、佐渡地区でのリパックと越後湯沢地区の固定回線を整備。NHK共聴施設では、大規模改修工事(光化更新)を4か所で実施し、電波の安定確保に取り組んだ。7月の記録的な豪雨では、データ放送を利用することで「河川水位情報・避難情報」を提供し、減災報道に成果を上げた。

3-Screensへの取り組みとして、IP 投票受付システムを使ったアンケートとメッセージスーパーを利用した双方向番組を10月に実施した。

視聴者満足度の向上につながる活動として、開局80周年イベントにおいて、技研機器展示や3Dテレビ体験会を行った。また、CS活動では、出前授業を佐渡地区で実施。9校約300人の生徒が受講した。

#### (甲府局)

7月24日のアナログ放送の円滑な終了に向けて、情報番組内で早期の移行を呼びかけたほか、PRスポットの放送や、終了お知らせスーパー、カウントダウンスーパーを実施した。また、当日は特別体制で相談対応を行った。アナログ放送終了後は、43か所の送信設備で停波処置を行うとともに、新会館への移転に伴う送信設備工事を基幹局や固定局等で行った。暮らしの安全・安心を守り公共放送の機能を最大限に発揮するため、ニュ

ースカーの更新やCSKの機能改善、富士吉田ロボットカメラのハイビジョン化更新を行い、緊急報道における迅速性と機能向上を図った。『NHK歌謡コンサート』『NHKのど自慢』『ベストオブクラシック』などの公開番組を行い、山梨の視聴者との結び付きを深めた。

視聴者に開かれた放送局を目指し、JR甲府駅前に移転する新会館の建築工事を12月に完了した。12年5月のオープンに向けて放送設備の整備と運用試験などの準備を順調に進めた。

#### (横浜局)

11年度は、東日本大震災の余震が続く中、神奈川県知事選を含む統一地方選挙の政見・経歴放送および開票速報で始まり、台風や大雨の中継、ヘリコプター墜落事故、火力発電所での火災など、緊急報道への対応を迅速・的確に実施した。

10年11月にオープンした新しい放送会館では、ゴールデンウィークと1周年にあたる11月に会館を一般に公開したほか、中継車やハイスピードカメラの展示や、公開放送を含むさまざまなイベントを開催し、視聴者サービスに努めた。

7月9日には、震災復興を音楽で支援しようと、『ヨコハマから届けよう、ジャズの元気』と題し、参加アーティスト約60人、イベント開催7時間の公開収録イベントを実施し、FM番組として神奈川県および東北地方にこのもようを届けた。また、全国放送にも展開し、神奈川県からの情報発信を強めた。

地デジ難視対策整備では、箱根強羅、小田原東の中継局を新規整備し、神奈川県内の中継局数は33局となった。また、難視地区解消のため横須賀武中継局の送信出力の増力およびアンテナ面追加を実施した。これらの送信対策により、小田原市、南足柄市、三浦市、箱根町の8地区2,300世帯で地デジ難視が改善した。

局内体制では、アナログ放送終了前の7月10日より横浜放送局内に「アナログ放送終了特設コールセンター」を設けて、視聴者からの問い合わせに万全の態勢で取り組み、混乱することなくアナログ放送の終了を迎えた。また、アナログ放送終了後は、アナログテレビ中継局の設備撤去を実施し、11年度は平塚中継局をはじめ12局のアナログ中継局の設備撤去を完了した。

#### (前橋局)

放送の完全デジタル化については、総務省テレビ受信者支援センターや推進協議会等との連携により、群馬県内では大きな混乱もなく7月24日をもってアナログ放送を終了することができた。ま

#### (水戸局)

完全デジタル移行に向けて、新たな難視約1万世帯を実対策と暫定対策に導いた。アナログ放送終了後には、筑波中継局(DG単独局)の送信抑制解除、日立中継局のEテレ混信解消に向けたリパック対策。県西部の隣県受信対策を実施した。

番組では『茨城Jリーグアワー』『土浦花火大会』『水戸室内管弦楽団定期演奏会』をマルチ編成放送で実施し、視聴者の多様なニーズに応えた。「茨城魂!」PJでウェブ投票と携帯動画配信を試行し、季節ロボカメは「鵜の岬」「日立かみね公園」「偕楽園」に拡大、袋田の滝カメラはIP伝送化した。

設備では会館空調冷凍機,FM調,番組用ノンリニア編集機,開票速報スーパー作画装置,スポーツディスプレイ装置,HVスキップバックレコーダ,非在局素材伝送リモコン,会館・水戸デジタル放送所・十王中継局の自家発始動用蓄電池,山方中継局・日立神峰固定局・筑波固定局のBF蓄電池,北茨城FM放送機などを更新し,新たにニュース動画配信設備を整備した。また,HV中継車がさいたま局から移転配備された。会館公開では中継車公開,キャスター体験,「超高感度カメラ」等の展示で技術広報した。

#### (千葉局)

デジサポ千葉をはじめとした内外の関係組織との連携を一層強化し、地上デジタル放送の普及促進や難視対策を加速したことで、7月24日に混乱無くアナログ放送を終了することが出来た。

千葉県内の地上デジタル中継局は、11年度末までに23局所が開局し、安定運用を行っている。NHK共聴施設は、11年度に県内で地デジ導入対象となっている全88施設のデジタル化が完了した。一方、県内42市町村の約3万5,000世帯で地

デジの新たな難視が確認され、8局の新規難視対 策中継局設置を計画化するとともに、受信対策提 案地区については説明会等を開催し、対策手法に ついての合意形成を図った。

新千葉放送会館建設は、09年12月の建築着工以来、11年5月末の竣工を目指して工事を進めていたが、11年3月に発生した東日本大震災の影響で約1か月半工期が延長となり、11年7月19日に竣工式を行った。建物竣工後は、新規整備となる放送設備整備工事を実施し、12月5日に旧放送会館からの放送機能切替作業を行い、新会館への移転が完了した。

放送の安定送出と電波確保のため、定期点検の 確実な実施と基本事項の徹底を図り、人為的な放 送事故ゼロを7年間継続した。

#### (宇都宮局)

11年度は、7月24日のデジタル移行を受けてアナログ設備の撤去を進める一方、セーフティネットによる仮衛星対策を行っている地域に対する恒久対策を進めるため、6つの地上デジタル中継局を開局した。デジタル難視については12年度以降も置局による恒久対策が必要なため、置局位置の検討、土地交渉、地主交渉も含めて12年度以降の計画策定を実施した。

受信関係では、11年度もデジサポ、県をはじめ自治体と良好な関係を保ちながら、さまざまな受信対策を推進した。また、県北部の難視地域に向けた対策では、NTTの光ファイバーの利用や、野岩鉄道の協力による線路脇への添架など、あらゆる可能性を検討し、難視解消に向けて取り組んだ。

デジタル移行が完了し、県域テレビ放送開始に向け急ピッチで動き出した年度でもあった。11年度は運用に対する訓練、習熟を重ねながら、万全な体制の確立に向けて技術部全体で取り組んだ。

12月9日,電波監理審議会で放送普及基本計画の関東広域圏から群馬,栃木を除く内容の答申があり,正式に県域テレビ放送の開始が認められた。総務省において設備変更届けも受理され、中継放送所から基幹局となる準備が整った。演奏所設備を運用するためのカットオーバーを11年度末に実施して、12年4月からの県域テレビ放送開始に向けた準備が完了した。

#### (さいたま局)

地デジ完全移行に向け、11年6月末までに、 NHK共聴、自主共聴、集合住宅共聴、受信障害 対策共聴等ほぼ全ての共聴施設についてデジタル 化整備の完了を確認した。戸建て住宅については、 県内85万世帯を対象に、テレマによるデジタル化確認を行い、11年7月24日のアナログ終了を無事乗り切った。デジタル化が困難な約3,800世帯は、暫定的に地デジ難視対策衛星放送(セーフティネット)による受信対策を実施しているが、各関係団体と連携して住民説明を行い、恒久対策計画を策定した。

児玉中継局で気象条件により発生する映像乱れ (フェージング障害)を改善するため、これまで の東京タワーの放送波を受信する方式から自営無 線回線方式(別ルート)に変更し新設した。

アナログ放送終了に伴い不要になった大滝テレビ中継放送所を全面撤去し、秩父、児玉、小鹿野テレビ中継放送所のアナログ放送設備を撤去した。

地上放送の完全デジタル化に伴い,埼玉県知事 選挙の政見放送をハイビジョンで収録し放送し た。秩父市での鉄道事故,川越市での現金輸送車 襲撃発砲事件等の緊急報道を迅速,的確に伝えた。

設備面ではFM放送用の制作設備,送出設備の 全面更新を行った。また,ニュースカーの更新と 汎用ロボットカメラのハイビジョン化更新を行っ た。

# Ⅲ. 視聴者

# 1. 広報

#### (長野局)

安曇野・松本が舞台となった『連続テレビ小説 ~おひさま』の放送に合わせて、出演者をゲスト にしたトークショーやファン感謝祭などのイベン トを放送と連動して実施。ホームページでは、ド ラマへの思いや感想を書き込んでもらう投稿サイ ト「おひさまにあ」、ドラマのテーマの一つでも ある母とのエピソードをつづる「母はおひさまフ ォトキャンペーン | を展開し、ドラマを生かした 地域情報の発信につなげた。長野局のホームペー ジで信州の風景を紹介する写真投稿サイト「撮る しん。」には番組との連動があった時、月間で最 高60万件を超えるアクセスがあり注目を集めた。 「撮るしん。」には、11年度に4,222枚の写真が寄 せられ、このうち1,654枚をホームページで紹介 した。局内見学は、小学生の団体は151件・6.903人。 一般団体は37件・880人だった。

#### 〔新潟局〕

開局80周年事業の一環として、会館のろびース タジオとハートプラザをリニューアル。小さな子 ども連れの家族を対象に、キッズスペースを充実させ、1年間で1万1,494人の来館者を得るなど、新たなNHKファン層の開拓に努めた。

ホームページは、『新潟ニュース610』のコーナー企画「旬わがまち」と「新潟山景色」を動画で配信。視聴者からの投稿写真を紹介する「わたしの旬」は3年目に入った。

番組との連動では、『金よう夜 きらっと新潟』や「80周年テレソン」の意見募集をホームページで行うなどにより、新潟局ホームページの年間アクセス数は117万ページビューとなった。また、プロ野球独立リーグ「BCリーグ」のラジオ中継をブログでも伝え、視聴者の番組参加を図った。

#### (甲府局)

完全デジタル化に向けて民放と合同で地元新聞に周知広告を掲載した。また、地デジ大使となっているアナウンサーが民放アナウンサーと一緒に周知スポットに出演して準備を呼びかけた。甲府局の広報冊子「よってけし」を作成し、イベント等で配付した。ホームページにサッカー「ヴァンフォーレ甲府」の応援サイトと12年5月にオープンする新放送会館情報サイトを立ち上げた。また、新放送会館をPRするグッズやシールを製作した。地域情報番組『もうすぐ山梨のおひる~発信!ハートプラザ』では職員が番組や事業活動・情報について紹介した。「ふれあいミーティング」の実施は26回、参加者数は309人。

#### (横浜局)

新放送会館オープン後、初となる「会館公開2011」を大型連休中に開催。キャラクターショー、お天気講座など多くの家族連れでにぎわい、3日間で4,500人が来場した。また、1周年を迎えた11月に、地域の人々への感謝の気持ちを込めた「オープン1周年感謝祭」を開催。地元中学校吹奏楽部の演奏や大道芸など地域の人々のパフォーマンスで盛り上がり、2日間で6,100人が来場した。

年間を通してハートプラザ,アトリウムを活用したイベントや展示を実施し,1月にはオープンからの来館者が10万人を超えた。

#### (前橋局)

11年12月9日の電波監理審議会の答申を受け12年4月から群馬県向け県域テレビ放送を開始することになった。これを受け、広く群馬県民に対して事前に放送開始告知や新番組の紹介などの周知広報活動を行い、県民の視聴行動の定着化を図った。電車のラッピング、中づり広告、ホームページの特設サイト、デジタルサイネージなど多くの

媒体を活用した。

#### (水戸局)

復興応援キャンペーン「茨城 魂!」の一環として制作した「茨城のうた」を、ホームページを最大限に活用した県民参加型企画として展開したところ、最終選考のウェブ投票サイトには12万件を超えるアクセスがあり、水戸局のデジタルサービスの認知度向上にもつながった。

県内鹿嶋市出身の塚原ト伝を主人公とする『BS時代劇』の放送と合わせ、地元自治体や『BSコンシェルジュ』の初の公開収録などとも連携した積極的な広報活動を展開し、BS契約推進にも大きく貢献した。

会館ロビーのデジタルテレビコーナーを3Dや データオンラインを楽しく体験できるようにリニューアルし、好評を得て来館者数も増加した。

#### (千葉局)

12月に新会館がオープンし、1階ハートプラザには、FM生放送が見学できる「サテライトブース」、103インチの大型モニターをバックにした公開番組・イベントを行うスペース、オンデマンド、番組公開ライブラリー、独自のデジタルコンテンツを整備した。12月から3月までの4か月間で新放送会館へ訪れた方は、1万3,000人を超えた。「公開ホームページ」では、千葉県内における情報発信を強化する施策の一つとしてツイッターを始めた。

#### (宇都宮局)

12年4月からの県域テレビ放送開始に向け、新たにご当地「いちごどーもくん」を製作し、既存の「いちごななみちゃん」と共に、着ぐるみや広報グッズ、ポスター等に活用して県域テレビ放送の周知・広報に努めた。

12年1月には「県域テレビ放送開始記念パーティー」と題したホームページコンテンツを立ち上げ、栃木県に縁のある著名人や県民からのメッセージ動画、県内のおすすめスポットを紹介した。

また、12年3月には地元新聞社やタウン誌を対象に新番組の記者発表会を開催し、新しいスタジオセットやアナウンサー・キャスターを紹介した。

#### (さいたま局)

東日本大震災に伴う埼玉への避難者や、被災地の人々を応援する"きずな"プロジェクトの一つとして、11月19日・20日に加須市で、さいたま局をより知ってもらうクイズや紙コップに東北応援メッセージを書いた「こいのぼり」のオブジェ制作などを行うイベントを実施した。また、3月には、「新日本風土記」を題材に地元ゲストと共に

秩父の魅力を再認識する「ふるさと・秩父を語る」を実施した。

2月8日に、さいたま局ホームページを必要な情報に分かりやすくアクセスできることをコンセプトに全面リニューアルを行った。また、同時に視聴者からの投稿写真で作るサイト埼玉鉄道風景写真ブログ『てったま!』を立ち上げた。

#### 2. イベント事業

#### (長野局)

『NHKのど自慢』を含め11本の全国放送公開番組を実施。ほかに、『連続テレビ小説〜おひさま』の「ふれあいトークショー」、ファン感謝祭「おいでなさんし♪ "おひさまつり"」をドラマの舞台となった安曇野市、松本市で開催し、ドラマの放送を通じて地域とのつながりを深めた。また、「NHK長野杯小学生アルペン選手権大会」(1.29)などで地域に根ざしたスポーツイベントと連動した視聴者活動を行った。

#### (新潟局)

新潟局開局80周年を記念して、視聴者の皆さんに日頃の感謝の意を込めて、多彩なベントを展開した。メインイベントとなる「NHKトキめき王国〜テレビだ!ラジオだ!イベントだ!」(11.12〜13、新潟市)では、約10時間に及ぶテレビ・ラジオの公開生放送のほか、『忍たま乱太郎』『はなかっぱ』のキャラクターショーや気象キャスターによる「お天気セミナー」、最新番組技術「スーパーマルチモーション」の体験などを実施し、2万5,000人の来場があった。その他、「大河ドラマ50の歴史展」(8.18〜29、新潟市)や「NHKスペシャルドラマ『坂の上の雲』公開セミナー」(10.8、小千谷市)など年間を通じて記念イベントを展開した。

全国放送公開番組では、『NHKのど自慢』(5.8, 魚沼市)、『スクールLive Show for teens』(11.26, 見附市)を含め7本を実施したほか、「わたしの 尾瀬」写真展は上・中・下越、佐渡の県内8か所 で開催した。

#### 〔甲府局〕

全国放送公開番組は『NHKのど自慢』(7.17, 甲府市)、『NHK歌謡コンサート』(8.30, 甲府市)など6本を実施。企画イベント「NHK朗読シアター」を継続実施し、総合テレビ、ラジオ第1で県域で放送したほか、「環境キャンペーンイベント」や「NHKこども音楽クラブ」「NHKジュニア野球教室」など親子を対象にしたイベントを数多く実施した。また、美術展「モーリス・ドニ

いのちの輝き、子どものいる風景」を山梨県立美術館と共催し、1万2,000人を超える来場者があった。

すっかりおなじみとなった甲府局キャラクター 「しんげん君ファミリー」のステージショーを県 内イベントとして実施したほか、幼稚園・保育園 でのミニ番組も制作し、継続して県域で放送した。

#### 〔横浜局〕

全国放送公開番組は、新会館1周年記念イベントとして隣接する神奈川芸術劇場で実施した『NHKのど自慢』や『大!天才テレビくん』をはじめ、県内で計11本を実施した。このほか、受信料支払者限定の「モノランモノラン小劇場」を3本、ケーブル事業者との共催イベントを5本実施した。

また、ジャズの町ヨコハマならではの「震災復興応援ジャズライブ」や地域の大型ジャズイベントと連携した『NHK横浜スペシャルジャズライブ』をいずれも新会館ロビーで公開放送として実施した。

10月から3月にかけては、11月の会館公開を中心に、さまざまな新会館1周年記念イベントを県内各地で展開した。

展覧会では、「横浜トリエンナーレ」(横浜市)や「生誕100年~人間・岡本太郎展」(川崎市)などを開催した。

#### (前橋局)

東日本大震災の影響で4月のイベントは中止となったが、『ドゥ!エアロビック』(5.7、前橋市)、『公開・すこやか長寿』(7.3、前橋市)、『NHKのど自慢』(9.18、桐生市)、『歌謡チャリティーコンサート』(10.14、前橋市)、『オンバト+』(1.28、高崎市)などの全国テレビ向け公開番組とラジオ向けの公開番組も多数実施した。どの会場も盛況であり、NHKに対する理解促進につながった。

また、視聴者とのつながりを深めるために、会館公開「ふれあい広場2011~放送局であそぼう」を11月に実施し、多数の家族連れに来場いただいた。これらのイベント等には「ご当地どーもくん」を派遣し、NHKに対する親しみやすさの向上に努めた。

#### (水戸局)

全国放送公開番組は『NHKのど自慢』(5.4, 結城市),『それいけ!民謡うた祭り』(2.3, 小美玉市)など,計7本を実施した。

地域独自のイベントでは、震災復興応援キャンペーン「茨城 魂!」と連動し、被災地に元気を届けることを最優先に「マギー審司の"笑顔を届

ける"ミニステージ」(6.11, 北茨城市) や「"ハルカとミヂカ"~最先端と身近な機材で触れる宇宙」(8.27, 高萩市) などを実施したほか, 復興応援ソング「茨城のうた」を各地のイベントで披露し、多くの県民から好評と共感を得た。

恒例となったアナウンサーの朗読コンサート「冬のおくりもの」の公開収録(2.4、水戸市)や会館公開イベント「わくわくテレビNHKキッズパーク」(3.24~25)も継続実施した。いずれも従来以上に多くの来場者でにぎわい、地域放送局として存在感をさらに高めることができた。

#### (千葉局)

3月11日の東日本大震災による液状化や、施設の余震による耐震性の安全が確保できないことを考慮し、4月28日に浦安市で予定した『BS日本のうた』など3つの事業を協議のうえ中止とし、2つを延期した。こうした中で6月以降に全国放送公開番組11本のほか、営業推進では、大学セミナー(6.15、東邦大学)、CATVキャラバン(12.11、市川市)や、支払者限定「モノランモノラン小劇場」(9.10、白井市)、「ポコポッテイト小劇場」(1.9、千葉市)を実施した。

年間を通して視聴者から投稿された千葉の音を素材にした「聞えてくるよ!千葉の音」(10.15,千葉市),1,000人を超えるサッカー少年が参加した「NHKちばサッカーフェスタ」(12.4,千葉市)など千葉ならではの独自企画はじめ,10月以降は新放送会館オープンの広報を含めてさまざまな活動を展開した。オープンした12月は、会館公開はもとより、ロビーホールで「N響四重奏コンサート」(12.10)、日本赤十字社と共催した「海外たすけあいイベント」(12.11)や公開番組を集中して実施して、およそ5,300人の来館があった。

#### (宇都宮局)

『ごきげん歌謡笑劇団』(矢板市),『BS日本のうた』(宇都宮市),『吹奏楽のひびき』(大田原市),『FMシンフォニーコンサート』(宇都宮市),『夏期巡回ラジオ体操』(足利市)などテレビ・ラジオ合わせて9本の全国放送公開番組を実施した。また、3月には県域テレビ放送開始記念として、宇都宮市生まれのジャズ評論家・野口久光さんをテーマにした特別展「野口久光グラフィックワークジャズとシネマの黄金時代」を開催するとともに、『ミヤ・ジャズPREMIUM』公開収録(宇都宮市)を実施し、県域テレビ放送の周知・広報に努めた。

#### (さいたま局)

『ごきげん歌謡笑劇団』(5月,入間市),『NHK

のど自慢』(8月,三郷市)など、全国放送公開番組13本に加え、『支えよう東北 埼玉からの応援歌』(11月,加須市)や『週刊☆サッカー王国開幕直前スペシャル』(3月,さいたま市)など、埼玉にこだわり、その魅力に迫る事業活動を展開した。「めざせ!直実マスター~ゼロから学ぶ熊谷直実」(2月,熊谷市)では、多くの小学生が、参考書代わりとなるプログラムを手元に、クイズを通して地域の英雄「直実」に迫った。その様子はFMで紹介したほか、ホームページにもクイズを掲載するなどした。

# 3. 営業

「平成21~23年度NHK経営計画」の最終年度 にあたる2011年度は、東日本大震災に関連した災 害免除の対応、アナログ放送終了への対応など、 営業現場を取り巻く環境が大きく変化する中、業 績確保と理解促進のためさまざまな営業活動を展 開した。

関越ブロックでは、東日本大震災の被災地を抱える局所の業績をカバーすべく、独自に「衛星契約増加」「契約総数増加」について、当初目標に上積みした「絆目標」を設定。年間を通して「絆目標」達成に向け、訪問対策要員の生産性・取次品質向上への取り組み強化や法人委託の拡大を図った結果、5局・センターが両方の「絆目標」を違成した。また、14局・センターが全目標(実行目標)を達成したほか、ブロック計でも全目標を達成し、全国業績を牽引する責任を果たした。

民事手続きによる支払督促の申し立ては,支払 督促の拡大による未収者の削減と放送受信契約の 締結拒否者に対する民事訴訟提起を継続して実施 した。また,確定者に対しても強制執行を継続し て実施した。

危機管理については、営業系セキュリティガイドラインと個人情報保護の徹底、事件・事故防止のため「NHK倫理・行動憲章」に基づくコンプライアンスの徹底を図った。

# 中部

- ◇東日本大震災に関する番組を多く制作したほか、中部独自の震災キャンペーン「忘れない未来のために」を展開し、防災情報などの1分ミニ番組を随時放送したほか、3月に『忘れない未来のために』を放送、中部地方における防災の課題や復興支援などについて紹介した。
- ◇中部地方に大きな被害をもたらした台風12号や 15号に関して、地域向け特設ニュースやデータ 放送などで被害状況や避難情報などを伝えた。
- ◇富山県高岡市伏木で行われる相撲大会を題材に した地域発ドラマ『港町相撲ボーイズ』,離婚 をテーマとした『幸せのかたち』,真珠湾攻撃 で日本人捕虜第1号となった男性を描いた『真 珠湾からの帰還~軍神と捕虜第1号』,岐阜県 白川郷を舞台にした『家で死ぬということ』な どのドラマを制作した。

# I. 放 送

# 1. 放送の概要

#### (名古屋局)

"地域に役立つ""地域の文化を育てる""地域 から信頼される"放送局を目指して、多彩な地域 放送サービスや番組の全国発信を展開した。

東日本大震災は、愛知県にもさまざまな影響を及ぼした。震災直後の4月には、2回にわたって『ナビゲーション~東海北陸 広がる震災の波紋』『ナビゲーション~未曽有の被害 求められる支援は』を放送。その後も、原発問題、被災者支援、電力不足など直面するさまざまな課題や、想定される東海・東南海・南海の3連動地震に備え、防災・減災に向けた企画を『おはよう東海』『ほっとイブニング』『ウイークエンド中部』などのニュース報道番組で継続的に取り上げた。6月の浜岡原発の停止にあたっては『ナビゲーション~緊急報告 浜岡原発 停止の波紋』を放送し、『クローズアップ現代』にも展開した。

また、名古屋局制作の全国放送番組『めざせ!会社の星』『中学生日記』でも震災関連の企画を放送。さらに3連動地震に向けて『NHKスペシャル〜巨大津波が都市を襲う〜東海 東南海 南海地震』を制作した。12月からは、地域独自の震災キャンペーン「忘れない 未来のために」をミニ番組を中心に展開。震災1年後の3月には、3

部構成の特集番組『忘れない 未来のために』を 放送した。

三重県知事をはじめ愛知・三重・岐阜の県議, 市町村長の選挙が行われた統一地方選挙や衆議院 愛知6区の補欠選挙にあたっては公平・公正な選 挙報道に努めるとともに,迅速で正確な開票速報 を実施した。

三重県や和歌山県に大きな被害をもたらした台風12号や109万人を超える名古屋市をはじめ、東海地方の住民に避難指示等が出た台風15号に際しては、テレビ・ラジオの地域向け特設ニュースや逆L字スーパー、データ放送、インターネットなど多様な回路を通じて情報の提供に努めたほか、台風12号関連の『NHKスペシャル~緊急報告記録的豪雨の衝撃』に制作参加した。

自動車業界をはじめ、地域経済や産業に大きな 影響を及ぼした歴史的な円高やタイの洪水につい て、『ほっとイブニング』の企画や『ナビゲーション〜自動車産業 超円高の衝撃〜中小企業に何 が』などで多角的に取り上げた。

中日ドラゴンズのセ・リーグ2連覇を受けて、 特集番組『中日セ・リーグ連覇への軌跡~落合監 督が語る"オレ流"』を放送した。

6年目を迎えた『金とく』は、「旅と大自然」「地域情報とドキュメント」の2つのテーマのもと「山旅のススメ~花かおる 御在所岳へ」や「大人の夏の大冒険~カヤックで木曽川に挑め」「SKE48の新・明るい農村」「ドロボウを追い払え!金とく流・防犯のススメ」「うわさの自然エネルギー その最前線を探れ」などを放送。

また、愛知用水完成50年に合わせ『情報フレッシュ便 さらさらサラダ』と連動して「愛知用水一直線~谷本歩実が歩く112キロ」を放送した。

地域特集は、地元アーティストがワンマンライブ枠を目指して競った『サタテンMUSICグランプリ』、名古屋の民放FMのZIP-FMとのコラボレーションで収録を行った『サタテン コラボスペシャル』『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー』などを中心に展開した。

名古屋局制作の『中学生日記』が11年度で放送開始50年を迎えたため、主題歌をスキマスイッチが歌う「石コロDays」に変更するとともに、「台本のタネ募集」や「発掘!全国"ナイ中"図鑑」など現役中学生の本音を生かした番組制作に取り組んだ。また、「神様検索」や「50年アンコール」などの特別企画に加え、全国特集番組『誰もが中学生だった~中学生日記50年クロニクル』を放送した。さらに『中学生日記』は11年度をもって終

了したが、最終回は「最終回スペシャル "命"」 を拡大版の60分枠で放送した。

『めざせ!会社の星』は、地元大学や商工会議所等の協力を得て公開収録を行うなど、地域に根付いた取り組みを行った。また、中部ブロックの先行放送において、クイズ形式の番組連動型データ放送を10年度に引き続き実施した。

ドラマでは、『土曜ドラマスペシャル〜真珠湾からの帰還〜軍神と捕虜第一号』や『土曜ドラマスペシャル〜家で死ぬということ』のほか、『特集オーディオドラマ〜空の防人』を制作した。

ラジオ第1放送の『ゆきねえの名古屋なごやか 喫茶』では、名古屋の魅力を全国に発信した。

#### (金沢局)

放送や公開番組等を通して、地域に元気を届けるとともに、地域の魅力を県内にとどまらず、全国、世界へ発信した。

1年間定点観測で"奥能登"を見つめた『新日本風土記』では、『金とく北陸スペシャル』や夕方の『かがのとイブニング』の企画、5分ミニ番組としてローカルでも放送した。また、金沢の芸妓の世界を描いた『にっぽん紀行』では、NHKワールドTVを通して世界に発信するなど、金沢発全国番組を多角的に展開した。

昼前の生活情報番組では、30代主婦層をターゲットに大幅に刷新し、『お~い!ことじろう』をスタート。ホームページでの動画配信にも取り組んだ。平日午後6時台の地域情報番組『かがのとイブニング』では、ユッケ食中毒事件や東日本大震災からの復興、防災に役立つ企画など、地域の出来事や課題を積極的に取り上げるとともに、好評の県内キャラバンを継続して実施した。

特集番組では、気になるうわさ話を検証し県民性を浮き彫りにした若者向け番組『真相回転!どいね寿司』が大きな反響を呼び、ブロックと全国でも放送した。

また、『徹底討論 石川の課題』では双方向データ放送も活用し、14年度末の北陸新幹線金沢開業を地域の活性化に生かす方策を探った。ラジオでは『石川朗読ひろば』を2回公開収録し、地域との結び付きの強化を図った。

#### (静岡局)

昼前情報番組『しずおか情報ランチ』で月1回放送(10本)した「春風亭昇太とゆく!しずおか城めぐり」は、ネットへの動画配信など3-Screens展開にも寄与したほか、3月には総まとめとして管中番組『金とく』で放送。『ナビゲーション』では、時節を捉えた原発停止の波紋、企

業の地震対策などを検証。静岡の「いま」「旬」をキーワードに地域の動きやトピックを深く掘り下げて取り上げる『静岡流』を7本制作。がん医療、伝統芸能、防災、地域文化など幅広い分野に及んだ。

8月には、『きょうは一日 まるごと!富士山』 として全国放送とも連携しながら1日を通して富士山山頂からの中継を実施、富士山の魅力を伝え た。

FMでは、大学生との共同制作番組を継続的に制作、TVスペシャルとして、静岡文化芸術大学で公開収録を行った。『たっぷり静岡』は、公開キャラバンを2回実施、震災キャンペーンとも連携し多様な話題を発信した。

#### (福井局)

国内最多の原子力発電所が設置されている福井県。関心の高い原発に関する情報をニュース・番組で県内外へ詳細に伝えた。『ナビゲーション』のほか『かんさい熱視線』(近畿ブロック・福井県域)でも原発をめぐる情報を伝え、関西の視聴者の関心にも応えた。

1986年に発生した女子中学生殺害事件の再審開始について、『ニュース』や『クローズアップ現代』で多角的に伝えた。

『にっぽん紀行~心つなぐ誕生の笑顔~福井 "出産写真"の町』や、『金とく~宮川大輔のメガネ旅!』『ヒューマンドキュメンタリー~なにもない だから面白い~広告は日本を変える』など、福井県の話題を全国放送や東海北陸ブロックで広く伝えた。

2年目を迎えた午後6時台の『ニュースザウルスふくい』では、大型モニターの導入や気象予報士の起用でニュース・気象情報の解説を強化した(気象予報士は下期から)。

正午前の新情報番組『ほやほや気分』は前年度 番組より5分間拡大し、暮らしに役立つ情報を充 実させた。

#### (富山局)

地域発ドラマ『港町相撲ボーイズ』を放送。高 岡市伏木の相撲大会を題材に地域の絆, 父子の葛 藤を描いたドラマで, 地元の人たちの全面的な協 力を得て制作した。1週間前にはPR番組を放送, 夕方6時台の地域情報番組でも5回シリーズを組 み,ドラマの魅力を伝えた。富山県の視聴率は 23.2%を記録。BSプレミアムと総合で全国放送し た。富山県関係者13人が死亡したニュージーラン ド地震,東日本大震災,富山県を中心に180人余 りの被害者を出した焼き肉チェーン店集団食中毒 事件の3つのテーマを継続取材し、年間を通じて数多くのニュース・番組を放送した。ニュージーランド地震は、発生から1年を機に現地取材も行い、『ナビゲーション』『金とく北陸スペシャル』で遺族の思いや倒壊したビルの構造上の問題を伝えた。

#### (津局)

夕方6時台のニュース・情報番組『ほっとイブ ニングみえ』の充実を図った。東日本大震災を受 けて県内各地の防災対策の取り組みや南海トラフ 巨大地震への備えなど、県民の安心、安全を守る 防災・減災報道に力を注いだ。統一地方選挙では 全局体制で正確かつ迅速な選挙報道に当たった。 紀伊半島豪雨災害に際しては的確な災害報道を行 った。地域放送では全局体制で取り組んできた 『ふるさとにQ』のフィナーレ特番『みえ通グラ ンプリ』や豪雨災害の被災地を取材した『みえ発 ドキュメント』などを放送した。『金とく』は「夏 に負けない 特上!うなぎ大百科 | 「伊勢女と見 つけるココロ・キレイの旅」を放送した。『ナビ ゲーション』は「巨大津波にどう備えるか」「見 えない虐待を防げしを放送した。全国放送では 『新日本紀行ふたたび』『欽ちゃんのがんばる! 日本大作戦』『ひるブラ』『目撃!日本列島』『あ さイチ』『カラフル!』などを放送した。

## (岐阜局)

東日本大震災の影響による県内の動きを『震災特番~忘れない 未来のために』やニュース番組で取り上げたほか、震災と向きあう高校球児たちを取材した『ぎふ発ドキュメント~全力 大垣日大VS東北』や、被災地で飼い主と離れ離れになった犬を取材した『ホリデーにっぽん~帰れない犬たち』などの特集番組を全国放送した。

『ナビゲーション』では、難病と闘うモデルの 思いや、完成から16年を経た長良川河口ぜきを検 証し放送した。

県域放送の特集番組『ぎふスペシャル』では、 キャラクターといっしょに工場を見学し、最先端のものづくり現場を伝える番組や、データ放送を 使った双方向クイズで下呂温泉の知られざる魅力 を解き明かす生中継番組など、年間4本放送した。

また、サッカーJ2「FC岐阜」の試合中継では、データ放送を活用し、視聴者から応援フォトメッセージを募集するなど、デジタル放送の特長を生かした視聴者参加型の番組を放送した。

#### 2. 地域放送番組

#### (1) 定時番組

#### 『NHKニュース おはよう東海』 G

月~金 7:45~ 8:00

第1回93.4.5/東海3県ブロック/平日の朝, 東海3県の最新情報を伝える番組。ニュース, 気 象情報, 交通情報のほか, 地域の課題や取り組み に迫り, 暮らしに密着した情報を分かりやすくコ ンパクトに伝えた。/各局タイトル:金沢『おは よう石川』, 静岡『おはよう静岡』, 福井『おはよ う福井』、富山『おはよう富山』

## 『情報フレッシュ便 さらさらサラダ』 〇

月~金 11:30~12:00

第1回03.4.3/東海3県ブロック(一部各局単)/プラザウェーブ21から公開生放送。地元に密着した文化・芸能情報や生活に役立つ情報を伝えた。データ放送と連動し、双方向機能も活用。11:50~12:00は各局単:津『みえ~るくん情報』、岐阜『みのひだ情報局』/各局タイトル:金沢『お~い!ことじろう』、静岡『しずおか情報ランチ』、福井『ほやほや気分』、富山『とやまおしらせたまご』

#### 『ほっとイブニング』 G

月~金 18:10~18:59

第1回01.4.2/東海3県ブロック(一部各局単)/ホットなニュースからホッとする話題まで、東海地方のすべてがわかる地域密着番組。県内各地で公開生放送も実施。18:30~59は各局単:津『ほっとイブニングみえ』、岐阜『ほっとイブニングぎふ』/各局タイトル:金沢『かがのとイブニング』、静岡『たっぷり静岡』、福井『ニュースザウルスふくい』、富山『ニュース富山人』

# 『知って解決!SKE(すけ)っとネット』 G

月 19:56~19:58ほか

第1回10.4.5/東海3県ブロック/防災・減災・健康など安心・安全につながる情報を地元のアイドルSKE48のメンバーが伝えた。放送だけでなく番組詳細をホームページ、携帯サイト、データ放送でもより詳しく伝えた。

#### 『ナビゲーション』 G

金 19:30~19:55 再日 8:00~ 8:25

第1回93.4.17/中部ブロック/中部7県の課題 や事件・事故の背景、地域の現状などを掘り下げ て伝え、全国発信にも努めた。

#### 『金とく』 G

金 20:00~20:43

**勇士** 10:05~10:50

第1回06.4.7/中部ブロック/徹底的に地域に こだわった"トクする"番組として,「中部地方 を舞台とした旅と大自然」「中部地方の課題に向 き合う」の2つを番組のテーマとし,多彩な内容 を放送した。

#### 『サタテン』 G

金 22:25~22:40

第1回08.4.5/中部ブロック/気鋭のアーティストが出演する音楽ライブ番組。ライブのもようやアーティストの音楽にかける思いなどを伝えた。ライブは毎月名古屋局のスタジオで開催したほか、大学キャンパスなどでの出張ライブも実施した。

#### 『ウイークエンド中部』 G

土 7:30~ 8:00

第1回85.4.6/中部ブロック(一部各局単)/ 中部7県の1週間のニュースや話題を伝えるニュース情報番組。週末のお出かけにも役に立つ、各地の週末イベント・行楽情報も取り上げた。

#### 『かんどアナの東海ピックアップ』 新 G

十 12:38~12:45

第1回11.4.9/東海3県ブロック/東海3局の経営情報・番組情報を紹介。おすすめの番組やイベント、各局の取り組みなどを伝えた。

#### 『中部あさいちばん』 R1

月~十 7:40~ 8:00

第1回99.4.5/中部ブロック/ニュース, 気象情報, 交通情報やさまざまなコーナー企画など, 中部の朝の表情や生活情報を届けた。

## 『ラジオジャパンフォーカス』 R2

火·水·土 0:40~ 0:55

日・月 0:40~ 1:00

木・金 0:20~ 0:35

**勇火~土** 5:45~ 6:00

毎日・月 5:40~ 6:00

第1回08.4.1/東海4県/国際放送ラジオ日本 が海外向けに放送している『ラジオジャパンフォーカス』を、東海4県向けに放送。東海地方に暮 らすブラジル人のサポートに向けて、日本の生活 習慣や文化情報をポルトガル語で紹介。

#### 『FMトワイライト』 FM

月~金 18:00~18:50

第1回99.3.29/中部ブロック/地域に親しみのあるパーソナリティーが出演するディスク・ジョッキー番組。11年度は火曜と金曜に新しいパーソナリティーを起用した。

#### (2)特集番組

(中部ブロック)

『中学生日記50年 大感謝祭』 E

名古屋局 4. 3/15:50~16:58

『東京カワイイ★TV 名古屋SP でらカワイ イ!名古屋嬢パワー』 G

名古屋局 4.29/22:00~22:42

『中部ラジオ特集 東海北陸文学紀行』 R1

名古屋・津局 4.30/16:05~16:55

『FMトワイライト in 西尾市』 FM

名古屋局 7.4.6/18:00~18:50

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー〜なにも ない だから面白い〜広告は日本を変える』 G 福井局 8.26/19:32~19:57

『名古屋発ドラマ 幸せのかたち~離婚の危機を 迎えたら』 G

名古屋局 10.14/20:00~20:43

『高専ロボコン2011 ~東海北陸地区大会』 G 名古屋局 11.6/15:05~15:59

『(1分ミニ番組) NHK東海・北陸 震災キャン

ペーン 忘れない 未来のために』 G

名古屋局 11.28~ 3.19/23:24~23:25ほか 『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー~聴こえ ない僕が父になる』 G

名古屋局 12. 2/19:30~19:59

『サタテン サタテンMUSICグランプリ〜めざせ!TVでワンマンライブ』 G

名古屋局 12. 2/22:00~22:43

『FMトワイライトスペシャル 年末大感謝祭!!』 FM

名古屋局 12.10/16:00~18:50

G 富山局 12.16/19:30~20:43

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー~ふたり で走るロンドンへの道』 G

名古屋局 12.24/16:45~17:14

『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2012』

G 名古屋局 1.6/19:30~20:43 『中部ラジオ特集~東海北陸文学紀行 東海北陸

|中部フシオ特集〜東海北陸乂学紀行 東海北陸 ゆかりの文芸作品』 R1

名古屋・富山局 2.25/16:05~16:55

『サタテン コラボスペシャル』 G

名古屋局 3. 2/22:00~22:43

『中部ラジオ特集〜東海北陸文学紀行 辺見じゅんさんをしのんで』 R1

名古屋・富山局 3.3/16:05~16:55

『忘れない 未来のために〜東日本大震災から 1年〜第1部・被災者支援はいま、第2部・ 東海北陸の防災、第3部・原発とどう向き合 うか』 G

名古屋·金沢·静岡·福井·富山·津·岐阜局 3. 9/19:30~20:45. 23:05~24:00

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー〜書がこ ころを開く〜被災地の子どもたち』 G

名古屋局 3.16/19:30~19:55

『東海北陸ヒューマンドキュメンタリー〜"かわいい"をプレゼント〜障害者のための洋服作り』 G 岐阜局 3.25/8:00~8:25 (東海 4 県ブロック)

『NHK防災キャンペーン クイズ! 防災 SHOW』 R1

名古屋局 9.10/16:05~16:55

『中日 セ・リーグ連覇への軌跡~落合監督が語る"オレ流"』 G

名古屋局 10.28/20:00~20:43

〔東海3県ブロック〕

『2011統一地方選開票速報 三重県知事, 愛知・岐阜・三重県議選』

G

名古屋・津・岐阜局 4.10/20:49~21:00ほか R1

名古屋・津・岐阜局 4.11/1:15~1:46ほか 『2011衆院補選(愛知 6 区)・統一地方選東海 3 県の開票速報』

G

名古屋・津・岐阜局 4.24/23:00~23:20ほか R1

名古屋・津・岐阜局 4.24/23:00~23:14ほか 『スピードワゴンのもえスピ!旧岐阜町SP』 G 名古屋局 5.4/14:20~14:48 『届けよう 東海から元気を!~復興応援チャリ ティーライブ』 G

名古屋局 6. 4/16:45~17:59 『NHK名古屋青少年交響楽団 第46回定期演奏 会』 E 名古屋局 8.21/16:00~16:59 『NHK名古屋児童劇団定期公演 リボンの騎 士』 E 名古屋局 8.27/12:00~12:55 『キミが主役だ! NHK放送体験クラブ』(愛知・

三重・岐阜県) E

名古屋局 10.4~/15:25~15:30ほか 『ほっとイブニングスペシャル ニュースハイラ イト東海2011』 G

名古屋局 12.28/17:05~19:00

『ドラマスペシャル〜家で死ぬということ 完全版』 G 名古屋局 3.27 / 0:15 ~ 1:43 (各局共通)

『第78回NHK全国学校音楽コンクール』

(中部) 東海北陸ブロック E

「小学校・中学校・高等学校」

9.24/14:00~16:29

(東海3県ブロック)

愛知県コンクールE9. 4/15:00~16:59三重県コンクールE8.28/15:00~17:00岐阜県コンクールE8.27/13:00~14:30(県域)

石川県コンクール E 8.27/12:45~14:00 静岡県コンクール FM 8.20/14:00~16:00 福井県コンクール E 8.27/12:00~14:00 FM 8.29/9:15~11:30

富山県コンクール E 8.27/12:00~13:55

(北陸ブロック)

『金とく 北陸スペシャル』 G 20:00~20:43 「伝統をあすへつなぐ〜第58回日本伝統工芸展 金沢展」 金沢局 10.28 「世界のトップシェフが大地に挑む 4 日間~ COOK IT RAW in 石川」 金沢局 1.27 「奥能登の歳時記」 金沢局 2.17

「川へおいでよ~九頭竜川物語」

福井局 3.2

「忘れない NZ地震」 富山局 3.16 『FM北陸ウイーク』 FM 18:00~18:50

「Represent富山!ます寿司ラッパー」

富山局 11.21

「鉄道SONGでGO!」 福井局 11.22

「オリンピック応援ソング」 金沢局 11.24 「ミュージカルソング特集」 金沢局 11.25

「富山の音楽シーンを盛り上げたい!」

富山局 2.20

「アーティスト・横田はるなの第3の音楽人生

に迫る!」 福井局 2.21

「卒業ソング応援特集」 金沢局 2.23 「受験応援ソング特集 金沢局 2.24

『北陸スペシャル〜今 再びのロード〜東日本大 震災 ふるさとへの思い』 G

福井局 3.16/22:00~22:25

(石川県域)

『よせがき☆テレビ かいてみんけ↑』 G

4.29/22:00~22:43

『石川アーカイブス』 G

毎月最終(日)13:50~15:00

『かかのとイノーング ぐるっと石川スペンヤル』	110年後あなだは何をしていると思いますか@		
G 18:10~19:00	常葉学園大学」 7.15		
10.17七尾市,10.18中能登町,10.19羽咋市,	「自分のこと好きですか@常葉学園大学」 7.22		
10.20宝達志水町,10.21かほく市	「最近の男の人って、頼りないって思う?@静		
『奥能登の歳時記』 G	岡英和学院大・短期大学」 9.30		
11:35~11:40ほか(随時)	「静岡の好きなところは?@静岡大学国際交流		
「白米の千枚田」 6.22	センター」 10.28		
「海のネットワークが築いた栄華」 7.8	「浜松の好きなところは?@静岡文化芸術大		
「宇出津 あばれ祭り」 8.3	学」 11.25		
「御陣乗太鼓」 9.5	「今年を表す漢字は?@浜松大学①」 12.9		
「白米の千枚田 実りの秋」 10.14	「今年を表す漢字は?@浜松大学②」 12.16		
「海の男たち 命がけのドラマ」 12.7	「いま夢中なこと@静岡産業大学①」 1.20		
「輪島塗」 2.16	「いま夢中なこと@静岡産業大学②」 1.27		
『真相回転!どいね寿司』 G	「あなたの好きな言葉は?@清水海上技術短期		
12.16/22:00~22:43	大学校」 2.17		
『徹底討論 石川の課題~北陸新幹線をどう生か	「日本に生まれてよかったと思うときは?@辻		
すか』 G 3.16/19:30~20:43	村和服専門学校①」 3. 2		
『石川朗読ひろば〜金沢市・ITビジネスプラザ武	「日本に生まれてよかったと思うときは?@辻		
蔵』 R1 6.25/13:05~13:55, 14:05~14:55	村和服専門学校②」 3.16		
『石川朗読ひろば in 野々市市~冬の情景』	『キャンパスDJ』 FM 18:00~18:50		
R1 1.21/13:05~14:00, 14:05~14:55	「新入生歓迎スペシャル」 5.19		
『FMジュークBOX』 FM 18:00~18:50	「今日はまるごと城めぐり」 9.29		
5.27, 6.24, 7.29, 9.30, 10.28, 1.27, 3.30	「変わる大学の"絆"」 2.23		
『FMジュークBOX クリスマススペシャル』	『フォーラム認知症新時代IN静岡』 E		
FM 12.24/15:00~18:00	4.23/14:00~15:00		
(静岡県域)	『東日本大震災の衝撃~静岡はどう備える』 G		
『静岡流』 G 20:00~20:43	5.20/19:30~19:55		
「一人ひとりの痛みに向きあう~がん医療は	『たっぷり静岡 キャラバン』 G 18:10~19:00		
今」 4.22	浜松市 (10.19~20) 三島市 (2.7~8)		
「泣いて笑って舞う~森町・伝統の舞に挑む子	『NHK静岡開局80周年記念 しずおかのうた』		
どもたち」 5.20	(静岡音楽館AOIで公開録音)		
「サッカーボールに思いをこめて~武田修宏さ	FM 9. 2/18:00~18:50		
んと巡る清水」 7.22	『キャンパスDJスペシャル』(静岡文化芸術大学		
「巨大津波から命を守る」 9.30	で収録) <b>G</b> 11.25/19:30~19:55		
「我が青春の七間町〜"映画の街"思い出とこ	『しずおか情報ランチ年末スペシャル』 G		
れから」 11.25	12.28/11:30~12:00		
「東へ西へ お国ことばと出会う旅」 12.9	『たっぷり静岡 年末スペシャル』 G		
「再起へのリハビリ~どう支える"がんサバイ	12.28/17:05~19:00		
バー"」 1.20	『働きたいのに、働けない!どうする静岡県の就		
『しずメン☆しずジョ』 G 19:55~19:58	労支援』 <b>G</b> 3. 2/19:30~19:55		
「私にできること@静岡県立大学 入学式」	(福井県域)		
4.22	『2011統一地方選開票速報・福井』		
「静岡の好きなところ嫌いなところ@静岡デザ	G 4.10/20:00~20:32ほか		
イン専門学校」 5.20	R1 4.10/20:00~20:25ほか		
「生まれ変わったら何になりたい?@東海大学	G 4.24/22:12~22:40ほか		
海洋学部」 6.17	R1 4.24/22:14~22:32ほか		

7. 1

「人生でこれだけはやりたい!@東海大学海洋

学部」

413 NHK年鑑'12

夢!』 G

『5050ふくいのたまごスペシャル~つかめ、

4.29/18:10~18:44

『金とく 福井のじかん~福女』 G	決勝	E · R1 / 7.30	
$1.27/20:00\sim20:43$	石川県 準々決勝	R1/ 7.24	
『THE TRA-BRYU復興支援ライブin福井』	準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.26	
FM 3.19/18:00~18:50	決勝	G·R1/ 7.27	
『FM特集「親子で楽しむ読み聞かせ」』 FM	静岡県 4回戦	R1/ 7.24	
3.30/18:00~18:50	準々決勝	R1/ 7.25	
(富山県域)	準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.28	
『放送直前!コレが「港町相撲ボーイズ」だ』	決勝	G·R1/ 7.29	
G 12. 9/19:32~19:57	福井県 準々決勝	R1/ 7.24, 25, 26	
『栄の導き』 G 2.17/20:00~20:43	準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.28	
『拾って つないで 立ちあがれ』 G	決勝	G·R1/ 7.29	
3.31/17:30~17:55	富山県 開会式	G/ 7.14	
〔三重県域〕	準々決勝	R1/ 7.25	
『大河ドラマから江がみえ~る!「なぜ三重に来	準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.29	
たの?」「三重でどう過ごしたの?」』 G	決勝	G·R1/7.30	
4.12~28/16:35~16:40ほか	三重県 準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.28	
『認知症フォーラム~あきらめない~最新医療と	決勝	G·R1/7.29	
社会の支え』 G 6.18/10:05~10:48	岐阜県 準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.27	
『巨大津波に備えを』「歴史から学ぶ防災」「体験	決勝	G·R1/ 7.28	
者の声に学ぶ」 G	第56回全国高校軟式野球選手権大会		
10. 3~ 3.31/10:45~10:50ほか	(近畿・東海3・宇都宮	FM/ 8.29	
『みえ発ドキュメント~ゆるキャラ 人気獲得大	第64回秋季東海地区高等	学校野球大会	
作戦』 G 1.21/ 9:30~ 9:55	(東海3県ブロック)		
『ふるさとにQスペシャル~みえ通グランプ	準決勝	R1/10.29	
リ!』 G 3.30/19:32~20:45	決勝	R1/10.30	
『みえ発ドキュメント〜梅の花咲くころに〜豪雨	第58回春季東海地区高等	学校野球大会	
から半年 絆ふたたび』 G	静岡県 3位決定戦・	決勝 R1/5.7	
3.31/ 9:30~ 9:55	北信越地区高等学校野球	大会	
〔岐阜県域〕	石川県 準決勝	FM/ 9.27	
『ぎふ発ドキュメント〜全力 大垣日大VS東北』	3 位決定戦・	決勝 FM/ 9.28	
G 4.17 ∕ 8:00 ~ 8:25	福井県 準決勝	R1/10. 1	
『第8回全日本学生落語選手権~落研たちの熱	3 位決定戦・	決勝 R1/10. 2	
き二日間』 G 5.28/10:05~10:48	富山県 準決勝	R1/10. 1	
『ぎふスペシャル~やななと行こう!ぎふの工場	3 位決定戦・	決勝 R1/10. 2	
見学』 <b>G</b> 7.15/20:00~20:43	第125回北信越地区高等等	学校野球大会	
『ぎふスペシャル〜双方向クイズ!あなたの知ら	(長野・福井) 準決勝		
ない下呂温泉』 G 12.9/19:32~20:45	(長野・福井) 決勝	R1/10.23	
『ぎふスペシャル~この悔しさを忘れるな~FC	(その他のスポーツ)		
岐阜・2011年を振り返る』 G	プロ野球		
$12.23/17:10\sim17:53$	「中日」対「阪神」		
『ぎふスペシャル〜笑う岐阜に福来る〜第9回	(東海3県・近畿ブロッ	ク) R1/4.15	
全日本学生落語選手権』  G	「阪神」対「中日」	※DG1マルチ編成あり	
$3.16/20:00\sim20:43$	(近畿・中部ブロック)	G/ 5.13	
2 7 2° W 4 6W	「中日」対「広島」	※DG1マルチ編成あり	
3.スポーツ中継	(中部ブロック)	G/10. 6	
(高校野球)	「中日」対「ヤクルト」		
第93回全国高校野球選手権大会	(東海3県ブロック)	R1/10.13, 19	
愛知県 準決勝 G・E・R1・FM/ 7.29	「中日」対「ヤクルト」		

NHK年鑑'12

※クライマックスシリーズ (東海3県ブロック)  $R1/11.2\sim 3$ 「中日」対「広島」 (東海3県・広島ブロック) R1 / 3.30 各県サッカー選手権大会 決勝 E 愛知県・静岡県 8.27 石川県・福井県・富山県・三重県・岐阜県 G 8.28 高校総体サッカー静岡県大会 決勝 E 6. 5 (静岡県域) Jリーグ G 「名古屋グランパス | 対「柏レイソル | 5.21 「名古屋グランパス」対「ヴィッセル神戸」 9.23 (東海3県ブロック) 「名古屋グランパス|対「清水エスパルス| 3.10 (東海4県ブロック) 「清水エスパルス」対「ヴァンフォーレ甲府」 (静岡・甲府ブロック) 10.23 G J2リーグ 「ファジアーノ岡山 | 対「カターレ富山 | (富山・岡山ブロック) 3. 4 「FC岐阜 | 対「ガイナーレ鳥取 | (岐阜・鳥取ブロック) 3. 4 biリーグ G 「信州ブレイブウォリアーズ」対「富山グラウジ ーズ | (富山県域) 2.26 BCリーグ R1 (福井県域) 5. 4. 20. 6.26 全国高校総体バスケットボール福井県予選 女子決勝·男子決勝 E (福井県域) 6. 5 日本ハンドボールリーグ女子 「広島メイプルレッズ|対「北國銀行」 G (広島・石川ブロック) 2. 4

# Ⅱ. 技 術

#### 1 デジタル放送の拡充と普及

#### (1) 地上デジタル放送のネットワーク拡充

中部では、デジタル親局 7 局、デジタル中継局 189局の整備が完了し、11年度末のエリアカバー率は97.5%となった。また、2 局(石川県:小松、三重県:志摩)のデジタル中継局を開局、NHK 共聴 9 施設へ地上デジタル放送を導入した。

#### (2) デジタル放送の普及促進

完全デジタル移行の最終盤活動として,関係業界に対して地デジ未対応世帯への取り組みを要請するとともに、アナログ放送終了1か月前にロー

カル情報番組を活用した周知・広報活動を展開した。

デジタルのインフラ整備については、集合住宅や電波障害対策共聴の地デジ未移行世帯を徹底把握し、デジサポと連携した活動や視聴者対応窓口の強化、応急受信対策の実施などにより未移行世帯の発生を抑止する活動を展開した。また、電器店や量販店延べ2,481店を訪問し、衛星契約取り次ぎの拡大に向けた営業支援を実施した。

## (3) 地上デジタル放送のサービス向上

プロ野球「中日ドラゴンズ」のクライマックスシリーズ、日本シリーズ進出に合わせ、データ放送で実施している「いつでもドラゴンズ」を改修し、盛り上がる地域の声援に応えた。

高校野球データ放送の富山大会開会式,準決勝・ 決勝では、これまでの応援メッセージに学校紹介 と大会成績情報を加え放送した。また、愛知・三 重・岐阜・福井大会の試合経過をより迅速に伝え るため、イニング速報を手入力で対応した。

ドラマ『港町相撲ボーイズ』では、内容をデータ放送で紹介し、視聴者サービスの向上に努めた。 岐阜局ローカル『ぎふスペシャル〜双方向クイズ あなたの知らない下呂温泉』では、データ放送機 能を利用した双方向クイズを実施した。投票数は 3,562件に上り、放送局の地域サービス企画とし て大きく盛り上がった。

デジタル放送の特性を生かした, 地域サービス 向上に向けた各局独自の取り組みが増えつつあ る。拠点局のサポート体制を充実させるとともに, スキル向上に取り組んだ。

## 2. 放送設備の充実

名古屋局では、R-3スタジオ音声照明設備、 ラジオ送出設備を更新。CH-11衛星伝送車を制 作機能付き衛星伝送車に充実更新し、緊急報道と 番組制作の両面で機能強化を図った。

金沢局は兼六園、香林坊、獅子吼のお天気カメラを更新、県内のハイビジョン化を完了し地域サービスの向上を図った。静岡局は下田、福井局は 嶺南の報道室をハイビジョン化更新した。

金沢局会館、岐阜局会館、富山局呉羽山FPU 基地局のハイビジョン化を完了し、緊急報道体制 の強化を図った。津局は尾鷲報道室とお天気カメ ラを高台に移転し、津波への対策を行った。

また、名古屋局では、折り畳み防滴型LEDライトを開発し、消費電力の削減と緊急初動体制の向上を図るなど、東海北陸全体で数多くの新技術開発・改善研究に取り組んだ。

## 3. 緊急・災害報道の取り組み

東日本大震災に対する東海北陸域内からの支援 は1年経過後も継続し、福島自治会館と福島局衛 星伝送車からのローカル中継とニュース伝送業務 に従事している。

7月と9月には台風による大雨,土砂災害が発生した。特に9月20日には紀伊半島に接近する進路が予想されたため,夜間から津局衛星伝送車が尾鷲市へ向かい,和歌山県との県境の紀宝町現場から被災状況を伝えた。さらに21日朝の名古屋へリからの中継映像では,山の崩壊による国道の通行止めや,川の氾濫で流されている家の映像を通し豪雨災害の被害状況を伝えた。一方,愛知県では大雨による豊川の氾濫で大きな被害を受け,県東部の豊橋市や新城市に名古屋局の衛星伝送車を出動させ,田畑や道路の浸水など被害状況を伝えた。

設備面ではCS用衛星アンテナ更新とCS受信設備を整備した。また、会館建設当初から運用してきたテレビ中継用信号等の汎用分配盤更新など、緊急報道体制の強化に向けた設備整備を推進した。

### 4 番組制作技術の取り組み

2年ぶりの「大相撲名古屋場所」中継では、会場との一体感や臨場感を最大限に伝えるため、カメラ位置の変更やラジオ放送席を桟敷に移動するなどの工夫を図り、魅力的な大相撲中継を全国に発信した。

『真珠湾からの帰還』『家で死ぬということ』のドラマ制作では、名古屋局の技術力を存分に発揮するとともに、ハイスピードカメラや小型カメラの活用などさまざまな映像表現に挑戦し、高視聴率につなげる高品位なドラマ制作に取り組んだ。

FMオーディオドラマ『空の防人』が文化庁芸 術祭ラジオ部門優秀賞を受賞した。

# Ⅲ. 視聴者

#### 1. イベント事業

中部ブロックでは、公開番組をはじめ、公共放送キャンペーン、こども・青少年、教育・教養、美術、音楽、スポーツなど、さまざまな分野・対象のイベントを実施。約60万人の視聴者と触れ合い、公共放送の理解促進と地域の活性化・文化振

興への寄与に努めた。

#### (名古屋局)

#### (1) 公開番組

『NHKのど自慢』『ごきげん歌謡笑劇団』『BS日本のうた』『それいけ!民謡うた祭り』などの全国放送番組と、『金とく〜出前コンサート』や『FMトワイライト』などの地域放送番組を合わせ、中部で107本を実施した。

# (2)公共放送ならではのイベント・キャンペー い

「防災キャンペーン」「ハートプロジェクト」「ふるさとの食にっぽんの食」「環境キャンペーン」など、公共放送ならではのキャンペーン・イベントを中部各局で展開した。

名古屋局では、「防災キャンペーン」の一環として在名民放ラジオ局各社と連携して『クイズ!防災SHOW』(8.21、名古屋放送センタービル)を実施。防災・減災の啓発とあわせて災害時のラジオの有用性を伝えたほか、東日本大震災から1年にあたり「NHK名古屋・震災情報ステーション」(2.25~3.11、名古屋放送センタービル)を設置し、番組と連動したさまざまな情報を発信した。また、「ハートプロジェクト」では、「NHK介護百人一首パネル展」(11.8~12、豊田市)や「NHKハートフォーラム」(5.29一宮市、12.10豊田市ほか)を開催した。

#### (3) こども・青少年イベント

「第78回NHK全国学校音楽コンクール」「第58 回NHK杯全国高校放送コンテスト」「第28回NHK 杯全国中学校放送コンテスト」「キミが主役だ! NHK放送体験クラブ」を、中部各局で実施した。

また、ファミリーで楽しめるステージショーとして、チャリティーコンサート『おかあさんといっしょファミリーコンサート』(2か所)、『いないいないばあっ!あつまれ!ワンワンわんだーらんど』(1か所)や、おかあさんといっしょ宅配便「モノランモノラン小劇場」(4か所)、「ポコポッテイト小劇場」(4か所)を中部各地で開催した。

名古屋局では夏休み中の親子を対象に「NHK こどもサマースクール」(8.18~21,名古屋放送 センタービル)を実施し、自由研究のヒントを提供したほか、番組キャラクターが大集合するファミリーイベント「あそぼう!NHK夢いっぱいわーるど」(3.24~25,名古屋放送センタービル)を行った。

#### (4)教育・教養イベント

学校に出向いて行う「NHKこども音楽クラブ

~N響が学校にやってきた」「NHK朗読ひろば」など、教育イベントを中部4か所で実施。

また,11年度も学校放送番組の研究委嘱を行い, 教育現場での番組利用の推進を図った。

教養イベントでは、「NHK公開セミナー」として『大河ドラマ~江』(2か所)や『スペシャルドラマ~坂の上の雲』(1か所)をテーマにセミナーを実施した。

#### (5)美術展・展覧会

大河ドラマ特別展「江」(4.22~5.29,福井県立美術館),東海 3 県10館合同展覧会「織部・大数寄・コレクション」(7.5~9.25,徳川美術館,岐阜県陶磁資料館ほか),「セガンティーニ展」(9.3~10.23,静岡市美術館),「日本伝統工芸展」(10.5~10,名古屋三越栄店,10.28~11.6,石川県立美術館),「大河ドラマ50の歴史展」(11.17~29,遠鉄百貨店,12.28~1.9ジェイアール名古屋タカシマヤ)を中部各地で主催し、地域の文化振興に寄与した。

#### (6) 音楽イベント

『NHKナゴヤニューイヤーコンサート2012』 (1.3,名古屋市),「N響定期演奏会」(11.20,名古屋市)を主催・共催したほか,「NHKなごや芸能音楽ウィーク」(10.25~28,名古屋局スタジオ)では,クラシック音楽や伝統芸能番組の公開収録に加え,大河ドラマ50年を記念して,『大河ドラマ』を音楽とトークでつづるコンサートも実施した。

#### (7) スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」「第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会代表決定戦」を中部各地で実施したほか、「松岡修造のテニスパーク」(2か所)、「NHKジュニアボルフ教室」(1か所)を実施。

また、名古屋局では、「第44回日本女子オープンゴルフ選手権競技」(9.29~10.2、名古屋ゴルフ 倶楽部)を開催した。

#### (8) その他のイベント

名古屋局制作番組『サタテン』へのオンエアを目指す「サタテンMUSICグランプリ」(11.18,名 古屋市)を開催したほか,『中学生日記』の50年を記念した「スキマスイッチによるスペシャルライブ」(11.23,知多市)を中学生に向けて企画・実施した。

#### (金沢局)

地域の視聴者に親しまれる放送局を目指し,公開番組や各種イベントを積極的に展開した。

BSプレミアムの『にっぽん縦断 こころ旅』

で俳優・火野正平さんが石川県を訪れた際には、「火野正平トークショー&ふれあいミーティング」(4.16、能登町)を行い、BS普及に努めた。

輪島市で実施した『NHKのど自慢』(6.18) や, 『かがのとイブニング』県内キャラバン(10.17~21, 七尾市ほか, 11.11, 野々市市)では, ロビー等でマスコットキャラクター"ことじろう"の着ぐるみとの写真撮影や, ミニゲームや輪投げ等による「"ことじろう"とあそぼうコーナー」, 中継車公開等を実施し, 会場の視聴者との接触を深めた。ラジオ地域公開番組『石川朗読ひろば』(5.28金沢市, 12.17野々市市)は, アナウンサーやキャスターと直接触れ合えるイベントとして, 12年度も継続していく。

#### (静岡局)

浜松市制100周年共催事業の一環として「浜松レコード展」(3.13~25, 浜松市・クリエート浜松)を開催し、NHKの貴重なライブラリーの紹介を通して地域文化の振興にも寄与した。全国から音楽ファン、レコードファンが集まり、目標を上回る2.669人の入場者があった。

地域に根ざした開かれたNHKを目指して, 「NHKふれあいデー会館公開」(7.9~10, 静岡局) を実施し、2日間で1,410人の来場者があった。

若者を対象としたイベントとして、県内の大学生に参加してもらう「キャンパスDJ」(11.20、浜松市)を静岡文化芸術大学キャンパスで公開収録し、若者層への接触者率拡大に寄与できた。

#### (福井局)

福井県にゆかりの深い『大河ドラマ』にちなみ、「NHK大河ドラマ 江〜姫たちの戦国 特別展」(4.22~5.29,福井市)を開催した。期間中には、パネル展(5.3~8)や学生向けのワークショップ(5.13~14)、公開セミナー(5.22)を開催した。また、若い世代が参加しやすいイベントを積極的に開催した。「渋谷アニメランド in 福井」(11.19、坂井市)には、県外からも多くの若者が参加した。「親子DE魚料理教室」(1.14、小浜市)はホームページと連動し、食への関心を高めた。「親子で楽しむ読み聞かせ~NHKふれあいミーティング」(3.20、福井市)は、地元の大学生と協力しながら、親子がいっしょに楽しめるよう運営を工夫した。

#### (富山局)

"地域と向き合う"取り組みの柱として、地域発ドラマ『港町相撲ボーイズ』を制作。ドラマに関連してさまざまな年齢層を対象にしたイベントを展開した。若者向けには「サウンドデザインワ

ークショップ 音でドラマに参加しよう!」を実施 (10.23)。ファミリー層を対象にした「相撲であそぼ」では、紙相撲工作やドラマ展、キャラクターショーを行った (11.12~13)。また、ドラマの舞台になった高岡市で、林隆三さんら主な出演者4人と地元の相撲愛好会の方々をゲストに招き、「スペシャルトークショー」を開催した (11.30)。さらに、NHKの食料プロジェクトや環境キャンペーンでもドラマをPRする催しを行った。いずれのイベントも地域放送、ホームページと連動し、ドラマを盛り上げた。

#### (津局)

11年の『大河ドラマ〜江〜姫たちの戦国』の主人公が三重県ゆかりの人物であるため、「大河ドラマ巡回展」(4.27〜5.1)、「忍たま乱太郎キャラクターショー〜江姫、危うし!!の段」(5.29)、「大河ドラマ公開セミナー」(6.26) などの関連イベントを展開した。

毎年"津まつり"と連動して開催する会館公開「NHK津ふれあいデー」(10.8~9)では、トークショー、クイズなどのほか、県などと協力し、震災時に活躍した機材の紹介や自転車発電体験など、防災や環境に関するブースを多く展開し、延べ1万人の来場者があった。

「みえ通グランプリ」(3.18) は、来場者参加型の地域密着クイズ番組として公開形式で開催し、1,500人以上の来場者があった。

#### (岐阜局)

BSプレミアムで放送されたアニメ『へうげも の』の主人公・古田左介(織部)が岐阜出身の戦 国武将・茶人であることから、年間を通して関連 イベントを実施した。番組の放送に合わせ、イン ターネット上でアニメに基づいた武将や茶器に関 する設問を出題し、正解数に応じて階位を認定す る「へうげもの検定」のホームページには多数の アクセスがあった。また、アニメや検定の画像を 使いながら「へうげもの」の魅力を探るトークシ ョー「BSアニメDE戦国モード~へうげもの大数 寄ミーティング~織部ゆかりの地で"戦国"に想 いを馳せるにて候」(9.19, 岐阜市) を実施し. 30代・40代を中心に県外からも多くの「へうげも の」ファンが集まった。会場内では美濃焼による テーブルコーディネート術を紹介し、現代に引き 継がれた織部の世界に触れてもらった。

# 2. 営業

#### (1)全体状況

11年度は、受信料支払率75%を目指した「平成

21~23年度NHK経営計画」の最終年度として、 中部ブロックとしての責任を果たすべく営業業績 の確保に取り組んだ。

7月にはアナログ停波による受信契約の減少リスクを最小限にとどめるため, デジタル普及・理解促進活動を一層強化する活動を行った。

中部ブロックの12年3月末の受信契約総数は,556万4,000件,そのうち衛星契約は244万7,000件だった。この1年で,契約総数(有料)は5万8,165件増加した。

#### (2)契約収納業務の法人委託の拡大

新たな営業体制を構築するため、域内各局において法人委託を運用すべく、その開発・育成に向けた取り組みを強化した。12年3月末現在で10社が稼動しており、中部ブロック域内の79万3,000世帯をカバーしている。

また、公開競争入札による委託は、12年3月末 現在、名古屋市内において1社が活動を行ってい る。

#### (3) 受信料の公平負担と取り組みの強化

中部経済の中核であるトヨタ関連企業の不振が 続いているうえに、東日本大震災などの影響によ る生産量の落ち込みが追い討ちとなり、中部経済 圏の景気回復は、まだ先が見通せない状況にある。

11年度は訪問要員による取次総量確保と、衛星放送受信者から適正に衛星契約を取り次ぐことや、受信料の口座振替やクレジットカード継続払いを促進することにより、業績確保を目指す活動を推進した。衛星取次数は、デジタル普及の効果により10年度を大きく上回る取り次ぎを確保したものの、契約総数取次数は劇的な増加には至らなかった。

民事手続き関係では、11年11月に中部ブロックで初めて未契約事業所に対して、担当窓口を営業局受信料特別対策センターに変更し、放送受信契約の締結と受信料の支払いを求める民事訴訟を実施する旨の予告通知を発送した。その後、円満に受信契約を締結することができた。

#### 3. 広報

#### (1)マスコミ広報・番組広報

名古屋局では、広報番組『かんどアナの東海ピックアップ』を制作し、東海3局の経営・番組・ 事業イベントの情報を紹介した。

また、ドラマをはじめさまざまな番組で取材会を実施し、特に3月16日で最終回を迎えた『中学生日記』では多くの媒体に記事が掲載された。

富山局では、ドラマ『港町相撲ボーイズ』のロ

ケ地・高岡市伏木で取材会(9.12), 富山局(11.16)・名古屋局(11.17)で完成試写・記者会見をそれぞれ実施した。マスコミ・雑誌各社への記事掲載や自治体・ケーブルテレビ等への情報提供など、幅広く広報展開を図った。

岐阜局では、下呂市がロケ地となったBSドラマ『赤と黒』のポスターを県内の道の駅や温泉旅館などに掲出した。また、白川村がロケ地となった名古屋局制作『土曜ドラマスペシャル~家で死ぬということ』の県民向けリーフレットを作成した。

## (2) 視聴者ふれあい活動

ふれあいミーティングは、中部で合計152回実施。福井局は、「視聴者のみなさまと語る会〜経営委員とともに〜in福井」を6月に開催。公募による視聴者52人と、放送や経営全般について意見を交換した。

名古屋局では、さまざまなテーマでセミナーイベント「NHKわくわくセミナー」を11年度に11回実施し、延べ643人の参加があった。

福井局では、『NHKのど自慢』の予選会に合わせ、視聴者が放送機器の体験などをする「ふれあい隊」活動や、小学校に出向いての「出前授業」を行った。また、視聴者の親近感を高めるため、福井局のキャラクター「一福丸」の歌やダンスを制作した。

富山局では、『港町相撲ボーイズ』に連動して 県内5か所で「ドラマ展」を実施した。ドラマの 見どころや撮影風景のパネル、ドラマで使用した 小道具、出演者の手形付きサインなどを展示し、 番組をPRした。

津局では、ロビーに3D映像コーナーを設置し、 県内の郷土芸能や四季の風景の3D映像ソフトを 来館者に自由に視聴してもらえるよう、環境整備 を図った。

岐阜局では、「ぎふ信長まつり」に合わせて会館公開「NHKぎふ ふれあい祭2011」(10.1~2)を実施した。前回に引き続き、2か所のサテライト会場を設け、過去最多となる3.850人の参加者があった。

#### (3) デジタル放送の普及・理解促進活動

金沢局では、マスコットキャラクター "ことじろう" が登場する「デジタル放送普及アニメスポット」に加え、地元で活躍している劇団主宰者らが出演するスポットを新たに制作し、異なる2つのスポットでアナログ放送終了とデジタル放送の周知に努めた。『新日本風土記~奥能登』の放送に合わせ、1月20日から22日まで七尾市・和倉温

泉の大型旅館で「デジタル体感ランド」と「新日本風土記パブリックビューイング」を実施し、デジタル放送の普及に力を注いだ。Eテレの七尾地区チャンネル変更(周波数再編リパック)についても、円滑に完了すべく、周知・広報に万全を期した。

富山局では、7月に大型ショッピングセンターで地デジ普及推進イベント「えっ?地デジもBSもネットもやってない?」を開催。ファミリーコンサートやお笑いデジタルショーと併せて、受信相談もおこない理解促進を図った。

岐阜局では、イベント会場でのデジタル放送紹介コーナー設置、案内チラシの作成、案内スポットの放送などにより、アナログ放送終了とデジタル化対応についての周知広報に努めた。また、データ放送を活用した双方向番組『ぎふスペシャル』(12.9)には、インターネットと接続されたテレビからだけでも3.562件の参加があり、J2リーグ「FC岐阜」開幕戦中継(3.4)と連動したデータ放送の「応援フォトメッセージ」募集には、181件の投稿があった。

# 近畿

- ◇「平成21~23年度NHK経営計画」に掲げられた経営2目標達成に向けて、放送と放送以外のメディア、イベントや広報活動等を通じて、総体として幅広い視聴者層に届けるサービスを展開した。
- ◇相次ぐ, 育児放棄や虐待などで幼い命が失われる事件を受け, 子どもたちを取り巻く環境を少しでも改善していけるよう, 「子どもを守れ! キャンペーン」を立ち上げ, 地域や全国に向けさまざまな関連番組を放送した。
- ◇『連続テレビ小説〜カーネーション』は、大阪・ 岸和田市を舞台に、大正時代に生まれ、日本の ファッションデザイナーの草分けとして活躍 し、女手ひとつで三人の娘を世界的ファッショ ンデザイナーに育て上げたヒロインの波乱万丈 の物語。主人公のモデルは、世界的に活躍する 小篠三姉妹の母・綾子さん。視聴率も好調で、 関西地区での平均視聴率は、「てるてる家族」(03 年度後半) 以来の19%台となった。
- ◇4月の統一地方選(4.10, 24)での奈良県知事 選挙や,11月の大阪府知事選と市長選の大阪ダ ブル選挙での,政見・経歴放送や開票速報に万 全を期し,公正・公平な放送を実施した。
- ◇接触者率向上を目指し、総合テレビの金曜深夜 にアンコール編成枠『よるともっと』を新設し たほか、平日夕方の『あほやねん!すきやね ん!』では、学園祭会場からの生中継特集番組 を実施した。

# I. 放 送

#### 1. 放送の概要

# (1)接触者率80%達成に向けて 視聴者層の拡 大

金曜夜8時台の番組『かんさい特集』(G, 年間38本)では、東日本大震災の関連番組として「今こそ、力が問われるとき〜神戸発・災害NG Oの挑戦」(4.22)を放送。「子どもを守れ!キャンペーン」の関連番組としては、「プロローグ」(5.20)、「負けっぱなしで終わられへん」(8.5)、「ドラマ〜やさしい花」(9.16)、「魂のダンス」(2.3)、「当事者の私たちが伝えたいこと」(3.23)を放送。「黒谷友香"夢の庭"に挑む」(10.14)、「町を歩けば仏さま」(1.20, 以上京都局制作)「文珍・

南光の家訓をたずねて | (7.15、大津局制作)、「奈 良まほろば散歩 | (11.25. 奈良局制作). 「海のア パートのぞいてみれば | (3.30. 和歌山局制作) などを域内局が制作した。そのほか、シリーズ企 画として「師匠直伝!芸人虎の穴」(5.27ほか6 本)、「音楽のごちそう なにわ歌謡ステージ」(6.10 ほか4本)を放送した。また、『連続テレビ小説 ~カーネーション』や『上方漫才コンテスト』と 連動した番組を放送したほか. 地域を訪ねながら 関西の魅力を伝える、翌年度を見据えた開発番組 を放送した。地域ドラマやプロ野球中継なども. 10年に引き続き放送した。平日の夕方5時台の 『あほやねん!すきやねん!』では、特集番組と して『あほすき学園祭SP!』(11.6) を、スタジ オと大学を結んで生放送。ツイッターを活用した 演出にも取り組んだ。また、総合の金曜深夜にア ンコール編成枠『よるともっと』を新設し、『サ ラリーマンNEO』や『すイエんサー』などを放 送するなど、若年層への接触者率の向上に取り組 んだ。

定時の全国放送では、「歴史にあまり興味がない人」にも楽しんでもらえる番組を目指して3年目を迎えた『歴史秘話ヒストリア』(G) や『バラエティー生活笑百科』(G)、10年度放送して話題となった、障害者のお笑いパフォーマンスなどのバラエティーを通してバリアフリーを考える"バリバラ"を最終週にラインナップした『きらっといきる』(E)、『コミ☆トレ』(E)、『ストレッチマン・ハイパー』(E) のほか、大阪を中心に"西の笑い"をたっぷりお届けする『西方笑土』(G) を新設した。また、『上方演芸会』(R1)、『かんさい土曜ほっとタイム』(R1)、『ともに生きる』(R2) などを主管・制作した。

# 

7月24日の地上デジタル放送への完全移行をスムーズに行うため、『地デジ笑百科』(10分 2本)、『目指せ!地デジ芸人 ウーイェイ』(5分 20本)等の地デジ推進ミニ番組を制作、随時放送した。5月には、特集番組『これで完ペキ 地デジ見るにはどーすりゃイイの!?』(G,5.3)を放送し、地デジの楽しみ方をナビゲートした。このほか、平日午前11時台の番組『ぐるっと関西おひるまえ』では、7月まで月1回程度、送受信技術の職員が出演する「教えてデジタルおじさん」コーナーを放送するとともに、ホームページでも関連コンテンツを展開した。また、近畿特有の電波事情による受信困難地域が発生する問題(24ch問

題)についても、ミニ番組(1分)を制作し、完 全移行後も引き続き周知に努めた。

さらに、『プロ野球中継』では、「阪神」対「中日」(7.26)をはじめ、マルチ編成を3回(10.4,20)実施し、マルチ放送の見方を丁寧に周知するなど、デジタル放送の特色を生かした放送に取り組んだ。また、金曜深夜の『よるともっと』でも随時マルチ編成を実施し、多様な視聴者ニーズに応えた。

## (3) "放送局のちから"を高めて地域を元気に

大阪局の地域貢献事業「子どもを守れ!キャン ペーン では、夕方6時台の『ニューステラス関 西』で1年を通じてシリーズ企画を放送したほ か、平日午前11時台の『ぐるっと関西おひるま え』や金曜夜7時台の『かんさい熱視線』、日曜 午前7時台の『ビジネス新伝説 ルソンの壺』で も関連の企画を放送。また、視聴者から募集した 体験談や子どもの笑顔写真などの関連ミニ番組を 制作、随時放送した。特集番組としては、『かん さい特集』(5本)に加え、『虐待どう受け止めま すか?』(8.12)、『ぐっさんの子育てガンバロ! コンサート』(11.23)、『いま問われる大人のチカ ラ』(12.21) を放送。ラジオでも、『関西ラジオ ワイド』で、子どもへのメッセージの朗読などの 企画を実施した。さらに、全国向けには『もしも 明日…我が子に虐待を始めたら』(9.24). 『あさ イチ~ドラマで見つめた 子ども虐待への道』 (10.5) の制作を行った。

『連続テレビ小説〜カーネーション』については、『おかあちゃん朝ドラになる!』(10.7)や『「カーネーション」疑問にお答えします』(12.31)などの特集番組を地域だけでなく全国に向けて放送。さらに、『大河ドラマ〜平清盛』にゆかりの深い兵庫県を舞台にした「ふるさと歴史ウオーク〜大河ドラマ『平清盛』栄華の地をめぐる」(1.13)を『かんさい特集』の枠を使って放送するなど、ドラマの盛り上げ、地域の活性化に努めた。関西を代表する文化である"お笑い"については、『西方笑土』(BSP 30本)を新設し、全国に向けて「西の笑い」を発信した。

日曜午前7時台の地域経済情報番組『ビジネス新伝説 ルソンの壺』(G 42本)は、関西以外でも徳島、香川、鳥取局が10年に引き続き、関西と同時間帯で、津局が別時間帯で毎週放送したほか、福井局も月1回程度放送した。さらに、福岡局が制作した『俳句紀行シリーズ〜海の細道を行く』を西日本各局で編成するなど各局との連携を深め、地域放送のさらなる充実に努めた。

10周年を迎えたNHK大阪ホールを活用した番組としては、地域向けに『かんさい特集』の枠で放送した「音楽のごちそう なにわ歌謡ステージ」や「師匠直伝!芸人虎の穴」「上方落語の会」などのほか、全国番組の『西方笑土』(BSP)を収録するなど、より一層の活用・定着を図った。

# (4) 地域の課題を鋭く見つめ、迅速・的確な報道で視聴者の暮らしを守る

夕方 6 時台の各府県向けのニュース (G, 月~金) は,大阪局は『ニューステラス関西』を継続, 各局は『ニュース610京いちにち』(京都),『ニュースKOBE発』(神戸),『ならナビ』(奈良),『おうみ発610』(大津)を継続したほか, 和歌山局が『あすのWA!』を新設し,地域の動きや話題を詳細に伝えた。

金曜午後7時30分からの報道番組『かんさい熱視線』(G)では、関西で今起きている問題や課題などのほか、"子ども"をめぐる問題についても、熱く視聴者に伝えた。

東日本大震災によってもたらされた想定外の被 害について、そのメカニズム、防災・減災対策、 原発問題. 復興に向けた課題などを. 「大津波の 脅威 そのとき関西は (4.8) を拡大版として放 送したほか、「大津波から2か月 見えない生活 再建 | (5.20) や「シリーズ関西と原発 | (5.27. 6.3). 3月9日には、『かんさい発 震災特集』と して、阪神・淡路大震災の被災地としての視点か ら伝えるなど、多角的かつ継続的に伝えた。17年 目を迎えた阪神・淡路大震災については、「阪神・ 淡路大震災17年 経験は生かせたか」(1.13) や、 夕方6時台『ニューステラス関西』などで関西地 域向けに伝えたほか. 『あさイチ~私たちはこう して歩んできた~遺族たちのメッセージ』(1.17) や『NHKスペシャル~阪神・淡路大震災17年 東北復興を支えたい~ "後悔"を胸に』(1.17) などを全国に向けて放送した。「子どもを守れ! キャンペーン」については、「心の闇に光を~附 属池田小事件 10年の苦闘」(G. 6.10) や「生ま れくるはずの命が…~進むエコー検査の波紋 | (G. 11.25) をはじめ、子どもを取り巻くさまざ まな問題について取り上げた。全国的に注目され た大阪ダブル選挙(11.27)では、橋下前府知事 率いる"大阪維新の会"と民主党、自民党などの "既成政党"との対決や、維新の会が掲げる"大 阪都構想", 公務員制度, 教育制度などについて, 「大阪"グレートリセット"~検証 橋下市政1 か月」(G. 1.20) や「生討論 どう変える 大阪 の教育」(G, 3.30) のほか, 特集番組として『ど

ないすんねん大阪』(12.2) を放送するなど、大阪の今後に深く関わる話題を、視聴者に分かりやすく伝えた。

9月初旬に、紀伊半島各地に甚大な被害をもたらした台風12号・15号については、『かんさい熱視線〜検証 ダム放流〜台風12号 被害の裏に何が』(10.14)や、全国に向けては『クローズアップ現代〜避難の情報が伝わらない〜検証 台風12・15号』(G、10.13)を放送し、記録的豪雨が相次ぐ中、"避難"の在り方を検証した。

### (5) 関西と "アジア" をつなぐコンテンツ発信

アジア各国のソウルフードを味わって食文化に 追り、その食を通じて民族や文化、社会の背景ま で見つめていく番組『まるかじり!アジアン食 堂』(G, 9本)は、2年目を迎えるにあたり、 43分の拡大版「今夜は円卓!ごちそうディナー」 (G, 4.29)で、変貌を遂げるアジアの食を分か りやすく紹介したほか、域内局が制作に加わるこ とで、関西とアジアとの深い関係を、より身近に 感じてもらえる番組となった。また、関連のミニ 番組『つまみ食い!アジアン食堂』(20本)を新 たに制作・随時放送することで、番組の認知度向 上に取り組んだ。

# (6) スポーツソフトの活用

関西で行われるさまざまなスポーツを全国に向 けて積極的に発信した。『第93回全国高校野球選 手権大会』(G, E, R1, FM, 8.6~20). 『全国中 学校体育大会』(E. 8.22~25). 『第13回全日本学 生柔道体重別団体優勝大会』(E. 11.5). 『第89回 全国学生相撲選手権』(E, 11.5),『関西大学ラグ ビー「天理」対「関西学院」』(E. 12.3) などの アマチュアスポーツを伝えた。このほか、駅伝で は、『女子第23回·男子第62回全国高校駅伝』(G, R1, 12.25), 『第30回全国都道府県対抗女子駅伝』 (G. R1. 1.15) を放送し、3-Screens展開として、 パソコンと新設のスマートフォンサイトでは、シ ョートクリップ動画、携帯サイトでは、静止画に よるレース速報サービスを行った。そのほか、『第 67回びわ湖毎日マラソン兼ロンドンオリンピック 代表選考会』(G, R1, 3.4), 『第84回選抜高校野 球大会』(G, E, R1, FM, 3.21~4.4), 競馬の『第 72回菊花賞』(G, 10.23) などを中継した。

地域放送では、プロ野球(G, R1)、サッカーJリーグ(G)、bjリーグ・バスケットボール(G)などに加え、『日本女子プロ野球「兵庫スイングスマイリーズ」対「京都アストドリームス」』(G, 6.12)のプロスポーツを中継したほか、『第45回織田記念国際陸上』(E, 4.29)、『第40回関西学生

サッカー選手権~決勝』(E, 6.4), 全国高校野球選手権大会の関西2府4県大会の決勝戦(G, E, R1, FM), 『第56回全国高校軟式野球選手権大会~決勝』(FM, 8.29), サッカー天皇杯の関西2府4県代表決定戦(G, 8.28, 各局), 『関西大学ラグビー「天理」対「同志社」』(E, 10.16), 『秋季近畿地区高校野球大会』(R1, 10.30~11.6), 『サッカー女子なでしこリーグ「INAC神戸レオネッサ」対「日テレ・ベレーザ」』(G, 11.6), 『関西学生アメリカンフットボール「立命館」対「関西大」(E, 11.12)などを中継した。また, BS1で生中継した『第66回甲子園ボウル~全日本大学アメリカンフットボール選手権「関西学院」対「日本大」』(E, 12.23 深夜)を関西地域向けに再放送した。

# (7) 他メディアとの連携による視聴者サービス の充実

スマートフォンの普及が進む携帯端末や. イン ターネットなど、それぞれの特性を生かしたサー ビスを展開し、接触者率の向上に努めた。夕方5 時台の若者向け番組『あほやねん! すきやね ん!』では、10年度から始めた「NHKネットク ラブ」と連携した「あほすきファンクラブ」の会 員が、7.000人を超え、番組への投稿やアンケー トシステムによる番組の活性化が図られているほ か、特集番組で新たに導入したツイッターを活用 した演出にも取り組んだ。また、関西の話題を取 り上げた番組情報を提供するホームページサイト と、関西の番組情報を提供するメールマガジンと の連携を深めることで、より利便性の高い、親し みやすいサービスに取り組んだ。大阪局が担当す る全国コンテンツである高校野球や、高校駅伝な どのロードレースについては、スマートフォンサ イトを新たに立ち上げるなどサービスの向上に努 めた。また、日曜午前7時台の『ビジネス新伝説 ルソンの壺』の特集番組(G. 4.28)では、デー タ放送を利用した疑似的な双方向クイズを実施 し、多くの視聴者が参加した。安心・安全情報に ついては、データ放送でTVCMLによる河川水位・ 雨量情報の提供を管内全局で開始したほか. 9月 の台風12・15号で和歌山局がツイッターを活用し て台風関連情報を発信するなど、さまざまなメデ ィアを通じた、よりきめ細かいサービスに取り組 んだ。

# 2. 地域放送番組

#### (1) 定時番組

『おはよう関西』 G 月~金 7:45~ 8:00

第1回93.4.3/近畿ブロック/朝一番に知りたくなる関西のニュースや気象情報を伝える番組。交通情報や経済、雇用、教育など幅広いテーマで関西の今を伝えるリポートのほか、元気な中小企業、生活情報からアジアの最新情報まで、バラエティーに富んだ内容で、視聴者ニーズに応えた。

**『ウイークエンド関西』 G** 土 7:30~ 8:00 第1回92.4.11/近畿ブロック/土曜日の朝,週末に向けての関西各地のさまざまな情報を伝える番組。27年続く「西日本の旅」のほか、ニュースやリポート、中継など週末の関西情報を生き生きと伝えた。

## 『ぐるっと関西 おひるまえ』 G

月~金 11:30~12:00 + 11:15~12:00

第1回03.4.3/近畿ブロック/関西2府4県の各局を結んで、暮らしに役立つ生活情報から、心がほっと温まる話題までBKプラザスタジオから生放送で伝えた。週末には、お出かけ情報や関西ゆるキャラガイド、多彩なジャンルの音楽ライブなどをお送りした。

#### 『あほやねん!すきやねん!』 G

月~金 17:10~17:57

第1回08.3.31/近畿ブロック/10~20代を応援する情報バラエティー。新MCに荒木アナが加わり、より多くの学校を訪ねた。携帯投票やインターネットの活用など、さまざまな手法を用いて接触者率向上を目指した。BKプラザスタジオからの公開生放送。

#### 『ニューステラス関西』 G

610』(大津))

局は一部県域で放送。

月~金 18:30~18:59

第1回08.3.31/近畿ブロック/関西のその日の出来事にこだわり、多角的な取材でニュースを深く掘り下げる、夕方のニュース番組。「特集」では、近畿各局の総力を結集して「人に寄り添い、出来事の本質に迫る」リポートを毎日放送。このほか、臨場感たっぷりのスポーツ情報、気象予報士ならではの解説で伝える気象情報など、豊富な内容で情報を伝えた。(『ニュース610京いちにち』(京都)、『ニュースKOBE発』(神戸)、『あすのWA!』

『関西845』 G 月〜金 20:45~21:00 第1回96.4.1/近畿ブロック/関西の1日をコンパクトにまとめたニュース。京都局は『京都ニュース845』、神戸局は『兵庫ニュース845』、奈良局は『なら845』、大津局は『おうみ845』、和歌山

新 (和歌山). 『ならナビ』(奈良). 『おうみ発

『かんさい熱視線』 G 金 19:30~19:55 第1回08.4.4/近畿ブロック/ "関西のいま" をじっくり見つめる情報番組。今起きている問題や課題に眼を向ける一方で, "関西に暮らす人々" に焦点を当てた映像記録にも力を入れ, 熱く視聴者に伝えた。また, "子ども"をめぐる問題にも力を入れた。

『関西もっといい旅』 G 金 19:30~19:55 第1回00.4.28/最終回12.3.23/近畿ブロック/関西各地を旅し、その土地の新たな魅力を視聴者の皆さんにゆったりと味わってもらう、発見にあふれた紀行番組。番組の最後にその土地への行き方を紹介するなど、「見た人が思わず行ってみたくなる番組」を目指した。年間6本放送、字幕放送。

#### 『まるかじり!アジアン食堂』 G

金(月1回程度) 22:00~22:29 第1回10.10.29/近畿ブロック/ "アジアン食 堂からアジアが見える!" たむらけんじがアジア 料理をまるかじり。関西にあるアジア料理レスト ランの店主自慢の定番料理,思い出が詰まった故 郷の味を味わいながら,食文化から政治経済,歴 史,流行,日本人との深い関係も伝えた。原則最 終金曜に、年間10本放送。

#### 『かんさい想い出シアター』 G

土 5:15~ 5:50

第1回01.11.4/最終回12.3.17/近畿ブロック/映像資産の有効活用とともに、いま話題になっている地域・人物のかつての姿を紹介することで、現在の私たちが抱える問題を解決する一助としようとスタートした近畿地域向けのアーカイブス番組。不完全でしか残っていない番組や、ニュース内企画などこれまであまり扱ってこなかった素材の発掘にも力を入れ、放送における「温故知新」を図った。

『**やまとの国宝**』 **G** 水 22:45~22:50 第1回10.4.10/近畿ブロック/奈良県にある国 宝の魅力を,宝物を守る人々の談話を交えて紹介 したミニ番組。

## 『西方笑土』/『上方落語の会』 新 G

月 0:10~ 0:53

第1回11.4.20/近畿ブロック/「上方の本物の 笑い」を、「旬の笑い」と「地域のステージ」に こだわってお送りする番組。陣内智則さんや桂三 枝さんらを司会に迎え、「西の笑い」を落語、漫才、 コントを軸にしてたっぷりとお届けした。『上方 落語の会』は、第4・5週に放送。

#### 『ビジネス新伝説 ルソンの壺』 G

日 7:45~ 8:10

第1回07.4.8/近畿ブロック/関西の成功企業がヒット商品や新しいサービスを生み出している現場を、人気お笑い芸人や演出家などさまざまな分野で活躍するナビゲーターが取材し、独自の視点で企業の強さ、ビジネスの成功の秘密に迫った。11年度から、津局でも放送開始。10年度から字幕放送。

『よるともっと』 新 G 土 1:20~ 2:30

第1回11.5.6/最終回12.3.16/近畿ブロック/接触者率の向上を目指し、金曜深夜に関西独自の番組ゾーンを新設。全国放送している若者向け番組のアンコールを中心としたラインアップで、8月には、ローカルの特集番組として新作も放送した。

**『西日本の旅』 G** 月 15:50~16:00 第1回04.4.4/近畿ブロック/西日本各局が制作したミニ紀行番組。

#### 『関西ラジオワイド』 R1

月~金 16:05~18:00

第1回00.4.3/近畿ブロック/楽しく聴ける情報満載の安心ラジオを目指し、地域密着のニュース、生活情報を伝えた。2時間の生ワイド番組。

#### 『FMサウンドポケット なみはな』 FM

月~金 18:00~18:50

第1回09.3.30/近畿ブロック/リスナーからのメッセージやリクエストを基にお届けする関西のFMエンターテインメント番組。ホームページも充実し、幅広い世代のリクエストに応えた。

## (2) 主な特集番組

ア. 『かんさい特集』 G 金 20:00~20:43 (内容により19:30~20:43)

関西のNHKが総力を挙げて金曜夜間の視聴好適時間に展開する特集番組。11年度は大阪局が取り組む「子どもを守れ!キャンペーン」関連番組を年間を通じて放送した。原則毎週の放送で、内容は以下のとおり。

「今こそ,力が問われるとき〜神戸発・災害 NGOの挑戦 | 4.22

発災当日からスタッフを派遣した,阪神・淡路 大震災で生まれた神戸の災害ボランティア団体の 現地での活動など,NHK大阪が記録し続けた映 像を基に,今何が必要かを考えた。

「師匠直伝!芸人虎の穴 番外編~4月からも ビシビシいくで!スペシャル」 4.23

上方演芸界の重鎮たちが若手芸人を鍛える「師 匠直伝!芸人虎の穴」の番外編。当初は、3月18 日に放送予定だったもの。

「プロ野球中継「阪神」対「中日」」 5.13 阪神の試合を甲子園球場から中継。マルチ編成で試合開始から終了まで伝えた。

・子どもを守れ!キャンペーン関連番組

虐待, 貧困, いじめ等, 子どもをめぐる問題が 多様化する中, 子どものために何ができるかを考 える大阪局のキャンペーン。1年間にわたりさま ざまな番組を放送した。

「プロローグ」

5.20

キャンペーンの第一弾。今後1年間考えていく 内容を提示した。

「負けっぱなしで終わられへん~天王寺商業高校野球 最後の夏」 8.5

全国高校野球選手権大阪大会で「38年連続初戦 敗退」の天商野球部が、他校との統合を控え、連 敗ストップの最後のチャンスとなる夏を追った。

「ドラマ~やさしい花」 9.16

児童虐待をテーマにしたドラマ。我が子に手を 上げてしまう若い母親とその親子に手を差しのべ る一人の女性の物語。

「魂のダンス~東北へ届け 俺たちの想い」

2.3

元ヤンキー先生率いる全国屈指のダンスチーム の子どもたちが、東日本大震災の被災地で、何を 学び、どんな思いを背負って踊るのかを描いた。

「当事者の私たちが伝えたいこと~苦しみから 抜け出すために 3.23

当事者の体験を基に、いかに苦しみから抜け出 すか、また、周囲はどう支えていけばいいかを考 えた。

「師匠直伝!芸人虎の穴」

5.27, 7.1, 9.30, 11.4, 2.10, 3.16 上方演芸界の重鎮が若手芸人に修行の場を提供 するステージショー。NHK大阪ホールでの公開 収録を中心に,年間6本放送。3月で放送終了。

「ふるさと歴史ウオーク」

(6.3「紀州徳川家ゆかりの地を歩く〜和歌山市 和歌浦」, 1.13「大河ドラマ『平清盛』栄華の地をめぐる〜神戸 兵庫区」)

「音楽のごちそう なにわ歌謡ステージ」

(6.10「天童よしみ, 秋川雅史」, 7.22「夏川りみ, ジェロ」, 10.21「加山雄三, 川中美幸」, 2.24「前川清, 水森かおり」)

「まだまだいけるで!阪神・オリックス」 6.17 苦戦が続く阪神、ようやく調子を上げてきたオリックス。巻き返しを狙う両チームを"ますだおかだ"が徹底応援。

「食を極める」

(7.8 「関西カレー伝説!」, 12.9 「関西おでん列 伝」)

関西の食文化を掘り下げる番組。年間2本放送。 「文珍・南光の家訓をたずねて」 7.15

桂文珍と桂南光が、近江商人の心を受け継ぐ会 社をめぐり、その家訓に成功の極意を探った。

「しあわせ料理の配達人」 8.26 離れて暮らす母と娘の物語と、昭和の懐かしい

離れて暮らす母と娘の物語と、昭和の懐かしいスイーツを復活させる2つの物語を紹介した。

「奈良まほろば散歩」 9. 2, 11.25 カメラが街を歩く旅人の目線になって, 知られ ざる古都奈良の魅力を紹介。興福寺, 斑鳩, 吉野, 平城宮跡, 柳生などを紹介。9.2は野球中継中止 のため, 前年度の再放送。

「おかあちゃん朝ドラになる!~コシノ三姉 妹・母を語る」 10.7

『連続テレビ小説〜カーネーション』のヒロインのモデル、小篠綾子さんの素顔に迫る。出演は、娘で世界的デザイナーコシノヒロコ・ジュンコ・ミチコの三姉妹。

「黒谷友香"夢の庭"に挑む~京都発 庭を極 める旅」 10.14

黒谷友香さんが、京都を中心に全国の名庭園を 旅し、自分だけの夢の庭づくりに挑戦した。

「私だって"山ガール"~関西なでしこ登山」 10.28

青春時代に山が大好きだった2人の"アラ還" レディーが再挑戦!最新ファッションに身を包 み、イケメンガイドと関西登山の魅力を伝えた。

「幸子と冬美のふるさとへ歌を」 11.18 歌手の小林幸子さんと坂本冬美さんが、台風

12·15号の被災地,和歌山県田辺市などを訪ねた。 「ドラマ"てっぱん"番外編~イブ・ラブ・ラ

10年度後期の『連続テレビ小説~てっぱん』のスピンオフ企画。不器用な2つの恋愛もようを軸に、優しさと切なさ満載の「てっぱん」ワールドを展開。

「通だす。~イケてる武将たち」 1.6 武将通・大河ドラマ通の松村邦洋が「武将」の 楽しみ方を伝授。もしも戦国武将で野球チームを

組むなら, など松村ワールドを紹介した。 「町を歩けば仏さま~京都・知られざる仏像の 町 | 1.20

ガイドブックに載らない素敵な仏像がいっぱい ある仏像の町・京都の素顔を紹介した。

「進め!突撃ッズ クイズ かんたんやで~!」

1.27

関西に密着した子どもプレゼンツの新しいクイズ番組。司会は、『平清盛』で清盛の少年時代を演じた前田旺志郎と、『カーネーション』で小原糸子の少女時代を演じた二宮星。

「映像歴史バラエティー 保存版!懐かしの上 方漫才」 2.17

いとし・こいし、やすし・きよし、上方漫才の 名作を再びお届けした。

「第42回NHK上方漫才コンテスト」 3.2 上方の若手漫才師の登竜門「NHK上方漫才コンテスト」。予選を突破した6組が出場し、かまいたちが優勝した。NHK大阪ホールからの生放送。

「海のアパートのぞいてみれば〜和歌山 串本 町 | 3.30

温帯と亜熱帯の生き物が一緒に暮らす貴重な美 しい海の1年の記録。語りは声優の野沢雅子さん。

# イ. その他の特集番組

# 『ルソンの壺スペシャル ウチの会社はこれでイ チバン!』 G 4.28

日曜朝7時台に放送している『ビジネス新伝説 ルソンの壺』のスペシャル版。クイズ型式の疑似 的双方向番組として、連動データ放送を実施。「ル ソン検定」クイズを行った。

# 『これで完ぺき 地デジ見るにはどーすりゃイイ の!?』 G 5.3

完全地デジ化を前に、地デジ推進アイドル・NMB48が、地デジの楽しみ方をナビゲートした。 『アニソンのど自慢 3 (トライ)』 G 5.22 アニメソング・特撮ヒーローソングに限定した 『アニソンのど自慢』の第3弾。子どもから大人まで、154組の予選参加者の中から15組が本戦に

# 『若者よ!君たちにニッポンを任せられるのか』 G 7.18

建築家の安藤忠雄さんを講師に迎えた大阪大学の特別講義「若者よ!立ち上がれ!」の様子を伝えた。

# 『子どもを守れ!キャンペーン 虐待 どう受け止めますか?』G8.12

テーマは"虐待"。番組に寄せられた虐待経験者の声を基に、"虐待の問題にどう向き合えばいいのか"を考えた。

#### 『あほすき!夏の芸人祭り』 G 8.21

平日午後5時台に放送している『あほやねん! すきやねん!』のお笑いスペシャル。レギュラー 芸人等が2チームに分かれてお笑いバトルを繰り

挑んだ。

広げた。

『第78回NHK全国学校音楽コンクール 近畿ブロックコンクール』 E 9.24

近畿 2 府 4 県の代表が集まって行われた近畿ブロックコンクールのもようを紹介。

『あほすき学園祭SP!』 G 11.6

NHK大阪と、学園祭で盛り上がる大阪大学& 関西大学を生中継で結んで熱気を伝えた。また、 番組連動ツイッターを使った大喜利なども実施し た。

『アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコン テスト2011 近畿地区大会』 G 11.6 テーマは「ロボ・ボウル」。近畿地区7高専14 チームの熱戦を紹介。

『ぐっさんの子育てガンバロ!コンサート』 G

子どもを育てるお母さん、お父さん、家族を 「歌」の力で応援するコンサート。「子どもを守れ! | キャンペーン関連番組。

『青少年のためのコンサート2011~自然と故郷への替歌』 G 11.23

大フィルの音楽監督の大植英次が青少年に贈る オーケストラのコンサート。現役医大生バイオリニスト・石上真由子さんがラヴェル作曲「チガーヌ」を熱演。

『どないすんねん大阪』 G 12.2

市民の期待を受け、大阪維新の会が、知事、市 長の両ポストを手にした。暮らしはどう変わるのか?教育は?二重行政の解消は?等々。各界の有 識者にも出演してもらい、大阪のこれからを徹底 討論した。

『子どもを守れ!キャンペーン〜いま問われる大 人のチカラ』 G 12.21

"人との関わり"をキーワードに、取材記者と専門家のアドバイスを交えて子どもをめぐるさまざまな問題、その解決の糸口を探った。

『関西ドラマチック特選 神様の女房(1)~ (3)』 G 12.24, 26

松下グループの創業者の松下幸之助夫婦の波乱 に富んだ人生を描いたドラマ。10月の全国放送後, 関西で大きな反響を呼んだことを受けて,アンコ ール放送。

『かんさい発 震災特集「震災から学んだこと~若者たちが見た1.17と3.11」(1部),「希望の灯り~神戸と東北 遺族の交流」(2部)』

G 3. 9

東日本大震災から1年。第1部では、阪神・淡路大震災との2つの震災をきっかけに、若者たち

がこれからの人生をどう生きていこうとしているのか掘り下げた。第2部では、神戸から東北の被災地に届けられた追悼の灯りに希望を託す神戸と東北の遺族たちの半年間の交流を追った。

#### (3) 主な府県域番組

「京都局」

『J2リーグ「京都サンガF.C.」対「大分トリニータ」、「京都サンガF.C.」対「水戸ホーリーホック」』 G

京都・大分県域 6.12, R1 京都府域 10.2 『bjリーグ「京都ハンナリーズ」対「島根スサノウマジック」,「京都ハンナリーズ」対「滋賀レイクスターズ」』 G

京都・島根県域 11.27, 京都・滋賀県域 2.12 『第26回国民文化祭・京都2011~開会式』 G 京都府域 10.29

『歌舞伎俳優 坂東玉三郎〜京都賞受賞 未来へのメッセージ』 G 京都府域 1.6 『Nコン!伝えるチカラ』 G 京都府域 2.26 『学食へいこうSP〜京都の大学生17万人が参加!?ツイッターでダラダラ生放送』 G

京都府域 3.29

『NHK京都放送局開局80周年キックオフ特番魅 せます!京都の底力』 G 京都府域 3.31 「神戸局〕

『Jリーグ「ヴィッセル神戸」対「大宮アルディージャ」、「ヴィッセル神戸」対「アルビレックス新潟」、「ヴィッセル神戸」対「ジュビロ磐田」、「ヴィッセル神戸」対「ベガルタ仙台」』 G

兵庫県域 4.29, 兵庫・新潟県域 5.3, 兵庫県域 11.27, 兵庫県・宮城県域 12.3 『兵庫特集 新・兵庫史を歩く 第20回記念北 播磨の御仏たち〜加東市』 G

兵庫県域 6.17 『ひょうご再発見 礎~近代が残したもの~明延鉱山跡・魚類運搬車軌道跡・播州織の半木製織機』 G 兵庫県域 5月から随時『ジャズライブ総集編』 G 兵庫県域 6.4 『兵庫特集 新・兵庫史を歩く 第21回平家落人伝説の道~香美町』 G 兵庫県域 12.9 『ひょうご安全の日 1.17のつどい』 G

兵庫県域 1.17

『兵庫のうまいもん紀行〜丹波黒・赤花そば・ぼうぜがに』 G

兵庫県域 2.17, 2.24, 3.17他 『親子で楽しむ室内楽コンサート』 FM

兵庫県域 3.30

NHK年鑑'12

426

#### [和歌山局]

『紀の国スペシャル どうする?和歌山の防災~ 想定外を生きのびるために』 G

和歌山県域 6.10

『紀の国スペシャル 風よ, 吹け 〜ツール・ド・熊野 密着96時間』 G

和歌山県域 6.18

『あの日の和歌山 ~夏の風景より』 G

和歌山県域 7.29. 9.9

『空海と高野山 1200年の美と至宝 八大童子 立像』 G 和歌山県域 9.9 『パワステ』 FM 和歌山県域 毎週金曜『パワステ公開スペシャル つながろうWA!の広場』 FM 和歌山県域 10.30『パワステ公開スペシャル 届け!歌声♪~つながろう和歌山 ささえあおう日本』 FM

和歌山県域 12.17

#### [奈良局]

『王宮発見~纒向遺跡 発掘の記録』 G

奈良県域 5.6

**『2 ミニッツコンテスト』 G** 奈良県域 8.30 『奈良特集 東大寺 美と祈りの聖地』 **G** 

奈良県域 11.5

『奈良特集"心の復興"を求めて』 G

奈良県域 1.7

『奈良特集 山が教えてくれた"生きる力"』G 奈良県域 3.17

#### [大津局]

『bjリーグ「琉球ゴールデンキング」対「滋賀レイクスターズ」、「京都ハンナリーズ」対「滋賀レイクスターズ」』 G

滋賀県域 5.8,11.20,京都・滋賀県域 2.12 『江~歴史紀行スペシャル』 G

滋賀県域 5.29

『江〜姫たちの戦国スペシャルライブ』 G

滋賀県域 8.12

『NHK大津局開局70周年記念「湖国が見た戦争」』 FM 滋賀県域 8.15 『文珍・南光のおでかけ演芸会〜家訓をたずねて・落語編』 G 滋賀県域 9.19 『NHK大津局開局70周年記念「びわこトレイン

ななまる号」』 FM

『放課後アニメパーティー』 FM

滋賀県域 11.26

滋賀県域 11.4, 2.24, 3.30

『競技かるた名人戦・クィーン戦』 G

滋賀県域 1.7

『防災ラジオ滋賀2012〜地震災害から身を守る』 FM 滋賀県域 2.11 『フォーラム認知症新時代in琵琶湖〜いきいきと暮らすために』 G 滋賀県域 3.20 〔各局共通〕

#### 『NHKのど自慢予選会』 G

「京都府」(10.23),「奈良県」(6.19),「和歌山」 (5.4),「滋賀県」(2.26)

※「兵庫県」は台風のため中止,「大阪府」は放送なし。

### 『天皇杯サッカー・各府県代表決定戦』 G

京都・和歌山・神戸・奈良・大津 8.28 『第78回NHK全国学校音楽コンクール・各府県 コンクール』

大阪府域FM/ 8.29~31京都府域FM/ 8.29~31兵庫県域FM/ 8.29~31和歌山県域G/ 9. 8~ 9, FM/ 8.29~30奈良県域G/ 9. 9, FM/ 8.29~31滋賀県域FM/ 8.28

#### 3. スポーツ中継

全国放送では、プロ野球、社会人野球、Jリーグ、 天皇杯サッカー、センバツ高校野球・全国高校野球選手権、全国高校駅伝、全国女子駅伝、びわこ毎日マラソン、競馬、Vリーグ、WJBL、大学ラグビー、学生柔道、甲子園ボウルなどをテレビ・ラジオで中継した。

大阪の大相撲春場所は11年八百長疑惑問題で中 止されたが、12年は2年ぶりに行われた。

地域放送では、広島で行われる織田記念陸上に 関西ゆかりのトップアスリートが出場し、インタ ーローカルで伝えた。他の新規ソフトは女子プロ 野球。以下、地域放送実績。

#### (1) 高校野球

第93回全国高校野球選手権大会

〈近畿ブロック放送〉

 大阪大会 決勝
 E·G/8.1

 京都大会 決勝
 E·G/7.25

 兵庫大会 決勝
 G/7.29

 和歌山大会 決勝
 E·G/7.30

 奈良大会 決勝
 G/7.27

 滋賀大会 決勝
 E/7.28

〈県域放送〉

大阪大会 準決勝 デジタルG大阪単/ 7.31 準決勝・決勝

R1他大阪単/ 7.31, 8.1

京都大会 準々決勝~準決勝

R1京都単/ 7.23. 24

兵庫大会 準々決勝

FM神戸単/ 7.26

準決勝 神戸単/ 7.28

和歌山大会 準決勝 G和歌山単/ 7.29

奈良大会 準々決勝 FM奈良単/ 7.24, 25

準決勝 G奈良単/ 7.26

滋賀大会 準決勝 G大津単/ 7.27

第55回全国高校軟式野球選手権大会 決勝

R1近畿ブロック/ 8.29

秋季近畿地区高校野球大会

〈近畿ブロック放送〉

準々決勝 R1・FM/10.30, 11.3

準決勝 R1/11.5

決勝 R1·FM/11.6

〈県域放送〉

京都大会 準決勝・決勝

R1京都単/10.1~2

兵庫大会 準決勝・決勝

FM神戸単/10.1~2

滋賀大会 準決勝・決勝

FM大津単/ 9.25, 10.1

奈良大会 準決勝・決勝

FM奈良単/10.8~9

#### (2)プロ野球

NPB

〈近畿ブロック独自編成〉

 「オリックス」対「日本ハム」
 G/5.4

 「オリックス」対「ソフトバンク」
 G/5.13

 「阪神」対「中日」
 G/7.3

 「阪神」対「中日」
 G/7.26

 「阪神」対「ヤクルト」
 G/10.4

 「阪神」対「横浜」
 G/10.20

 「オリックス」対「日本ハム」
 R1/4.21

女子プロ野球

「兵庫 | 対「京都 | G / 6.12

#### (3) Jリーグ・天皇杯サッカー

〈近畿ブロック放送〉

J1「G大阪」対「神戸」 G/ 3.10

J1「C大阪」対「G大阪」 G/ 3.17

〈県域放送〉

J1「神戸」対「大宮」 G神戸単/ 4.29

J1「新潟」対「神戸」 G新潟・神戸/ 5.3

J1「京都」対「大分」 G京都単/ 6.12

J1「神戸」対「磐田」 G神戸単/11.27

J1「仙台」対「神戸」 G仙台・神戸/12.3

天皇杯サッカー各府県代表決定戦

第16回和歌山県サッカー選手権大会

G和歌山単/ 8.28

第16回サッカー奈良県選手権大会

G奈良単/ 8.28

第16回大阪サッカー選手権大会

G大阪単/ 8.28

第16回京都サッカー選手権

G京都単/ 8.28

第14回兵庫県サッカー選手権

G神戸単/ 8.28

第16回滋賀県代表決定戦

G大津単/ 8.28

#### (4) その他のスポーツ

第40回関西学生サッカー選手権 決勝

「阪南大」対「大体大」

E近畿ブロック/ 6.4

関西大学ラグビー

「天理大|対「同志社大|

E近畿ブロック/10.16

関西学生アメリカンフットボール

「立命館大|対「関西大|

E近畿ブロック/11.12

プロバスケットボール bjリーグ

「大阪 | 対「琉球 | G近畿ブ・沖縄 / 10.22

「大阪 | 対「滋賀 | G近畿ブロック / 11.12

「琉球」対「滋賀」 G滋賀・沖縄/11.20

「京都 | 対「島根 | G京都・松江 / 11.27

「大分」対「京都」 G大分・京都/ 1.29

「京都」対「滋賀」 G京都・大津/ 2.12

かんさい特集「まだまだいけるで!阪神&オリックス|

G近畿ブロック/ 6.17

選抜高校野球開幕特番「甲子園で輝け!期待の関

西勢」

G近畿ブロック/ 3.20

# Ⅱ. 技 術

#### 1.番組制作

デジタル化のメリットを生かし、3-Screens展開など質の高い番組制作と地域サービスの充実、また、迅速・的確な緊急報道など視聴者第一主義の番組制作に取り組んだ。

# (1) ドラマ番組

『連続テレビ小説~カーネーション』は、大正 時代に生まれ、日本のファッションデザイナーの 草分けとして活躍,女手ひとつで3人の娘を世界的ファッションデザイナーに育て上げたヒロインの波乱万丈の物語を,朝ドラ初のプログレッシブ撮影を行い,時代に合った映像表現に仕上げた。

『ドラマ10~タイトロープの女』の舞台は大阪のワイヤー工場。血のつながらない母娘がぶつかり合いながら工場の再生に賭けるバトルと絆を描いた物語。目の前で繰り広げられる生のドラマを2台のカメラで多角的に切り取った力作である。

『かんさい特集ドラマ〜やさしい花』は、10年夏に大阪で起こった若い母親による「ネグレスト」で3歳と1歳の2児が餓死した事件を受け11年度、大阪局全体で取り組んでいる「子どもを守れ!」キャンペーンの一環として制作した。『もしも、明日…我が子に虐待を始めたら』のドラマパートとマルチユース制作。2台のカメラ収録でテンポ良く効率的な制作を実施した。

#### (2)一般番組

NHK大阪ホールでの公開番組『わが心の大阪メロディー』『なにわ歌謡ステージ』『西方笑土』『アニソンのど自慢』などの音楽芸能番組や、『歴史秘話ヒストリア』『生活笑百科』『きらっといきる』『まるかじり!アジアン食堂』といった番組を大阪から全国に発信し、視聴者から高い評価を得た。

#### (3)スポーツ中継

高校駅伝(12月), 女子駅伝(1月), びわ湖毎日マラソン(3月)において,安定した電波伝搬を実現して高画質のハイビジョン映像と,5.1サラウンド音声による臨場感あふれる放送を行った。このほか,恒例の「春夏・高校野球」や「プロ野球」「サッカー」などの中継放送を実施,スポーツの感動をお茶の間に届けた。

#### (4) 地域番組

上方演芸界を代表する師匠たちが若手芸人に芸の修行の場を提供する『師匠直伝!芸人虎の穴』や独創的な発想で成功を収めている地元企業を紹介し、関西経済を元気づける『ビジネス新伝説ルソンの壺』、地域の社会問題などをホットに伝える『かんさい熱視線』などで、関西ならではの地域情報を発信した。このほか、10代の視聴者層に向けた『あほやねん!すきやねん!』など多様な番組を放送した。

#### (5) 3-Screens展開

より幅広くNHKとの接触者を増やすため、放送に加えて「インターネット」のサービスを展開した。全国高校駅伝(女子・男子)は中継所からの動画をネット配信した。動画は新たにモバイル

端末として急速に普及しているスマートフォンに も提供した。

一方、『あほやねん!すきやねん!学園祭SP』では、視聴者の反応をツイッターを活用してリアルタイムで紹介し、視聴者参加型の双方向番組を制作した。

#### (6)選挙放送・緊急報道

4月の統一地方選では、東日本大震災の報道が続く中、前半(10日投開票)は、大阪府議選、大阪市議選、堺市議選について、後半(24日投開票)は、大阪府下10市長選、大阪府下21市町村議選を、10年より導入した新選挙システムを使用し、事務所中継等を交えながら視聴者により分かりやすく迅速に情報を伝えた。

11月27日、同日の投開票日となった大阪府知事選挙と大阪市長選挙「大阪ダブル選挙」では、テレビ・ラジオ、データ放送、インターネットと多岐にわたるメディアを使って、全国から注目された投開票速報のもようを大阪から発信した。

緊急報道では、東日本大震災報道へ近畿から支援を継続して実施するとともに、各地の原子力発電所停止により電力不足となった状況について、関連各所からの中継などを多数実施した。

9月に近畿を襲った台風12号は、スピードが非常に遅かったため豪雨が長時間続き、紀伊半島を中心に大きな被害をもたらした。長期間の中継体制を組み現地の被害状況を伝えるとともに、避難情報や鉄道・道路状況などの生活情報をテレビ画面の中にスーパーするなどして手厚く伝えた。また、NHKの伝送設備も被害を受けたため、通信衛星(CS)を使ったバックアップ体制を構築し万全の報道体制を確保した。

9月1日の「防災の日」には、平日午後2時から放送している「震災に負けない~お元気ですか日本列島」を大阪ニュースセンターより全国に発信した。東日本大震災を受けて、首都直下地震発災時、本部放送センターの機能喪失を想定し、大阪局から放送を確保するために放送機能を強化する必要があることを視聴者に分かりやすく伝えた。

#### 2. 視聴者とのふれあい (CS活動)

CS活動として、5月および11月の「BKワンダーランド」において、「スタジオ公開」や「最新技術展示」を実施し、NHK放送技術の理解促進に努めた。

小学5年生を対象に、放送局の仕事についての 理解促進を目的とした「出前授業」には、大阪府 内5校8クラス,240人の参加があり、児童・学校側からも大変好評だった。

また、「のど自慢予選会」では域内にも出向き、「スイッチャー体験」などで視聴者とのふれあい活動を行い、番組に関連する視聴者サービスに努めた。

#### 3. 設 備

#### (1) 完全デジタル放送化と放送網の安定

7月24日にアナログ放送が終了し、完全デジタル化に移行した。「あまねく」の達成に向け、大量に整備した放送設備の安定運用に努めるとともに、リパックや送信機2台化などの補完整備を取り進め、ネットワークとシステムの高信頼化を図った(日付は開局日)。

デジタル中継局の整備

M:ミニサテ

(大津) 甲西岩根M(5.15開局)

地上デジタル中継局送信設備の補完整備

(改善リパック)

奈良・栃原DG, DE

(受信ch変更)

奈良・五条丹原DG, DE

(送信ch変更)

神戸・篠山立町DG, DE

(補間波)

神戸・姫路東播磨DG. DE

(12.12開局)

(整備)

和歌山・紀ノ川橋本DG (10.31開局)

奈良・生駒奈良北DE

(3.5開局)

(送信機の2台化) 奈良・三郷立野DG, DE

大津・甲賀大原DG, DE

#### (2) NHK共聴の安定運用に向けた取り組み

10年度末までに地上デジタル放送導入を終えた 近畿658施設のNHK共聴施設について,施設の安 定運用に向けた対応に努めた。

11年度は9施設について、施設老朽に伴う大規模改修(光回線化)を行うとともに、22施設の部分改修(小規模改修)に取り組んだ。

加えて、地上デジタル放送導入後にフェージング等の電波伝搬上の理由から、地デジ受信不良が発生していた3施設についての受信点の移設(NHK共聴施設の補間整備)を行っている。

一方、アナログ放送終了時までに、ケーブルテレビ等に移行した施設の廃止・撤去に対応し、11年度は141施設を撤去した。併せて、不用となったアナログ受信機器・設備の撤去に着手し、11年度は56施設について撤去した。

#### (3)番組制作・送出設備の整備

老朽化した大阪局T-4スタジオの照明設備更新にあわせてLED照明器具を導入し、消費電力を

これまでの約1/3に低減した。また、オンライン 作画装置を整備し、双方向番組での視聴者投稿メッセージを迅速に放送表示することを可能とした。

## (4) 災害・緊急報道対応設備の整備

通信衛星(CS)を使った素材伝送設備において、従来の半分の伝送帯域でハイビジョン伝送が可能な設備を、大阪局、京都局、神戸局に整備した。限られた衛星中継器の無線周波数帯域を効率よく伝送することができ、伝送コストの削減が可能となる。今後、他の近畿管内の放送局にも順次導入していく予定である。

局外に設置している天気カメラのハイビジョン 化の更新を行った。関西空港に隣接するりんくう ゲートタワービル屋上に設置しているカメラをハ イビジョン化した。また、新大阪駅新幹線ホーム が見える場所にハイビジョンカメラを設置した。 リアルタイムに高精細映像を伝送することができ 緊急報道に威力を発揮することが期待される。

#### 4 送受信技術

# (1) 視聴者の視点に立った地上デジタル放送へ の対応と良好な受信環境の確保

近畿広域地上デジタル放送推進協議会の一員として、「地上デジタル放送難視地区対策計画」に登録されている難視地区の対策計画策定に取り組んだ。その結果、12年2月末時点で恒久対策未策定世帯数は、1万1,000世帯にまでなっている。これに加えて、視聴者からの申告によるデマンド難視の振り分け作業を取り進めた。

## (2) 受信インフラ整備に向けた取り組み

地デジ未受信者ゼロを目指し、受信インフラの 地デジ移行を図るため、近畿協議会・総務省テレ ビ受信者支援センター(以下、デジサポ)やケー ブル事業者、地域電器店等と連携した受信対策活 動を近畿一円で展開した。また、月1回放送の『教 えて!デジタルおじさん』は、06年10月から毎回 視聴者に分かりやすくデジタル化を解説した。

近畿協議会・普及促進部会と連携して、地デジ推進大使「TEAM2011」や地デジ推進アイドル「NMB48」「地デジカ」を前面に押し出した広報活動を各地で繰り広げた。特に、近畿最大の課題でもある「ビル陰共聴エリア」のデジタル化と「DG受信不良問題」に対しては、積極的かつ重点的に活動を展開した。視聴者の当事者意識の高揚を図るとともにアナログ終了時までの自主改善を強く促した。

各府県のデジサポと連携し、関係業界との役割

分担のもと、デジタル化を推進する「近畿スクラム2011活動」を推進した。最終盤での精力的な活動の車斐もあり、円滑なデジタル移行が果たせた。

#### (3) 自主共聴等支援策への取り組み

10年度に引き続き、近畿総通局・自治体と連携 しデジタル化未対応の自主共聴施設組合・加入者 に対して計画的かつ継続的にデジタル化を働きか けた。対応時には受信点調査、技術支援、経費助 成等、NHKの施策を国・自治体の補助と合わせ て紹介。

約3年間におよぶ取り組みの結果,ケーブル移行や良視による個別受信移行などを含め,近畿全1,873施設のデジタル化がアナログ放送終了前までに完了した。このうち495施設の約2万6,000の世帯には施設のデジタル化改修に伴うNHK経費助成を実施した。なお,NHK共聴の施設のケーブルテレビ移行に伴う助成実績は326施設で約2万世帯となった。

# (4) アナログ終了に向けた視聴者への対応

地上アナログ放送終了直前期には『ニューステラス関西』や「地デジ特番」等の放送をはじめ、デジサポと連携したイベント活動を局内外で展開した。公共団体窓口等でのポスター掲出やチラシ配置も実施した。加えて7月1日の午前0時から24日の正午まで24時間常時終了スーパーを実施するなど、あらゆる手段を通じた周知に努めた。

7月24日のアナログ終了前後は、局内プロジェクトと連携し全局を挙げての視聴者対応に備えた。技術でも臨時受信相談ブースを設置。各部署に入電する。

DG受信不良をはじめとする受信相談に対応するとともに、受信相談員の即応訪問体制を敷いた。

# Ⅲ. 視聴者

#### 1 イベント事業

11年度近畿ブロックでは、346件のイベントを実施。視聴者サービスの充実と視聴者結び付きの強化に努めた結果、参加者は184万1,560人となった。大阪局では、全局をあげて展開する「子どもを守れ!」キャンペーンの一環として「ぐっさんの子育てガンバロ!コンサート」(10.29)、「こどもたちへのメッセージ」(12.11)、「ふれあいコンサート」(3.3)などのイベントを実施。後期の『連続テレビ小説~カーネーション』関連でもトークショーやファンミーティングを開催した。また、3月の東日本大震災の影響で、当初東京のNHK

ホールでの実施を予定していた『思い出のメロディー』をNHK大阪ホールで(8.13)、被災地支援の『歌謡チャリティーコンサート』を阪神・淡路大震災から復旧・復興を果たした神戸市で(8.26)実施した。9月3~4日に台風12号が近畿地方に接近し、兵庫県赤穂市で予定されていた『NHKのど自慢』が中止に、NHK大阪ホールで予定されていた「第78回NHK全国学校音楽コンクール近畿ブロックコンクール」が延期になるなど大きな影響があった。

## (1)全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『BS日本のうた』『それいけ! 民謡うた祭り』『ザ少年倶楽部』『わが心の大阪メロディー』『上方演芸会』など111本をNHK大阪ホールと近畿各地で実施した。

## (2)展覧会

「大英博物館 古代ギリシャ展」(3.12~6.12神戸市立博物館)、「法然 生涯と美術」(3.26~5.8京都国立博物館)、「NHK大河ドラマ特別展『江〜姫たちの戦国』」(7.23~8.31長浜市長浜城歴史博物館)、「細川家の至宝」(10.8~11.23京都国立博物館)、「第58回日本伝統工芸展」(10.12~17京都高島屋、10.19~24JR大阪三越伊勢丹)などを実施した。

#### (3)教育・子どもイベント

「第58回NHK全国高校放送コンテスト府県大会」「第28回NHK杯全国中学校放送コンテスト府県大会」「第78回NHK全国学校音楽コンクール府県コンクール」「同ブロックコンクール」を6月から9月に、「キミが主役だ!NHK放送体験クラブ」を年間を通じて近畿各府県で実施したほか、「NHK朗読ひろば」(10.13大阪府豊中市立新田小学校)、「NHKこどもミュージカル」(11.23NHK大阪ホール)、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(12.16~18NHK大阪ホール)などを実施した。

#### 2. 営業

#### (1)全体状況

11年度の近畿ブロック受信契約の増加数は6万8,000件, 衛星増加は14万3,000件を確保。衛星増加については、10年度を9,000件上回る増加数を確保した。

#### (2) 受信料の公平負担に向けた取り組み

11年度活動は、3か年経営計画の最終年度「支 払率の向上」に貢献するため、訪問要員の効果的・ 効率的な運用に向けて、地域スタッフの少数精鋭 化を図り、公開競争入札による法人委託の開発と 実施地域の拡大に取り組み、契約取次・支払再開 へパワーシフトを推進し、2年連続となる全営業 諸目標を達成することができた。

また、ホテル・旅館等の契約適正化に向けた取り組み強化にも努め、事業所増加1万1,500件を確保。営業収納額も対前年度比28億5,000万円の増収を図った。さらに、どうしてもお支払を頂けない方に対しては民事手続きによる支払督促を近畿ブロック全域で計画的に実施し公平負担の徹底に努めている。

引き続き、地域スタッフと法人委託の総計で業績確保を図る体制を継続し、法人委託の更なる開発、公開競争入札による業務委託の体制強化による地域スタッフと法人委託の二元体制の構築を推進する。

# 3. 広報

## [大阪局]

#### ①経営広報·番組広報

月1回, 関西放送記者会加盟18社を対象に局長 定例会見を開催し, 大阪局および域内局の放送を 中心とした幅広い事業内容について広報した。

番組広報では、だんじり祭りで有名な岸和田を舞台に、コシノ三姉妹の母・綾子さんをモデルとした大阪局制作の『連続テレビ小説~カーネーション』は、「カーネーション委員会」を発足させ、全局体制でPRに取り組んだ。今回、新たな試みで、岸和田市駅前商店街で、放送で使用した衣装や番組紹介パネルなど展示するNHKギャラリー「カーネーション」をオープンさせた(11.11.3~12.6.30)。3月13日には、5万人を達成しセレモニーを実施した。また、2月5日には、大阪局で「ファンミーティング」を開催し、放送終盤に向けてPRを図った。

「カーネーション」の、関西の期間平均の視聴率は、19.6%と高視聴率であった。

「カーネーション」PR用のグッズ (独自ポスター, うちわ, クリアファイル, 手ぬぐい, 法被, 旗, シール) を作成し, イベントを盛り上げた。

新たな試みで、EPG広告やホームページのスマートホン対応などで若年層へのPRも行った。

「子どもを守れ!キャンペーン」ドラマ『やさしい花』(9.9)、『てっぱん番外編』(12.16・関西地域)、『上方漫才コンテスト』(3.4)、『ドラマ10~タイトロープの女』(1.24~全6回)など取材会や試写会を実施した。

関西地域の番組と大阪局制作の番組を紹介する 冊子を作成し、番組PRに努めた。

#### ②視聴者広報

NHK大阪局に親しんでもらうため、事業部とともに5月1~5日に「BKワンダーランド・春」を、10月30~31日に「BKワンダーランド・秋」を開催し、スタジオセットの公開やさまざまな公開番組を実施した。「春」には延べ10万人、「秋」には4万人を超える来場者があった。

また、これとは別に広報部では8月5~15日に「BK85なつ祭り」を、3月11~21日には「BK86さくら祭り」を開催した。「さくら祭り」では、『連続テレビ小説~てっぱん』のスタジオセット公開のほか、一般から募集した写真を展示する「新しい命と家族の写真展」を実施し、東日本大震災の影響で特設ステージでのイベントが中止になったにもかかわらず、約3万1,000人が来場した。

放送会館内の見学コース「BKプラザ」には、10年度1年間に44万人が訪れ、11年1月には01年の開館以来の来館者が累計で400万人に達した。「BKプラザ」のアーカイブスコーナーに、大阪局保存のニュース映像を検索して見ることのできる「タッチパネルBKふるさとアーカイブス」を新たに設置した。また、公開番組スタジオ「BKプラザスタジオ」では「あなたもキャスター☆君もカメラマン」(体験見学)や「3Dハイビジョン映像体験」などを定期的に開催したほか、イベントに合わせて絵本の読み聞かせや工作教室など、家族連れや子どもたちに楽しんでもらう催しを開催した。

「ふれあいミーティング」は大阪局主催で27回 実施し、381人の視聴者と対話を行った。

10年度に大阪局へ寄せられた視聴者意向件数は 電話,手紙,来局,メールなど合わせて約17万 1,000件だった。

#### 〔京都局〕

京都放送局では「放送局のちから」で掲げた4つの目標を柱に、地域の皆さまに親しまれるための視聴者サービスや、若者対策の更なる強化を目標に広報活動を展開した。開設10周年の節目を迎えた「NHK講座」は、建仁寺でのオープンカレッジ、立命館大学との連携による講座内容のインターネット展開や12年度に向けたプレ講座の実施などさまざまな取り組みを行い、学生はもとより一般の視聴者に向けた記念事業を展開し、社会貢献に取り組む姿勢をアピールすることができた。

10月の『NHKのど自慢』(京都府城陽市)の予選会に合わせて行ったCS活動は、NHKキャラクターフォトサービスや放送技術体験など、これまでにない大規模な内容で実施し、事前PRチラシ

を見て来場した親子連れなどで賑わった。

開局80周年記念事業のキックオフイベントの位置づけで実施した3月「会館公開」は、2日間でおよそ1万人の来場者があった。会館南側の二条公園特設ステージでは「ワンワン」など親子で楽しめるキャラクターショーや『連続テレビ小説』『大河ドラマ』の出演者による番組PRトークショーやラジオの公開生放送を行い、会館内では放送体験やスタジオ公開、体感デジタルランドなど盛りだくさんの内容で楽しんでいただいた。

7月に開設したツイッターは、番組やイベントのお知らせ、京都の歳時などさまざまな情報や災害情報に至るまでを発信して9か月間で9,000を超えるフォロワーが集まった。なかでも3月に放送した『学食へいこう!SP』(京都府向け)はツイッターと連動した企画で生放送中に4,000件を超えるツイートが寄せられ、多くの大学生や若い世代が参加するライブ感あふれる番組となった。

#### [神戸局]

「JR福知山線脱線事故から6年」「統一地方選挙」「台風12号・15号」「阪神・淡路大震災から17年」など、兵庫県が抱える課題を掘り下げて取材し、地域放送で重点的に伝えながら、ブロック放送や全国放送へも幅広く発信した。

「ニュースKOBE発~我が町ケーブルテレビ」、神戸新聞共同企画「ミニ番組・ひょうご再発見 礎~近代が残したもの」「兵庫うまいもん紀行」など地元マスコミやケーブルテレビと協力しながら、きめ細かな地域の情報を発信した。

地上デジタル放送完全移行に伴い、10年度から取り組んできた「完デジマン」による地デジ化のキャンペーンを『ニュースKOBE発』やスポット枠のなかで周知徹底した。

また、県内の話題をくまなく伝えるべく、「ニュースKOBE発~ふるさとキャラバン(神河町・市川町・多可町)」、県域の枠を越えて鳥取局・京都局・神戸局とインターローカルで取り組んだ「ニュースKOBE発~山陰ジオパークキャラバン(香美町他)」「新兵庫史を歩く~加東市・香美町」の実施や、「ニュースKOBE発~兵庫ぶらり旅(県下各地)」などの放送・イベントの編成により、情報発信を強化し、地域に根ざす神戸局の存在感を高めた。

「いのちを守る放送局」として、阪神・淡路大震災の教訓を引き継ぎ、被災者の思いや、東日本大震災へ生かす取り組みなどを伝えるために、「震災いのちのきずな」やニュース企画などを、年間を通して発信した。また、震災の日を中心に、『お

はよう日本』や「ひょうご安全の日1.17のつどい」の中継をはじめ、『NHKスペシャル~阪神淡路大震災の後悔を生かせ』『クローズアップ現代~検証・広域支援』『かんさい熱視線~阪神・淡路17年 経験は生かせたか』『かんさい特集~震災から学んだこと~若者たちが見た1.17と3.11』などを制作し、ブロック放送や全国放送へ発信した。

JR福知山線脱線事故は、発生から6年が経過し、事故が風化していかないよう、被害者に寄り添い、悲劇を繰り返さないためには何が必要なのかを取材・発信し続けた。1月には神戸地裁でJR西日本の前社長への判決があり、その経緯を詳しく伝えた。

年明けからは、『大河ドラマ~平清盛』を神戸局でも盛り上げていくべく、『ニュースKOBE発』で積極的に取り上げた。毎週火曜日にドラマの次回の見どころを紹介したのをはじめ、ドラマ出演者が神戸市で開催された『大河ドラマ』関連行事等に出演した機会にインタビューして役どころなどを紹介、加えて2月に「清盛キャラバン」として神戸市内の「清盛」ゆかりの地から3日にわたって中継した。

インターネットのコンテンツの充実を図るため,ホームページのトップページへの神戸局制作番組やニュースコーナーの掲載を充実した。

データ放送を使った防災情報伝達の仕組み『河川水位』を7月運用開始,『公共情報コモンズ』を阪神・淡路大震災1月17日にあわせて全国に先駆けて運用開始した。また,大相撲コンテンツ『ふるさとの力士』を11月場所から運用開始した。

#### [和歌山局]

11年度から、夕方の県域情報番組『あすのWA!』がスタートした。タイトルは局内全体で案を募り、投票で決定した。「WA」は県名の頭文字であることはもちろん、県の皆さんをつなぐ「輪」、ホットな話題の「話」、驚きを表す「わぁ!」など、さまざまな意味がこめられた。

和歌山局の親しみやすさを向上させるため、マスコットキャラクター "わかまるくん"のデザインリニューアルが、局内掲示版「オレンジボックス」を利用しての投票の他、和歌山県内の中高生からなる和歌山局のヤングサポーター「WAKA葉サポーター」の意見を取り入れて行われた。その結果、現在は広報・CS活動のさまざまな場面に活用されるようになった他、和歌山局ツイッターのアカウントにもなった。

ホームページでは、局のアナウンサー・キャス

ターによるブログが開始されたほか、わかまる Jr. (ぬいぐるみ) が視聴者の皆さんの間をリレーしながら県内各地を旅し、その写真を紹介していく「わかまるリレー旅」のコーナーも加わった。

ハートプラザには、手作りのアナウンサー・キャスターの紹介パネルや、番組PRチラシ・冊子の紹介ポップなどを設置した。

9月、紀伊半島を台風12号が襲い、和歌山県も紀南地方を中心に甚大な被害を受けた。発生時から局を挙げて取材活動および取材拠点のロジスティック活動にあたり、県内・全国に情報を発信した。そしてその後の復興へのあゆみも、『あすのWA!』を中心に放送した。また、復興への支援活動として部局横断で行う「虹プロジェクト」を立ち上げ、放送やイベントを通じてさまざまな取り組みを開始した。

#### [奈良局]

イベントでは、地元のイベントに参加する形で、 10月に橿原市で「ふるさとの食にっぽんの食奈良 イベント」を、11月に奈良市で「地球だい好き環 境キャンペーン」を実施した。

広報では、さまざまな広報展開を実施。奈良放送局制作の番組やイベントを紹介する「nara通信」については継続して週刊で発行、ホームページにも掲載したほか、配布先も随時拡大した。また、「ならナビ」ポスターを、奈良県内の商店街や、奈良交通バス(約450台)に掲示、会館壁面にも巨大横断幕を掲示するなど、多彩に展開した。

奈良県内の有識者による「視聴者会議」のほか、各地で行われる公開番組、イベント時に視聴者のみなさまから意見、要望をお聞きする「ふれあいミーティング」も継続、3月には恒例の会館公開を実施、スタジオ見学やアナウンサー体験、中継車公開、『連続テレビ小説~カーネーション』トークショー、ストレッチマンショーなど、放送にかかわるさまざまな催し、体験コーナーなどを通じ公共放送への理解促進にもつなげた。

また、会館内でも、集会室を活用した上映会で、過去の奈良局制作『万葉ラブストーリー』などを一般に公開したり、ロビーのモニターを利用して、「やまとの国宝」DVDを流したり、来館者に向けて奈良局制作の番組をPRした。

NHK奈良のホームページ「まほろばオンライン」では、11年度は新たに「アナウンサーBlog」を開設した。「2ミニッツコンテスト」や「心の復興」の特設ページも随時作成し、引き続き「やまとの国宝」を動画提供するなど、放送と連動し

た取り組みを実施した。

そのほか、携帯版ホームページは、"いつでも" "もっと身近に"情報を手にしていただけるよう 努め、データ放送でも、番組・イベント情報や、 県内自治体から寄せられたさまざまな情報を「く らしと安全情報」「おでかけ・イベント情報」な どとして展開した。

9月の「台風12号による豪雨災害」では、専用の災害ホームページを立ち上げ、災害の最新情報、避難情報、ライフライン情報や、ニュースなど、視聴者に有用な情報を中心に掲載し、約10万件のアクセスがあった。正時ごとに、FM放送で、災害情報や生活情報を奈良県向けに上乗せで放送し、この生活情報を中心に、災害情報のデータ放送も開始し、奈良放送局から発信できるメディアをフルに活用して、被災者を含む、県内外の方に、情報を提供した。

## [大津局]

県域放送『おうみ発610』は、「人・湖・未来」をコンセプトに、地球環境を映し出す鏡とも言える「びわ湖」で起きているさまざまな環境問題を多角的に伝えた。11年1月から放送した『大河ドラマ〜江』の舞台となった場所やエピソードを「江〜歴史紀行」のコーナーで紹介した。

11年度に大津放送局が開局70周年を迎えるのを記念して、5月に「QPウィーク」と題して、これまで大津局で制作した番組の中から選りすぐりの番組を10日間にわたり県域放送で特別編成し一挙に放送した。

2月に、大津放送局と滋賀県内の民放4局が共同で制作した『防災ラジオ滋賀2012~地震災害から身を守る』を県域FM放送で放送し、滋賀県が抱える防災の課題とラジオが果たすべき役割について伝えた。

5月の「QPウィーク」では、『大河ドラマ〜江〜姫たちの戦国』の全国巡回展や公開セミナー・トークショー、「大津放送局70年のあゆみ」展、会館公開「QPふれあいひろば2011」を開催した。

1月の『競技かるた名人戦・クイーン戦』の放送においては、これに連動して落語会や講演会などのイベントや競技の試合速報を番組ホームページで発信するなど、多彩なCS活動を展開した。

地上デジタル放送では、11年7月の完全デジタル化に向けて、中継局の開局や受信インフラのデジタル化を進め、『おうみ発610』の「月刊デジサポ滋賀」コーナーで情報を発信するなど地域放送との連携やイベントでのPRなど、効果的な広報活動を展開した。

# 中国

- ◇東日本大震災を受け、中国地方のエネルギー政 策や防災の課題を年間を通じて多角的に伝え た。
- ◇被爆から66年が経過し、被爆体験の記録・継承 が喫緊の課題となる中、あらゆる世代に向けた 多彩な核・平和関連番組を放送。非核・平和へ のメッセージを強く発信した。
- ◇『大河ドラマ』「平清盛」に連動し、清盛の実像に迫るドキュメンタリーやメイキング番組を放送。地元の期待に応え、ドラマへの関心を高めた。
- ◇地域の宝を再発見する旅番組『あいたい』は本数を増やし年間10回放送。さらなる定着を図った。
- ◇9月に中国地方に上陸した台風12号,11月に広 島で起きた震度5弱の地震などの災害・緊急報 道では、迅速かつ的確に情報を提供した。
- ◇4月の統一地方選挙では、公正で正確な選挙報道を実施し、有権者の判断のよりどころとなる情報を伝えた。
- ◇開局80年の松江局,開局75年の鳥取局,開局70年の山口局では,それぞれ記念特集番組を放送し、地域に根ざした放送局の存在感を示した。

# I. 放 送

#### 1. 放送の概要

#### [広島局]

金曜夜間を"地域をみつめる時間帯"とし、硬 軟とりまぜた多彩な番組を編成した。『シリーズ 平清盛』(G. 中国ブロック)では、清盛の実像 に迫るドキュメンタリーやドラマメイキングを放 送。地元の期待に応え、ドラマへの関心を高めた。 清盛関連の話題はニュースでも数多く伝え、ホー ムページではご当地サイトも展開した。旅番組 『あいたい』(G. 中国ブロック)では、中国地 方各地の自然や風土・文化の魅力を再発見した。 『フェイス』(G. 中国ブロック)では、東日本 大震災を受け、中国地方のエネルギー問題や原発 リスクへの対応の課題、被災地・被災者支援の動 きなどを多角的に伝えた。また、地域経済の活性 化やエネルギー自給への関心の高まりを「里山資 本主義」という新たな視点で捉え、シリーズ展開 した。『熱討ちゅうごく』(G, 中国ブロック) でも,

エネルギー問題や地域活性化の課題を視聴者・有 識者と徹底討論した。

夕方 6 時台の『お好みワイドひろしま』は、県民の関心の高いニュースを分厚く伝えるなど、地域に密着し幅広い話題を取り上げて定着を図った。

昼前の『ひろもり』では、県内各地の話題や情報をきめ細かく伝えた。

FMの『ぶち☆なま』は、若者の本音に向き合う双方向番組として若年層との結び付きを深めた。

核・平和関連番組は、"いのちの、おもさ"をテーマに8月6日に集中編成した。『NHKスペシャル』「原爆投下活かされなかった極秘情報」(G、8.6、全国)で原爆投下に関わる知られざる事実を掘り起こして伝えたほか、平和の願いを歌に込めた『いのちのうた2011~つなげよう いのちの絆』(G、8.6、中国ブロック)、子どもたちへ向けた『えほんでつたえる げんばく』(G、8.6、中国ブロック)、5年目の『ヒバクシャからの手紙』(G・R1、8.7、全国)、原爆の日・ラジオ特集『ヒロシマの記憶を受け継ぐ 若き二人の夏』(R1、8.6、全国)、FMシアター『蝶が燃えた日』(FM、8.6、全国)など、多彩な番組で幅広い世代へ被爆の記憶を継承し、平和へのメッセージを発信した。

スポーツでは、1月22日に「第17回全国都道府 県対抗男子駅伝」を全国放送した。

#### [岡山局]

夕方6時台,昼前,金曜夜間の地域放送番組を すべて刷新した。夕方6時台の新番組『岡山ニュ ース もぎたて!』は、「岡山の"いま"がわか り, "あす"が見える」をコンセプトに「もっと 知りたい」や「特集」などでその日のニュースを 掘り下げ分かりやすく伝えた。子どもの健やかな 成長や育児を応援する「みんなで子育てキャンペ ーン | を継続、また、東日本大震災を受けて、地 元岡山の大規模災害に対する課題や備えを「シリ ーズ 岡山の防災力」として年間を通して検証し た。新番組『ひるまえ もぎたて!』は、暮らし に役立つ旬な情報を伝えた。金曜夜間の新番組 『現場に立つ』は、「子育て」「防災力」のキャン ペーンとも連動させ地域と人を見つめるドキュメ ンタリー番組を年間10本制作した。若者向け番組 として岡山で活躍するミュージシャンを番組オリ ジナルのミュージック・クリップと視聴者から寄 せられたツイッターの"つぶやき"で紹介する双 方向番組『LIVE BOX』を放送し、新しい視聴

者層開拓に努めた。スポーツでは「ファジアーノ 岡山 | の試合を年間3本中継し、地元サッカーフ ァンの期待に応えた。全国放送番組では、『新日 本紀行ふたたび~嫁いらず観音~岡山・梶草地 区』(G. 5.3)、『産地発!たべもの一直線~岡山・ 浅口市発 シャコ (G. 5.8)、『目撃!日本列島 ~働いて人生を取り戻せ、忘れないでぼくの学 校』(G. 7.4. 11.19). 『あしたをつかめ~平成若 者仕事図鑑~カッコイイを縫い上げます』(E. 9.15). 『さわやか自然百景~岡山 阿哲台』(G. 9.25). 『小さな旅~なでしこに湯煙あたたかく』 (G, 10.16), 『ひるブラ~真庭市, 備前市』(G, 11.7~8)、『NHKのど自慢~真庭市』(G, 12.4)、『ド キュメント20min.~夢のリングにかける』(G. 2.27) などを制作・放送し、岡山の地域情報と魅 力を全国に紹介した。

#### 〔松江局〕

夕方6時台の『しまねっとNEWS 610』では、福島第一原発の事故を受け、最重点事項として原発問題に取り組んだ。島根原発から30キロ圏内にある行政や企業の避難計画の見直しや事業継続計画策定の現状、原発周辺の自治体や市民の戸惑い、危機感などを伝えた『フェイス~原発リスクとどう向き合うか』(G、7.22、中国ブロック)や『フェイス~島根原発 46万人の避難計画』(G、11.25、中国ブロック)を放送した。

3月7日に開局80年を迎えた記念として、多彩な番組を制作した。津和野町を舞台にしたドラマ『じいちゃんのわさび』(G、1.13、県域ほか)や島根の活性化のために何が必要なのかを考えた『元気・笑顔で島根を創る(第 $1\cdot2$ 回)』(G、7.22、2.24、県域)、島根の貴重な自然とそれを守ろうとする人々の取り組みを伝えた『残したいふるさとの自然』(G、3.16、県域)を放送した。公開収録番組『だんだん80年』(G、3.16、県域)では、アーカイブスを効果的に活用し島根の80年を振り返った。また、『しまねっとNEWS 610』のコーナーとして、15年前に県内の59市町村(当時)の協力を得て制作した『島根の遺産』を再放送した。

全国発信としては、高校女子ラグビー部キャプテンの成長を追った『にっぽん紀行~夢へのタックル』(G, 12.21) や、家族の在り方を考える『カラフル!~楽しくておもしろい私の家族』(Eテレ, 1.14)、厳しい練習を乗り越え、吹奏楽に打ち込む出雲の中学生を追った『目撃!日本列島~受け継がれる響き』(G, 1.21)を放送した。

#### [鳥取局]

夕方6時台『いちおしNEWSとっとり』では、地域の課題・問題の掘り起こしに力を入れたほか、東日本大震災から半年と1年の節目に防災シリーズを放送、金曜夜間にも展開した。また、11月に京都・神戸局と連携して山陰海岸ジオパークキャラバンを、3月には県西部キャラバンを行った。

さらに、2月は鳥取県が交流する韓国カンウォン道に取材班を派遣,現地から5日間生放送した。朗読イベント『とっとり朗読シアター』では、没後40年の地元作家・尾崎翠にスポットを当てた。全国放送では、ホスピスの現場から"生"の在り方を問いかける『爆笑問題のニッポンの教養』

全国放送では、ボスピスの現場から 生 の任 り方を問いかける『爆笑問題のニッポンの教養』 (G, 5.19)、県出身者が多く所属した部隊の悲劇 を証言で綴った『証言記録 兵士たちの戦争』 (BSP, 8.16)を放送した。

中国ブロックでは、町予算の使い道の一部を町 民自らが決める取り組みを取材して『フェイス~ 住民のアイデアが町を救う!?』(G, 1.13)を放 送、『NHKスペシャル』(G, 12.17, 全国)にも展 開した。

鳥取局は12月14日に開局75周年を迎えた。これを記念して『鳥取タイムマシン』(G, 12.9, 県域), 『鳥取に未来はあるのか?』(G, 1.20, 県域),『鳥取アーカイブス』(過去番組36本, G, 12.5~16, 県域)を放送した。

このほか、お笑い芸人が県内をぶっつけ本番で旅する若者向け番組『 $\sqrt$ るーと』と、1月にリニューアルした『 $\sqrt$ るーとhigh  $\uparrow$ 』を計29回放送した。スポーツでは、Jリーグ入りした「ガイナーレ鳥取」の6試合を中継した。

年間で154本の番組を放送したほか、ホームページでも『 $\sqrt{$ るーと』『 $\sqrt{}$ るーとhigh  $\uparrow$ 』の最新放送回を載せるなど動画配信を効果的に行った。

#### 〔山口局〕

東日本大震災の発生を受けて、公共建造物の耐震化の遅れなどを検証した『大地震にどう備えるか〜検証・山口の防災体制』(G, 5.13, 県域)を放送。6月からは1分スポット『大雨災害に備える』10本シリーズを放送とインターネットで配信。3月には、地域の津波対策や食糧備蓄などを検証するリポート計5本を放送し、年度を通じて防災を強く意識した放送を行った。さらに、震災後初の原発建設予定地の首長選に密着した『密着上関町長選挙〜国策に揺れる町の行方』(G, 9. 30, 中国ブロック)を放送した。

4月19日に迎えた開局70周年をきっかけに、視聴者が地域の魅力を語る『大好き!やまぐち』(内

容1分)58本,アーカイブス映像を話題ごとに1分にまとめた『山口あの頃』50本を放送。10月に開幕した山口国体と山口大会では,開会式や注目競技の結果を全国放送したほか,片腕のランナーの挑戦を追った『きらっといきる~最高のゴールを目指して』(E. 11.18. 全国)を放送した。

2月20日に上告が棄却された光市母子殺害事件については、元少年の実像に迫る取材を行い、同日の『NHKニュース7』『ニュースウオッチ9』などで伝えた。

また、『ふるさとは私の地球〜生誕100年 画家・香月泰男の素顔』(G、9.2、中国ブロック)、『生きて帰れ〜写真に祈りを込めた家族の軌跡』(G、9.2、全国)、『新日本風土記〜ふぐ』(BSP、12.16、全国)など、地域に密着した番組を発信したほか、放送と通信の融合による新しいサービスの試みとして、ツイッターによる自由律俳句の投稿番組『スゴつぶ』(G、12.27、県域)を生放送した。

#### 2. 地域放送番組

#### (1) 定時番組

#### 『NHKニュース おはよう○○ (県名)』 G

月~金 7:45~ 8:00

第1回93.4.5/県域/県内のニュースやきょうの動き、気象情報、交通情報に加え、各地の話題や課題などを中継やリポートで伝えるニュース・情報番組。また、企画シリーズ「環境最前線」「未来に伝える戦争」「災害に備える」や、中継シリーズ「ふるさとの朝」「冬を楽しむ」などを随時放送した。

# 『NHKニュース おはようちゅうごく』 G

土 7:30~ 8:00

第1回93.4.10/中国ブロック・一部県域/中国5県の朝の表情を伝える中継やリポート、週末のイベント情報や生活情報、そして「西日本の旅」など、多彩な内容のニュース・情報番組。

#### 『ひろもり』(広島局) G

月~金 11:30~12:00

(岡山) 11:40~12:00

(松江) 11:40~12:00 (鳥取) 11:30~12:00

(海水) 11.50 12.00

(山口) 11:45~12:00

第1回08.4.4/各県域/生活・文化・健康など、 くらしに役立つ情報番組。

# (各局タイトル)

『ひるまえもぎたて!』 新 (岡山局)

『ひるまえしまねっと』 (松江局)

『とっとりくらしの情報便』 (鳥取局)

『カフェ のんた』 (山口局)

# 『お好みワイドひろしま』(広島局) G

月~金 18:10~18:59

第1回84.4.2/県域/広島県内のニュースを視聴者目線に立って詳しく、分かりやすく伝え、県民の関心が特に高いテーマは「ニュースアップ」「特集」で分厚く放送した。また、旬の食べ物などの身近な話題は「情報BOX」等で紹介した。地域に密着して幅広い話題を取り上げるニュース番組として定着を図った結果、民放を抑え4年連続で視聴率1位となった。

## (各局タイトル)

『岡山ニュースもぎたて!』 新

(岡山局)

『しまねっとNEWS 610』 (松江局)

『いちおしNEWSとっとり』 (鳥取局)

『情報維新!やまぐち』 (山口局)

# 『ひろしまニュース845』(広島局) G

月~金 20:45~21:00

第1回96.4.1/各県域/県内の1日の出来事を コンパクトにまとめて伝えるニュース番組。

# (各局タイトル)

『岡山ニュース845』 (岡山局)

『しまねっと845』 (松江局)

『とっとりニュース845』 (鳥取局)

『やまぐち845』 (山口局)

# 『フェイス』 新 G 金 19:30~19:55

第1回11.4.1/中国ブロック・随時各県域/タイムリーな話題・情報を機動的に伝え、中国地方の"いま"を深く、鋭く切り取っていく新番組。経済・産業・社会・医療・文化など、さまざまな視点で地域を見つめた。

#### 『NHK中国地方放送番組審議会』 G 随時

第1回97.11.16/中国ブロック/番組審議会の 審議内容を伝える番組。

『おはよう中国』 R1 月〜土 7:40〜 7:58 第1回89.4.3/中国ブロック/気象・交通など 朝に欠かせない情報やニュース, 旬の人や時の話 題を電話インタビューで構成。

**『ぶち☆なま』 FM** 金 21:10~22:45 第1回10.4.2/広島県域/恋愛・受験・就職等 をテーマに、若者の本音に向き合う双方向番組。 ポッドキャスティングやツイッターも展開。

#### 『√るーとhigh↑』 新 G

日 22:50~23:00

(2) 特集番組 (核・平和関連番組を除く) [中国ブロック]

#### 『シリーズ平清盛』 G

「第1回 厳島への夢」

広島局/ 9.16/20:00~20:43

「第2回 よみがえる平氏の大将船~大河ドラマ・瀬戸内ロケ」

広島局/10.7/20:00~20:43

「第3回 新事実 日本改造計画」

広島局/11.25/20:00~20:43

「第4回 瀬戸内に生きる伝説」

広島局/12.24/19:30~20:43

## 『金曜スペシャル~あいたい』 G

年10回 金/20:00~20:43

「幼きころの夢二を探して〜緒川たまき 岡山・瀬戸内市へ」 岡山局/ 4.15 「ひろでんは広島人と共に」 広島局/ 5.13 「三江線 ゆっくり旅〜玉村豊男 初夏の江の川を行く」 広島局/ 6.10 「たかがB級, されどB級〜石倉三郎 岡山ご当地グルメの旅」 岡山局/ 7.8

「海が育てた小京都~広島 竹原市」

広島局/ 9.23

「自然と 自然に 島暮らし〜三好礼子 隠岐 の旅」 松江局/10.14

「18,000人の駅伝チーム~広島県 世羅町」

広島局/12.9

「潮風 自転車 レモン島をゆく~広島 尾道 市瀬戸田町|

広島局/ 1.13/20:02~20:45

「みすゞの心を訪ねて〜女優・田中美里 長門 への旅」 山口局/ 2.10 「マンガが町を埋めつくす!〜江川達也"まん が王国とっとり"の旅」 鳥取局/ 3.9

**『金曜スペシャル』 G** 金 20:00~20:43 「激闘!裸祭り~岡山・西大寺」

岡山局/ 4.8

「鳥取砂丘 生命の四季」

鳥取局/ 4.22

「"人生の応援歌"を生んだ島~水前寺清子 亡き師に出会う旅」 山口局/ 5.27 「ふるさとは私の地球~生誕100年 画家・香 月泰男の素顔」 山口局/ 9.2 「しあわせの青い鳥~ブッポウソウが来る山里 で」 広島局/10.21 「わたしの"ふるさと"は~元ハンセン病患者 退所10年目の日々| 広島局/11.4

退所10年目の日々」 広島局/11. 4

「生け込め!青春~市立広島工業 華道部の挑

戦」 広島局/12.16

「ドラマ じいちゃんのわさび」

松江局/ 1.20

「夢と希望のダイヤモンド〜ある日系人野球選手の物語」 広島局/127

「400年後の今に生きる 上田宗箇の心」

広島局/ 2.17

「神々の棲む山で〜中国山地・神楽の舞」

広島局/ 3.16

## 『熱討ちゅうごく』 G

「今だから考えたい!私たちのエネルギー」 広島局・岡山局/ 6.17/19:30~20:43 「地域未来創造拠点"道の駅"をいかせ!」 広島局/10.28/19:30~20:43

# 『フェイス グランデ』 G

「里山資本主義~革命はここから始まる」

広島局/11.18/19:30~20:43

「続 里山資本主義~過疎の島こそ21世紀のフロンティア|

広島局・山口局/ 3. 2/19:30~20:43

#### 『フェイス』(枠広げ) G

「大震災から3週間~中国地方に何ができる か」

広島局/ 4. 1/20:00~20:45

「中国5県トップに聞く エネルギー新時代」 広島局・松江局/ 2.3/19:30~20:43

#### **[HEART ROCK CAFE] FM**

「花を咲かそう!フラワーフェスSP」

広島局/ 5.7/16:00~18:00

「ご当地ロック大集合」

広島局/12.3/14:00~18:00

『広響コンサート』 FM 土 14:00~16:00 「第309回定期演奏会」 広島局/ 6.11 「第316回定期演奏会」 広島局/ 3.3

『ヒロシマ発 平和と復興への調べ〜東日本大震 災復興支援コンサート』 G

広島局/ 9.10/15:00~16:55

『第78回NHK全国学校音楽コンクール〜中国ブロックコンクール』 E

広島局/ 9.24/14:00~16:54

『高専ロボコン2011~中国地区大会』 G

広島局/11.6/15:05~15:59

『常に挑戦者~都大路連覇へ 興譲館高校』 G 岡山局/12.23/18:10~18:44

『奥田民生スペシャルライブ in 厳島神社』 G 広島局/12.30/16:30~17:54

NHK年鑑'12 438

『交響朗読絵巻清盛幻影~大河ドラマ「平清盛」への招待G広島局/ 3.20/13:05~14:05

『忘れないで石島分校』 G

岡山局/ 3.31/17:00~17:43

『被災地とつながるメッセージ』 R1・FM

広島局/ 9.5~ 9.30, 3.1~ 3.10

※11本を合計70回放送

[県域]

『わたしのベストショット』 G

広島県域/年10回 土/ 5:15~ 5:40 5.14, 6.11, 7.9, 9.10, 10.8, 11.12, 12.10, 1.14, 2.11, 3.10

『わたしのベストショット〜発表!2010年度 年間大賞』 G

広島県域/ 4.23/15:30~16:15

『がんばれ!サンフレッチェ!』 R1

「好調 日本代表3人に迫る」

広島県域/ 6.21/20:05~20:55

「2011年シーズン総決算」

広島県域/12.15/20:05~21:30

『がんばれカープ!』 R1

広島県域/20:05~21:55

「2011前半総集編」

7.21

「2011総決算 |

12. 7

『防災の日 ラジオ特集〜"想定外"からいのちを守れ〜東日本大震災から半年 震災に学ぶ広島の防災』 R1

広島県域/ 9. 1/14:05~14:55

『フェイス グランデ』 G

「行ってくれ!カープ~ファンの力で"クライマックス"へ」

広島県域/ 9.30/20:00~20:43

『NHK朗読ひろば~at 亀山小学校』 R1

広島県域/10.16/16:05~16:55

『投げた!打った!走った!~NHK広島カップ 少年野球2011』 G

広島県域/11.27/15:05~15:30

『武将茶人 上田宗箇の世界』 G

広島県域/ 1.20、 1.27、 2.3/22:45~22:50 『がんばれ!ふるさとランナー〜全国男子駅伝 あすスタート』 G

広島県域/ 1.21/11:30~11:54, 12:15~12:45 『大河ドラマ『平清盛』プレミアムトーク』 G

広島県域/ 2.26/15:05~15:50

『ひろメロ♪~ぶち☆なまpresents·広島版みんなのうた』 E

広島県域/ 3.14, 21, 28/19:50~19:54

『勝・克・喝!カープ~もうすぐ開幕スペシャル』 R1

広島県域/ 3.17/12:15~15:55

『熱唱!NHKのど自慢予選会』 G

島根県東出雲町

島根県域/ 4.26~27/ 2:05~ 3:35 島取県倉吉市 島取県域/ 7.31/13:50~16:15 岡山県真庭市 岡山県域/12.19/ 1:00~ 3:41 広島県福山市 広島県域/ 3.5/ 1:30~ 4:12

広島県福山市 広島県域 / 3.5 / 1:30~ 4:12 『現場に立つ』 新 G 岡山県域 / 19:30~19:55 「1年生だけで挑んだ甲子園~創志学園高校野 球部」 4.2 / 8:00~ 8:25 「働いて人生を取り戻せ~路上生活からの脱 出し 513

「教室においでよ〜岡山市・岡輝中学校」

「波に向かって進め~石島分校・最後の児童」

6.10

| 液に凹がつく進め~石局が仪・取仮の光里| 7.8

「晴れの国を津波が襲う~岡山県想定見直しの 波紋 | 9.16

「杖となって支えたい~教師たちのかけ込み 寺」 10.7

「若い力を集めたい~中小企業の採用戦略」

11.4 「進化するアウトレット」12.9/19:32~19:57 「翻弄された金の卵~介護に挑んだインドネシ ア人の3年」 2.10

「立ちはだかる"老々避難"」 3.9

『岡山ざんまい!』 R1

岡山県域/ 6.25, 10.8, 12.10/21:05~21:55 『自然に親しみ 自然に学ぶ』 R1

岡山県域/ 7.23/21:05~21:55

『知って納得!備えて安心!岡山の災害』 R1 岡山県域/ 9.11/15:55~16:45

『第58回日本伝統工芸展 岡山展』 G

岡山県域/11.19/10:05~10:52

『LIVE BOX』 新 G

岡山県域/11.25/22:55~23:23 岡山県域/12. 2/22:45~22:50 岡山県域/12. 9, 16, 1.20. 27.

2. 3, 10, 24, 3. 2, 16, 30/22:44~22:50

『岡山の伝統漁』 G

岡山県域/12.10, 17, 1.21/12:40~12:45 『ふるさと発』開局80年記念 G

「特集 島根自慢~島根の誇り ここにあり」

島根県域/10.7/19:30~19:55

「残したいふるさとの自然~島根が育む貴重な 生き物たち」

439 NHK年鑑'12

島根県域/ 3.9/19:30~19:55 「だんだん80年~島根 あのとき/これから」 島根県域/ 3.16/19:30~20:43

#### 『金曜スペシャル』 G

「夢のあとさき~中海干拓地 ある夫婦の一 年」

島根県域/ 4.22/20:00~20:43

「そこに"ちいさな幸せ"を生むために」

島根県域/ 7. 1/20:00~20:43

開局80年記念「元気・笑顔で島根を創る 第1 回西部地域編|

島根県域/ 7.22/20:00~20:43

開局80年記念ドラマ「じいちゃんのわさび」

島根県域/ 1.13/20:02~20:45

「音色ひとつに~出雲・伝統の吹奏楽部」

島根県域/ 1.20/20:00~20:43

開局80年記念「元気・笑顔で島根を創る 第2 回東部地域編|

島根県域/ 2.24/20:00~20:43

# 『ドラマが町にやってきた~「じいちゃんのわさ び」の舞台裏』 G

島根県域/ 3.27/22:00~22:30

#### 『地域を創る』 G

島根県域/ 4. 2, 5. 7, 6.11, 7. 2, 8. 6, 9. 3, 10. 8, 11.12, 12. 3, 1. 7, 2. 4, 3.17 /12:40~12:45

#### 『島根の匠』 G

島根県域/ 5.21, 8.27, 11.26, 1.28, 2.25 /12:40~12:45

#### 『アラハタ! QUEST』 G

島根県域/ 4.17, 5. 1, 29, 6.26, 3.25 /22:50~23:00

# 『鳥取スペシャル』 G

「大津波から地域をどう守る~見直し迫られる 対策」

鳥取県域/10.7/19:30~19:55

#### 『金曜スペシャル』 G

「NHK鳥取放送局・開局75周年記念番組 鳥取タイムマシン」

鳥取県域/12.9/19:32~20:45

「NHK鳥取放送局・開局75周年記念番組 ビデオだより 総集編 |

鳥取県域/12.16/20:00~20:25

「NHK鳥取放送局・開局75周年記念番組 とっとり朗読シアター~作家・尾崎翠の世界」 鳥取県域/ 1.13/20:02~20:45

「NHK鳥取放送局・開局75周年記念番組 鳥取に未来はあるのか?」 鳥取県域/ 1.20/20:00~20:43

「認知症フォーラム in 鳥取 あきらめない~ 最新医療と社会の支え」

鳥取県域/ 2.24/19:30~20:38

「東日本大震災から1年~今何ができるのか」 鳥取県域/3.30/19:32~20:15

#### 『√るーとスペシャル』 G

鳥取県域/ 5.13/19:30~20:35

#### 『鳥取文芸館』 FM

鳥取県域/ 4.24, 5.29, 6.26, 7.31, 8.28, 9.25, 10.30, 11.27, 12.25, 1.29, 2.26, 3.25/11:00~11:50

## 『アナログ放送終了関連』 Gアナログ独自

鳥取県域/ 6.24, 27~29,

7. 1, 4, 6, 8, 11, 13, 15, 22 /11:05~11:30(\(\frac{1}{2}\)\)

# 『とっとりアーカイブス』 G

鳥取県域/12.5, 7, 9~10, 12~16 /15:15~16:00ほか

#### 『YAMAGUTIC』 G

山口県域/19:30~19:55

「認知症フォーラム in 山口~あきらめない 最新医療と社会の支え」

4. 8/20:00~20:43

「大地震にどう備えるか〜検証・山口の防災体制」 5.13

「わたしは町のカメラマン~アマチュアビデオ この1年」 6.10

「島の子になる修学旅行」 7.22

「密着 上関町長選挙~国策に揺れる町の行 方」 10.1/10:05~10:30

「70周年記念番組 大好き!やまぐち トークライブ」11.25

「最高のゴールを目指して~上肢切断・木村祐 樹さん|

12.16/19:30~19:59

「70周年記念番組 スゴつぶ~スゴいつぶやき を詠む深夜の句会」

 $12.27 / 0:15 \sim 1:45$ 

「新日本風土記~ふぐ」 1.13/19:37~20:34 「春 対岸の島で~上関町祝島・原発と向き合い続けて」 3.16

「やまぐち アノコロジー」

440

3.20/18:10~18:35

# 『開局70周年メッセージ』(3分) G

山口県域/ 4.21~23, 27~30, 5. 3, 5. 10~11, 14, 17~18

NHK年鑑'12

#### [各局共通]

#### 『第78回NHK全国学校音楽コンクール』 E

「広島県コンクール」

小学校の部

 $8.27/13:00\sim14:59$ 

中学校・高等学校の部 8.27/15:00~17:00

「岡山県コンクール」

小学校・中学校・高等学校の部

8.27 / 9:20~10:40

「鳥根県コンクール」

小学校・中学校の部 9.3/13:00~14:56

高等学校の部

9. 3/ 9:25~10:53

「鳥取県コンクール」

小学校・中学校・高等学校の部

8.27/10:00~11:30

「山口県コンクール」

小学校・中学校・高等学校の部

 $8.27/13:00\sim16:55$ 

## 3 核・平和関連番組

# (1) 地域番組

「中国ブロック」

#### 『フェイス』 G

「被爆桜と生きて~戦後66年 ヒロシマの春」

広島局/ 4.22/22:55~23:18

「ふたつの"グラウンドゼロ"~時を経て 家 族は今日

広島局/10.14/19:30~19:55

「黒い雨 明らかになった新事実 |

広島局/ 1.20/19:30~19:55

#### 『金曜スペシャル』 G

「生きて帰れ~写真に祈りを込めた家族の軌

山口局/ 7.15/20:00~20:43

「砂漠の中の日本庭園~アメリカ・戦時収容所

日系人の闘い |

広島局/ 7.22/19:55~20:43

「細い絆~ "原爆小頭児"と家族はいま」

広島局/ 8.26/20:00~20:43

「ハワイ 日系二世たちの戦争」

広島局/ 2.24/19:55~20:43

『アオギリの語り部 沼田鈴子さんのメッセー

ジ』 G

広島局/ 7.22/19:30~19:55

『碑の彼方に』

広島局/ 8.5/19:30~20:43

『えほんでつたえる げんばく』 G

広島局/ 8.6/ 9:00~ 9:30

『いのちのうた2011~つなげよう いのちの 絆』 G

広島局/ 8.6/19:30~20:43

『10代へ送る ヒバクシャからの手紙』 G・E

6.17~ 8.6 ※8本を合計22回放送

[広島県域]

『お好みワイドひろしま~原爆の日特集』 G

8. 6/18:10~19:00

『被爆の記憶』 G

10. 3. 11. 7. 3.  $5/19:56\sim19:58$ 

#### (2)全国放送

『平成23年 広島平和記念式典』

G 8.6/8:00~8:42

G 中国ブロック 8.6/8:00~8:58

8. 6 / 8:00 ~ 8:55 R1

『NHKスペシャル』 G

「原爆投下 活かされなかった極秘情報」

8.  $6/21:00\sim21:58$ 

# 『FMシアター』 FM

「蝶が燃えた日

8.  $6/22:00\sim22:50$ 

『原爆の日 ラジオ特集』 R1

「ヒロシマの記憶を受け継ぐ 若き二人の夏」

8.  $6/23:10\sim23:55$ 

『ヒバクシャからの手紙』 G・R1

8. 7/ 0:00~ 0:45. 0:50~ 2:00

『いのちのうた2011~つなげよう いのちの 絆』 G

8.14/ 0:50~ 2:19

『BS特集』 BS1

「砂漠の中の日本庭園」 8.14/22:00~22:48

## 4. スポーツ中継

[高校野球] \*ブロックと特記した以外は県域放送 第93回全国高校野球選手権大会・地区大会

広島県 準々決勝

 $E \cdot R1 / 7.24$ 

準決勝 決勝

 $G \cdot E \cdot R1 / 7.26$ 

岡山県 準々決勝

 $G \cdot R1 / 7.27$  $R1/7.22\sim23$ 

進決勝

 $G \cdot E \cdot R1 / 7.25$ 

決勝

 $G \cdot R1 / 7.26$ 

島根県 準々決勝

R1 / 7.23

準決勝 決勝

 $G \cdot E \cdot R1 / 7.26$ G·R1/7.27

鳥取県 準々決勝

FM / 7.21

準決勝

E · R1 / 7.23

決勝 山口県 準々決勝 E · R1 / 7.24

準決勝

 $E \cdot R1 \cdot FM / 7.24$ G · E · R1 / 7.25

ì	決勝	G·R1/ 7.27	※録画「鳥取」対「京都」	G/ 6. 6	
平成23年度秋季高校野球・地区大会		区大会	「鳥取」対「大分」	Gサブ/10.15	
広島県	準々決勝	R1/ 9.24	「鳥取」対「東京」	Gサブ/11.19	
岡山県	準決勝	R1/10. 1	「鳥取」対「愛媛」	Gサブ/12. 3	
	3位決定戦・決勝	R1/10. 2	「岐阜」対「鳥取」	G/ 3. 4	
島根県	準決勝	R1/10. 1	「鳥取」対「町田」	Gサブ/ 3.17	
	3位決定戦・決勝	R1/10. 2	〔その他のスポーツ〕		
鳥取県	準決勝	R1/10. 1	日本プロバスケットボール bjリーグ		
	3位決定戦・決勝	R1 · FM/10. 2	「大分ヒートデビルズ」対「島根スサノオマミ		
山口県	準決勝	R1/ 9.18	ック」		
	3位決定戦・決勝	R1/ 9.21	G/大分・島根ブロック/ 4.17		
第117回秋季中国地区高等学校野球大会			第45回 織田記念国際陸上		
(中国ブ	ロック)		E/中国・近畿・北海道ブロック/ 4.29		
j	準決勝	E·R1/11.6	山口県高校総体バレーボール男女決勝		
ì	決勝	G ⋅ E ⋅ R1/11. 7	E/山口県域/ 6.5		
〔プロ野	球〕		第64回広島県高校総体バレーボール男子決勝		
(中国ブ	ロック)		E/広島県域/ 6.11		
「広島」	「広島」対「巨人」 R1/ 4.15		2011年度全広島サッカー選手権・決勝		
「広島	」対「阪神」	R1/ 4.28	~第91回天皇杯広島県代表決定戦~		
「広島」	」対「西武」	R1/ 5.26	G/広島県域/ 8.28		
「広島」	」対「中日」	R1/ 6.24	第91回天皇杯全日本サッカー選手	権大会	
「広島」	」対「横浜」	R1/ 7.14	岡山県代表決定戦 G/R	蜀山県域/ 8.28	
「広島」	」対「巨人」	R1/ 8.26	第16回島根県サッカー選手権大会		
(中国・	東北ブロック)		~第91回天皇杯島根県代表決定戦~		
「広島」対「楽天」 R1/ 6.16		G/島根県域/ 8.28			
(広島県域)		平成23年度鳥取県サッカー選手権			
「広島」	」対「横浜」	G/ 5. 5	決勝大会・決勝 G/鳥取県域/ 8.28		
「広島」	」対「日本ハム」	G/ 6.19	G/ 6.19 平成23年度山口県サッカー選手権大会 決勝		
「広島」	」対「ヤクルト」	R1/ 7.3	~第91回天皇杯山口県代表決定戦~		
	」対「阪神」	R1/10.23	G/山口県域/ 8.28		
	岡山ブロック)		日本プロバスケットボール bjリーグ		
	」対「ヤクルト」	G/ 7. 1	「京都ハンナリーズ」対「島根スサノオマジッ		
(広島・東海3県ブロック)		ク」			
	」対「広島」	R1/ 3.30	G/京都・島根ブロック/11.27		
(Jリーク	<i>j</i> )		第17回全国男子駅伝ハイライト		
(広島県			G/L	広島県域/ 1.22	
	」対「横浜FM」	G/ 5.14	第36回日本ハンドボールリーグ・		
	」対「川崎」				
	」対「広島」	G/12. 3	G/広島・石川 C	ブロック/ 2.4	
	」対「浦和」	G/ 3.10	I.I. Ab-		
(岡山県			Ⅱ.技術		
	」対「愛媛」	G/10.23			
	熊本ブロック)		1. 地上デジタル放送		
	」対「岡山」	G/11.27	1. 10±1 / 11/11X/C		
(岡山・富山ブロック)			11年7月24日, アナログ放送が		
「岡山」対「富山」		G/ 3. 4	放送へ移行した。7月24日のアナ		
(鳥取県			停波作業ならびに視聴者からの打		
「鳥取」	」対「京都」	Gサブ/ 6.5	て、周到な準備を行い的確に対応	した。アナログ	

放送設備撤去工事を計画的に推進するとともに、 チャンネルリパックに的確に対応した。セーフティーネット登録地区の恒久的な対策をデジサポ等 関係団体と連携して実施した。

# 2. 選挙報道、緊急・災害報道

4月に行われた統一地方選挙の正確かつ確実な 放送を実施した。

5月に発生した小学生死亡事故(広島市)や9月に中国地方を通過した台風12号,1月に発生した広島刑務所からの脱走事件,2月に発生した水島海底トンネル落盤事故など,迅速・的確に緊急報道に対応した。

また、11年3月に発生した東日本大震災報道への支援を継続的に実施した。

# 3. 地域放送

広島局では、核・平和関連番組を数多く制作した。プロ野球中継やJリーグ中継、『いのちのうた』などにおいて5.1サラウンド制作に積極的に取り組んだ。岡山局では、ツイッター連動型双方向番組『LIVE BOX』を放送した。松江局では、開局80周年記念ドラマ『じいちゃんのわさび』を制作した。鳥取局では、IPリアルタイム映像伝送装置を活用した海外からのハイビジョンIP生中継『カンウォン道スペシャル』を放送した。山口局では、開局70周年特番ツイッター連動型双方向番組『スゴつぶ』を放送した。

3-Screens展開では、スポーツ中継での応援メッセージ、『NHK全国学校音楽コンクール』中国ブロック大会・『高専ロボコン』のライブストリーミング動画配信、全国都道府県対抗男子駅伝におけるダイジェスト動画配信を実施した。

「ネットにつなごう!キャンペーン」と連動し、岡山県真庭市で開催された『NHKのど自慢』 予選会のもようをテレビ向けにネット配信する実験を行った。

# 4. 開発

新技術開発「中継局シェルター 熱交換システムの開発」「放送利用に向けた電子透かし技術の開発」に取り組んだ。

全国技術報告会において、「見えなかったものが見える "Catch a d-wave" の試作(鳥取局)」「FPU基地局監視システムの開発(広島局)」が優秀賞を受賞した。

番組技術展において、広島局で開発した「放送 用電子透かし装置」を展示した。

#### 5. 視聴者活動

「NHK出前授業」を域内の29校で実施し、児童・生徒との触れ合いと地上デジタル放送の普及促進活動を展開した。

『NHKのど自慢』予選会の会場で参加者・家族などの来場者に「中継車見学・カメラ操作体験・予選会の時差再生視聴」を4回開催し、放送事業への理解促進に努めた。

松江局では開局80周年会館公開においてVFX セミナーを開催,鳥取局では開局75周年を機に 3Dコンテンツ「鳥取 体感」を制作,山口局では開局70周年会館公開で「ハイスピードカメラ体験」を実施し、視聴者とのふれあい活動を実施した。

## 6. 放送設備の更新

CSK(広島局)をHV化更新するとともに、R2スタジオ・ラジオニューススタジオ音声卓(広島局)、会館無停電電源装置(広島・松江・鳥取局)、祇園・下関ラジオ放送機(広島局・山口局)の更新工事、大麻一三瓶一枕木一松江会館TSLルートHV化(松江局)、米子支局一鳥取会館TSLルートHV化(鳥取局)、下関支局一火の山一山口会館TSLルートHV化(山口局)などを実施し、放送の安定送出確保と番組制作・緊急報道機能の充実を図った。

# Ⅲ. 視聴者

# 1. イベント事業

11年度、中国地方では156件のイベントを実施 し、視聴者サービスの充実とNHKへの理解促進 に努めた結果、70万人を超える参加者があった。

広島局では「フラワーフェスティバルNHKシクラメンパーク」(5.3~5),「白熱教室JAPAN」(6.26東広島市),「いのち」や「平和」の尊さを伝える「いのちのうた2011」(7.6広島市)などの公開録画を実施。また、朗読イベント「10代へ送るヒバクシャからの手紙」を広島市内の中学校2校で実施するなど被爆地ヒロシマからの情報発信を行った。大河ドラマ『平清盛』の放送に合わせ、トークイベント「大河ドラマの"ミカタ"」(12~3月広島市)を3回実施したほか、主演・松山ケンイチさんのトークショー(2.11広島市)や清盛の生涯を朗読とオーケストラの演奏でたどるコンサート「交響朗読絵巻 清盛幻影」(3.9広島県廿

日市市)を実施した。広島ゆかりの武将茶人を紹介する「上田宗箇展」の開催に合わせ、関連イベント「へうげもの~武将茶人のダンディズム」(2.25広島市)を実施した。

#### (1)全国放送公開番組

『NHKのど自慢』『ごきげん歌謡笑劇団』『BS 日本のうた』『オンバト+』などの全国放送番組を中国各局で合わせて33本実施した。

#### (2) 教育・こどもイベント

「NHK放送体験クラブ」、「NHK全国学校音楽コンクール」、「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」、「NHK明読ひろば」(9.27広島市)、「高専ロボコン」中国地区大会(10.16山口県宇部市)、「第49回中国地方放送教育大会」(11.11山口県岩国市)などの学校・教育関係イベントを実施したほか、「おかあさんといっしょ宅配便モノランモノラン小劇場」(中国各局)、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(11.19~20広島市)、「ワンワンわんだーらんど」(9.4岡山市)、「おかあさんといっしょあつまれ!土曜日」スタジオ収録(2.4広島局)などのファミリー向けイベントを実施した。

#### (3) スポーツ・福祉・キャンペーン

「ラジオ体操・みんなの体操会」(鳥取除く)、「各 県サッカー選手権大会 (天皇杯各県代表決定戦) を中国各局で実施。「第21回日本シニアオープン ゴルフ選手権競技」(10.27~30東広島市), 「天皇 盃第17回全国男子駅伝 | (1.22広島市・廿日市市) および関連イベント「駅伝ふるさとひろば」(1.21 ~22広島局)を実施。福祉の分野では「NHK歳 末・海外たすけあい」(12.1~25)、「東日本大震災 義援金受付 | (通年)を中国各局で実施したほか. 「NHKハート展」(7.2~27岡山県勝央町/7.30~ 8.5岡山局), 「ハートスポーツフェスタ」(11.23岡 山県美作市). 「発達障害フォーラム (1.8. 3.20広 島市)を実施。「環境キャンペーン」(中国各局). 「ふるさとの食にっぽんの食」(広島・鳥取・山 口局). 「防災キャンペーン」(岡山局)の関連イ ベントを各地で実施した。

#### (4)展覧会

「第58回日本伝統工芸展」(11.17~12.4岡山県立美術館, 12.7~25島根県立美術館, 1.25~2.12広島県立美術館),「生誕450年記念上田宗箇 武将茶人の世界展」(2.11~3.25ひろしま美術館) などの展覧会を開催した。

# 2. 営業

11年度は、東日本大震災・アナログ放送の終了

に伴う影響の中、「支払率75%」を目指す3か年経営計画の最終年度として、中国ブロック全局全目標達成連覇を目指して取り組んだ。

10年に実施した地域スタッフ体制変更の効果が 薄れるなか、最大限の業績確保を目指し、効果的・ 効率的な契約取次活動を推進した。新たな戦力と なる法人委託事業者や、不動産会社をはじめとす る新しいチャンネルを積極的に導入。また、口座・ クレジットなど品質や業績向上への挑戦として 「営業力強化ペア活動」や、毎期テーマを決めて 課題解決に取り組む「イノベーションプロジェクト」の活動など、より高いレベルでの安定した契 約取次・収納確保のための取り組みを行った。「民 事手続き」では、窓口変更数を増加させるなど、 引き続き公平負担の徹底を図った。

一方,アナログ放送終了に伴う影響は甚大で, 鳥取・山口局では衛星契約増加目標を達成することができなかった。広島・岡山・松江局は,10年 度に続き全目標達成を果たした。

中国ブロックとしては、営業収納額、支払総数増加、契約総数増加、未収者削減、口座・クレジット増加の5目標達成を成し遂げ、「支払率75%」達成に寄与できたと考える。

## 3. 広 報

# 〔広島局・福山支局〕

11年度は、「完全デジタル化に向けた最終の周 知広報 | と「2012年大河ドラマ『平清盛』と連携 した広報・CS活動」の二点が柱となった。「デジ タル化」では、放送だけでなく、イベント等によ る周知活動も強化。全国屈指の来場者で賑わう 「フラワーフェスティバル」(5.3~5広島市)で は、各局の地デジ推進大使によるパレードやステ ージイベントを展開した。7月にはプロ野球・広 島カープの協力により、NHKをはじめ各局の中 継日を「地デジ招待ナイター」と銘打つことで. 広くデジタルへの移行勧奨を行った。一方、大河 ドラマ『平清盛』は、広島県がロケ地、舞台とな ったことから, 県外来訪者を意識した交通広告, ロケパネルの作製・展示、CS活動グッズの作製・ 配布などの周知広報を集中展開した。また、ロケ 取材会や完成試写会に加えて、12年2月にはロケ 協力者向け「番組上映会」を企画。主演俳優と番 組スタッフによる舞台挨拶を交えるなど、番組 PRだけでなく地元視聴者へのサービス強化も図 った。

なお、広島局・福山支局の11年度のハートプラ ザ来場者数は19万7,707人。電話などで視聴者か ら寄せられた意見・要望は1万7,668件となった。 「岡山局」

子どもの健やかな成長や育児を応援する「みんなで子育てキャンペーン」を継続、また、東日本大震災を受けて、地元岡山の大規模災害に対する課題や備えを検証する「岡山の防災力」キャンペーンを立ち上げ『岡山ニュース もぎたて!』やホームページ等を中心に年間を通して展開した。また、秋には放送と連動して「子育て」「防災」関連のイベントをそれぞれ実施した。

公開番組は、『NHKのど自慢』『ごきげん歌謡 笑劇団』『ふるさと自慢うた自慢』など9本、イベントでは、「ハートスポーツフェスタ」(美作市)、「3つのキーワードでせまる横溝正史」(倉敷市)などの独自イベントのほか「放送体験クラブ」「環境」「NHKジュニアスポーツ教室」など26本実施し、延べ3万7.548人が参加した。

ハートプラザでは、「ぼくの絵わたしの絵展」「大河ドラマ 江〜姫たちの戦国展」などを開催したほか、視聴者の作品発表の場としても開放し、親しまれる放送局づくりに努めた。このほか「番組公開ライブラリー」は927人が利用、岡山局に寄せられたご意見・ご要望は2万268件に上り業務改善に努めた。

#### [松江局]

12年3月の開局80年を迎えるにあたり、ドラマ『じいちゃんのわさび』や『元気・笑顔で島根を 創る』等の放送、また、島根県と松江局の80年の 歴史を映像で振り返る公開収録番組『だんだん80年~島根 あのとき/これから』の実施など、年間を通じてさまざまな番組やイベントを企画、実施した。このほか『NHKのど自慢』(東出雲町)、『BS日本のうた』(松江市)、『それいけ!民謡うた祭り』(益田市)などの公開派遣番組や、「第58回日本伝統工芸展」(松江市)など、年間33回のイベントを実施、2万2,076人が参加した。

また、開局80年を記念した会館公開「放送の歴史と未来展」、同じく開局80年記念の「しまねの四季写真展」などのギャラリー展も行い、ハートプラザには年間9,473人が来場した。

#### 「鳥取局・米子支局〕

鳥取局の開局75周年を記念して、10月から1月まで番組やイベント等多彩な事業を展開した。12月10日(土)と11日(日)には、会館公開イベントを開催し、アナウンサートークショーや「体感鳥取」3Dシアター上映会、「移動放送博物館」等を実施して、家族連れを中心に2日間で延べ1,000人が来場した。

ホームページでは、若者向け旅番組『√るーと』の動画配信とFM朗読番組『鳥取文芸館』の音声配信を開始するなど、視聴者のニーズに応える広報活動を展開した。

地デジ完全移行に向けては、技術職員扮する "地デジ課長"による放送周知や番組出演者によるトークショー等、周知広報活動に取り組んだ。

また、イベントや番組収録、会館見学と連動した「ふれあいミーティング」を年間18回開催し、659人が参加した。

#### [山口局]

山口局は、11年を通じて、開局70周年記念イベントを実施。『BS日本のうた』(山口市)公開録画、『今夜も生でさだまさし』公開生放送をはじめ、ハートプラザでは、公募した昔の放送機材や写真、アーカイブス映像による「やまぐちと放送~ともに歩んだ70年展」を企画し、2,109人が来場。東日本大震災の影響で11月に延期した会館公開「大好き!やまぐちフェスタ」では、夕方の情報番組『情報維新!やまぐち』の出演者や、山口が初任地の小野文惠アナらが山口県の魅力を語る『大好き!やまぐちトークライブ』公開録画や、「ストレッチマンショー」などを実施、およそ3,000人の家族づれで、放送会館が終日にぎわった。

山口局実施のイベント本数は、年間27本、2万3,056人が参加した。ハートプラザ「番組ライブラリー」は3,273人が利用、「ふれあいミーティング」は41回実施し、1,701人が意見交換した。

四国

- ◇11年度は東日本大震災を受けて、東南海・南海 地震対策に四国4局が一体となって取り組み、 「安心」「安全」を視聴者に届けられるよう、 各放送局の機能強化を最重点項目に掲げ、減災・ 防災報道を数多く放送した。
- ◇松山局では、11年度で最終章を迎えた『坂の上の雲』関連番組を数多く放送するとともに、あらゆる年齢層に向けたさまざまなイベントを県内各地で開催するなど、地域の発展や文化振興に貢献することに努め、地域の魅力を発信する親しまれる地域放送局としての役割を果たした。
- ◇高知局では、開局80周年記念として、地元を舞台としたドラマを制作したほか、1年間を通して、「仁淀川」キャンペーンを展開し、関連する特集番組を数多く放送したり、イベントを開催するなど、地域の活性化に貢献した。
- ◇徳島局では、「幸せ、見つけた」キャンペーン を多角的に展開し、さまざまな形の幸せを描く ことで視聴者から好評を得た。また、地域の課 題を深く掘り下げた番組も数多く放送し、「地 域の放送局」としての存在感を高めた。
- ◇高松局では、若者の視点から地域の魅力を紹介する番組『まちカラ』を11年度に新設、また、 1月にスタートした『大河ドラマ~平清盛』関連のご当地サイトをホームページに開設するなど、地域の振興や盛り上がりに大きく貢献した。

# I. 放 送

# 1. 放送の概要

#### [松山局]

松山局は、四国各地の個性豊かな文化や産業、自然など、さまざまな分野で、まだ知られていない地域の宝を掘り起こす「地域の底力」キャンペーンで、ふるさとの価値を見つめ直し、地域の活性化につなげる取り組みを展開した。3月11日に発災し、津波や地震、さらには福島第1原発の事故で甚大な被害と影響をもたらした東日本大震災の教訓から、近い将来に起きる可能性が高いとされる南海地震への備えや伊方原発の安全性や電力需給について課題を取り上げ、視聴者と一緒に考える番組を放送した。また、7月24日のテレビの完全デジタル化に向けて、放送やホームページで

デジタル化への円滑な移行に取り組み, 視聴者参加の双方向番組などデジタル放送ならではの魅力ある番組を放送した。

金曜午後7時30分からの『四国羅針盤』では、 東日本大震災を受けて、東南海・南海地震への対 策にその教訓をどう生かすか、年間を通じて番組 を展開し、四国の防災・減災上の課題や伊方原発 の安全性と運転停止後の電力対策などを取り上げ た。震災から1年となる3月には73分のスペシャ ル番組を放送した。その他、震災による風評被害 から立ち直ろうとする観光業や水産業の取り組 み、さらには苦悩の末、愛媛に移住した避難家族 の記録を紹介した。また、高齢化と過疎化が進む 農村地域の再生に挑むIT企業や地域農業再生に 挑む経団連や巨大直売所の取り組みなど地域の先 駆的な取り組みも積極的に伝えた。

フルデジタル化を7月に迎え、視聴者がデータ放送やホームページや携帯サイトから参加する73分の大型双方向番組を拡充。4県の代表が毎回、グルメ、観光、ビジネスなどテーマごとにふるさとの自慢を持ち寄り競い合う『しこく8~四県対抗!ふるさと自慢』を新設、年4回(5・7・10・1月)放送したほか、『四国選択会議』をリニューアルした報道トークバラエティー『四国のいいぶん』では、エネルギーや交通などホットで身近な話題をテーマに理解と議論を深め、視聴者がアンケートで"四国のいいぶん"を選ぶ新たな演出で、年3回(4・10・1月)放送した。

金曜夜8時からの『しこく8』は、2年目を迎 え,新双方向番組『四県対抗!ふるさと自慢』や, 四国各地の謎や伝承を徹底的に解明する『四国な ぞ解き行脚』をシリーズ(年4本)で放送し、家 族で楽しみながら故郷のことを知り、地域も"元 気"になる番組を放送した。8月には、高知県の 「よさこい祭り」と徳島県の「阿波おどり」のも ようを73分の拡大版として2週連続で放送したほ か. 「清流仁淀川 - 奇跡の色彩 | 「ばあちゃんの一 期一会~善根宿・萩生庵 | 「昔のまんま ありの まんま~桃源郷・祖谷のとりくみ」など、四国独 自の自然や人. 歴史の魅力をしっかりと伝えた。 毎月最終金曜の『伊予路てくてく』では多彩なゲ ストが愛媛県内を旅し、その土地に暮らす人々と の交流を通して、地域の魅力を伝えた。また、最 終章を迎える『スペシャルドラマ〜坂の上の雲』 関連として, 子規の没後, 俳句界をリードし近代 俳句の発展に寄与した2人の愛弟子・高浜虚子と 河東碧梧桐の軌跡を描いた「独楽のはじける如く なり~子規の愛弟子 虚子と碧梧桐」と、日露戦 争末期、日本海海戦に臨むロシア側の7か月におよぶ大航海と情報戦の中で想像を絶する困難に見舞われていた真実に迫った「バルチック艦隊の真実~日本海海戦への知られざる航海」の2番組を『しこく8』で放送した。

それ以外の関連番組では平日午後6時10分からの『いよ×イチ』や土曜午前7時30分からの『おはよう四国』でドラマ出演俳優のインタビューやドラマ関連企画をシリーズで放送した。また、総合テレビでこれまでに制作したドラマ関連の地域番組をまとめて深夜に放送した。

平日午後6時10分からの地域ニュース情報番組はタイトルを『いよ×イチ』に改め、リニューアルした。"愛媛のイチバン"のニュース情報番組を目指し、ニュースを深く掘り下げ、分かりやすく伝えた。東日本大震災を受けての県内の防災・減災の取り組みや、伊方原発の全基停止や運転再開への動きなどをきめ細かく伝えたほか、「四国の底力」キャンペーンと連動して、県内の市町をまわり、自慢の人や文化・産業などを楽しく取り上げる「えひめイチバン」など新企画を盛り込んで放送した。

午前11時40分からの『えひめ おひるのたまご』では、新しく県内各地の催しや祭り、コミュニティー活動などを応援するコーナーを新設、暮らしに役立つ話題を放送した。

16年間にわたりBS2で親しまれてきた松山局制 作の定時番組『俳句王国』がEテレに移設され. 毎週月曜夜の放送になり、「大人が楽しめる知的 エンターテインメント」として、恋愛や子育て、 定年など暮らしの身近なテーマにも題材を広げ 「テーマ句会」に挑戦、女性句会や若手句会など、 幅広い世代に親しまれる演出に取り組んだ。また, 『しこく8』では「17音に"自分"を刻む~俳句 甲子園2011 (9.2). 「燃えろ!五・七・五~学生 俳句チャンピオン決定戦 | (2.17) を. 県域特集 で『それ行け!俳句キッズ~句会ライブ IN 松 山 (3.20) を放送。R1では季語にとらわれない 身近なテーマで、自由に575作品を投稿してもら う番組『つぶや句575』を年6回全国放送(6.29. 8.31, 9.23, 11.30, 1.3, 2.29) するなど、俳句の 魅力を伝える番組を放送した。

スポーツ中継は地域スポーツを中心に放送した。サッカーJ2の「愛媛FC」の4試合を総合テレビで中継し、野球独立リーグの四国アイランドリーグplus「愛媛マンダリンパイレーツ」の4試合をR1で放送した。夏と秋の高校野球地区大会はテレビとラジオ中継を実施。秋の県大会と四国

大会はインターネット,携帯端末,地上デジタルのデータ放送で独自の試合速報を行った。

#### [高知局]

11年度、高知局は開局80周年を迎えた。高知の魅力を全国にアピールするために「知られざる清流」仁淀川を長期取材し、高知に残る自然の素晴らしさ・美しさをクローズアップすることにした。7月から『しこく8』(四国ブロック)、『とさ金8』(県域)、『夏期特集』『新日本風土記』『NHKスペシャル』(全国放送)と多様に番組展開し、地元はもちろん全国的にも大きな反響を得た。

また、開局80周年記念番組として3月に放送された高知局初のドラマ『カゲロウの羽』も、仁淀川を舞台として関心を呼び、県内の視聴率は16.9%を記録した。

夕方のニュース『こうち情報いちばん』は2年目に入り、高視聴率を維持して県民に親しまれている。6月からは「土佐偉人伝」「高知あすを問う」という月1回の新シリーズをスタートさせた。また、東日本大震災を受け、近い将来の南海地震や津波に対する備えとして、避難や減災に役立つ情報、現状の問題点を探る企画を精力的に報道した。中には、全中発信に発展していったものも多い。大地震の際、小学校が浸水する可能性を独自に取材した企画もその一つで、話題となった。

11年度,台風の接近・上陸が相次いだ。7月の台風6号接近の報道は視聴率25%以上を記録,9 月に2つの台風が接近あるいは上陸した際も,中継・終夜のL字・ラジオ上乗せ対応と,多くの手法を使って豊富な情報を県民に提供した。

4月の統一地方選は全市町村の当選者をミスなく伝え、11月の3市長選では高知市長の再選万歳映像を生中継して、どちらも高視聴率だった。

月1回,金曜夜の県域放送『とさ金8』は2年目に入り,高知で盛んな神楽のエッセンスを特集したり,「仁淀川」をテーマにしたトークショー,ドラマのメイキング,さらには毎年放送してきたラジオ特番『南海地震に備えちょき』をそのままテレビ化するなど,意欲的な試みを重ねた。

そのほか、例年どおり『よさこい祭り』を2夜にわたって生中継し、20%前後の視聴率を記録、 県民の関心を集めた。

開局80年を記念して高知局独自で企画したイベント「ペギー葉山 ソング&トーク~私と高知とNHK」は800人の入場者を集め、その録音をラジオ特番として放送した。

# 〔徳島局〕

11年度は、徳島のすばらしさを再発見し、そこ

で暮らす人々の幸せと元気を伝える「幸せ、見つけた」キャンペーンを多角的に展開した。午後6時台の地域番組『とく6徳島』では、さまざまな幸せの形を伝える「シアワセパズル」で、人々の心により強く訴える企画を数多く放送。視聴者にも好評であった。生中継「とく6ほっとライブ」を新設し、徳島の「今」を伝えたほか、視聴者参加企画「ハッピーニュース」「幸せメッセージ」「投稿写真」「投稿DO画」など、視聴者とのつながりを大切にする取り組みも継続して行った。

金曜夜間の『阿波スペシャル』では、吉野川の 魅力とそこで暮らす人々、『熱血!オヤジバトル』 で優勝したバンド「カマンベール」を取り上げる など、徳島の自然や人々の魅力を描く特集番組を 放送した。

地域の話題・課題も積極的に取り上げた。サッカーJ2「徳島ヴォルティス」は、J1昇格をかけた 熱戦を繰り広げ、サッカー中継や『とく6徳島』 の企画で県民の関心に応えたほか、雇用や健康に 関する課題では、全国放送に展開する取り組みも 行った。

東日本大震災を受け、災害報道には万全の体制で臨み、重点的に取り組んだ。『阿波スペシャル』で制作した特集番組や『とく6徳島』での防災企画は、四国ブロック向け『四国羅針盤』や全国放送の『おはよう日本』『ニュースウオッチ9』へとつながり、地域の防災・減災の意識を高めた。

ラジオでも、12月に地元FM局との共同制作により、防災特集番組を放送。地域の防災ステーションとしての役割を果たした。

# 〔高松局〕

東日本大震災を受け、県内の防災の課題についてニュースや番組で多角的に取り上げた。『ゆう6かがわ』では、県内自治体へのアンケートを実施し、その結果を基に津波避難対策を検証するなど、防災をめぐる自治体や民間の取り組みを、年間を通して繰り返し伝えたほか、震災1年の3月には防災対策のシリーズ企画を放送した。高松局が制作し四国4県向けに放送した『四国羅針盤』では、9月と12月の2回にわたって伊方原発再稼働の問題や四国の電力需給の現状と課題について掘り下げて伝え、地域防災やエネルギー問題を考える判断材料の提供に努めた。

一方、高松局の災害対応をさまざまな角度から 見直した。南海トラフを震源とする巨大地震によ り局舎が浸水被害を受け機能停止になる事態も想 定して、災害対応マニュアルの改訂や設備・機材 の充実強化を図った。また、初動時の送出訓練を 定期的に実施し、災害対応力の向上に努めた。

金曜夜の県域番組では、若者の視点で地域の知られざる魅力=まちの「チカラ」や「カラー」を発掘する新番組『まちカラ』を5月に立ち上げた。11年度は丸亀市やさぬき市など県内各地から5本を生放送した。地元に設けたオープンスタジオから伝える手法やデータ放送、携帯、ホームページを駆使した投票やメッセージ募集を取り入れ、課題である若年層の取り込みを図った。一方、5年目に入った『笑ってうたって しあわせ家族』は6本を放送し、ミニコンサートも毎回満席になるなど視聴者への浸透が一層進んだ。

11月に高松市で開かれたアジア太平洋盆栽水石大会に合わせて、香川の盆栽の魅力や課題に加え、盆栽人気が広がる欧州の事情も現地取材し、特集番組やニュース、企画リポートで、県域放送や四国ブロック、さらに全国に発信した。また、全国的に話題となった「うどん県」や「オリーブハマチ」などの県産品振興に向けた取り組みを番組やニュースで積極的に取り上げた。

スポーツでは、JFLの「カマタマーレ讃岐」が Jリーグ入りを目指した戦いや、香川県出身力士 としては5年ぶりに十両入りを果たした小豆島町 出身の琴勇輝関を中継番組や企画リポートで継続 的に伝えた。

#### 2. 地域放送番組

#### (1) 定時番組

#### 『おはようえひめ』 G

各県域 月~金 7:45~8:00 第1回93.4.5/最新のニュースや気象情報をきめ細かく伝えるほか、天気カメラリレーで四国4県の朝の表情を伝えた。企画や中継などで構成。随時、四国4県や西日本各局と共同で季節の中継や企画シリーズを放送した。/各局タイトル:『おはようこうち』高知局、『おはよう徳島』徳島局、『おはようかがわ』高松局。

## 『おはよう四国』 G

四国ブロック 土 7:30~8:00 第1回93.4.10/週末の朝をスタートさせるにふさわしい、さわやかさが番組のコンセプト。四国の魅力を再発見するというテーマで伝えるコーナー「四国プラス」では、季節の風物詩や伝統の技、そして食べもの情報などを各局のリポーターが出演し紹介した。週末のお出掛けに便利な「ウィークエンド・ナビ」や西日本各地を巡る紀行「西日本の旅」を継続して放送した。

# 『えひめ おひるのたまご』 G

県域 月~金 11:40~12:00

第1回07.4.4/暮らしに役立つ生活情報を伝える番組。メインは、月曜は健康や花など生活を豊かに過ごすための情報、火曜は映像を基に俳句を募集する「つくって映像はい一句」や気軽に楽しめる絵手紙の紹介、水曜は旬の青果や地場産の食材を使った料理、木曜は家族で楽しめる趣味やスポーツの情報、金曜は県内各地にあるケーブルテレビで放送する地域の情報を紹介した他、地域で活躍する人を紹介する「えひめホット自慢」を放送した。この他、お知らせや「地デジ普及促進」「ふれあいミーティング」などの紹介なども行った。/各局タイトル:『こうち情報BOX』高知局、『とくしま』徳島局、『ひるまえかがわ』高松局

# 『いよ×イチ』 新 G

各県域 月~金 18:10~18:59

第1回11.4.4/愛媛県域/「愛媛のできごと、 話題を1番わかりやすく伝える | をコンセプトに 装いも新たにスタート。その日1日に愛媛県内で あったニュースや話題を中心に構成する上で、そ の柱となるのが"イチバン"。きょうイチバン重 要なニュースは?今イチバン関心を集めている文 化情報は?イチバン輝いているスポーツ選手は? 中でも各市町村にある"県内のイチバン"を掘り 起こす「えひめイチバン」のコーナーでは、地域 の知られざる誇りを伝えた。さらに、地域の旬な 話題を伝える「いよイチ中継」、県内の小学校を 巡って歌い継がれる校歌を紹介する「校歌の旅」. 防災に関する取り組みを伝える「くらしを守る」. カメラマンや報道室記者によるリポート「えひめ ピックアップ」などさまざまな企画を各曜日に配 置。愛媛の人々が元気になるニュース情報番組と して放送した。/各局タイトル:『こうち情報い ちばん』高知局、『とく6徳島』徳島局、『ゆう6 かがわ』高松局

#### 『四国羅針盤』 G

四国ブロック 金 19:30~19:55 再士 10:05~10:30

第1回00.3.31/「四国のいまを追い続ける」をモットーに各県が抱える課題や、地域を元気にする取り組み、事件・事故の背景などを伝えた。11年度は、東日本大震災に関連して「巨大地震 四国はどう備える」「伊方原発は安全か」「どうなる四国の電力」「原発避難家族の記録」などを放送。また、「攻め続けロンドンへ~柔道浅見選手」「農家に経団連がやってきた」「自転車はどこを走るのか」など、関心が高くタイムリーなテーマを重点的に放送した。

#### 『しこく8』 G 四国ブロック

金 (除く最終週) 20:00~20:43

第1回10.4.9/家族そろって"元気"と"感動" そして"笑顔"を充電!地域を舞台に活躍する 人々や地域の文化、風俗、歴史、自然など多彩な テーマで個性豊かな四国の魅力を再発見していく 番組。『スペシャルドラマ〜坂の上の雲』に関連 する歴史秘話を紹介するドキュメンタリーも展 開。四県の代表がテーマごとにふるさとの自慢を 持ち寄り、競い合う73分の双方向新設番組「四県 対抗!ふるさと自慢」や、四国各地の謎や伝承を 解明する「四国なぞ解き行脚」など、それぞれ年 4回シリーズの番組も含まれる。

# 『四国おはようネットワーク』 R1

四国ブロック 月~土 7:40~7:58 第1回93.4.5/最新の気象情報、ニュース、交 通情報のほか、四国各地の朝の様子や話題を、各 県の「おはようリポーター」に電話で伝えてもらった。このうち月曜は東日本大震災を受けて「防 災ネットワーク」として、各地の学識者、防災関 係者と電話をつないで震災からの教訓や新たな備 えの必要性、今後予想される南海地震のメカニズムや被害想定、対応の考え方などを具体的に活を 聞いた。土曜は「俳句ネットワーク」として、四 国各地の結社の方に季語にまつわる話題を中心に 作品の奥深さを伝えてもらった。祝日は「四国を 読む」として、各局のアナウンサーが四国ゆかり の文芸作品を朗読した。

#### (2)特集・特別番組

#### [四国ブロック]

『四国のいいぶん』 G 19:30~20:43 「めざせ!自然エネルギー"先進地"」 6.10 「どうする?四国の交通」 9.16 「どうする!?四国の電力」 2.10

# 『してく8』 G

「四国なぞ解き行脚・春編」

四国地方4局 4.8/20:00~20:43 「四県対抗!ふるさと自慢~ご当地グルメ」

松山局 5.13/19:30~20:43

「四県対抗!ふるさと自慢~個性派観光地」

松山局・徳島局 7. 1/19:30~20:43 「清流 仁淀川 奇跡の色彩」

高知局 7.8/20:00~20:43

「ばあちゃんの一期一会~善根宿・萩生庵」

松山局 7.15/20:00~20:43

「よさこい祭り~鳴子でつながる夏」

高知局 8.19/19:30~20:43 「踊る歓び 生きる力~徳島 阿波おどり」 徳島局 8.26/19:32~20:45

「17音に"自分"を刻む~俳句甲子園2011」

松山局 9. 2/20:00~20:43

「四国なぞ解き行脚・夏編」

四国地方 4 局 9.22/20:00~20:43

「四県対抗!ふるさと自慢~女性の底力」

松山局・高知局 10.7/19:30~20:43 「独楽のはぢける如くなり~子規の愛弟子 虚 子と碧梧桐」

松山局 10.14/20:00~20:43

「わしら 1等じゃ〜城川オリンピック 山里 の心意気 |

松山局 10.21/20:00~20:43

「BONSAI~満喫!魅惑の小宇宙」

高松局 11. 4/20:00~20:43

「四国なぞ解き行脚・秋編」

四国地方4局 11.18/20:00~20:43 「バルチック艦隊の真実~日本海海戦への知られざる航海」

松山局 12. 9/20:00~20:43

「四国なぞ解き行脚・冬編」

四国地方 4 局 1.13/20:02~20:45

「四県対抗!ふるさと自慢~ご当地ビジネス」

松山局・高松局 1.20/19:30~20:43

「じぶんに 挑む~"力餅"にかける男たち」

高松局 2. 3/20:00~20:43

「燃えろ! 五・七・五~学生俳句チャンピオン 決定戦」

松山局 2.17/19:30~20:43

「昔のまんま ありのまま~桃源郷・祖谷のと りくみ」

徳島局 3.9/20:00~20:43

「NHK高知放送局 開局80周年記念ドラマ〜 カゲロウの羽」

高知局 3.16/20:00~20:48

『Nコン2011 第78回NHK全国学校音楽コン クール・四国ブロックコンクール〜小・中・高 等学校の部』 E

松山局 9.24/14:00~16:30

『アイデア対決 高専ロボコン2011〜四国地区 大会』 G

松山局 11.6/15:05~15:59

『つぶや句575四国スペシャル』 R1

松山局 8.31/20:05~21:30

『NHKトーク&ライブ スペシャル〜次のメジャーデビューは、君かも!?』 FM

松山局 11.19/14:00~16:00

〔県域〕

『Nコン2011 第78回NHK全国学校音楽コン クール・各県コンクール』

「愛媛県」E 8.20~21 「高知県」E 8.23~24 「徳島県 | FM 8.24

「香川県 | FM 8.17~19

[愛媛県域]

『伊予路てくてく』 G

「ワッキーが上島町を行く!|

 $6.17/20:00\sim20:43$ 

「藤本隆宏が松山市を行く!」

11.25/20:00~20:43

「ルー大柴が東温市を行く!

 $1.27/20:00\sim20:43$ 

『トモダチ解剖バラエティー~ヒメおき!』 G

12.16/22:00~22:44

『それいけ!俳句キッズ〜句会ライブ IN 松山』

G  $3.20/13:05\sim14:04$ 

『えひめイチバン!特別号』 G

 $3.23/19:30\sim20:00$ 

〔高知県域〕

『とさ金8』 G

「南海地震にどう備えるか」

 $4.22/20:00\sim20:43$ 

「わたしの仁淀川」

 $7.22/20:00\sim20:43$ 

「ドラマ カゲロウの羽 10倍楽しく見る方法」

 $2.24/20:00\sim20:43$ 

『防災特番 南海地震に備えちょき』 R1

 $1.28/16:05\sim17:55$ 

『高知あすを問う 防災特集〜南海地震を生き抜くために』 G

 $3.30/22:00\sim22:43$ 

〔徳島県域〕

『阿波スペシャル』 G

「みんなの力で STOP!糖尿病」

 $4.15/20:00\sim20:43$ 

「グッチ裕三も興奮!阿波おどりディープワールド |

 $7.22/20:00\sim20:43$ 

「シアワセパズル・スペシャル Myway Myhappy」

10.28/20:00~20:43

『ラジオ防災特集 どう立ち向かう 迫りくる東南海・南海地震』 R1

12.11/15:00~17:00

〔香川県域〕

『笑ってうたって しあわせ家族』 G

「コロッケさんとゆく 善通寺市の旅」

 $4.22/20:00\sim20:43$ 

「香西かおりさん	とゆく 高松市香西の旅」
	2.24/20:00~20:43
『まちカラ』 新 (	G
「創刊号 小豆島」	5.27/20:00~20:43
「第3号 宇多津町	$10.28/20:00\sim20:43$
『朗読 壺井栄賞』	
2 7 4 W + 6W	
3.スポーツ中継	
〔高校野球〕	
全国高校野球選手権	大会・各県大会(各県域)
愛媛県 2回戦	R1/FM/ 7.21~23
3回戦	$R1/7.24\sim25$
準々決勝	G · E · R1∕ 7.26~27
準決勝	$G \cdot E \cdot R1 / 7.29$
決勝	E · R1/7.30
高知県 3回戦	R1 · FM / 7.20~21
準々決勝	G · E · R1 · FM ∕ 7.22~24
準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.26
決勝	G·R1/ 7.27
徳島県 2回戦	R1 · FM/ 7.17, 21~22
	G·E·R1/ 7.22, 24
秋季四国地区高校野3	球・各県大会(各県域)
愛媛県 準決勝,	3 位決定戦,決勝
	R1∕10.1∼ 2
高知県 準決勝,	3 位決定戦,決勝
	R1∕10.8∼ 9
徳島県 準決勝,	3 位決定戦,決勝
	R1∕10. 1∼ 2
香川県 準決勝,	3 位決定戦,決勝
	R1∕10. 1∼ 2
秋季高校野球四国大会	会(四国ブロック)
準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 ∕ 10.29
決勝	E ⋅ R1 ∕ 10.30
〔全日本サッカー選	<b>手権</b> 〕(各県域)
〔地区大会〕	
愛媛県 代表決定戦	G/ 8.21
高知県 代表決定戦	E/ 8.21
徳島県 代表決定戦	E/ 8.21
香川県 代表決定戦	E/ 8.27
〔サッカーJリーグ・	JFLリーグ中継〕
愛媛県域 G	
愛媛FC戦	
対「コンサドーレオ	
対「徳島ヴォルテ	
対「ガイナーレ鳥」	. –
対「ザスパ草津」	11.27

徳島県域 G

徳島ヴォルティス戦	
対「京都サンガFC」	5. 8
対「愛媛FC」	5.14
対「サガン鳥栖」	11.27
香川県域 G	
カマタマーレ讃岐戦	
対「Honda FC」	6.26
対「SAGAWA SHIGA FC」	12. 4
〔四国アイランドリーグplus中継〕 R1	
高知県域	
高知ファイティングドッグス戦	
対「福岡ソフトバンクホークス (3軍)」	5. 7
香川県域	
香川オリーブガイナーズ戦	
対「三重スリーアローズ」	5.20
対「愛媛マンダリンパイレーツ」	6.19
愛媛・香川ブロック	
「愛媛マンダリンパイレーツ」	
対「香川オリーブガイナーズ」	

4.29. 6.24. 9. 9

# Ⅱ. 技 術

# 1. 地上デジタル放送への取り組み

7月24日のアナログ放送終了に向け、四国総合 通信局, 各県のデジサポ, 民放各局と連携し, ア ナログ放送終了の周知広報とデジタル放送の普及 促進に取り組んだ。松山市および周辺地域の多方 向受信者に対して, デジサポと連携し全戸調査を 行い、デジタル普及促進を行った。徳島県内の区 域外受信者への対策は、デジサポやケーブル業者 と連携しVHFアンテナ設置世帯への戸別訪問を 行い、ケーブル加入またはローカル受信の周知を 実施した。アナログ終了告知では、民放局と連携 し、視聴者のアナログ放送終了に関する問い合せ 先を地域のデジサポの電話番号に統一するため, スクロールスーパーシステムを開発してアナログ 放送画面の下部に常時表示したほか、ローカル放 送やスポット番組を活用して周知した。アナログ 放送終了当日は、四国4局で臨時コールセンター を設置し全局体制で臨んだ。域内324局のアナロ グ放送所は24時をもって停波した。

アナログ終了後、松山・新八幡浜局など7局の リパック対策、新たな難視に対応する松山・伊予 青島局と高知・十和局の開局、衛星による暫定受 信対策世帯への恒久対策の策定、受信相談の迅速 な対応などデジタル受信環境の改善を実施した。 また、デジタル放送の使い方や魅力を各地のセミナーや情報番組などで紹介し普及促進に努めた。

#### 2. 地域放送の充実

四国全域に地上デジタル放送の魅力を伝えるた め、松山局では『四国のいいぶん』『しこく8~ 四県対抗!ふるさと自慢』、高松局では『まちカ ラ』の視聴者参加型の双方向番組を制作した。ア ナログ放送終了に伴い, デジタルテレビの普及が 進んだため、データ放送による双方向参加数は、 特に12セグからの参加数が大きく伸びた。I2リー グ中継は5.1サラウンド音声で制作。高知の「よ さこい祭り」中継と「秋の高校野球四国大会」で は連動データ放送を実施し、デジタル放送の機能 を活用した番組制作を行った。『俳句王国』がE テレでの放送になり、年間44本を制作した。『そ れ行け!俳句キッズ』『燃えろ!五・七・五』な ど若年層対象の番組制作にも取り組んだ。高知局 では開局80周年を記念し地域ドラマ『カゲロウの 羽』を制作した。技術提案番組の『四国イチバ ン』を域内各局で2本、合計8本制作した。

8月のNHK音楽コンクール四国ブロック大会, 10月には高専ロボコン四国大会の収録に合わせてライブストリーミング配信を実施し、インターネット経由で会場のもようをリアルタイムで見られるようサービスした。夏の高校野球県予選や秋季高校野球四国大会では、DEワンセグのローカル放送や各局ホームページ、データ放送でライブスコアのサービスを行った。

高知局制作の『新日本風土紀』の「仁淀川」と徳島局の「シリーズ吉野川〜桜咲く美濃田の淵」が放送技術選奨の最優秀賞を受賞した。番組技術展では高知局開発の「撮影自在アーム」が優秀賞を、松山局の「メールdeロボカメ」が奨励賞を受賞した。

設備整備では松山の中型中継車(HZK-1),第 2スタジオ副調,データ放送設備および高圧受電 設備などの更新を行った。域内局では空港などの ロボットカメラ(7か所)のハイビジョン化を行ったほか,高知と高松のCS伝送設備狭帯域化整 備,高松・金甲山基地局の伝送設備などの更新を 行った。放送所設備では松山・宇和島ラジオ,新 居浜ラジオ,高松・松縄ラジオの自営回線設備を 更新した。また,各局テレビ親局への無線中継受 信機整備,松縄ラジオの燃料タンク増量および徳 島・鳴門瀬戸テレビの放送機2台化など放送機能 強化と電波確保に取り組んだ。

#### 3 緊急報道の取り組み

11年度は「台風12号・15号|「大王製紙事件| をはじめ自然災害や事件・事故などの緊急報道対 応を行った。東日本大震災を受け、東南海・南海 地震に対する放送機能強化や対策訓練などを行っ た。愛媛県南予方面のヘリ伝送改善のため宇和島 放送所にヘリ自動追尾装置を仮設した。高知・五 台山のロボットカメラには衛星IP回線を利用し 全国どこでも映像を受信できるシステムを開発導 入した。また、高知局サブステーション整備、高 知と高松では第2非常用電源整備の準備を進め た。1月に高知局で南海地震を想定した四国域内 非常災害対策訓練を開催,2月には伊方原発の重 大事故を想定した愛媛県の広域避難訓練のもよう を中継および伝送対応を行った。10年度から始ま った高松ヘリ運用は定期的に研修を行い、搭乗要 員を育成し運用体制の強化を行った。

また、四国域内から福島県を中心とした東北地方に500人日を超える技術要員の派遣を行い、震災・原発報道を支援した。

# Ⅲ. 視聴者

## 1. イベント事業

#### (1)全国放送・地域放送公開番組

『NHKのど自慢』をはじめ、全国放送・地域 放送番組を四国4県の22会場で実施し、1万 7,500人余りの入場者があった。『BS日本のうた』 (松山局)は、受信料支払者への感謝のひとつと して受信料支払者を対象に実施した。

# (2)公共放送ならではのイベント・キャンペーン

「歳末・海外たすけあい」「ハートフォーラム」「ハート展」(松山局)などのNHKハートプロジェクトや、「防災キャンペーン」関連の展示、「ふるさとの食 にっぽんの食」地域フェスティバル、「環境キャンペーン」に連動した「環境セミナー」(松山局)の開催など積極的に取り組んだ。

#### (3) こども・青少年、教育・教養イベント

「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(松山局)、「いないいないばあっ!あつまれ!ワンワンわんだーらんど」(徳島局)や「放送体験クラブ」「全国学校音楽コンクール」「放送コンテスト」などの教育イベントを実施。地域の音楽文化・教育の振興を目的として独自に開発し、12年度で5回目となった「学校にN響メンバーがや

って来る!」(松山局)を実施したほか、「NHK 朗読ひろば」「NHKこども音楽クラブ」(高松局)など学校に出向くイベントを積極的に展開し、子どもや保護者層への理解促進に努めた。また、「おかあさんといっしょ あつまれ!土曜日スタジオ収録」(徳島局)では、受信料支払者への優待サービスとして受信料支払者を対象に実施し、若い主婦層との接触率向上と受信料制度の理解を求めた。

# (4)美術・展博イベント

12年ぶりとなる大型全国巡回展「地球最古の恐竜展」(松山局),「第58回日本伝統工芸展」(松山局,高松局),「大河ドラマ50の歴史展」(松山局)などNHKならではの"ホンモノ志向"の展覧会を開催し、地域文化振興と活性化に取り組んだ。

# (5) 音楽イベント

13回目を迎え地元クラシック音楽ファンからも 期待の高い「N響松山定期演奏会」(松山局)や 4年ぶりとなる「N響四国公演」を各県で開催 し、良質な生の音楽を視聴者に提供することで、 地域の音楽文化向上に寄与した。

#### (6) スポーツイベント

「ラジオ体操・みんなの体操会」「各県サッカー選手権大会(天皇杯各県予選)」のほか、「ジュニアスポーツ教室」(松山局、高知局)や地域放送局杯各種大会を実施するなど、スポーツ振興や地域の活性化に資する展開を図った。

#### (7) デジタル放送普及

『NHKのど自慢』の予選会に合わせて「デジタル笑!劇場」(高知局),ファミリー層向けに「地デジDEどーも」(松山局)を実施した。『BS日本のうた』(松山局)開演前に大型画面に番組PRソフトを上演したほか,各イベント会場でもデジタル放送普及PRを積極的に展開した。

#### (8) 営業施策

営業課題の解決を目的として全国放送公開番組を優先的に配置する「エリアターゲット」を域内各局において実施した。また、大学や大学生対策の一環として「大学セミナー」(松山局)やケーブルテレビ局との関係強化を図る「CATVキャラバン」(松山局)などのほかさまざまな優待施策を実施して営業業績向上につなげた。

#### (9)地域貢献

松山局では、『スペシャルドラマ〜坂の上の雲』 の最終章の放送にむけて出演者による「NHK公開セミナー」を実施して視聴促進を図った。また、 俳句という地域文化をテーマにした「それ行け! 俳句キッズ」を小学生・ファミリー層を対象に開 催したほか、若い母親の子育ての悩みに応える構成で「NHKハートフォーラム」を実施するなど、視聴者のニーズや文化に連動したイベントを展開し、地域における"ご近所の放送局"をアピールして経営目標の具現化に努めた。

#### 2. 営業

「平成21~23年度 NHK経営計画」最終年度 にあたる2011年度については、地域スタッフ体制 を契約取次と支払再開業務へ更なるパワーシフト を図るとともに、法人会社の業務委託を10エリア に拡大するなどの取り組みを展開した。

また、「7.24アナログ放送終了」の影響を最小限にとどめるため、「継続視聴」および「BSプレゼンス向上策」を展開、ケーブル事業者との連携を図り、衛星契約取次拡大に努めた。

事業所割引制度や業界団体取りまとめを活用した事業所対策にも継続的に取り組んだ。

さらに、民事手続きによる支払督促を四国ブロック4県とも年2回ずつ実施し、公平負担の徹底に努めた。

危機管理については、営業系セキュリティーガイドライン遵守と個人情報保護の徹底,事故防止, コンプライアンスの徹底を図った。

四国ブロックとして、「取次総量の確保」と「取次品質の向上」に向け、実践活動に基づいた職員の指導力向上と地域スタッフのスキルアップを図るとともに、法人委託、ケーブル事業者の衛星契約取次拡大、職員を中心に事業所取次数の確保に取り組んだ。

# 3. 広報

#### 〔松山局〕

453

#### (1)『スペシャルドラマ~坂の上の雲』

09年から3年にわたって放送された『坂の上の 雲』には、ゆかりの地の放送局として、放送前か ら長期的継続的に広報に取り組んだ。

11年もさまざまなイベントで番組パネル展示を行い、うちわやリーフレットなど独自ツールを製作、配布するなど最終章の放送の年として精力的に活動した。放送直前の10月からは数多くの衣装や小道具などを一堂に集めた「みどころたっぷり!スペシャルドラマ『坂の上の雲』展」を松山空港など県内4会場で実施し、1万6,000人を超える来場者があった。3年以上にわたる一連の活動は204項目にのほった。そのうち、市内および全国各所でのパネル展や市内商店街でのポスター掲出など64件を松山市等関係機関との連携により

実施し、地域との結び付きを深めるとともに地域 活性化に寄与した。

#### (2) 地域の皆さまとの絆を強化

若者やファミリーなど、対象を明確にした広報 イベントを数多く実施し、年間を通して幅広い視 聴者層に接する機会をもった。

初めて実施した学生対象の「放送ワンダーランド」では職員の制作秘話講演や最新の放送技術展示などでNHKに対する理解促進に努めた。また、ファミリー向けの「夏休み 見学オープンデー」は初開催の10年に引き続き好評で、大幅に来場者が増えた。

会館公開「NHK春のふれあい広場」では、屋外ステージショーや『大河ドラマ~平清盛』出演者のトークショーを行い、2日間で4,000人が来場した。第36回「チャリティーロビー展」は34団体が出展し、「NHK歳末たすけあい・海外たすけあい」に103万円が寄せられた。

局のアートギャラリーでは年間43回の外部団体展示が行われ、入場者数は6万5,000人だった。また、団体見学者は196団体6,000人、来局者総数は8万6,000人だった。

その他, 『伊予路てくてく』や『俳句王国』など松山局制作の番組・イベントから局内施設まで紹介するパンフレット等を作成した。

# (3) 「ふれあいミーティング」

「ふれあいミーティング」は年間で20回実施し、1,752人(アンケートを含む)が参加した。そのうち公募型は2回で、松山大学と共催で実施した「デジタル悠々講座」での「ふれあいミーティング」や『大河ドラマ~平清盛』スペシャルトークショーの「ふれあいミーティング」など、いずれも盛況で活発な質疑応答が交わされた。また、月1回の『伊予路てくてく』スタジオ収録の際には、ロケ現場となった地域からの観覧者を対象に実施し、それぞれの地域事情を反映した意見や要望を受けることで、きめ細かい対応を行うとともに、公共放送の理解促進につなげた。

# (4) 誠実, 迅速, 的確な視聴者対応と「視聴者からの声」

電話やメール、来局などによりハートプラザへ 寄せられた質問・意見・要望は年間で1万3,371 件にのぼり、各部と連携して迅速に対応するとと もに、番組の参考や業務改善などに反映させた。

# (5) 完全デジタル化

7月24日のアナログ放送終了および完全地上デジタル化に向け、関連イベントを実施したり、イベント開催時に受信方法などを周知する印刷物や

広報資材を配布したり、相談コーナーを設置するなど周知活動に取り組んだ。また、1か月前の6月24日には、松山の民放4局、四国総合通信局、デジサポ愛媛と連携して、各社メンバーとNHKおよび松山の民放各局女性アナウンサー(愛称"デジタルマドンナ"=地上デジタル推進大使)による、松山市駅前でのPR活動を行った。デジタル移行前後の期間は局内に臨時コールセンターを設けるなど、視聴者からの問い合わせ等にも万全を期し、県内の完全移行を円滑に行った。

#### 〔高知局〕

開局80周年記念ドラマ『カゲロウの羽』や『N HKスペシャル~仁淀川 青の神秘』など「仁淀川」を取り上げた多くの番組に関連して、会館ロビーでの写真展・上映会、四国管内におけるドラマパネル巡回展、ホームページでのPR、商店街への吊り看板掲示など、さまざまな広報活動を展開した。また、ドラマのロケ地でもある「いの町」で開催した完成披露試写会には、地元の視聴者やNHKネットクラブの会員を含め約150人に参加してもらった。主演のあらいすみれさんを招いたトークショーも行い、大変盛況なものとなった。地域の視聴者との結び付きを深め、公共放送の理解促進に取り組んだ。

#### [徳島局]

徳島局のマスコットキャラクター「かめっ太」をはじめ「親しまれる放送局」を目指したさまざまな取り組みの効果が表れ、年間来館者数の記録を更新した。8月に開催した「熱演 真昼の阿波おどり」は5年目を迎え、昼間の阿波おどりの名所として定着したほか、公開派遣番組や独自イベントでは幅広いお客様を対象に多数実施し、視聴者との結び付きの強化に努めた。

#### [高松局]

子育て世代の父母に『ゆう6かがわ』をPRする「課題解決型ふれあいミーティング」を開催。親子で番組キャスターの絵本の読み聞かせなどを楽しんでもらったあと,若い世代の親からさまざまな意見を聞いた。秋の会館公開では「ステージショー」などに多くの家族連れが来場,地域の方々とのふれあいを深めた。10年から始めた公募型や学生向けの「ふれあいミーティング」を実施、さまざまな層の視聴者との結び付きを強めた。

# 九州

- ◇九州・沖縄各局では、東日本大震災被災地への 取材等の応援を継続して実施した。また、震災 3か月、半年、1年の節目でシリーズ企画を放 送し、避難者や再生可能エネルギー、被災地支 援など震災をさまざまな角度から伝えた。
- ◇原発関連では、玄海原発の運転再開に関する、 いわゆる「やらせメール問題」について報道し たほか、原発事故を想定した中国ブロックと合 同の非常災害対策訓練を実施した。
- ◇九州・沖縄累計でデジタル中継局479局 (親局 含む)、NHK共聴設備1,160施設を整備し、7月24日には大きな混乱もなくアナログ放送を終了した。一方、九州・沖縄地域に数多く点在している新たな難視世帯については、2012年3月末までに3万4,000世帯の恒久対策を完了した。
- ◇福岡局では、これまでの「追放!飲酒運転」キャンペーンに加え、新たに各界の著名人や県民からのメッセージを放送する「STOP!飲酒運転」キャンペーンを展開した。また、相次ぐ暴力団による発砲事件などを報道するとともに、暴力団排除に向けた動きを全国にも伝えた。
- ◇開局80周年を迎えた北九州局や、70周年の大分局・佐賀局では、地域ドラマの制作をはじめ、さまざまな記念番組やイベントを展開した。また、口てい疫や新燃缶噴火からの復興を応援する宮崎局の「ファイト!みやざき」や鹿児島局の「きばっど!霧島」の取り組みなどによって、地域に根ざした放送局の存在感をアピールした。

# I. 放 送

#### 1 放送の概要

#### (1) 地域放送

平日夕方6時台のニュース番組や金曜夜7・8時台の番組などを中心に大幅な番組改定を行い、地域放送のさらなる充実・強化を図った。

平日夕方6時台のニュース番組は、地域の動きや課題を掘り下げて伝え、人々の暮らしに役立つ情報の提供に努めるとともに、アジア情報も強化して、視聴者の関心に応えた。なお福岡局、長崎局、佐賀局、沖縄局が番組をリニューアルした。

金曜夜7時台は、第1週を各県ごとの放送として、各地で活躍する人々や地域の課題を取り上げ

た。九州沖縄ブロック放送では『特報フロンティア』を新設し、東日本大震災関連、原発関連、口てい疫問題、新燃岳関連、暴力団排除、飲酒運転撲滅、九州新幹線関連など、九州沖縄地域が抱える課題や地域社会の新たな動きを取り上げた。

金曜夜8時台は、九州沖縄各地の魅力的な人物や文化・自然など地域の情報を軽快かつ親しみやすく紹介するスタジオベースの地域情報バラエティー番組『きん☆すた』を新たにスタートさせた。また、アジア各地で活躍する日本人の姿を追うドキュメンタリー『ASIAN PASSION~アジアを駆ける日本人』も随時放送した。さらにこの時間帯では、地域を舞台にした情感豊かな人間ドラマや、地元で人気のプロ野球「福岡ソフトバンクホークス」の試合中継など、多彩な番組を編成した。

このほか,戦争と平和について考える番組や, 防災関連の番組,地域イベントと連動した番組な ど,多様な特集番組を編成し,地域視聴者の期待・ 関心に応えた。

#### (2)全国発信

#### [テレビ]

『NHKスペシャル』や『クローズアップ現代』『ETV特集』『福岡発地域ドラマ』など多様な番組を九州沖縄各局が全国発信した。

『プロフェッショナル 仕事の流儀~列車は、走るビックリ箱』(G, 44) では、JR九州の車両デザインなどで活躍する水戸岡鋭治さんを紹介した。

『NHKスペシャル~シリーズ 原発危機 第3回 徹底討論 どうする原発 第一部』(G,7.9) では、全国の関心を集めている原発問題について、九州の玄海原発や川内原発などへの長期取材を敢行し、現状と課題について九州沖縄ブロック向けの番組で取り上げた後、『NHKスペシャル』でのリポートにつなげた。また『ニュースウオッチ9』の特集などにも展開した。

『NHKスペシャル~脳がよみがえる~脳卒中・リハビリ革命』(G, 9.4) では, 鹿児島大の慢性期脳卒中患者のリハビリを中心に, 脳科学の最前線を紹介。また, 反響をもとに『あさイチ』でも9月14日に放送した。

『クローズアップ現代〜炭坑(ヤマ)が"世界の記憶"になった』(G, 7.28)では、日本で初めてユネスコの"記憶遺産"に筑豊の元炭坑夫・山本作兵衛さんの炭坑画が登録されたことから、いち早くこのテーマを取り上げた。

『クローズアップ現代~どう決別する暴力団~

排除条例・市民の模索』(G, 9.28)では、相次ぐ発砲事件で福岡の住民を不安に陥れた暴力団問題について、暴力団排除条例が全国で施行される前夜に全国発信し、大きな反響を呼んだ。『クローズアップ現代~海底で発見!幻の軍船~730年前元寇の謎』(G, 12.8)では、長崎県鷹島沖で発掘された元寇船について紹介した。

『クローズアップ現代~なぜ家族まで~検証・ 長崎ストーカー殺人』(G, 1.24) では、長崎県西 海市で起きた事件について警察の対応の問題を検 証した。

『二度と原爆を使ってはいけない~ナガサキを見た 占領軍司令官』(G, 8.8) では, 核と人間との関係が改めて問われる今, 原爆の非人道性を訴えた男の足跡を追った。

『メイキング・オブ・ドラマ"テンペスト"~ 絢爛豪華な琉球王国の世界』(BSP, 7.10)では、 BS時代劇『テンペスト』制作の裏側を特集した。

『琉球王国の秘密~ドラマ"テンペスト"の世界』(G, 7.18) では、BS時代劇『テンペスト』の舞台、琉球王国の秘密に迫った。

『新日本風土記~桜島』(BSP, 9.9) では、鹿児島の人々の心の風景として、幕末明治の薩摩の志を育てた桜島の魅力に迫った。『新日本風土記~雲仙・島原』(BSP, 9.16) では、雲仙普賢岳の大火砕流から20年が経過し、再びこの土地に根を下ろし新しい暮らしを始めた島原の人々の姿を見つめた。

『ETV特集~カメラマンが見た沖縄戦~隠された戦場の真実』(E, 6.26)では、住民を巻き込んだ壮絶な地上戦を撮影していたアメリカ軍のカメラマンが語る沖縄戦の真実に迫った。『ETV特集~花を奉る 石牟礼道子』(E, 2.26)では、文明の病・水俣病を半世紀にわたって書き続けてきた作家・石牟礼道子さん(84歳)初のロングインタビューを伝えた。

『日曜美術館~青木繁 文人たちの愛した画家』(E, 8.21) では、青木自身や文人たちの残した言葉から、その魅力の真髄を探った。

『日曜美術館~よみがえる地底の記憶~世界記憶遺産・山本作兵衛の炭坑画』(E, 9.11)では、ユネスコの世界記憶遺産に登録された山本作兵衛さんの炭坑記録画の魅力に迫った。

『福岡発地域ドラマ〜見知らぬわが町』(G, 5.5) の舞台は、福岡県大牟田市。孤独を抱えた一人の女子高校生が、地域と家族の歴史に向き合いながら、父親との葛藤を乗り越え、未来を見つけていく姿を描いた。/脚本:羽原大介/音楽:

榊原大/出演:忽那汐里,杉本哲太,高橋一生,小林勝也,いしだあゆみ(東日本大震災のため11年5月放送に変更)

『福岡発地域ドラマ ~NHK北九州放送局開局80周年記念~オヤジバトル!』(BSP, 2.11, G, 3.17)の舞台は、北九州市若松区。バンドでプロになる夢に破れて故郷に帰ってきた主人公が、昔のバンド仲間たちとともに、人の「絆」や「夢」を再発見していく物語。/脚本:羽原大介/出演: 筧利夫, 飯島直子, 古田瑞貴, 今井雅之, 芋洗坂係長, 岡本啓, 林さやか

『第14回 熱血!オヤジバトル』(G, 4.16) は、平均年齢40歳以上のアマチュアバンドコンテスト。会場は福岡サンパレスホール。予選を勝ち抜いた9組の中高年バンドによる決戦ライブのもようを伝えた。併せて『別冊版 世良公則スペシャルライブ』も放送(G, 4.16)。(東日本大震災のため11年4月放送に変更)

『第15回 熱血!オヤジバトル』(G, 3.24)の会場は福岡サンパレスホール。予選を勝ち抜いた7組の中高年バンドによる決戦ライブのもようを伝えた。

『希望の町のデザイン〜建築家・伊東豊雄 釜 石復興に挑む』(G, 12.31) では、伊東豊雄さん (70歳) が、家族や家を失った人々の絆を取り戻すべく、被災地・釜石の復興に挑む姿を追った。

『小さな旅~ひと筆 よりそって~福岡県篠栗町』(G, 11.6)では、福岡のお遍路の町を描いた。この他、『平成23年沖縄全戦没者追悼式』(G, 6.23)や『平成23年長崎平和祈念式典』(G, 8.9)の生中継をはじめ、『のんびりゆったり路線バスの旅』、『あさイチ』枠内コーナー、『ひるブラ』『グラン・ジュテ~私が跳んだ日』『福祉ネットワーク』などで全国発信した。

また、今、暮らしを変えると注目の"数式"、ブームまっただ中の"地方アイドル"、家族に迷惑をかけたくないお年寄りが殺到する"生前遺品整理"など九州沖縄ブロック向けの番組で取り上げたテーマを、『NHKニュースおはよう日本』や『ニュースウオッチ9』などで全国向けに展開した。

# [ラジオ]

R1の定時番組『博多屋台 こまっちゃん』(福岡局制作)や『沖縄熱中倶楽部』(沖縄局制作)をはじめ、『平成23年沖縄全戦没者追悼式』(R1,6.23)や『平成23年長崎平和祈念式典』(R1,8.9)の生中継、『ラジオ深夜便』『ここはふるさと旅するラジオ』、FM『今日は一日○○三昧』『とこと

ん○○』などで全国発信した。

『博多屋台 こまっちゃん』(R1. 毎月第4水) は、地理的・歴史的・文化的にも関係の深い九州・ 沖縄とアジア、太平洋地域との、意外で密接な交 流を紹介する番組。『沖縄熱中倶楽部』(R1, 毎 月最終土)は、「思わず行きたくなる沖縄」をキ ーワードにしたカルチャーエンターテインメント 番組。ガイドブックにはない食や暮らしのちょっ といい話、名所や名物、最新の沖縄音楽まで、奥 深い沖縄ワールドの一端を紹介した。『長崎原爆 の日・ラジオ特集~ある俳人の日記より』(R1. 8.9) は、原爆の惨状を自由律の俳句に込めた俳 人・松尾あつゆきの日記を軸に、長崎の被爆の実 相に迫った。『大分発ラジオ深夜便』(R1, 4.29) では. 「別府散策・湯けむりの向こう側」をテー マに伝えた。『宮崎発ラジオ深夜便』(R1, 12.23) では、「ラジオで味わう宮崎の"文化と祭り"」を テーマに伝えた。『とことんK-POP~最強のボー イズグループ特集IN福岡』(FM. 7.26~30. 8.2) ~6) では、現代の国内ポップス界を席捲する男 性K-POPグループを紹介した。『セ・パ対抗!今 日は一日"プロ野球ソング"三昧in福岡』(FM. 1.9) では、プロ野球日本一に輝いたソフトバン クホークスの本拠地・福岡発で、プロ野球にまつ わる曲を特集して放送した。

# (3)選挙報道

11年4月の統一地方選挙は、3月11日に東日本 大震災が発生し、九州・沖縄の各局は、震災報道 の応援にマンパワーを割くために、大幅に態勢を 見直して取材に当たった。結果的に、福岡・佐賀・ 大分の3県知事選と、長崎・大分の両県庁所在地 の市長選は、投票終了直後の午後8時に当選確実 を打ち出すことができた。

また、沖縄を除く7県で行われた県議選については、各局が、事前の情勢取材や開票所の取材を基に、当確を打てる候補には当確を打つという方針で臨んだ結果、すべてミスなく報道することができた。

さらに、九州・沖縄管内の8つの一般市長選については、福岡の4市長選と長崎の佐世保市長選、 それに熊本の人吉市長選で、綿密な開票所取材を 基に開票開始から間もない時点で当確を打つな ど、極めて順調に伝えることができた。

12年2月12日に行われた沖縄県宜野湾市の市長選挙は、アメリカ軍普天間基地を抱える自治体のトップを決める選挙として全国的にも注目された。選挙戦は自民党や公明党などが推薦する佐喜真氏と、共産党や社民党などが推薦する伊波氏の

一騎打ちになり、関係者の間では、普天間基地の 国外移設を打ち出していた伊波氏が当選するとい う見方が多かった。しかし、NHKの当日の出口 調査や開票所取材で大接戦であることが分かり、 記者6人と職員2人で開票所取材を続けた結果、 午後10時過ぎに、他社に先駆けて佐喜真氏に当確 を打つことができた。

12年3月25日に行われた熊本県知事選は、現職の蒲島氏が、新人の久保山氏に大差をつけて当選した。NHKは投票終了直後の午後8時に当選確実を打ち出した。

# (4) 事件, 事故, 災害

8月31日,前年9月に大分県別府市の温泉を訪れていた看護師の女性が殺害されているのが見つかった事件で、大分市出身の無職の男が逮捕された。男は強盗殺人の罪などに問われ、裁判員裁判で無期懲役の判決を受け、確定した。

9月13日,大分県日出町で,一緒にスーパーに 買い物に来ていた2歳の女の子がいなくなったと 母親から届け出があった。警察は誘拐のおそれも あるとして捜査を始め,NHKでも大分局をはじ め九州各局からの応援を得て取材・報道を続けた が,女の子は見つからなかった。年が明けた12年 2月5日,自ら届け出をしていた母親が女の子の 遺体を町内の雑木林に遺棄していたとして死体遺 棄の疑いで逮捕された。

11年12月16日,長崎県西海市の住宅の敷地で女性2人が殺害されているのが見つかり,翌日,三 重県出身の男が殺人の疑いで逮捕された。男は千 葉県に住んでいた女性にストーカー行為をしており,殺害されたのは女性の母親と祖母だった。この事件では、警察が男の暴力やストーカー行為について事前に相談を受けていながら殺人事件を防ぐことができなかった。その後、千葉や長崎など関係する3県の警察本部が経緯を検証、対応に不備があったことを認めるなど警察の連携などの課題が明らかになった。

12年3月14日,那覇地方裁判所で、未公開株の 投資話をめぐり検察審査会の議決を受けて強制的 に起訴された投資会社の社長に無罪が言い渡され た。強制起訴による裁判の判決は全国で初めての ことだった。検察官役の指定弁護士は判決を不服 として控訴、社長の弁護士は「詐欺にはあたらな い」として2審でも無罪を主張・立証していく方 針である。

福岡県内で建設会社を狙った発砲事件など暴力 団によるとみられる凶悪事件が相次いだ。11年1 年間に福岡県内で発生した発砲事件は18件で全国

457

最悪、建設業団体の副会長を務めていた男性が銃撃されて殺害される事件も起きた。また、大手企業の幹部の自宅が手りゅう弾で狙われる事件も発生、県民の日常生活を脅かしている。福岡局は暴力団排除に向けた動きを逐一報道するとともに『クローズアップ現代』の制作にも参加、広く全国に暴力団対策の現状を伝えた。

暴力団排除と並び、福岡県の課題となっているのが飲酒運転の問題である。11年、福岡県内で起きた飲酒運転による事故は257件、大阪に次いで全国で2番目の多さだった。福岡局をはじめとする九州・沖縄の各局では、毎年8月に行っている企画リポートのシリーズ「追放!飲酒運転」キャンペーンや特番で飲酒運転の根絶を訴えた。さらに福岡局では、新たに「STOP!飲酒運転」キャンペーンを展開、12~2月にかけて各界の著名人や県民の飲酒運転撲滅を願うメッセージを放送した。悲惨な事故をなくすために今後も、報道・キャンペーンを続けていく。

東日本大震災と福島第一原発の事故を受けて、 九州・沖縄でも自治体やボランティアをはじめさ まざまな支援の輪が広がった。さらに地震・津波 や放射能の影響を避けようと九州・沖縄に避難し てきた人は、行政が把握しているだけで3,000人 を超えた。

九州・沖縄各局では被災地への取材応援を継続して実施した。それと並行し、各局が協力して2度にわたり避難生活を送る人へのアンケートを行い、直面する課題や実情を伝えた。

また、震災3か月、半年、1年の節目でシリーズ企画を放送し、避難者の置かれている状況や再生可能エネルギーの取り組み、被災地支援など震災に関連した九州・沖縄地域の動きをさまざまな角度から伝えた。

福島第一原発の事故を受けて全国の原発が停止する中、当初、運転再開が最も早いと見られていたのが佐賀県の玄海原子力発電所だった。ところが6月に開かれた説明会で、九州電力が運転再開に賛成するメールを投稿するよう求めた、いわゆるやらせメール問題が発覚した。第三者委員会は「自治体との不透明な関係が問題の背景にある」と指摘したが、九州電力が反発し事態の決着は長引いた。結局、3月末に松尾新吾会長と眞部利應社長が辞任した。

一方,玄海原発は4号機が12月25日に運転を停止。九州の原発は6基全てが止まった。九州電力は冬場5%程度の節電要請をした。

鹿児島市の桜島では11年に1年間の爆発回数が

996回に上り、1955年に気象台が観測を始めてから最も多くなった。噴火活動は12年に入っても活発な状態が続いた。1月には172回の爆発的噴火があり、1か月の爆発回数を更新した。火口から2キロ付近まで大きな噴石が飛ぶケースもあり、気象台は「ただちに大規模な噴火につながる兆候は見られないが、地下深くでマグマの供給が続いており、活動がさらに活発化するおそれがある」として注意を呼びかけた。

鹿児島局では今後の事態の悪化に備えて、監視カメラなどの態勢強化や京都大学などの専門家への取材を続けた。一方、11年におよそ300年ぶりに本格的なマグマ噴火があった新燃岳では9月以降爆発的噴火はなかった。

11月2日, 鹿児島県奄美大島で記録的な大雨が降った。瀬戸内町では1時間の雨量が観測開始以来最も多い143.5ミリに達した。浸水など住宅被害は瀬戸内町などで700棟を超えた。奄美地方は前の年にも豪雨被害に見舞われ, 2年続けての災害になった。さらに11月19日, 鹿児島県徳之島で竜巻と見られる突風があり, 住宅1棟が吹き飛ばされた。住宅は100メートル以上先まで飛ばされて粉々になり, 男女3人が死亡した。鹿児島局ではいずれのケースでも現地に取材クルーを入れ態勢をとった。特に奄美の豪雨では道路が寸断され,船を利用しての現地入りとなった。

#### 2 地域放送番組

#### (1) 定時番組

[各県域(一部九州沖縄ブロック)]

# 『NHKニュース おはよう日本』 G

福岡県域(各局単) 月〜金 7:45~ 7:51 福岡県域(各局単) 土 7:30~ 7:35 九州沖縄ブロック 月〜金 7:51~ 8:00

第1回93.4.5/福岡県域・各局単の時間帯は、各県のニュース・気象情報等を伝えた。ブロック時間帯は、各局のネットワークを生かした広域ニュースやリポート、各地の朝の表情を伝える中継などで構成。

# 『おはようサタデー九州沖縄』 G

十 7:35~ 8:00

第1回93.4.10/九州沖縄ブロック/九州・沖縄を舞台に活躍する人たちにじっくりと話を聞く「サタデートーク」,各地からの中継,「西日本の旅」,地域の週末情報などで構成。

# 『ぐるっと8県 九州沖縄』 G

九州沖縄ブロック 月~金 11:30~11:45 福岡県域(各局単) 月~木 11:45~12:00 福岡単(各局単) 金 11:45~12:00 第1回03.9.29/九州沖縄各局のネットワークを生かして、各地の食や文化など"ふるさと自慢"の紹介やインタビューで構成。福岡・北九州局は、11時45分から引き続き県域(金曜は単)で、料理や健康など暮らしに役立つ身近な情報を伝えた。/各局番組名:北九州局『きたきゅうたいむ』(金曜)、熊本局『テレメッセくまもと』、長崎局『ながさきナビゲーター ヒルミテ』、鹿児島局『ひるまえクルーズかごしま』、宮崎局『昼前ホットみやざき』、大分局『好きっちゃ おおいた』、佐賀局『ひるまえ情報便』、沖縄局『りっかりっか沖縄』

# 『熱烈発信!福岡NOW』 新 G

福岡単(各局単) 月~金 18:10~18:59 第1回11.4.4/単(一部九州沖縄ブロック)/ 11年度に番組をリニューアル。番組のコンセプトは「今日にこだわり,明日を見つめる」「見たい,知りたいに,とことん応える」。福岡の一日の動きや事件・事故等の最新情報,人々の暮らしに直結する県内のさまざまな重要課題の行方,東京や世界などの動きと福岡との関わり,アジア情報、スポーツ情報,街角情報などを分かりやすく伝えた。

福岡局以外の各放送局でも同時間帯にニュース番組を編成した。宮崎局のみ金曜夕方5時台に県内の話題を盛りだくさんに紹介する情報番組、6時台はニュース番組を編成した。なお福岡局・長崎局・佐賀局・沖縄局が番組をリニューアルした。/各局番組名:北九州局『こんばんは北九州』,熊本局『クマロク!』,長崎局『見んと!長崎』(新),鹿児島局『情報WAVEかごしま』,宮崎局『いっちゃがゴールド』(17:05~),『ニュースWAVE宮崎』(18:10~),大分局『ニュースてびいま佐

## 『ふく!なび』 新 G

福岡単 (月2本)水 20:43~20:45ほか 第1回11.10.12/福岡単/11年度後半期に新設。 視聴者に親しまれる放送局を目指し、福岡局のさまざまな取り組みを紹介する経営広報番組。内容により福岡県域でも放送。

賀』(新). 沖縄局『NEWSおきなわ610』(新)

#### 『玄海竜二踊る』(4分ミニ番組) G

熊本単(月2本)土 12:40~12:44ほか 大衆演劇役者・玄海竜二さんが視聴者のリクエ ストに応えて、歌謡曲や演歌にのせて華麗な舞を 披露。

#### 『くまもと歌物語』(4分ミニ番組) **G**

熊本単 土 12:40~12:44ほか

熊本にゆかりのある音楽で地域の魅力を再発見する「くまもと歌物語キャンペーン」関連のミニ番組。

#### 『宮崎 夢追い人』(5分ミニ番組) G

宮崎単 土 12:40~12:45ほか

宮崎に暮らし、それぞれの夢に向かって地元で 活動する人々の姿を描く。

# 『めざせ!佐賀博士』(5分ミニ番組) G

佐賀単(月2本)土 12:40~12:45ほか 佐賀放送局開局70周年関連企画。NHKの映像 資料を活用し佐賀県の自然,産業,文化等を紹介。

#### **『うちなーであそぼ』**(5分ミニ番組) **G**

沖縄単 土 12:40~12:45ほか

沖縄独特のことば「うちなーぐち」による民話 や歌など、親子で楽しめるミニ番組。

#### 『おきなわ探訪』(5分ミニ番組) **G**

沖縄単 土 12:40~12:45ほか

沖縄の伝統工芸品とそれを作る職人の匠の技を 紹介する。

# 『復帰40年企画 映像記録 沖縄の手仕事』

(5分ミニ番組) G

沖縄単 金 22:45~22:50ほか

沖縄本土復帰40年関連企画。沖縄が誇る「美の世界」を紹介するシリーズ。染織・工芸など各分野を代表する匠たちの手仕事と作品を丁寧に描く。

#### 『沖縄ちゅらうた』(5分ミニ番組) G

沖縄単 火 10:55~11:00ほか

「未来に残したい沖縄の歌」をテーマに沖縄局がピックアップした楽曲を,季節感あふれる沖縄の映像と共に届けるミニ番組。

#### 〔九州沖縄ブロック〕

#### 『特報フロンティア』 新 G

金 19:30~19:55

**勇 日 7:45~ 8:10** 

第1回11.4.1/第2~5週:九州沖縄ブロック/ 九州・沖縄地域の課題や、人々が注目する出来事 に正面から向き合い、検証や提言を行うスタジオ 報道番組。東日本大震災関連、原発関連、口てい 疫問題、新燃岳関連、暴力団排除、飲酒運転撲滅、 九州新幹線関連など、地域の人々にとって身近で 重要なテーマをタイムリーに、分かりやすく掘り 下げて伝えた。11年度開始直後は、東日本大震災 の影響で夜8時台に内容時間も変更して放送する など、変則的なスタートとなった。第1週は各県 域の番組を編成。 4.1 「大震災 そして九州沖縄は」

(福岡・宮崎)

4.14 「大震災 九州の原発は」

(福岡・北九州・鹿児島・佐賀)

4.22 「なぜ "SOS" は届かなかったのか~ 口てい疫・感染拡大の実態」

(福岡・宮崎)

- 5.20 「子どもたちに夢を~東日本大震災 医師の格闘」 (福岡・北九州)
- 5.27 「孤立から自立へ~沖縄 始まった "伴走型支援"」 (福岡・沖縄)
- 6.3 「もういちど あの山の下で~大野木 場小学校 卒業生たちの20年」(長崎)
- 6.10 「新燃岳 土石流災害を防げ」 (宮崎)
- 6.17 「"脱原発"最前線~自然エネルギーの 可能性」 (福岡)
- 7.15 「炭坑が"世界の記憶"になった~山本作兵衛の記録画 | (福岡・北九州)
- 7.22 「12歳の"白熱教室"~考える力を育 む授業」 (福岡)
- 8.26 「3児死亡事故から5年 飲酒運転ゼ ロに何が必要か」 (福岡・沖縄)
- 9.10 「安住の地を求めて~震災から半年 避難家族は今」

(福岡・鹿児島・宮崎)

- 10.14 「暴力団との"決別"は今~暴排条例 改正 現場からの報告」 (福岡)
- 10.21 「"アイドル" に学べ~不況を生き抜く 戦略」 (福岡)
- 10.28 「うつ病治療最前線~沖縄発"集団" 認知行動療法」 (沖縄)
- 11.18 「自立をめざすシングルマザー〜弁当 屋の就労支援 (福岡)
- 11.25 「医療ツーリズム最前線〜急拡大する 九州沖縄は今」 (福岡)
- 12.16 「原発依存~九州電力と自治体, そして巨額マネー」(福岡・鹿児島・佐賀)
- 1.13 「迷惑かけずに逝きたい~急増する "遺品整理"予約」 (福岡)
- 1.20 「原発の作業員を守れ〜福岡・医師た ちの挑戦」 (福岡)
- 1.27 「新燃岳 再噴火にどう備えるか」 (福岡・宮崎)
- 2.10 「数式 "X" が暮らしを変える」(福岡)
- 2.17 「"強い"農業をつくる~6次産業化の 挑戦」 (福岡)
- 2.24 「"最期" を残す夫婦たち~前を向いて 歩くために」 (福岡)

- 3.9 「震災から1年 原発事故に備えよ」 (福岡・佐賀)
- 3.16 「"新幹線効果" を拡大せよ〜全線開通 から1年 (福岡・熊本・鹿児島)
- 3.23 「お説教ブーム 到来」 (熊本)

# (金曜夜7時台・第1週の各県域番組) 『特報フロンティア ドキュメント』 新

(福岡・北九州)

- 7.1 「奪われた故郷~原発の町から来た家族 |
- 9.30 「娘よ 父も一緒に闘おう~女子プロ ボクサーと父親の挑戦 |
- 10.7 「GO!チア男子~仲間と挑んだ夏」
- 11.4 「日本一の"社会人"であれ〜JR九州 野球部 成長の秘密」
- 2.3 「"街" が教室 "人" が教科書~福岡 テンジン大学の挑戦」
- 3.2 「故郷~震災から1年 避難家族はいま」

# 『くまもとの風』 (熊本)

- 4.15 「くまもと大好きスペシャル 前編」
- 4.15 「くまもと大好きスペシャル 後編|
- 4.29 「心つつんでのりこえて 〜演出家・ 池田美樹さん」
- 4.29 「くまもと大好き!スペシャル」
- 5.20 「少女たち,南風に舞う」
- 6.3 「智子さんとふうちゃん~ハンセン病 "壁"を越えたふたり」
- 6.10 「シャキッと甘い!熊本すいか」
- 6.17 「農業の星となれ!~密着 新規就農 者の研修」
- 7.1 「玄海発見伝 料理と経営の鉄人 斉 藤隆士」
- 7.15 「財宝ハ カク語リキ」
- 9.30 「玄海発見伝~肥後にわかの巨匠 ばってん荒川 |
- 10.2 「金子貴俊と行く!隠れ里で新発見の 旅~人吉球磨|
- 10.9 「ママ頑張って!復活 天才剣士」
- 10.14 「玄海発見伝~マンガ編集者 堀江信 彦」
- 10.28 「"仕事"ってなに?~天職をつかんだ 先輩の声|
- 11.4 「脚本家 小山薫堂が描く、くまもと」
- 11.25 「写真でみつめた ぼくらの暮らし~ わたしのまちの○と×・熊本」
- 1.13 「玄海発見伝~旅館経営者 後藤哲也」
- 1.20 「水俣から福島へ~ "魂の言葉"を探

し求めた舞台|

- 2.3 「ふるさと自慢うた自慢~八代市」
- 2.5 「オレはやめない~熊本・荒尾競馬場 廃止~ある騎手の生き様 |
- 3.2 「玄海発見伝~くまもと歌物語スペシャル」

#### **『なが☆スペ』**

(長崎)

- 4.22 でんでらフライデー「知ってた?ちゃんぽん」
- 7.1 でんでらフライデー「知ってた? 長 崎の橋」
- 9.9 でんでらフライデー「知ってた? 佐世保バーガー」
- 9.30 でんでらフライデー セレクション 「知ってた? 佐世保バーガー」
- 11. 4 でんでらフライデー セレクション 「知ってた?長崎の橋」
- 11.18 でんでらフライデー「知ってた? 蝶々 さん |
- 11.25 でんでらフライデー 女子会スペシャル「知ってた? 長崎のオンナの子」
- 1.20 でんでらフライデー 「知ってた?平戸」
- 2.3 でんでらフライデー「知ってた?長崎の乗りもの」
- 3.2 でんでらフライデー「知ってた?対馬のしいたけ」

#### 『かごしま熱風録』

(鹿児島)

- 7.1 「原発とどう向き合っていくのか〜揺 れる10キロ圏内の住民」
- 7.9 「デジタル完全移行直前 どうなる 7.24」
- 9.30 「鹿児島湾 神秘の海底をゆく」
- 10.7 「東日本大震災"避難家族"はいま」
- 11.4 「支え合い 生きていく〜難病支援ネットワークの試み」

#### 『宮崎熱時間』

(宮崎)

461

- 7.1 「人を幸せにする医療を求めて〜延岡 36歳医師の挑戦」
- 9.17 「"命"をいただいた夏~五ヶ瀬自然学 校・食育キャンプ」 (10:48~11:13)
- 10.7 「一緒に暮らしたい~長期化する避難 生活は今」
- 2.3 「届け!復興のメロディー~井手綾香 の曲作りに密着|
- 3.2 「東京ガールズコレクション 潜入! ヘアメイクの舞台裏 |

# 『ハイビジョンが撮る おおいた美の風景』

(大分)

- 4.22 「光り輝く竹, 文殊仙寺, 臥龍梅」
- 3.2 「日田市大山町の梅,国東市安岐町の 諸田山神社御田植祭,上津江町の沢 わさび. 佐伯市の鶴御崎

(08.4.4の再放送)

#### 『佐賀イズム』

(佐賀)

- 7.1 「とどけ! 佐賀 力 ~ 地域からの被災地 支援 |
- 9.10 「原発のある町で」
- 9.30 「ギュギュギュッときずな~東日本大 震災から半年」
- 11.4 「消えゆく戦争遺跡〜伊万里・川南造船所跡」
- 2.3 「佐賀 太良町発 クレメンティン」

# 『きんくる~沖縄金曜クルーズ』 (沖縄)

- 4.8 「大震災と沖縄~今, 私たちにできる こと |
- 4.22 「まちまーい~那覇の街を再発見」
- 5.20 「大震災から2か月 被災者と向き合 い続ける|
- 6.10 「"琉球を愛して"~ドラマ『テンペス ト』の魅力 徹底解剖」
- 6.17 「"戦利品"を返したい〜沖縄戦から66 年 来日した元米兵」
- 7.15 「OKINAWA 1945~アメリカ兵が見た 沖縄戦」
- 9.2 「拡大版 うつ病治療最前線~沖縄発!3か月の全記録」
- 9.10 「エイサーがつなぐ"沖縄の思い"~ 被災地へ 世界へ」
- 9.30 「"祭り"伝え続けて~ウンガミとアンガマ」
- 10.7 「目前!世界のウチナーンチュ大会 移民の暮らし秘映像|
- 10.14 「ティンダの島 与那国探訪 |
- 10.21 「徹底検証 八重山教科書問題」
- 11.4 「沖縄非常具有魅力 押し寄せる中国 人たち」
- 11.25 「目指せ!うちなー新名物~B級グルメ で町おこし|
- 12.16 「脱"基地依存"は実現するか〜名護市の模索」
- 1.13 「拡大版 うない奮闘記スペシャル」
- 1.27 「"復帰"をいま問い直す」
- 2.10 「心と体をリフレッシュ! 伊是名・伊 平屋 "命薬の旅"」

- 3.9 「震災から1年 津波対策と支援は今」
- 3.16 「"沖縄の宝"ニューヨークで67年ぶり に発見」
- 3.23 「あなたが選ぶ"沖縄の歌" |

# **『きん☆すた』 新 G**

金 20:00~20:43

第1回11.4.8/九州沖縄ブロック/福岡のスタジオから生放送で伝える地域情報バラエティー番組。"見ると元気になる" 痛快な番組を目指し、九州沖縄の一番すごい人やモノ、各地の文化や自然など、さまざまなテーマを親しみやすい切り口で取り上げた。毎回、番組のプレオープニングを19:55から放送した(生放送時は19:55~20:00で番組の見どころ紹介と週末天気を伝えた。録画放送時は19:55~19:58で番組の見どころを紹介)。

- 4.8 「あなたもできる!大震災・九州沖縄 からの支援| (20:00~20:45)(福岡)
- 4.15 「見ると旅が 2 倍楽しい! 九州の鉄道 旅SP」 (福岡)
- 4.22 「スター☆にしきの そこに島がある かぎり~長崎県小値賀島」 (福岡)
- 5.20 「びっくり仰天!九州沖縄のイチバン 大集合」 (福岡・佐賀)
- 5.27 「九州熱中学園 ボクたちは全力で森 を駆ける!~八代農業高校泉分校マ ウンテンバイク部」 (福岡)
- 6.10 「いちおし食材・料理一本勝負! らっ きょう編」 (福岡)
- 6.17 「スター☆にしきの そこに島がある かぎり~沖縄県粟国島」 (福岡)
- 7.1 「九州初お目見え! 驚きの国の宝 大 集合」 (福岡)
- 7.15 「九州熱中学園 めざせ島一番! 闘牛 にかける青春〜鹿児島県・樟南第二 高校 徳之島伝統闘牛文化研究会」

(福岡)

8.5 「8県SPサミット~夏休み・是非出か けてほしい!いち押し自慢」

(福岡・熊本・佐賀・沖縄)

- 8.26 「いち押し食材 料理一本勝負 ゴー ヤ編」 (福岡)
- 9.2 「台風・豪雨・雷 気象災害から身を 守れ!」 (福岡)
- 9.30 「スター☆にしきの そこに島がある かぎり~宮崎県島野浦島」 (福岡)
- 10.7 「プサンの魅力を発掘!韓国の達人と 行く弾丸ツアー①」 (福岡)

- 10.14 「プサンの魅力を発掘!韓国の達人と 行く弾丸ツアー②| (福岡)
- 10.28 「スター☆にしきの そこに島がある かぎり~大分県保戸島 (福岡)
- 11.4 「堂本光一もびっくり!九州沖縄のイ チバン大発見」 (福岡)
- 11.25 「いちおし食材・料理一本勝負 いり こ編」 (福岡)
- 12.16 「年末SP 絶景・食材・すごワザ大集 合」 (19:55~20:43) (福岡)
- 1.13 「スター☆にしきの そこに島がある かぎり~佐賀県小川島 (福岡)
- 1.20 「九州熱中学園 笑顔大好き! "保育" に夢中~佐賀・龍谷高校保育部」

(福岡) 2.3 「いちおし食材 料理一本勝負 こう

- 2.3 | いちおし食材 | 料理一本勝負 こっじ・甘酒・酒かす編 | (福岡)
- 2.10 「ぶっつけ本番! ガレッジセールのす ごすぎる旅 福岡県の巻①」 (福岡)
- 2.17 「ぶっつけ本番! ガレッジセールのす ごすぎる旅 福岡県の巻②」 (福岡)
- 2.24 「九州熱中学園 牛が命の大切さを教 えてくれた~宮崎・高鍋農業高校農 業クラブ」 (福岡)
- 3.2 「俳優・松本幸四郎&松たか子トーク SP」 (福岡)
- 3.9 「スター☆にしきの そこに島がある かぎりスペシャル」 (福岡)
- 3.23 「ぶっつけ本番!鉄道の旅 九州横断 編」 (福岡)

# 『ASIAN PASSION~アジアを駆ける日本人』 G

第1回10.5.14/九州沖縄ブロック/10年度に「九州沖縄スペシャル」(金曜夜8時台の定時番組。11年度に廃止)枠内のシリーズ企画として新設。世界経済が停滞する中、アジアは世界潮流の中心になろうとしている。そのアジアにおいて、さまざまな分野で活躍し、挑戦を続ける日本人にスポットをあて、アジアの今の姿を浮き彫りにした。

- 6.3 「幸せの国のサッカー~ブータン代表 の日本人監督 (大分)
- 7.22 「巨大中国市場を開け!~長崎を売り 込む男たち」 (長崎)
- 10.21 「草原の国に光を〜近代化進むモンゴ ルは今」 (福岡)

- 11.18 「勝者は誰だ "食戦争"最前線~香港・食にかける熊本の男たち (熊本)
- 1.27 「大洪水から 復旧せよ~タイ・日系 企業の奮闘」 (福岡)
- 3.16 「目指すは"メイド・イン・ベトナム"」 (北九州)

#### 『福岡発地域ドラマ』 G

(年1本) 金 19:30~20:43

第1回02.11.22/九州沖縄ブロック/02年度にスタート。地域放送局ならではの視点で、舞台となる地域の文化や歴史、自然、そこに住む人々とともに、さまざまな人間ドラマを描いてきた。07年度を除いて毎年度制作し、金曜夜7・8時台に編成してきた。

11年度は北九州局開局80周年記念として、石炭の積み出し港として栄えた北九州市若松区を舞台にドラマを制作した。バンドでプロになる夢に破れて故郷に帰ってきた主人公が、昔のバンド仲間たちに導かれアマチュアバンドコンテスト「熱血!オヤジバトル」を目指して奮闘。仕事や家庭の問題に直面しつつも、目標に向けて互いに助け合うオヤジたちの姿を通して、人の「絆」や「夢」を再発見していく物語。/脚本:羽原大介/出演: 筧利夫、飯島直子、古田瑞貴、今井雅之、芋洗坂係長、岡本啓、林さやか

12.9 NHK北九州放送局開局80周年記念 「オヤジバトル!」(福岡・北九州)

# **『トン☆スタ』 新 G**

(年39本) 水 1:00~ 1:29

第1回11.4.6/九州沖縄ブロック/九州沖縄の新人アーティストを発掘する音楽情報番組。MC3人の自由闊達なトークを交えながら、スターの原石を発掘・応援した。第31回は年末スペシャルとして43分サイズで放送(2011.12.21)。

# 『俳句紀行シリーズ 海の細道をゆく』 新 G

(年8本 4~12月) 土 9:30~ 9:59

第1回11.4.16/九州沖縄ブロック/俳人・長谷川櫂さんは、松尾芭蕉が成し得なかった西国をめぐる"海の細道"の旅を長年構想してきた。その長谷川櫂さんと共に、九州をはじめ西日本各地を訪ね、長谷川さんや芭蕉の俳句なども交えながら、それぞれの地域の歴史や文化、美しい風景を紹介する俳句紀行番組。

#### 『おはよう九州沖縄』 R1

月~土 7:40~ 7:58

九州沖縄ブロック/九州・沖縄のニュースや気 象情報、観光情報やインタビューなどホットな話 題で構成する生活情報番組。

#### 『夕べのひととき』 FM

月~金 18:00~18:50

九州沖縄ブロック/リスナーからのリクエスト曲を中心に、福岡を訪れたアーティストをゲストに招き、楽しい話題と音楽で構成する生放送番組。随時、福岡局のパークサイドスタジオから公開生放送を実施。/熊本局:熊本単・年4本・金『NHK・美術館コンサート』、鹿児島局:鹿児島単・毎月最終木『かごしまの夕べ』、沖縄局:沖縄単・毎週金『沖縄ミュージックジャーニー』、沖縄局:沖縄単・年8本『うちなぁジョッキースペシャル』

#### 『トン☆スタ』 新 FM

(年10本) 土 14:00~16:00

第1回11.4.30/九州沖縄ブロック/総合テレビの「トン☆スタ」の放送を4回分まとめてFMでも編成した(総合テレビの第31回・年末スペシャルは除く。また12.17は2回分を放送)。

## (2)特集番組

〔九州沖縄ブロック〕

# 『ぐるっと8県 九州沖縄〜教えて!ふるさと自慢 双方向スペシャル』 G

九州沖縄ブロック/デジタル放送の双方向機能 を活用した定時番組特集。 11:30~11:45ほか テーマ:「九州新幹線鹿児島ルート」(福岡)

4.15

テーマ: 「ふるさと食材自慢」(福岡) 5.27 テーマ: 「九州沖縄のユニーク水族館」(福岡)

6.24

テーマ: 「我が家のうまか料理」(福岡) 9.9 テーマ: 「おうちでカフェ」(福岡) 10.13

テーマ: 「道の駅を楽しもう」 (福岡) 11.17

テーマ: 「九州沖縄のお正月」(福岡) 12.15 テーマ: 「あなたが選ぶ温泉ツアー」(福岡)

2.24 \*\*

テーマ:「うつくしき1枚グランプリ」(福岡) 3.16 ※

※2月と3月は「ぐるっと8県 九州沖縄増刊 号」のタイトルで放送

『ETV特集アンコール〜もういちどつくりたい〜テレビドキュメンタリスト・木村栄文の世界』 E (福岡) 4.23/15:00〜16:30 『地域特集〜没後100年 青木繁 生と死の絵画』 G (福岡) 4.23/16:30〜17:13

『公開生放送! "全線開業"九州新幹線』 R1 (福岡) 5.3/14:05~16:55

『雲仙・普賢岳大火砕流から20年 犠牲者追悼 式〜長崎県島原市・島原復興アリーナから中 継』 G (長崎) 6.3/10:05~10:54 『平成23年沖縄全戦没者追悼式~沖縄県糸満市・ 平和祈念公園から中継』 G

(沖縄) 6.23/11:45~11:54

※12:20~12:44で全国放送。沖縄は県域向けに 11:54~12:20でマルチ編成

『地域特集~古美術のススメ~九州博物館 特別 展から』 G (福岡) 7.16/10:05~10:59 『魁皇 引退特別番組"相撲人生に悔いなし"』 G (福岡) 8.6/18:10~18:35

『特集 戦争インタビュー』 R1

「看護師が見た引き揚げ女性の悲劇 元看護師 …村石正子| (福岡)  $8.24/12:20\sim12:55$ 「飢餓の戦場 66年目の真実 元日本陸軍中尉 …飯盛義康| (佐賀)  $8.25/12:20\sim12:55$ 「満州原野に弟を残して! 椎葉綾心塾塾長… 綾部正哉| (宮崎) 8.26/12:20~12:55 『祝!リーグ2連覇 おめでとう福岡ソフトバ ンクホークス』 G (福岡)10. 1/22:55~23:30 『高専ロボコン2011 九州沖縄地区大会~福岡 県北九州市 九州共立大学・福原記念館で収録』 G (福岡) 11.6/15:05~15:59 『大相撲九州場所前夜祭~福岡国際センターで収

**録』 G** (福岡) 11.11/22:30~23:12

『祝 日本一! おめでとうホークス』 G

(福岡) 11.21/0:40~1:30

『九州劇場~鉦の記憶』 R1

(福岡) 12.10/21:05~21:45

『おめでとうホークス! 優勝パレード生中継~ 福岡市から中継』 G

(福岡) 12.11/10:45~11:30

『九州沖縄特集〜第10回NHK朗読と音楽の夕べ 〜きずな 線路がむすぶ心と心』

> E (福岡) 1.29/15:00~17:00 FM (福岡) 2.11/14:00~16:00

『九州ふる愛ドラマ』 G

福岡発地域ドラマ~NHK北九州放送局開局80 周年記念~「オヤジバトル!」

(福岡・北九州) 3.20/ 8:20~ 9:33 佐賀放送局開局70周年記念地域ドラマ

「あのひとあの日」

(佐賀) 3.20/10:50~11:48

NHK大分放送局開局70周年記念ドラマ 「無**垢の島**」

(大分) 3.20/13:05~14:18

※11年度に各局が制作した地域ドラマを『九州ふる愛ドラマ』として3月20日に九州沖縄ブロックで集中編成した。

『九州沖縄特集~花を奉る 石牟礼道子の世界』

**G** (福岡) 3.27/22:00~23:13

[各県域]

「福岡局」

『初夏だ!祭りだ!どんたくだ~!! 博多どん たく港まつり2011』 G

福岡県域 5. 3/13:05~13:55

『生中継!博多祇園山笠2011』 G

福岡県域 7.15/ 4:30~ 6:00

※マルチ編成 (6:00~6:09)。BSプレミアムでも 同時放送 (7.15/4:30~6:09)

『きん☆すた 特別版

撮ってだし!博多祇園山笠』 G

福岡県域 7.15/22:00~22:43

『中継スペシャル 大濠花火大会』 G

福岡県域 8. 1/20:00~20:45

※マルチ編成 (20:45~21:30)

『FMスペシャル~博多古民謡特集』 FM

福岡県域 10.23/11:00~11:55

『ガクラジ in 福岡大学』 FM

福岡県域 11. 3/14:00~16:00

『もっと熱烈発信!福岡NOW』 G

福岡単 12.28/16:50~16:55

 $17:05 \sim 18:00$ 

18:10~19:00

**『ライフサポーター あなたを守る防災ラジオ』 R1** 福岡県域 3.10 ∕ 12:15 ~ 12:55

[北九州局]

『北九州スペシャル〜桜の思い出2011』 G

 $4.15/20:00\sim20:43$ 

『きたきゅうのうた』 G

 $6.10/19:30\sim20:43$ 

『NHK北九州80周年スペシャル』 G

「"石炭"が誇りだった〜筑豊そして洞海湾 働く男達の80年」 6.17/20:00~20:43

「北九州のチカラ~3.11を越えて,明日へ」

 $10.14/20:00\sim20:43$ 

 『北九州局80周年記念FM特番~リバスタラジオ館』 FM
 12.10/14:00~16:00

 『シルバルナル』 開展の20月年 2月14 1月15日

『NHK北九州 開局80周年~今日は 1 日好きっちゃ! キタキュー』 G

〈第1部〉「きたきゅうたいむ拡大版」

12.28/11:30~11:54

11:57~12:00

〈第2部〉「地域と共に歩んだ80周年」

12.28/15:00~15:15

開局80周年記念ドラマ「オヤジバトル!」 画

12.28/15:15~16:28

〈第2部続き〉「地域と共に歩んだ80周年」	「南大隅町でオスミツキのお宝を探せ」 6.17
$12.28 / 16:28 \sim 16:55$	「夏本番!鹿児島で"ひ~んやり"を探そう」
〈第3部〉「もっと知りたい!80周年」	7.22
$12.28/17:05\sim18:00$	「"大綱引"を愛する人に会いに行こう」 9.30
〈第4部〉「2011年を振り返り, そして明日へ」	「もうすぐ100歳!市電の思い出を探せ」 10.28
$12.28/18:10\sim19:00$	「カツオマイスターを訪ねよう」 12.16
熊本局〕	「指宿で"たまて箱"を探せ!」 1.27
くまもとの風スペシャル』 G	「知覧の"おひな様"を探せ!」 3.9
「迫られる対策の見直し~熊本の地震・津波」	『一挙放送!もうひとつの「のど自慢」』 G
$6.10/19:30\sim20:15$	$5.21/10:05\sim10:48$
「迫られる対策の見直し~熊本の地震・津波」	『かごしまスペシャル~硫黄島 七色の海に潜
$7.15/20:00\sim20:43$	る』 G 7. 1/20:00~20:43
「くまもと歌物語~ゲスト・八代亜紀」	『第16回 かごしま郷土芸能〜輝き続ける ふ
10. 7/19:30~20:13	るさとの宝』 G 11.4/20:00~20:43
「カントリーゴールド2011」	『認知症フォーラムin鹿児島~あきらめない~最
10.28/20:00~20:43	新医療と社会の支え』 G
「第5回大学対抗映像コンテスト」	11.26/10:05~11:05
11. 4/19:30~20:13	『ひるまえクルーズかごしま年末スペシャル』
「坂東玉三郎と山鹿・八千代座〜生まれ変わっ	G 12.26/11:34~11:54
た灯篭おどり」 11.25/20:00~20:43	『情報WAVEかごしま年末スペシャル2011』
「くまもと歌物語音楽祭~わが心の熊本メロデ	G 12.28/17:05~19:00
ィー」 12.16/19:30~20:45	『鹿児島防災シンポジウム〜大地震・大津波から
- 2011 防災 命のラジオ~3.11以降の防災』	命を守る』 G 3. 2/19:30~20:43
R1 9. 1/12:20~13:00	『きばっど!霧島の夕べ~N響メンバーによるア
クマロク!年末スペシャル』 G	ンサンブルコンサート』 FM
12.28/17:05~19:00	(前編) 3.27/18:00~18:50
長崎局〕	(後編) 3.28/18:00~18:50
被爆体験記 朗読シリーズ〜ナガサキ 被爆の記	[宮崎局]
憶(1)~(18)』 R1・FM	『3 局合同防災ラジオ2011~ストップ!てげて
7.22/11:55~12:00ほか	げ防災~情報が命をつなぐ』 R1
FM特番~秋吉敏子&ルー・タバキンin長崎	5.25/12:30~13:54
withアートクロウジャズアンサンブル~長崎	『みやざきスペシャル』 G
から平和を願って』 FM	「よみがえれ"畜産王国"~宮座県産牛 再興
9.30/18:00~18:50	への道」 11.25/19:30~20:43
熱演!長崎くんち2011』 E	「ファイト!みやざきコンサート」
10. 7/ 7:00~10:45	2.10/19:32~20:45
長崎くんち ハイライト』 G	[MIYAZAKI JAZZ FESTIVAL2011] FM
10. 7/19:30~20:43	12.18/23:00~ 0:00
生中継 YOSAKOIさせぼ祭り』 G	『いっちゃがゴールド 総集編2011』 G
10.21/19:30~20:43	12.28 / 16:50~16:55
見んと!長崎 年末ハイライト』 G	17:05~18:00
12.28/18:00~19:00	『ニュースWAVE宮崎 年末ハイライト2011』
突撃!ブカツ!総集編』 G	G 12.28/18:00~19:00
3.16/20:00~20:43	〔大分局〕
鹿児島局〕	『ししまるTV』 G
かごしま大作戦』 G 20:00~20:43	「大津波襲来 その時大分は…」
「伊佐でいざ!春を探せ」 4.22	4.29/18:10~18:44
	「宝けスゴイ!大分の自然エネルギー」

465

NHK年鑑12

 $6.17/20:00\sim20:43$ 

「どうする?大分の認知症~大分合同新聞共同 企画」 10.7/19:30~20:43 『大分スペシャル~沈黙の兵士~陸軍近衛師団秘 話』 G 5.20/20:00~20:43 『開局70周記念特番~大分オリジナルどーもく ん発表』 G 6.3/19:30~19:58 『スイッチ↑』 G

「つながる」 7. 1/20:00~20:43 「女子の働く!」 3. 2/22:00~22:44 『夢色音楽フェア』 FM 10. 8/12:15~14:00 『NHK大分放送局開局70年記念ドラマ 無垢の 島』 G

11.25/19:30~20:43

温泉とともに豊かな湧水に恵まれた大分県。ところが、いまだ水道が届いておらず、船で水を運んでいる島がある。大分県津久見市、豊後水道に浮かぶ人口50人あまりの島、無垢島(むくしま)だ。島では雨水を"天水"と呼び、今も掃除や洗濯、お風呂に利用しており、何よりも水を大切にしている。雨に感謝し、海の恵みを享受して生きるこの無垢島を舞台に、島でたった一人の少年が"宝"を探しに来たナゾの男とふれあう一夏を描く。このドラマは、無垢島の離島ゆえの現状や登場人物の背景など、事実をもとに構成。島で唯一の男の子である主人公が、小学生最後の夏にかけがえのない宝を手に入れる物語。/脚本:日下渚/出演:新村澪二、柄本佑、大塚千弘、ダイノジ

# 『ニュースTodayおおいた2011』 G

12.28/18:00~18:55

#### 〔佐賀局〕

#### 『さがんスペシャル』 G

がばい元気宣言「みんなの夢をのせ 飛べ!紙 ヒコーキ」 4.22/20:00~20:43 がばい元気宣言「フィルムはつなぐ ニュース フィルム劇場」 7.15/19:30~20:43 がばい元気宣言「千綿偉功の青春応援団〜秋の 放課後スペシャル」 10.14/19:30~20:43 がばい元気宣言「千綿偉功の青春応援団〜卒業 スペシャル」 3.23/19:30~20:43

『ラジオ 3 局合同防災特集〜東日本大震災・被災地をどう支援する』 R1

8.24/13:30~14:00

『カブトムシ父さんの熱い夏』 G

 $9.10/10:50\sim11:20$ 

『祝J1昇格!おめでとうサガン鳥栖』 G

12. 5/22:55~23:25

# 『佐賀放送局開局70周年特別番組~未来に残したい佐賀遺産ベスト70』 G

「今年活躍した若い力」 12.28/10:05~11:30 「ひるまえもやります。」 12.28/11:45~11:54 「食の宝庫・佐賀~新ご当地グルメ誕生!」

12.28/13:05~14:00

「佐賀と歩んだ70年~『あの日あの時』から 『この日この時』へ」

12.28/15:15~16:00

「いま未来に残したい佐賀遺産」(1)

12.28/17:05~18:00

「いま未来に残したい佐賀遺産」(2)

12.28/18:10~18:59

『夢をつかんだ男たち~サガン鳥栖J1昇格の舞 台裏』G  $12.28 / 16:30 \sim 16:55$ 『地域特集~熱唱!NHKのど自慢予選会in佐賀  $2.5 / 10:05 \sim 11:30$ 『佐賀放送局開局70周年記念地域ドラマ「あの ひとあの日」』 G  $3.2/19:30\sim20:28$ 佐賀県有田町の窯元に生まれた兄弟。上絵師と しての腕はあるが、家庭をかえりみず自分勝手に 生きてきた父親。すれ違う3人の心が通う日はく るのか…。伝統ある窯元は経営の危機に瀕してい た。そんな中、東日本大震災で被災した母子が3 人の元にやってくる。有田焼を通して生まれるふ れあいや葛藤がやがて、新たな思いへとつながっ ていく。/脚本:向井康介/音楽:金剛地武志/ 出演:不破万作, はなわ, 塙宣之(ナイツ), 宮

# 脇咲良(HKT48), 柴本幸, 中越典子 『あのひとあの日をたずねて』 G

3. 2/20:28~20:43

ドラマ「あのひとあの日」の舞台は有田町。ロケ地を訪ね、有田焼の伝統の技に触れる。避難を余儀なくされている福島県・大堀相馬焼の現状も紹介した。

#### 『J1開幕前夜 オーレ!サガン鳥栖SP』 G

3.  $9/20:00\sim20:43$ 

#### [沖縄局]

#### 『沖縄の歌と踊り』 G(一部E)

「夏川りみ~未来の子どもたちへ贈る歌」

 $4.22/20:00\sim20:25$ 

「組踊 二童敵討」 5.20/20:00~20:45 「組踊の中の舞踊 6.10/20:00~20:43

「戦世を歌い継ぐ~艦砲ぬ喰ぇーぬくさー」

7. 1/19:30~19:55

「旧盆特集 新作組踊・宿納森の獅子」

E 8.14/20:00~20:53

「人間国宝・西江喜春の世界」

九州ブロックコンクール 10.  $7/20:00\sim20:43$ 「特集 キジムナーフェスタ2011 小学校・中学校・高等学校  $10.28 / 19:30 \sim 19:58$ E  $9.24/13:00\sim16:30$ 「普久原恒勇の世界~沖縄のこころを歌う」 [各県域] 11.  $4/20:00\sim20:43$ 福岡県コンクール 「普久原恒勇の世界②~普久原メロディーを歌 小学校・中学校・高等学校 い継ぐし  $12.16/20:00\sim20:43$ FM 9.  $3/14:00\sim18:50$ 「正月特集 組踊「中城落城」~玉城盛義襲名 小学校・高等学校 E  $9.10/12:30\sim15:00$ 公演 |  $1.2/17:00\sim17:55$ 中学校 Е  $9.17 / 12:30 \sim 15:10$ 「真喜志康忠・人と芸」 2. 3/19:30~20:43 熊本県コンクール 「名優名舞台~舞踏編|  $3. \ 2/19:30\sim19:55$ 小学校 FM 8.22/18:00~18:50 『沖縄ミュージックジャーニーonTV』 G 小学校・高等学校 FM 8.23/18:00~18:50  $7.22/19:30\sim20:43$ 中学校 FM 8.24~26/18:00~18:50 長崎県コンクール 『復帰40年企画 NHKが映した沖縄』 G (1)「ドキュメンタリー本土復帰」(1971年12 小学校・中学校・高等学校 1. 6/22:00~22:49 月放送)  $8.20/16:00\sim18:50$ FΜ 中学校 (2)「その時 歴史が動いた~忘れられた島 Е  $9.10/12:30\sim13:50$ の闘い! (2007年8月放送) 小学校・高等学校 Е  $9.17/12:30\sim13:45$ 鹿児島県コンクール  $1.13/22:07\sim22:47$ (3)「730大作戦~沖縄·交通方法変更」(1978) 小学校 E  $8.27/12:00\sim12:55$ 中学校 E 8.27/13:00~13:59 年7月放送)  $1.20/22:00\sim22:45$ (4)「ハイビジョンスペシャル 美ら島讃歌~ 高等学校 E 8.28/14:00~14:30 『あたらしい沖縄のうた』を訪ねてし 宮崎県コンクール (2002年3月放送) 小学校・中学校・高等学校  $1.27/22:00\sim22:50$ FM 8.22~26/18:00~18:50 (5)「ドル円切り替えXデー 沖縄復帰秘話 | E  $9.10/13:00\sim15:00$ (1982年5月放送) 大分県コンクール 2. 3/22:00~22:50 小学校・中学校・高等学校 (6) 「密使 若泉敬 沖縄返還の代償 | (2010 FM 9.  $3/13:00\sim16:00$ 年6月放送) 2.10/22:00~22:55 佐賀県コンクール (7) 「わが沖縄 具志堅用高とその一族」(1979) 小学校・中学校・高等学校 年10月放送)  $2.17/22:06\sim22:50$ FM  $8.23 / 7:20 \sim 10:00$ (8)「地球ファミリー 満月の夜の神秘 サ E  $9.10/12:30\sim15:00$ ンゴ大産卵~沖縄・慶良間諸島」(1990 沖縄県コンクール 年8月放送)  $2.24/22:00\sim22:44$ 小学校 FM 8.22/10:00~11:22 (9)「ハイビスカスは咲くか・ホテル戦争」 中学校・高等学校 FM  $8.22/14:00\sim16:00$ (1981年5月, 1990年2月放送) 小学校 Е  $8.27/10:00\sim11:25$ 中学校・高等学校 3.  $2/22:00\sim22:44$ E  $8.27/12:00\sim14:00$ (10)「イザイホー 沖縄の神女たち」(1979年 3. スポーツ中継 3月放送)  $3.30/22:00\sim22:43$ 『NEWSおきなわ610 年末ハイライト』 「高校野球) **G** 12.28/18:00~19:00 [九州沖縄ブロック] 『第33回全琉婦人芸能大会』 G 第129回九州地区高校野球大会

準々決勝	R1/10.25
準決勝	R1/10.27
決勝	R1 · FM/10.28

# 〔県域〕

 $1.21/14:00\sim14:56$ 

 $1.21/15:05\sim15:56$ 

「第1部|

「第2部|

〔九州沖縄ブロック〕

『第78回NHK全国学校音楽コンクール』

[各局共通]

NHK旗(杯)高校野球大会

福岡県大会	₹ R1	/ 5.15, 21, G·R1/ 5.22	決勝    G	· R1/ 7.17
熊本県大会	₹ R1 ·	FM/ 6. 2, 4, R1/ 6. 6	第129回九州地区高校野球大会 各県大	会
長崎県大会		R1/6.13, FM/6.14	熊本大会 R1·FM/10.8,	R1/10.9
鹿児島県ナ	<b>大会</b>	R1/ 5.24~26, 30	長崎大会 R1	/10.9~10
		R1 · FM / 5.31	鹿児島大会 R1	/10. 9, 11
		G·E∕ 5.30, 31	大分大会	R1/10. 1
宮崎県大会	<u> </u>	R1/ 6. 9, 12	佐賀大会 R1	/10. 1, 3
佐賀県大会	<u> </u>	R1/6.6~7, G/6.7	〔プロ野球〕	
第93回全国高	高校野球選	手権大会・地区大会	〔九州沖縄ブロック〕	
福岡大会	4回戦	FM/ 7.21	G (福岡)	
	5 回戦	R1·FM/ 7.22	「ソフトバンク」対「西武」	5.13
		R1/ 7.23	「ソフトバンク」対「ロッテ」	7. 8
		€ G/ 7.23, E/ 7.24	「ソフトバンク」対「楽天」	8.19
	]	R1/ 7.23, R1 · FM/ 7.24	「ソフトバンク」対「日本ハム」	9.16
	準決勝	G ⋅ E ⋅ R1 / 7.26	R1(福岡)	
	決勝	G·R1/ 7.27	「ソフトバンク」対「巨人」	6. 8
熊本大会	4回戦	R1·FM/ 7.18, FM/ 7.19	クライマックスシリーズ ファイナル	ステージ
		R1 · FM / 7.20	「ソフトバンク」対「西武」	
	準々決勝	FM/7.21	- 第1戦-	11. 3
		$R1 \cdot FM / 7.22$	- 第2戦-	11. 4
		$E \cdot R1 \cdot FM / 7.24$	[サッカー]	
	決勝	G·R1/7.26	〔九州沖縄ブロック〕	
長崎大会			Jリーグ (J1) 中継	
	準決勝	$E \cdot R1 / 7.23$	「サガン鳥栖」対「セレッソ大阪」	G/ 3.10
	決勝	E · R1 / 7.24	[各県域]	
鹿児島大会		R1/7.15~16	各県サッカー選手権大会決勝	
	準々決勝		福岡,熊本,長崎,鹿児島,宮崎	
	We st. me	R1 · FM / 7.20	大分, 佐賀, 沖縄 各県大会	G/ 8.28
		$E \cdot R1 \cdot FM / 7.22$	Jリーグ(J1)中継	- 1
<b>会成儿人</b>	決勝	$G \cdot E \cdot R1 / 7.3$	「ベガルタ仙台」対「アビスパ福岡	
宮崎大会	3 回戦			₹ G/ 5. 3
	34: > 34: D#	FM / 7.21	「アビスパ福岡」対「セレッソ大阪	
	準々決勝			₹ G/ 6.11
	<b>维 油 晔</b>	R1 / 7.23	「アビスパ福岡」対「ベガルタ仙台	
	準決勝	$G \cdot E \cdot R1 / 7.25$		₹ G/10.15
$+$ $\triangle$ $+$ $\triangle$	決勝 準々決勝	$G \cdot R1 / 7.27$	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	· I
大分大会	華々 伏勝 準決勝	$\begin{array}{ccc} & \text{R1} \cdot \text{FM} / & 7.24 \\ & \text{G} \cdot \text{E} \cdot \text{R1} / & 7.26 \end{array}$	「大分トリニータ」対「京都サンガ	G 6.12
	決勝	$G \cdot E \cdot R1 / 7.27$	「大分トリニータ」対「FC東京」	· G/ 0.12
佐賀大会	3回戦	$R1/7.15\sim16$		R1/ 7. 9
匹貝八云	3 凹戦	R1 · FM / 7.17	ー スカギ 「サガン鳥栖」対「湘南ベルマーレ	
	準々決勝			G / 9.25
	4个000	FM / 7.21	「コンサドーレ札幌」対「サガン鳥	
	準決勝	$G \cdot E \cdot R1 / 7.23$		R1/10.16
	決勝	E·R1/ 7.24	「ギラヴァンツ北九州」対「ロアッ	
沖縄大会	3回戦	R1/ 7. 9	熊本単・北九州単	
.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	準々決勝		「サガン鳥栖」対「ギラヴァンツ北	
	準決勝	$G \cdot E \cdot R1 / 7.16$	北九州単・佐賀単	
		/0	10, 11	-,

NHK年鑑'12

「ロアッソ熊本」対「ファジアーノ岡山」

熊本単 G/11.27

「徳島ヴォルティス」対「サガン鳥栖」

佐賀単 G/11.27

「サガン鳥栖」対「ロアッソ熊本」

佐賀単 G/12.3

「アビスパ福岡」対「ロアッソ熊本」

福岡県域・熊本単 G/3.4

「大分トリニータ」対「ザスパ草津|

大分単 G/ 3.4

「松本山雅FC」対「ギラヴァンツ北九州」

北九州単 G/ 3.17

# [高校駅伝] [各県域]

全国高校駅伝 各県予選

福岡県	R1/10.30
熊本県	R1 · FM/11. 5
長崎県	FM/11. 2
鹿児島県	FM/11. 2
宮崎県	R1/11. 6
大分県	R1/11. 6
佐賀県	R1 · FM/11. 6

#### [biリーグ] 〔各県域〕

「宮崎シャイニングサンズ」対「ライジング福 岡」 福岡県域・宮崎単 G∕10.23 「ライジング福岡」対「大阪エヴェッサ」

福岡県域 G/ 1.29

「大分ヒートデビルズ」対「島根スサノオマジック」 大分単 G/4.17 「大分ヒートデビルズ」対「京都ハンナリーズ」 大分単 G/1.29

- プレイオフ カンファレンスセミファイナル - 「琉球ゴールデンキングス」対「滋賀レイクス ターズ」 沖縄単 G/ 5.8

「大阪エヴッサ」対「琉球ゴールデンキング ス 沖縄単 G/10.22

「琉球ゴールデンキングス」対「滋賀レイクス ターズ」 沖縄単 G/11.20

#### 「その他」

第91回天皇杯全日本サッカー選手権大会~1回戦 鹿児島単 R1/9.3

男子バスケットボール 日本リーグ2部レギュラ ーリーグ

「レノヴァ鹿児島」対「兵庫ストークス」

鹿児島単 G/12.18

第43回鹿児島県選抜剣道選手権大会

鹿児島単 E/ 2.11

469

# Ⅱ. 技 術

# 1. 地上デジタル放送への取り組み

11年7月24日のアナログ放送終了に向けて,これまでにデジタル中継局を479局,NHK共聴設備を1,160施設整備した。これら整備により地上デジタル放送のカバーエリアは97.6%となった。7月24日は視聴者からの問い合わせ,受信相談に備えて緊急対応体制を確保したが,大きな混乱もなくアナログ放送を終了した。

九州・沖縄地域にはデジタル化により生じた難 視世帯が数多く点在し、これまでに約3万4,000 世帯の恒久対策を完了した。未対策の1万3,000 世帯の対策については15年3月までに完了できる よう取り組みを強化している。

有明地域は隣県の沿岸から多数の電波が到来 し、混信が発生する地域であったが、諫早・島原 局の周波数変更対策と、新たに大牟田中継放送所 から補間波を送信することで解決を図った。

# 2. 地域放送の充実

福岡局の地域ドラマ『オヤジバトル!』, 佐賀局の『あのひとあの日』, 大分局の『無垢の島』など地域を舞台にしたドラマ制作やスポーツ中継では5.1サラウンド制作を行うなど, 地域を元気にする魅力あるコンテンツ制作を推進した。

プロ野球などのスポーツ中継ではマルチ放送サービスを実施した他、『ぐるっと8県 九州沖縄』では定期的に双方向データ放送を実施するなど、デジタル放送の機能を生かしたサービスを積極的に行っている。

宮崎県に「口蹄疫非常事態宣言」が出されてから1年後の5月、「復興」への思いを伝えるために5日間の県内キャラバン中継を実施した。

#### 3 放送設備の充実

九州・沖縄を中心に全国各地で運用される福岡 局のハイビジョン中継車を低公害・省電力に配慮 したエコ中継車に更新した。

3か年計画で実施していた九州域内へリの自動 追尾機能整備は11年度の北九州・皿倉山FPU基 地への整備により完了し、九州のほぼ全域のカバ ーが可能となった。

お天気カメラ13か所、マイクロ受信基地局6か 所をハイビジョン化更新し、ほぼ6割がハイビジョン化された。 福岡・春日ラジオ放送所のラジオ第2放送機を 更新し、これにより九州・沖縄域内の放送機は全 て真空管式からトランジスタ式に置き換えられ た。

南大東島への光ケーブルが開通し、7月22日から同地域では初めて沖縄県のローカル放送を視聴できるようになった。

#### 4. 緊急報道・災害報道への対応

11年3月の東日本大震災後、被災地からの中継・取材等のための技術要員として九州・沖縄域内各局から継続的に支援を行った。(11年度448人日)。引き続き支援を継続していく。

玄海原発再稼働を巡り、6月から7月にかけて 九電の対応や住民への説明会など動きが活発化。 連日全国ニュースとなった。

沖縄県の普天間基地移設問題関連については辺 野古の埋め立て環境影響評価書提出のニュースな ど、引き続き緊急報道への対応を実施した。

# 5. 視聴者サービスの向上

九州・沖縄域内の各局が小学校に伺い,小学5年生の社会科授業にある「放送局の役割」などの講義と同時に実際に放送機器を使用して放送制作の体験をしてもらった。

福岡局では膨大な資料や番組が保存されている NHKアーカイブスの映像を大スクリーンに映し 出せるよう整備を行い、随時公開を行った。

# 6. 環境経営

福岡局のニュースセンター照明,玄関ロビー照明,一部居室照明のLED化,間引きにより省エネ化を図り,環境経営を積極的に推進した。

# Ⅲ. 視聴者

#### 1 イベント事業

11年度、九州・沖縄地方では、公開番組をはじめ、地域企画イベント、食料や環境などのキャンペーン、会館公開、教育、こども、福祉、スポーツなど各種イベントを実施し、約198万人の視聴者とのふれあいを行った。

#### (1)全国・地域放送番組の公開

『NHKのど自慢』『NHK歌謡コンサート』『熱血!オヤジバトル』などの全国放送公開番組や、『大相撲九州場所前夜祭』『くまもと歌物語音楽祭』『きばっど!霧島 N響メンバーによるアンサ

ンブルコンサート』などの地域放送公開番組を九州・沖縄で47本実施し、約5万2,000人の参加者があった。

#### (2) 地域企画イベント

「とことんK-POPプレミアムライブ」(福岡局),「NHKこどもパーク」(福岡局) などの新規 企画イベントを実施した。また,「サンデーコン サート」(北九州局),「NHK・美術館コンサート」 (熊本局) なども継続実施した。

# (3)教育、こどもイベント

「第60回九州地方放送教育研究大会」(11.26)を宮崎市内の幼稚園を中心に開催し、九州・沖縄各県の幼稚園・保育園、小・中・高等学校の教師や教育関係者など約250人が参加した。また、「おかあさんといっしょファミリーコンサート」(長崎市)、「いないいないばあっ!あつまれ!ワンワンわんだーらんど」(鳥栖市)、「モノランモノラン・ポコポッテイト小劇場」を実施し、1万3,000人を超える参加者があった。その他、各局で「NHK放送体験クラブ」を実施し、九州・沖縄全体で147校8,600人余りの小学生・教師などが参加した。また、「NHK全国学校音楽コンクール(小・中・高校)」「NHK杯中学校・高等学校放送コンテスト」などの教育イベントを各局で実施した。

#### (4) スポーツ・福祉・キャンペーン

「第24回NHK旗福岡県選抜高校野球大会」「NHKジュニアバレーボール教室」(久留米市)を実施した。

福祉関連として「第6回NHK福岡ハートパーク」(10.25~11.27,福岡市),「NHKハート展」(福岡市,熊本市)などを実施した。また,「第10回NHK朗読と音楽の夕べ」(福岡市)を開催し、福祉イベントに90万人を超える参加者があった。

「ふるさとの食にっぽんの食」「NHK環境キャンペーン」などキャンペーンイベントを各局で実施した。

#### (5) その他

主な展覧会として「よみがえる国宝展」(6.28  $\sim$ 8.28)、「細川家の至宝展」(1.1 $\sim$ 3.4) (以上福岡局)、「モーリス・ドニ展」(6.25 $\sim$ 8.28) (北九州局)など4本を実施し、26万人を超える来場者があった。

# 2. 営業

11年度は引き続き営業活動の生産性向上と取次・支払再開業務へのパワーシフトに取り組み、より効率的・効果的な活動と活性化を進め、支払率向上を図ることで、受信料収入の確保に努めた。

外部法人への業務委託や業界団体との提携など多様な戦力の活用をさらに進めるとともに, 職員による事業所対策を強化するなど, 契約の増加を積極的に図った。

また、イベントや経営広報番組を通じた受信料 公平負担に対する理解促進や、口座クレジット払いの周知活動を行うなど、親切な視聴者対応に取り組んだ。

7月のアナログ放送終了にあたっては、受信契約の取り扱いや衛星の受信方法についての事前周知や移行後の問合せ・届け出などの対応を丁寧に行い、円滑な移行に努めた。

11年度の九州·沖縄地方における有料契約件数は422万5,910件となった。

# 3. 広報

11年度、九州・沖縄の各局には、視聴者から電話などで4万2,974件の意見・要望が寄せられた。 地域のみなさまからご意見を聞く「ふれあいミーティング」を計308回にわたって開催した。

#### 〔福岡局〕

「来て、見て、楽しい放送局づくり」を目指し 放送局設備のリニューアルを積極的に行った。4 月には3Dの上映システムを常設。会館公開など で上映会を行った。8月には「キッズコーナー」. 11月には授乳室をそれぞれ新設。赤ちゃん連れの 家族でも気軽に立ち寄れる施設づくりを行った。 会館公開は5月、10月に実施。5月は「博多どん たく | 10月は「NHKハート展 | に合わせて開催 し、合わせて3万人の来局があった。福岡発地域 ドラマ『オヤジバトル!』ではロケ地・北九州市 での取材会や地元参加試写会の他. 3月には地域 ドラマを制作した大分、佐賀局と連携してドラマ をPRする「九州ふる愛ドラマ」と銘打ったイベ ントを3月に2日間にわたって行った。また、7 月のアナログ終了、完全デジタル化移行では問い 合わせの集中が予測されたため、 受付の対応人数 を増やし、電話対応時間を延長して対応した。ま た年度後半からは、福岡局の取り組みを紹介する 2分間の経営広報番組『ふく!なび』もスタート した。

#### 〔北九州局〕

11年度は開局80周年にあたり、放送やイベントに合わせて広報活動を行った。80周年を機に局のマスコットキャラクター "ハレピョン"を制作し地域応援キャンペーンでの活用など局のブランド向上に結び付けた。記念事業の「きたきゅうのうた」は、地域のコーラスグループやスターフライ

ヤーの機内番組などで利用された。サンデーコンサートは10月23日に400回を迎えた。関門6大学の学生を対象にした大学講座も3年目を迎え、7つの講座を通して地元大学生と直接の交流を図った。

#### [熊本局]

4月,熊本県の名物「からしれんこん」をモチーフにしたご当地 "どーもくん"を作成した。その名も「からしれんこんどーもくん」。NHK熊本のキャラクターとしてPR活動を行った。また、06年9月から始めた定期番組上映会が11年度100回を超えた。全国に先駆けてのスタート、そして継続して開催した結果、延べ3,000人近くの視聴者の方に参加してもらった。あわせて、地元の大学とのつながりも強化した。"白熱教室"型模擬授業を実施。当日の進行等も学生が担当するなど、企画から運営まで連携を図り関係を強化した。

## [長崎局]

『大河ドラマ~龍馬伝』に続き、長崎が舞台となるドラマ『蝶々さん』の広報展開を実施。ロケパネルやノベルティグッズを作成して事前周知を行ったこともあって、あらすじ等を掲載したホームページでは約半年で4万件を超えるアクセスがあるなど、高い関心が寄せられた。また、若者との接触者率向上を目指す取り組みの一つとして、テレビで話題を呼んだ"白熱教室"の出張型イベントを地元の長崎大学で実施。NHK元解説委員の小出五郎さんを講師に迎え、"原発事故と科学ジャーナリズム"という題で、学部を超えて集まった250人の学生・教職員のみなさんと活発な議論を繰り広げ、大いに盛り上がった。

#### 〔鹿児島局〕

11年度は、防災に関する情報をあまねく視聴者に伝えるため「逆L字スーパー」をホームページ、データ放送に展開するシステムを構築。11月の奄美大島の記録的豪雨の際、初運用し、防災放送局としての役割を強化した。また、夕方のニュース番組『情報WAVEかごしま』のキャラバンや公開番組を積極的に実施し、視聴者のみなさまと触れ合う活動を展開した。特に新燃岳噴火の影響の大きい霧島市のみなさんを元気づけるために、「きばっど!霧島の夕べ~N響メンバーによるアンサンブルコンサート」を実施。多くの方々にご来場いただき好評を得た。

#### [宮崎局]

口てい疫の非常事態宣言から1年経った5月, 夕方のニュース番組『ニュースWAVEみやざ き』では県内各地から5日間の生中継キャラバン を実施し、防災の現状と復興への課題を伝えた。また、復興応援のキャンペーン「ファイト!みやざき」の一環として、1月には宮崎県や九州ゆかりの歌手によるコンサートを開催し、メッセージを全国に届けた。年間を通して実施したふれあいミーティングは123件、参加者は4.422人にのぼった。特にデータ放送「新燃岳噴火情報」「河川水位・雨量」の周知を目指した活動や、最新の放送技術の体験学習を行う「出前授業」は好評を得た。さらに広報誌を県内のタクシーに車載するなど普及に努めた結果、毎月約1万部を発行するまでになった。

#### [大分局]

6月に大分局開局70年を記念して、一般公募による「豊の国かぼすどーもくん」が誕生した。さまざまなイベントに出向き、子どもからご年配の方まで県民の皆さんと触れ合う機会を得た。10月8、9日には「よっちょくれ広場2011」と題し、会館公開イベントを実施。大河ドラマ「江」展、「わんわんとあそぼうショー」「放送技術展」のほか、地域イベントの「おおいた夢色音楽祭」とコラボレーションし、FM公開生放送を行った。2日間で約2,500人が来場し、来館したみなさんから好評を得た。また、開局70年記念ドラマ『無垢の島』のPRを、ホームページを作成するとともにJRの電車中刷りや地元新聞、情報誌、大分駅構内のデジタルサイネージなど幅広く展開し、県内に向けアピールを行った。

#### [佐賀局]

11年度は佐賀放送局開局70周年にあたり、年間を通して記念番組・イベント等を行った。記念事業の中核のひとつである地域ドラマ『あのひとあの日』(3.2)では、舞台となった有田町で地域密着型のさまざまなPR活動を展開。大勢のエキストラ参加や、ロケ取材会、関係者試写会などで地域との結び付きを深めた。JR佐賀駅など複数の会場ではロケパネル展を開催、さらに交通広告、新聞掲載など多くの媒体でPRを行った。ドラマは大好評で多くの若年層の支持を得ることができた。また、10月24、25日の会館公開では、アナウンサー・キャスターと直接触れ合うイベント(キャスター体験、子ども朗読会など)が好評で、3,320人という佐賀局として記録的な来場者を数えた。

#### [沖縄局]

琉球王朝末期の王宮を舞台にしたBS時代劇『テンペスト』が放送され、県内外から高い注目を集めた。沖縄局では『テンペスト』を活用して

地域を活性化するために、県内向けに多岐にわたる番組周知を行った。ロケが開始されると、出演者のインタビューを放送し、内容をホームページで見られるようにした。また、各市町村や県内500か所のホテル・土産店などにパンフレットやポスターを配付し、商業施設・電器店・レンタカー営業所等で懸垂幕やのぼりを掲出するなど多彩な広報展開を図った。さらに放送直前には出演者を交えたトークショーなどのイベントを実施したほか、放送中は県内各地でパネル展を開催した。視聴者のみなさまからは、再放送の問い合わせや、地上波での放送希望など大変多くの反響が寄せられた。